

Macan

WKD 95B.01 D 70 22



Macan
Good to know - 取扱説明書

WKD 95B 01 D **7022**

03/2022

「Porsche」、「Porsche Crest」、「911」、「PCCB」、「PCM」、「PDK」、「PSM」、「PTM」、「Tequipment」およびその他の名称は© Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG の登録商標です。

本書の一部を引き抜くまたは全部の転載や複製は、© Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG の文書による許可がない限り禁止いたします

© Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG

Porscheplatz 1

70435 Stuttgart

Germany

www.porsche.com

車載文献

初めてご使用になる前に、取扱説明書の内容をよく読み、遵守してください。車載文献は常に車両に保管し、車両を売却する場合は新しいオーナーにお渡しください。

車両本体または車載文献についてのご質問、ご提案がございましたか。

どうぞお書きください。

© Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG

Vertrieb Customer Relations

Porscheplatz 1

70435 Stuttgart

Germany

装備

ポルシェでは絶えず製品の開発と改良を行っており、お客様の車両の装備品や仕様等がこの取扱説明書の図および記載内容と一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。装備品は、標準の車両装備に必ずしも対応しなくまたは国別です。追加装備品の詳細については、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。各国の法律等の違いにより、この取扱説明書の内容が車両の仕様と異なる場合があります。この取扱説明書に記載されていない装備品等の取り扱いにつきましては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店が、すべての装備品の取り扱い方法とメンテナンスについてご説明いたします。

取扱説明書のレイアウト

この取扱説明書について



取扱説明書は、車内の車載デジタル形式およびアプリ版が入手可能です。

▷ 2 ページ以降

目次



概要を把握し、確認したいテーマを探すことができます。

安全性とドライビング プレジャー



ドライビング プレジャーを安全に楽しむ方法をご覧ください。

▷ 4 ページ以降

テクニカルデータ



特定の図を検索してください。

▷ 255 ページ以降

概要



構成部品や操作系について十分にご理解ください。

▷ 18 ページ以降

索引



確認したい情報をすぐに見つけることができます。

この取扱説明書について

警告およびシンボル

この取扱説明書にはさまざまな警告およびシンボルが使用されています。



危険

重傷または死亡に至る危険

「危険」欄の警告を守らないと、重傷または死亡に至る危険があります。



警告

重傷または死亡に至る可能性

「警告」欄の警告を守らないと、重傷または死亡に至る可能性があります。



注意

中程度の怪我または軽傷を負う可能性

「注意」欄の警告を守らないと、中程度の怪我または軽傷を負う可能性があります。

知識

車両が損傷する可能性

「知識」欄の警告を守らないと、車両が損傷する可能性があります。

インフォメーション

追加情報は「インフォメーション」という語を用いて記載されます。

- ✓ 機能を使用するために満たす必要のある前提条件です。
- ▶ お守りいただく必要のある指示です。

1. 手順が複数のステップに分かれる場合は、番号が付けられています。

2. PCM でお守りいただく必要のある指示です。

▶ トピックに関する詳細情報が記載されている通知です。

その他の情報

車両、コネクタ サービス、および充電機器の詳細情報については、

▶ www.porsche.com

およびデジタル ポルシェ チャンネルをご覧ください。

Disclaimer

Apple, the Apple logo, CarPlay, iPod, Siri, iPhone and other designations of Apple are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. App Store is a service mark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. iOS is a trademark or registered trademark of Cisco Technology, Inc. in the U.S. and other countries and is used under license by Apple. Android, Android Auto, Google Play and the Google Play logo are trademarks of Google LLC.

目次

安全性とドライビングプレジャー.....	4	ボルシェ ヒル コントロール (PHC)	92	荷物および運搬	
概要図		ブレーキ.....	93	収納スペース.....	203
エンジン コンパートメント フィラー開口.....	19	車両の始動、走行、駐車.....	95	ルーフ トランスポート システム.....	204
運転席.....	20	オフロード走行.....	96	ドリンクホルダー.....	207
コックピット.....	21	オフロード走行プログラム.....	100	ラゲッジ コンパートメント.....	208
コントロールパネル.....	22	オンロードドライビングプログラム.....	101	スモーカーズ パッケージ.....	216
ルーフ コンソール.....	23	スピードリミッター.....	103	電気ソケット.....	216
リヤ.....	24	トランスミッション.....	105	モビリティおよび軽修理	
リアのエアコンコントロールパネル.....	25	HOLD 機能.....	108	12V バッテリー.....	218
トピック.....	26	ライト.....	109	けん引.....	221
開閉操作とロック		パークアシスト.....	113	ブレーキフルード.....	223
警報システム.....	27	ボルシェ アクティブセーフ (PAS)	114	クーラント.....	224
キー.....	28	ボルシェ アクティブサスペンション マネージメ ント (PASM).....	116	エンジンオイル.....	225
ウィンドウ.....	31	ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM).....	119	車両のお手入れ.....	228
ボンネット.....	33	フロント ウィンドウワイパー.....	122	テスト スタンドでの測定.....	233
リヤリッド.....	34	レーンキープアシスト.....	125	タイヤおよびホイール.....	234
ルーフ システム.....	37	車線逸脱警告.....	128	パンク.....	243
セントラルロック.....	40	レーンチェンジアシスト (LCA)	130	ヒューズ.....	246
エアコンおよび人間工学		トラフィック ジャム アシスト (TJA).....	133	補給.....	250
エアバッグ.....	47	クルーズコントロール.....	135	ジャッキおよびリフティング プラットフォーム.....	252
インストルメントおよびインテリアライト.....	48	表示および入力		ウォッシュャー液.....	254
チャイルドシート.....	50	インストルメント パネル.....	137	テクニカル データ	
エアコン システム (3 ゾーン オート エアコ ン)	60	ボルシェ コミュニケーション マネジメント シス テム (PCM).....	145	車両識別データ.....	255
ステアリング ホイール.....	67	ボイス コントロール.....	151	寸法.....	256
パーソナル設定.....	68	警告および情報メッセージ.....	157	充填容量.....	256
シートベルト.....	72	操作および使用		燃料消費量および CO ₂ 排出.....	256
シート.....	74	Apple CarPlay.....	180	重量.....	257
サンバイザー.....	79	車両設定.....	181	タイヤおよびホイール.....	258
ミラー.....	80	デバイス マネージャー.....	182	スペア ホイール.....	261
運転 / ドライバー アシスタンス		メディア.....	184	ボルシェ コミュニケーション マネジメント (PCM)	262
アダプティブクルーズコントロール (ACC).....	83	ナビゲーション.....	186	リサイクル.....	265
オート スタート / ストップ機能.....	89	ボルシェ コネクト.....	190	無線機器 (EU 地域外).....	265
		スポーツクロノ ストップウォッチ.....	195	索引.....	277
		電話.....	198		

安全性とドライビングプレジャー

あなたの貢献

ポルシェ車は最高のパフォーマンス、最高のスポーツ性を誇り、魅力的な体験を満喫できることは間違いありません。しかし、それはどんな状況でもお客様がリラックスできる場合に限られます。これは、ポルシェが安全性も最高水準の質と同じくらい重要な問題であると考えているからです。

ポルシェ車の運転中に安全を確保する上で、お客様にどのような役割を果たしていただけるかをこちらで説明します。

完璧なテクノロジー：安全性の前提条件

高品質な材料と優れたワークマンシップにより、この車両は今後何年間もお乗りいただくことができるでしょう。ポテンシャルを最大限に発揮するには、車両の点検およびお手入れが必要です。それによって、危険な状況においてもポルシェ車の信頼できる走行性能が保証されます。

車両の損傷および正常な動作の点検



たとえば、技術的な損傷のある車両は不適正な作動により、事故を引き起こす恐れがあります。

- ▶ 車両を定期的に点検し（少なくとも1か月に1度および長時間のドライブの前）、良好な状態であることを確認してください。特に、以下の点に注意してください。
 - タイヤに損傷がなく、空気圧は適正で、トレッドの残り溝も十分にある
 - ヘッドライト、ブレーキライト、および方向指示灯がすべて作動する
 - エアロパーツに損傷がない
 - ワイパー ブレードに損傷がない
 - ウィンドウに亀裂や損傷がなく、視界が遮られていない
 - ドアミラーおよびルームミラーに損傷がなく、正しい位置になっている
 - センサーおよびカメラにひび割れまたは損傷がない
 - クーリングエアダクト、センサーおよびカメラが（フィルム、ストーンガード、ナンバープレートホルダー等で）覆われていない
- ▶ 電話や無線装置は、外部アンテナに接続して車内でのみ使用し、車内の電磁波レベルが限界値を超えないようにしてください。

タイヤの損傷点検



損傷したタイヤは走行中にバースト（破裂）する恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 走行頻度や状態に応じて、少なくとも月に1度は定期的にタイヤを点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、膨れなどがないかを確認してください。タイヤの側面も必ず点検してください。
- ▶ 損傷の疑いがある場合は、ポルシェ正規販売店でタイヤおよびホイール全体の点検を受けてください。
- ▶ 損傷したタイヤを装着したまま運転を**続け**ないでください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤ空気圧の調整



タイヤ空気圧が極端に低いまたは高いと、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷が発生するだけでなく、制動距離が長くなり、事故を起こす危険が大幅に高まります。タイヤ空気圧が低すぎる場合は、燃費が著しく低下する恐れがあります。

- ▶ タイヤの種類および積載重量に適したタイヤ空気圧に調整してください。

- ▶ 255 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。
- ▶ 234 ページの「タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム」の章を参照してください。
- ▶ マルチファンクションディスプレイのタイヤ空気圧モニタリングメニューにある設定が、車両に装着されているタイヤおよび車両の積載荷重と一致していることを確認してください。
- ▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。
- ▶ インストルメントパネルに赤色のタイヤ空気圧警告灯が表示された場合：速やかに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。損傷したタイヤを装着したままで運転を続けしないでください。必要に応じてタイヤシーラントで応急処置を行ってください。
- ▶ 243 ページの「パンク」の章を参照してください。

ライトの点検



ライトが故障すると、車両前方が照射されず、視界不良時に前方が見づらくなります。他のドライバーがあなたの車両に気づくのが遅れ、事故を引き起こす恐れがあります。

以下のライト類を点検してください。

- パーキングライト、ロービーム、ドライビングライト、ハイビーム
- 方向指示灯、ブレーキライト、リバースライト
- フォグライト
- ▶ すべてのライト類が正常に機能していることを確認し、故障したライトは速やかに修理してください。

エアロパーツの点検



エアロパーツ（スポイラーまたはアンダーボディパネル）が損傷または紛失していると、ハンドル操作が正常に行えなくなります。

- ▶ 車両に損傷の兆候がないか点検します。
- ▶ 損傷または紛失した部品は速やかに交換してください。

ウィンドウおよびワイパー ブレードの清掃およびメンテナンス



ウィンドウの汚れやワイパー ブレードに不具合があると、視界を遮るので事故を起こす危険が著しく高まりません。

- ▶ 車両およびウィンドウは常にきれいな状態に維持してください。
- ▶ 凍結したワイパー ブレードを溶かして、ウィンドウから離してください。
- ▶ ワイパー ブレードは定期的に、または少なくともフロントウィンドウに筋が残るようなら交換します。
- ▶ 124 ページの「ワイパー ブレードの交換」の章を参照してください。

メンテナンスおよび仕様変更はポルシェ正規販売店以外では行わないでください



車両を改造すると、安全機能に悪影響を与えるばかりでなく、その機能が失われる恐れがあります。認可されていない作業の実施は、保証期間内であっても請求が無効になることがあります。

- ▶ 車両のすべてのメンテナンスおよび仕様変更は必ずボルシェ正規販売店で行ってください。正規販売店にご依頼いただくと、車両の信頼性や安全走行性が保証され、誤った整備による車両の破損を防ぐことができます。ボルシェは、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

故障診断用ソケット



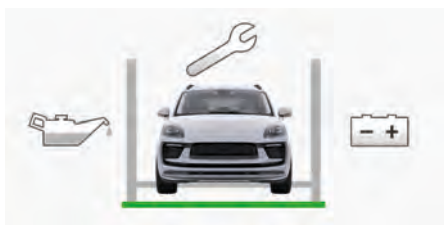
故障診断用ソケットは、ボルシェ正規販売店で故障診断機器を接続するために使用されます。

外部装置（ナビゲーションユニット、ヘッドアップディスプレイなど）を故障診断用ソケットに接続した場合、車両システムの機能に支障をきたしたり、イグニッションを OFF にしたときにバッテリーを消耗させたり損傷（完全放電）させたりする恐れがあります。外部機

器またはケーブルは、制動時またはカーブ走行時にペダル作動の障害となったり、ペダル間に挟まったりする可能性があります。

- ▶ いかなる装置も故障診断用ソケットに接続しないでください。
- ▶ 運転席の足元に機器またはケーブルなどの物を置かないでください。

ボルシェのスペアパーツ



- ▶ ボルシェ純正スペアパーツ、またはボルシェの仕様や製造要件に従って製造された同等品質のスペアパーツのみを車両にはご使用ください。正規販売店にご依頼いただくと、車両の信頼性や安全走行性が保証され、誤った整備による車両の破損を防ぐことができます。これらの部品は、ボルシェ正規販売店から入手できます。ボルシェは、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ボルシェ Equipment プログラムのアクセサリ、またはボルシェが検査および認定したアクセサリのみをご使用ください。ボルシェ Equipment に関するインフォメーション：ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

① インフォメーション

他社製のスペアパーツまたはアクセサリを使用し、それにより損傷などが発生した場合、ボルシェ社はいかなる責任も負いかねます。スペアパーツやアクセサリを供給しているメーカーが認定メーカーであっても、車両の安全性が損なわれる恐れがあります。

ボルシェ社の承認していないスペアパーツまたはアクセサリを使用すると、車両の保証が適用されないことがあります。

荷物、安全装備、車両に子供を乗せるとき：ボルシェドライバーへの注意事項

ボルシェ車両は 100 km/h を超えるまでわずか数秒という加速タイムを誇ります。これほどのパワーを思いのままに操るには、お出かけの前に万全の準備をして安全を確保する必要があります。

そのため、走行前の準備にも走行するときと同等の情熱を注いでください。

あなたの命を守るもの：シートベルトの正しい使用方法



シートベルトは、正しく使用されていて完全に機能している場合にのみ、乗員を怪我から守ります。

① インフォメーション

シートベルトを着用しない場合、30 km/h という低速でも重症を負う場合があります。安全装備はシートベルトと組み合わせることで乗員を保護します。たとえば、エアバッグはシートベルトも適切に着用している場合にのみ、適切な保護効果を発揮することができます。

- ▶ 短い距離の運転であっても、必ずシートベルトをしっかり着用してください。
 - ▶ 1つのシートベルトが固定するのは、乗員1人だけです。
 - ▶ だぶついた衣服、厚手の衣服（例：冬物コート）は脱ぐようにしてください。
 - ▶ 硬い物または壊れやすい物の上からシートベルトを締めないでください（例：メガネやボールペン）。
 - ▶ シートベルトがねじれないようにしてください。
 - ▶ 使用していないシートベルトは、必ず完全に格納するようにしてください。
 - ▶ 妊娠中の方：腰部ベルトを腹部を避けて腰骨の低い位置にかけ、肩ベルトは胸部に密着させてください。
 - ▶ 摩擦または損傷している場合は、ベルト、ベルトバックルまたは取り付け部を交換してください。
- ▶ 72ページの「シートベルト」の章を参照してください。

エアバッグ



エアバッグは、乗員全員がシートベルトを着用して正しく着席している場合にのみ、保護機能を発揮します。荷物や手荷物は安全に収納する必要があります。

- ▶ 乗員とエアバッグが展開する間のエリアに、人や動物がいないように、また物がないようにしてください。
- ▶ エアバッグから一定の距離を保ち、ドアの内側にもたれかからないでください。走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシートの上に足を乗せないでください。

手を加えたエアバッグは、保護効果を発揮しません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。予期しないタイミングでエアバッグが作動すると、重症を負う可能性があります。

- ▶ シートカバーを装着しないでください。
- ▶ ステアリングホイールまたはエアバッグ付近にアクセサリを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ エアバッグの部品を取り外さないでください（例：ステアリングホイール、フロントシート、天井の内張り）。
- ▶ エアバッグの配線や部品を改造しないでください。

▶ 47ページの「エアバッグ」の章を参照してください。

車内の荷物をすべて固定する



車内の荷物を固定しなかったり不適切な位置に載せたりすると、ブレーキやステアリングを操作したとき、加速時、または事故の際に、投げ出される可能性があります。これは乗員を危険にさらし、怪我につながる恐れがあります。

① インフォメーション

たとえば、50 km/h で衝突した場合、固定していない荷物はその重量の最大50倍の力で前方に投げ出される可能性があります。たとえば、1.5リットルの水が入っているペットボトルは75 kgの力で車内に放り出されます。

- ▶ 荷物を運ぶ場合には必ず固定してください。
- ▶ 荷物は常にラゲッジコンパートメントやルーフトランスポートシステムなどに安全に収納してください。
- ▶ 小物類は小物入れに収納し、確実に閉じてください。必ず小物入れから荷物がはみ出さないようにしてください。
- ▶ ダッシュボードまたはラゲッジコンパートメントカバーの上に荷物を置かないでください。
- ▶ タイダウンベルトで荷物を固定してください（引き裂き強度は最低700 kg）。

- ▶ 小物入れのカバーを開けた状態で重い荷物を運ばないでください。
- ▶ また、乗員に安全対策についての情報を提供してください。

正しくポルシェに荷物を積載し、収納するために：

- ▶ 203 ページの「収納スペース」の章を参照してください。
- ▶ 208 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。

狭み込み防止



以下に記載されている車両構成部品の可動範囲に人や動物がいると、挟まれたり押しつぶされたりする可能性があります。特に以下の部品が挙げられます。

- 調整式シート
- ドア
- ウィンドウ
- トウバー システム
- カバーおよびリッド
- 小物入れのリッド
- ▶ これらの車両部品を動かすときには可動範囲に人や動物がいらないことを確認してください。

子供の行動を監視する



子供は危険を正しく判断できなく、危険な状況で不適切に行動する場合があります。

子供は誤って自動設定（座席調整など）を作動させて怪我する可能性があります。子供は緊急時（車内の過熱状態など）に車両から降りることができません。これは、特に小さな子供にとって命に関わります。

- ▶ 高温部品（排気テールパイプなど）や作動中の部品に子供が近づかないようにしてください。
- ▶ 有毒物質（タイヤシーラントやエンジンオイルなど）は子供の手の届かない所に置いてください。
- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。

チャイルド シートの安全な使用



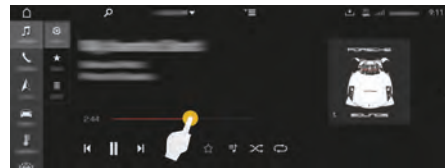
チャイルドシートは、正しく装備された場合にのみ効果を発揮します。

- ▶ **必ず**ポルシェによって承認されているチャイルドシートを使用してください。
- ▶ チャイルドシートを使用する前に：本マニュアルに加え、チャイルドシートのメーカーの取扱説明書を読み、従ってください。
▶ 50 ページの「チャイルドシート」の章を参照してください。

安全で優れたドライビング：常に正しい判断をする

ポルシェ車はオールラウンダーです。パフォーマンススタート機能から緊急ブレーキ機能まで、この車で走り出せば、すべてが可能になります。しかしながら、その一方で、最終的にこの能力を常に制御下に置く責任はドライバーにあります。

注意力の低下を防ぐ



運転中に PCM やその他の装置を操作すると、周囲の交通状況に対する注意力が低下し、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

- ▶ 運転中にミラーやシート、ステアリングホイールの調整は行わないでください。シートやステアリングホイールが思った以上に動く場合があります。

す。車両のコントロールを失う恐れがあります。ミラー、シート、ステアリングホイールの位置調整は運転前に行ってください。

- ▶ マルチファンクションステアリングホイールやインフォテインメントシステムなどの運転中の使用は、交通状況が許す場合のみにしてください。不確かな場合は、安全に操作できるよう停車してください。
- ▶ 運転中は携帯電話やその他の携帯デバイスを使用しないでください。
- ▶ 必ずハンズフリー機器を使用してください。
- ▶ 運転中にステアリングホイールのスポークの間に手を差し込まないでください。これらを遵守しない場合、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。

雨天や降雪時のブレーキの挙動についての把握



大雨の中で水たまりを走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキ内に水が浸入する可能性があり、ブレーキの反応が遅れたり、ブレーキペダルを踏み込むときに普通以上に力が必要になったりすることがあります。

さらに、冬季の路面を長距離にわたって走行すると、ブレーキディスクやパッドに被膜ができて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキ性能も低下することがあります。

- ▶ 特に停車前には、ブレーキが乾いた状態になるようブレーキをかけてください。これにより腐食を防ぐことができます。
- ▶ ブレーキが腐食すると激しい振動が発生しやすくなります。ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ブレーキシステムの点検を受けてください。

適切なタイヤと適切な運転スタイル



▶ 234 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

走行中にハンドルをとられたり、振動が発生したりした場合の適切な反応

タイヤや車両に損傷があると、走行中にハンドルをとられたり振動が発生したりすることがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 直ちに減速してください。ただし急ブレーキをかけるしないでください。
- ▶ 停車してタイヤを点検してください。不具合の原因がわからないときは、慎重に運転し、不具合の修理を受けてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤの安全な状態の維持

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。タイヤを保護するように運転し、タイヤの損傷を防いでください。

- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。
- ▶ 段差が大きな縁石や、尖った縁石を乗り越えないでください。

新しいタイヤの慣らし運転

新しいタイヤはグリップ性能を十分に発揮できず、スリップしやすくなります。

- ▶ 新品のタイヤを装着してから最初の 200 km は、抑制した速度で慣らし運転を行ってください。

ウィンタータイヤでの走行

ウィンタータイヤには最高速度が指定されています。最高許容速度を超えると、タイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。

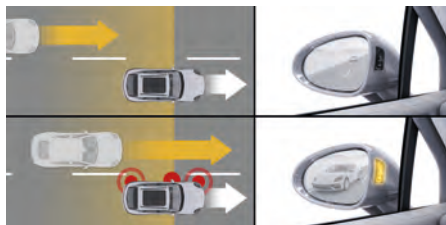
- ▶ 装着しているタイヤの許容最高速度を超えて走行しないでください。
- ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。
- ▶ インストルメントパネルで最高許容速度を制限速度として設定します。
▶ 137 ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。

サマータイヤでの走行

外気温が 15°C 以下のときに駐車操作やステアリング操作を行うと、ノイズが発生する場合があります。

- ▶ 外気温が 7°C を下回る場合、ウィンタータイヤに交換してください。

アシスタンス システムおよびその制限



ボルシェ車には、安全性と乗り心地を高めるアシスタンスシステムが装備されています。

ただし、これらのシステムのいずれも物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ 走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。アシスタンスシステムは、不適切な運転スタイルによる事故の危険性を低減することはできません。
- ▶ アシスタンスシステムを過信せず、安全運転を心がけてください。周囲の交通状況に適切な反応ができるように、常に慎重な運転をしてください。
- ▶ 使用する前に、アシスタンスシステムについて十分に理解してください。

緊急ブレーキ機能



例えば、フットブレーキが故障した場合はエレクトリックパーキングブレーキを使用して急制動をかけることができます。

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。そのために後続の車両が危険にさらされる可能性があります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は緊急時にもみ使用し、通常走行時の使用は避けてください。
- ▶ 緊急ブレーキ機能を作動させるには、スイッチ(P)を引き続けてください。ブレーキを解除するには、ボタンを放してください。
 - ▶ 93 ページの「ブレーキ」の章を参照してください。

荷物積載時の運転



ボルシェ車の操縦性は積載量によって変化します。ルーフトランスポートシステムを使用しているときは、空気抵抗も大きくなります。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ ルーフトランスポートシステムを装着して荷物を積載しているときは、130km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ 装着したルーフトランスポートシステムに荷物を載せていないときは、180km/h を超える速度で走行しないでください。

- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。
- ▶ ルーフトランスポートシステムを装着して走行する前に、本書の以下のセクションをお読みください：
 - ▶ 204 ページの「ルーフトランスポートシステム」の章を参照してください。

オフロード走行



ボルシェでオフロードを走行する場合、事故やケガ、車両の破損を防止するため、慎重に運転してください。

- ▶ 凹凸、盛土、斜面、坂などで転覆しないように注意してください。
 - ▶ 水たまりや浅瀬を走行する場合は、流れの速さ、底の状態、水の深さを確認してください。
 - ▶ 障害物を越えるとき、車両の地上高を必ず点検してください。
- ▶ 100 ページの「オフロード走行プログラム」の章を参照してください。

ローンチコントロールを使用した発進



発進時にローンチコントロールが作動していると車両は非常に早く加速します。特定の状況（路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど）では、車両の制御が失われたり、他のドライバーに危険が及んだりする恐れがあります。

- ▶ 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限ってローンチコントロールを使用してください。
- ▶ ローンチコントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険がおよばないようにしてください。
 - ▷ 105 ページの「トランスミッション」の章を参照してください。
- ▶ スポーツエキゾーストシステムを排気音最適化モードに切り替えて非常にスポーティな走行を行うと、ノイズがかなり大きくなります。社会的な責任を考慮に入れ、近隣住民に配慮してください（特に夜間）。

警告音への適切な反応



センサーが異常や部品の不具合を検出すると、ライトやメッセージを使用して警告を発します。車両の警告シグナルを無視すると、事故やケガを招く危険性が高まります。

- ▶ 走行前に警告灯およびメッセージの意味を理解し、警告に対して適切に対処できるようにしてください。必要であれば停車してください。
 - ▷ 157 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。
 - ▷ 137 ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。

給油時の危険



燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が起こる恐れがあります。また、燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▶ 燃料を給油するときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙したりしないでください。
- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。
 - ▷ 250 ページの「補給」の章を参照してください。

事故の際、燃料キャップが損傷すると、燃料漏れが発生し、発火または爆発につながる恐れがあります。

- ▶ 車両に予備燃料タンクを積載しないでください。

有害なフルード



燃料だけでなく、エンジンおよびトランスミッションオイル、AdBlue[®]、バッテリー液、クーラントおよびブレーキフルードも人の健康に有害です。

- ▶ 屋外または十分に換気されている場所でのみ、車両の作業を行ってください。
- ▶ オイルや液体類の容器には適切なラベルを貼り、おさまりの手が届かない所に保管してください。
- ▶ 残ったフルードの廃棄は、規制に従い環境に影響が少ない方法で行ってください。

エンジンオイルは発火することがあります。エンジンオイルの残りが付着したまま換気せずに廃棄または保管された布は、自然発火して火災が発生する原因となる恐れがあります。

- ▶ 布で飛散したエンジン オイルを吸い取ってください。
- ▶ エンジン オイルがしみ込んだ布は、廃棄するまで換気された場所で保管してください。

有毒な排気ガス



排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす恐れがあります。

- ▶ 停車中はエンジンを切ってください。密閉された空間でエンジンを不必要にアイドリングしないでください。
- ▶ エンジンを作動させた状態で作業するときは、必ず車両を屋外に駐車させるか、または換気の良い場所で行ってください。

安全な駐車



車両を適切に駐車しなかった場合、不意に動き出し人や物に損傷を与える恐れがあります。

車両から離れる前に、以下の点に注意してください。

- ▶ 電動パーキングブレーキを有効にします。
- ▶ トランスミッションパーキングロックを P ボタンを使用して作動します。インストルメントパネルで作動モード **P** が点滅している場合、パーキングロックが正しくかかっていません。セレクトアーレバーでもう一度 P ボタンを押すか、イグニッションを OFF にしてください。イグニッションが OFF になると、トランスミッションパーキングロックが自動的にかかります。

エンジン作動中およびエンジンを停止してからしばらくの間は、エキゾーストシステムが非常に高温になっています。火傷を負ったり、火災に至る恐れがあります。

- ▶ 可燃物（乾燥した草や枯れ葉など）が高温のエキゾーストシステムに接触する恐れのある場所に駐車しないでください。
- ▶ 車両後方に近づくときは、テールパイプから安全な距離を保ってください。
- ▶ お子様はテールパイプの熱で火傷をしないように注意してください。

万が一の場合：故障および緊急時の安全確保

安全のため故障時には、以下の情報に注意してください。

緊急時はボイスコントロールを使用しない



緊急時は緊張のために声が変わり、ボイスコントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。

- ▶ 緊急時はボイスコントロールを使用しないでください。

車両への作業に関する注意事項



図 1:

エンジンの作動中は、エンジンコンパートメント内のエンジンおよび周辺部品が非常に高温になります。クーラントリザーバータンクには圧力がかかっています。ファンはいつでも自動で作動する可能性があります。

- ▶ エンジンを OFF にして、可能であれば冷やしてください。
- ▶ 身体の一部、衣服、長い髪、装飾品などは、ファンやドライブベルトなどのすべての可動部品から遠ざけてください。
- ▶ 高温部品から守るため保護手袋を着用してください。
- ▶ 水平な場所に停車し、エンジンが冷えているときのみクーラントを補充してください。エンジンが熱いときにクーラントリザーバー タンクを開けないでください。

車両で特定の作業を行う際は、保護装備（切り傷防止用の手袋など）を着用する必要があります。

- ▶ 車両の作業は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェは、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ジャンプスタート



図 2:

不適切なジャンパー ケーブルまたは不正なジャンパー ケーブルによるエンジンの始動は、短絡の原因となり火災が発生する可能性があります。

ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動中に、爆発性の高い電解質のガスがバッテリー周囲で発生します。

さらに、自動的に始動する部品（ラジエーターファンなど）により、エンジン コンパートメント内で負傷するリスクがあります。

ジャンプスタートを提供または受ける前に：

- ▶ 218 ページの「ジャンプスタート」の章を参照してください。

けん引



図 3:

けん引または押しがけによる始動により、車両に重大な損傷を与えるリスクがあります。

- ▶ けん引または押しがけによる始動は行わないでください。
- ▶ 車両をけん引しないでください。
- ▶ ロードサイド アシスタンスまたは故障復旧サービスに連絡してください。
- ▶ 復旧車両、車両輸送専用車またはトレーラーに前輪と後輪の両方を載せて車両を輸送してください。
- ▶ 車両をけん引するまたは車両がけん引される前に：
 - ▶ 221 ページの「けん引」の章を参照してください。

パンクしたとき



図 4:

損傷したタイヤで走行するときは、速度によっては安全にステアリングを操作できなくなる恐れがあります。

- ▶ 決してパンクしたタイヤで走行しないでください。
- ▶ 安全な場所に正しく停車して、不具合を修理してください。
 - ▶ 243 ページの「パンク」の章を参照してください。

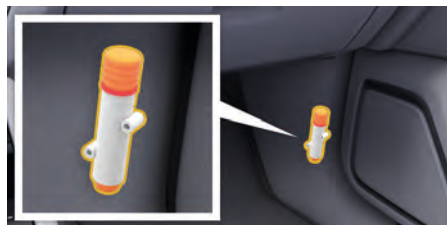
衝突後



衝突後は、安全装備（例：シートベルトプリテンショナーおよびエアバッグ）が作動しない場合があります。これにより、安全装置によって保護することができなくなります。

- ▶ 安全装置が作動していなくても、点検を受けてください。
- ▶ 一度作動した安全装置は必ず取り替えてください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェは、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

発煙筒



発煙筒は、事故や道路の欠陥のために車両を停止する必要がある場合に、周辺地域に警告するために使用されます。発煙筒は、ドア側の助手席の足元に取り付けられています。

警告

使用すると火傷や火災の原因となることがあります。

- ▶ 発火の危険性があるため、可燃物の近くで発煙筒を使用しないでください。
- ▶ 火傷の恐れがありますので、使用中は発煙筒を顔や体に向けたり、顔や体の近くに持ったりしないでください。
- ▶ 発煙筒は子供の手の届かない所に保管してください。不適切な使用は、火傷や車両の損傷を引き起こす可能性があります。

注意

トンネルで発煙筒を使用すると、事故を引き起こす可能性があります。

- ▶ トンネルなどの空気循環の悪い場所で使用すると、発煙筒からの煙が視界を損なうため、事故の原因となることがあります。必要に応じてハザードライトを点灯します。

発煙筒を使用する

1. キャップを取り外します。ケースをひねって発煙筒をゆるめます。
2. 発煙筒の後端をケースに挿入します。
3. 発煙筒は、点火ヘッドをキャップの点火面にこすりつけることによって点火されます。

インフォメーション

発煙筒は約5分間燃えます。

発煙筒には有効期限があります。印刷されている有効期限内に、発煙筒を交換してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。

お出かけの前に：車両に関する重要な情報

車両の慣らし運転



新車時は可動部品同士を馴染ませる慣らし運転を行う必要があります。走行距離が3,000 kmに達するまでは慣らし運転が必要となります。この期間は、オイルと燃料の消費量が通常よりも若干多くなります。

慣らし運転期間は次の点に注意して運転してください。

- ▶ なるべく長距離走行をします。できるだけ冷間始動と近距離運転の繰り返しは避けます。
- ▶ モータースポーツイベント、スポーツドライビングスクールなどに参加しない。
- ▶ エンジン回転数が4,000rpmを超えないようにしてください。エンジン冷間時は低回転域で運転します。

新しいブレーキパッドの慣らし運転

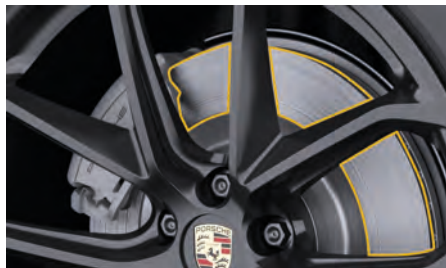


図 5:

車両を数百マイル走行させると、新しいブレーキパッドおよびブレーキディスクの「慣らし」が終わり、最適な摩擦力に達します。

ブレーキ性能が若干減少している場合、ブレーキペダルを踏むときに普段より大きな力が必要になります。ブレーキパッドやブレーキディスクを新品に交換した場合もこれと同じ状況になります。

サーキットで走行する前に



公道走行時に比べて、サーキット走行には過度に高い車両負荷が伴います。レース専用車両は、点検および構成部品の整備間隔が短いため、その負荷に耐えることができます。この点検および整備には、各サーキットでの走

行後に点検を実施し、必要に応じて個別に構成部品を交換し、規定された期間後には部品全体をオーバーホールすることが含まれます。

- ▶ サーキットで走行する前に、現在の仕様を確認してください。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ブレーキシステム

ブレーキフルードは時間とともに空気から湿気を吸収します。水分を吸収すると沸点が低下し、高温時にブレーキの効きが大幅に低下することがあります。レースサーキット走行時、ブレーキパッドおよびブレーキディスクには非常に高い負荷がかかります。レースサーキット走行時、ブレーキパッドおよびブレーキディスクには非常に高い負荷がかかります。

- ▶ 使用開始から 12 か月以上経過したブレーキフルード：サーキット走行前に交換してください。
- ▶ レースサーキット走行の前後に、ブレーキパッドおよびブレーキディスクの摩耗点検を行ってください。

タイヤ

レースサーキット走行時、タイヤにも非常に高い負荷がかかります。

- ▶ サーキットで走行する前後に、タイヤの摩耗点検を行ってください。
- ▶ レース用タイヤは装着しないでください。ポルシェはレース用タイヤを承認していません。

エンジンオイル

- ▶ サーキットで走行する前に、エンジンオイルを最大のマーク位置まで補充してください。
- ▶ サーキット走行の前後に、エンジンオイルレベルを点検してください。

▶ 225 ページの「エンジンオイル」の章を参照してください。

海外での走行の前に



すべてのポルシェモデルがすべての国で入手可能であるとは限りません。このため、スペアパーツが入手できない、あるいはポルシェ正規販売店で修理作業が行えない場合があります。

海外で走行する前に、次の情報をご確認ください。

- 車両故障時に修理を受けることができますか？
- 車両は技術的調整を必要としていますか？
- 十分なオクタン価の燃料が入手可能ですか？
- 左側/右側通行の違いに合わせてヘッドライトを切り替える必要がありますか？

▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。

車両のデータ処理



この車両は ECU 装備車です。これらの一部は車両の操作安全性に必須で、その他は走行アシスト機能（ドライバースタシアンシステム）を提供します。さらに、

車両には電子コントロールユニットにより実現可能になったコンフォート機能およびエンターテインメント機能が装備されています。

各車両には固有の車台番号があります。この車両識別番号 (VIN) は、欧州連合内の地方自治体を通じて、車両の現在の所有者と以前の所有者までさかのぼることができます。車両のライセンス プレートを使用して、車両から収集されたデータをオーナーやドライバーまでさかのぼって追跡する他の方法もあります。

車両のテクニカルデータの保存

ECU は、車両の状態、コンポーネント負荷、サービス要件、事象、故障などに関する技術的な情報を一時的、または永久的に保存するデータ メモリーを備えています。一般的に、この技術的な情報には、次に挙げるコンポーネント、モジュール、システムまたは環境のステータスが記録されています。

- システムコンポーネントの作動モード (例: 給油レベル)
- 車両および個々のコンポーネント (例: ホイール回転数、速度、減速、横加速度) に関するステータス メッセージ
- 重要なシステムコンポーネントの故障 (例: ライト、ブレーキ)
- 車両を損傷する可能性のあるイベントに関する情報
- 特別な走行状況での車両の反応 (例: エアバッグの展開、スタビリティ コントロール システムの作動)
- 環境要因 (例: 温度)

実際の車両機能に加えて、このデータを使用して故障の検出および修正を実施し、メーカーが車両機能を最適化することができます。このデータの大部分は揮発性メモリーで、車両自体で処理されるのみです。データのわずかな一部分のみがイベント メモリーまたは故障メモリー

ーに保存されます。さらに、車両には電子コントロールユニットにより実現可能になったコンフォート機能およびエンターテインメント機能が装備されています。

テクニカルデータの読み出し

車両にローカル保存しかされていないデータは、ワークショップなどで専門家のサポートによって読み取ることができます。サポートは有料の場合があります。このために法定規定が存在する個々のケースでは、政府機関の要請に応じてメーカーが保存したデータを必要な範囲で開示することが、メーカーとしてのボルシェに義務付けられる場合があります (例: 犯罪行為の場合の事実認定のため)。

車両の整備時、サービス ネットワーク作業 (例: ワークショップ、ロードサービス、メーカー) は、車両からの技術情報を読み出すことができます。サービスには修理サービス、サービス プロセス、保証請求および品質保証基準が含まれます。データは車両の OBD (オンボード診断) 用に法的に規定された接続を使用して読み出されます。データは、該当するサービス ネットワークのスタッフにより収集され、処理され、使用されます。また、製品監視義務に準拠し、あるいは品質向上などのためボルシェに送信される場合があります。車両の故障メモリーおよびイベント メモリーは、修理またはサービス実施とともに修理ワークショップでリセットされる可能性があります。

車両の機能の利用

選択された装備オプションの範囲内で、マルチメディアおよび住所録データなどの情報、またはナビゲーション目的地およびその他の設定を車両のコンフォート機能およびインフォテインメント機能に入力できます。このデータは、車両にローカルに保存することも、車両に接続したデバイス (電話、USB スティック、MP3 プレーヤーなど) に保存することもできます。車両にこのデータが保存された場合、いつでも削除できます。このデータは特にオンライン サービス使用中、ユーザーが選択した設定に基づいて、ユーザーが要求した場合に限り第三者に送信されます。

車両に必要な機器が備わっている場合は、車両に統合されているコントロールを使用して、接続されている電話または別のモバイルデバイスを制御できます。携帯電話からの画像と音声は、マルチメディアシステムを介して出力できます。特定の情報はユーザーの電話に転送することもできます。これには一般的な車両情報または位置データなど (装備品のタイプによって異なる) が含まれます。これにより、ナビゲーション システムの使用やミュージックの再生など、電話で選択したアプリを最適に使用できます。電話は、車両データへ積極的にアクセスできません。携帯電話が受信したデータを処理する方法は、使用している該当アプリのプロバイダーが定めます。このために構成できる設定の有無と設定は、スマートフォンのアプリとオペレーティングシステムによって異なります。

オンラインサービスの使用

車両にワイヤレス ネットワーク接続がある場合は、これを使用して車両と周囲および他のシステムとの間でデータ交換が可能です。車両の送受信ユニットまたは接続した携帯デバイス（電話など）により、ワイヤレス ネットワークに接続できます。このワイヤレス ネットワーク接続により、オンライン機能を使用できます。これには、ポルシェまたは他のプロバイダーにより利用可能なオンライン サービスおよびアプリケーション/アプリが含まれます。

ポルシェ オンラインサービスの場合、さまざまな機能が適切な場所に記述されています（例：ポルシェコネク ト ウェブサイト） および関連するプライバシー通知が提供されます。オンライン サービスの提供のために個人データが使用されることがあります。必要なデータの交換は、保護された接続を介して実施されます（例：この目的のためのポルシェ IT システム設定）。サービス提供に必要なものを超えた個人データの収集、処理、使用は、法的な認可または承諾に基づいてのみ行われま す。

通常、（料金ベース） サービスや機能、または車両のデータ接続自体の有効化/無効化は、ユーザー側の判断にて行うことが可能です。法律により定められた特定の機能およびサービスは除外されます。

他のプロバイダーのオンライン サービスを使用するためにオプションが存在する場合、それらは該当するプロバイダーの責任であり、そのプロバイダーのデータ保護ポリシーおよび使用規約の対象です。ポルシェはこのようなデータ交換について干渉しません。そのため、第三者サービスにおけるそうしたデータ収集や個人データの種類の種類、範囲および目的に関する情報は、該当するサービス プロバイダーから入手してください。

概要図

以降のページには、車両の一部の部位の概要図が簡略な説明とともに掲載されています。詳しい情報は該当するページをご覧ください。

エンジンコンパートメント フィラー 開口

- | | |
|-------------------|-------------|
| A ウォッシャー液 | ▷ 254 ページ以降 |
| B ブレーキフルード | ▷ 223 ページ以降 |
| C クーラント | ▷ 224 ページ以降 |
| D エンジンオイル | ▷ 225 ページ以降 |

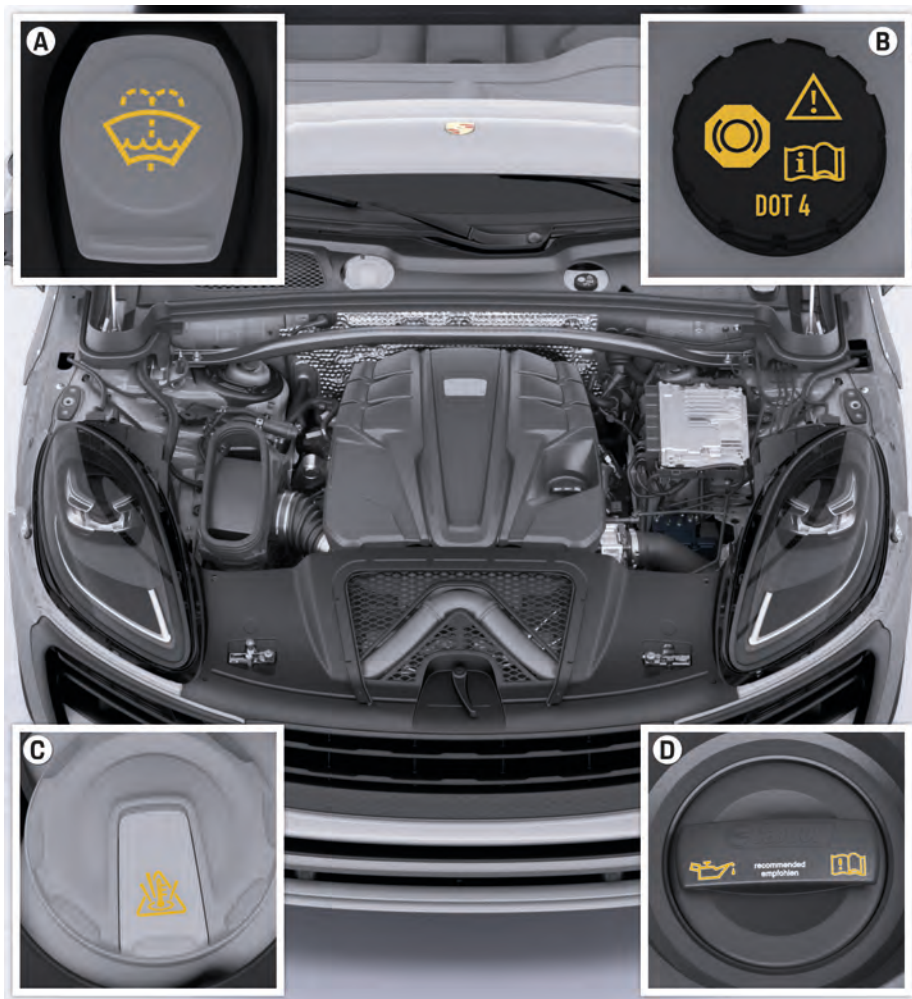


図 6: フィラーキャップ



図. 7: 運転席

運転席

- A セントラルロックシステム ▶ 40 ページ以降
- B インナードアハンドル
- C パーソナル設定用メモリー ボタン▶ 68 ページ以降
- D ライトスイッチ ▶ 109 ページ以降
- E トリップメーターのリセット ボタン、計
器照明の明るさ設定 ▶ 137 ページ以降
- F ルーフ コンソール ▶ 23 ページ以降
- G パワー ウィンドウ ▶ 31 ページ以降
- H ドア ミラーの調節 ▶ 80 ページ以降
- I ボンネット リリース ▶ 33 ページ以降
- J 故障診断用ソケット ▶ 216 ページ以降
- K イグニッションロック、ステアリングロ
ック ▶ 95 ページ以降
- L ステアリング ホイール調節 ▶ 67 ページ以降
- M シート調節 ▶ 74 ページ以降

コックピット

- A** 方向指示灯およびハイビームヘッドライト ▶ 109 ページ以降
- B** シフトパドル ▶ 105 ページ以降
- C** インstrument パネル ▶ 137 ページ以降
- D** フロント ウィンドウワイパー ▶ 122 ページ以降
- E** スポーツクロノストップウォッチ ▶ 195 ページ以降
- F** ポルシェ コミュニケーション マネジメント (PCM) ▶ 145 ページ以降
- G** エア ベント ▶ 63 ページ以降
- H** グローブ ボックス ▶ 203 ページ以降
- I** クルーズ コントロール ▶ 135 ページ以降
- J** ボイス コントロール、インフォテインメント、インstrument パネル ▶ 137 ページ以降
- K** 電話コントロール、インフォテインメント、インstrument パネル ▶ 137 ページ以降
- L** モード スイッチ ▶ 101 ページ以降
- M** ステアリング ホイール ヒーター ▶ 67 ページ以降
- N** コントロール パネル ▶ 63 ページ以降
- O** アームレスト、小物入れ ▶ 203 ページ以降
- P** 灰皿 ▶ 216 ページ以降
ドリンクホルダー ▶ 207 ページ以降



図 8: コックピット



コントロールパネル

- A** ハザードライトスイッチ ▶ 112 ページ以降
- B** エアコンシステム ▶ 60 ページ以降
- C** シートヒーター、シートベンチレーター ▶ 77 ページ以降
- D** SPORT モード ▶ 101 ページ以降
- E** ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) ▶ 116 ページ以降
- F** 低レベル ▶ 116 ページ以降
- G** ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) ▶ 119 ページ以降
- H** スポーツ エキゾースト システム ▶ 103 ページ以降
- I** オフロード モード ▶ 100 ページ以降
- J** イオナイザー ▶ 63 ページ以降
- K** ボルシェ ヒル コントロール (PHC) ▶ 92 ページ以降
- L** レーンキープアシスト ▶ 125 ページ以降
- M** オート スタート/ストップ機能、惰性走行モード ▶ 89 ページ以降
- N** パークアシスト ▶ 113 ページ以降
- O** エレクトリック パーキング ブレーキ ▶ 94 ページ以降

ボタンの配置は装備によって異なる場合があります。

図. 9. コントロールパネル

ルーフコンソール

- A インテリアライト ▶ 48 ページ以降
- B アンビエントライトの防眩 ▶ 49 ページ以降
- C パークアシスト OFF ボタン ▶ 113 ページ以降
- D 車内モニタリングシステム センサー ▶ 27 ページ以降
- E パノラミック ルーフシステム ▶ 37 ページ以降
- F パノラマルーフシステムのサンブラインド ▶ 38 ページ以降
- G ハンズフリーマイク
- H 助手席エアバッグ OFF/ON 警告灯 ▶ 47 ページ以降
- I 読書灯 ▶ 48 ページ以降
- J オリエンテーションライト ▶ 48 ページ以降
- K フロントインテリアライト ▶ 48 ページ以降
- L ドア/リヤリッドを開いた際の自動インテリアライト ▶ 48 ページ以降

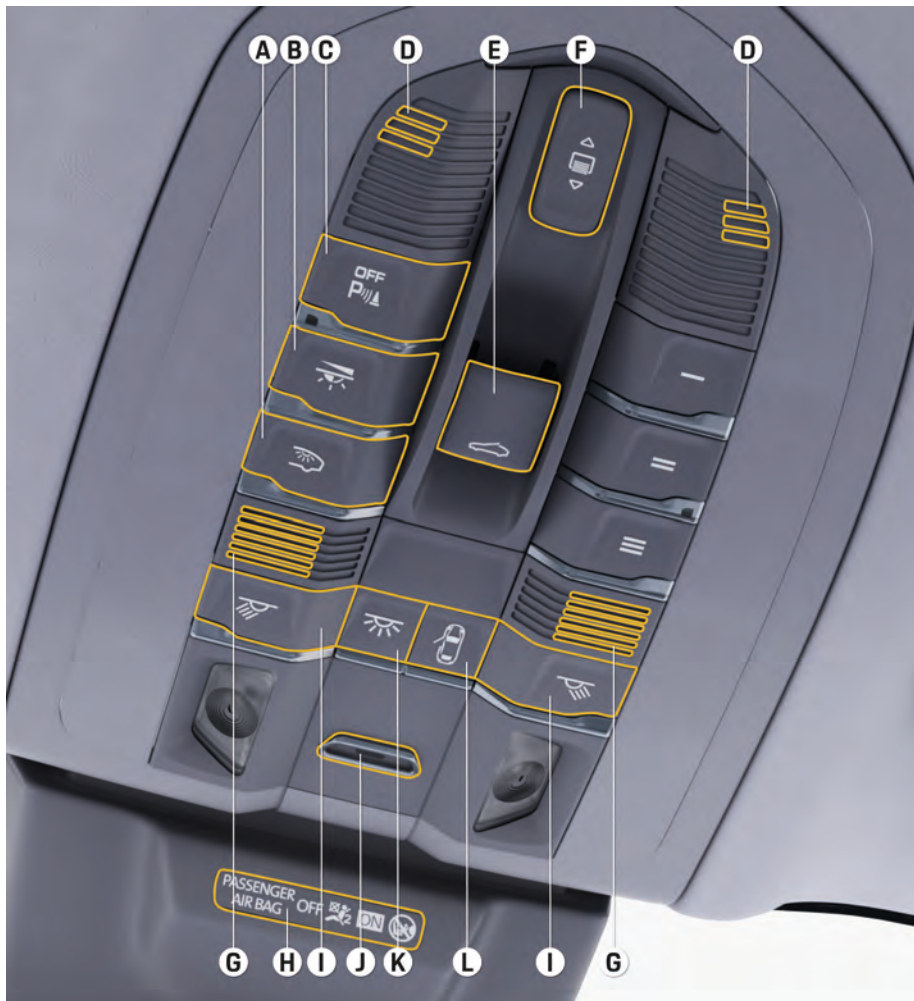


図. 10. ルーフコンソール



リヤ

- A パノラミックルーフシステム ▶ 37 ページ以降
- B ラゲッジコンパートメントパーテーションネット用リング ▶ 212 ページ以降
- C インナードアハンドル
- D パワーウィンドウ ▶ 31 ページ以降
- E マップポケット
- F エアコン ▶ 47 ページ以降
- G シート調節 ▶ 74 ページ以降
- H USB 充電ポート (タイプC)

図. 11: リヤ

リアのエアコンコントロールパネル

- | | | |
|---|---------|------------|
| A | 風量を設定する | ▷ 63 ページ以降 |
| B | 温度の設定 | ▷ 63 ページ以降 |
| C | エアベント | ▷ 63 ページ以降 |
| D | シートヒーター | ▷ 77 ページ以降 |



図. 12: リアのエアコンコントロールパネル

トピック

以下のページでは、さまざまな車両のトピックに関する内容を見つけることができます。

開閉操作とロック

警報システム

作動原理

警報システムは、次の警報接点を監視します。

- ドア、リヤリッドおよびボンネットの警報接点
- 車内モニタリング：車両がロックされているときの車内への侵入（例：ウィンドウを壊して窃盗を行おうとしたとき）
- 傾斜センサー：車両の傾き（例：車両をけん引して盗難しようとしたとき）
- 故障診断用ソケット
- トレーラーヒッチの電気ソケット

これらの警報接点のいずれか1つでも作動すると、アラームホーンが約25秒間鳴り、ハザードライトスイッチが点滅します。

5秒間警告が中断した後、再度音による警報が作動します。この作動を最大10回繰り返します（国により異なります）。

警報システム機能表示

ロック状態はドアのインジケータライトが素早く点滅することで確認できます。

警報システムが起動

車両をロックしたときにインジケータライトは素早く点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

警報システムが起動、室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーがスイッチ OFF

車両をロックするときにインジケータライトが素早く点滅した後、10秒間消灯し、その後は通常の速さで点滅します。

セントラルロックシステムおよび警報システムの故障

インジケータライトが10秒間点灯した後、通常の倍の速さで20秒間点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

警報システムの ON/OFF を切り替える

- ▶ 車両をロックすると、約30秒後に警報システムが有効になります。
- ▶ 車両のロックを解除すると、警報システムは無効になります。

インフォメーション

ドアロックにエマージェンシーキーを差し込んで車両のロックを解除した場合、警報システムの作動を回避するために、ドアを開いてから15秒以内にイグニッションをONにしなければなりません。

国別仕様により、警報システムが作動するまでの時間が異なる場合があります。

作動した警報システムを OFF にする

- ▶ 車両のロックを解除します。
-または-
イグニッションをONにします。

室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーを停止する

人や動物が車内に残っている場合は、車両をロックする際に室内モニタリングシステムと傾斜センサーを無効にすることができます（国別仕様により異なることがあります）。

- ▶ 40ページの「セントラルロック」の章を参照してください。

盗難防止機能

車両から離れる前に、必ず次のことを行ってください。

- ▶ ウィンドウとパノラミックルーフシステムを閉じます。これは室内モニタリングシステムによる警報の誤作動を防止することにもなります。
- ▶ パーキングロックPと電動パーキングブレーキを有効にします。
- ▶ イグニッションをOFFにしてください。
- ▶ グローブボックスを閉じます。
- ▶ 小物入れをすべて閉じます。
- ▶ 貴重品、車両の書類、電話、自宅の鍵を車両に残さないようにします。
- ▶ ドアおよびリヤリッドを閉じる
- ▶ ボンネットを閉じる
- ▶ 車両をロックします。

イモビライザー

イモビライザー：各キーに、コードが保存されたトランスポンダー（電装部品）が内蔵されています。イモビライザーを停止してエンジンを始動するのに、認定されたキーが必要です。

ステアリングコラムのロック解除/ロック

ステアリングコラムロックは国別仕様に応じて使用可能です。

ステアリングコラムを自動的にロック解除する

- ▶ 車両に乗って、運転席ドアを閉じます（キーは車内になければなりません）。
-または-
イグニッションをONにします。

ステアリングコラムを自動的にロックする

- ▶ イグニッションを OFF にした状態で、運転席ドアを開いてください。
-または-
車両をロックします。

キー キーの使用

知識

キーが損傷する恐れがあります。

- ▶ キーを湿気から保護してください。
- ▶ キーに汚れやゴミが付着しないようにし、鋭利な物体に近付けないでください。

i インフォメーション

- ▶ キーを使用するのは、車両が視界に入っているときだけにしてください。

以下の理由でリモートコントロールが機能しない場合があります。

- 送信中に電磁波が干渉している場合があります
(エントリー&ドライブでは、キーと車両間の無線通信も含む)。キーが、操作中の電子機器(電話、ノートパソコン、充電ケーブルなど)と一緒に保管されている場合。必要に応じて、キーを別の場所に保管してください。
- リモコンの操作可能な範囲は、車両の近くにある外部要因(無線トランスミッターや電話用アンテナなど)によって大幅に減少する可能性があります。
- 故障のためにリモートコントロールに不具合が発生している場合。
- キーのバッテリーが消耗している場合。



図 13: キー

- A** 車両のロック解除
- B** 車両をロックする
- C** テールゲートを開き、車両のロックを解除する
- D** エマージェンシーキー

すべてのキーにエマージェンシーキー **D** が内蔵されています。キーは、車両のすべてのロックを操作するのに使用できます。

- ▶ キーの取り扱いに注意し、特別の場合を除いて、キーを放置しないでください。
- ▶ キーを車内に残さないでください。

キーのバッテリー交換

▲ 警告

リチウム ボタンセルを誤って飲み込んだ場合、体内で火傷を引き起こし、死に至る危険性があります。

キーにはリチウム ボタンセル(バッテリー)が含まれています。

バッテリーを飲み込むと、2 時間以内に体内に火傷を負い、死亡する恐れがあります。

- ▶ 取り外したバッテリーまたは新しいバッテリーは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ キーに子供を近づけないでください。子供がキーを開けて、バッテリーを取り外す可能性があります。
- ▶ リチウム バッテリーを誤って飲み込んでしまった場合や身体開口部に挟まった場合、すぐに医師の診察を受けてください。

① インフォメーション

- ▶ 電池の廃棄に関する法規を遵守してください。

キーのバッテリーを交換する必要がある場合、メッセージがインストールメント パネルに表示されます。



図. 14: バッテリーの交換

バッテリー (CR 2032、3V) の交換

1. エマージェンシー キーを取り出してください。
2. 適切な物 (エマージェンシー キーなど) を使用して、キーハウジング背面のバッテリーカバーを持ち上げます。
3. 極性を観察しながら、バッテリーを交換します。
4. キーハウジングがクリップ留め箇所にはまるまで、下から上方向へと押し上げます。
5. エマージェンシー キーを挿入してください。

キーまたはコントロールユニットの緊急解除の実行

車両のバッテリーが上がった場合、キーを抜き取るには、緊急解除を行う必要があります。車両とキーの間の無線通信に故障があったり、キーのバッテリーが切れたりすると、コンフォート機能 Porsche Entry & Drive が作動できなくなることがあります。この場合、コント

ールユニットをイグニッションロックから取り外すことができます。その後、キーを使用して車両の始動できます。

✓ ヒューズは点検済みです。

▶ 246 ページの「ヒューズの点検および交換」の章を参照してください。

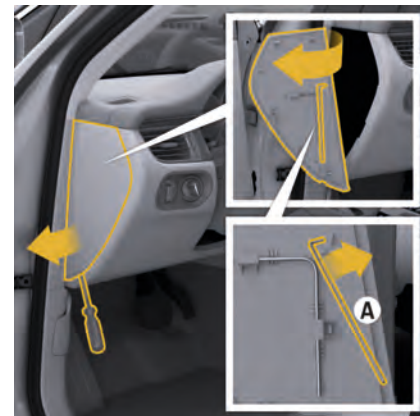


図. 15: メタルフックの取り外し

1. 適切なもの (ドライバーなど) を使用して、カバーを慎重にこじって取り外してください。
2. メタルフック A を取り外します。



図. 16: イグニッションロックからのプラスチックカバーの取り外し

3. メタルフック **A** を使用して、イグニッションロックからプラスチックカバー **B** を取り外してください。

取り外したプラスチックカバー **B** は紛失しないように十分注意してください。

4. コントロールユニット／キーをイグニッションロック位置 **O** (初期位置) に回してください。



図. 17: 緊急解除の実行

5. メタルフック **A** を開口部 **C** に押し込みます。キー／コントロールユニットの解除音が聞こえます。
6. コントロールユニット／キーを取り外します。
7. プラスチックカバー **B** を取り付けます。

エマージェンシー キーの使用

エマージェンシー キーの取り出し



図. 18: エマージェンシー キーの取り出し

1. リリース ボタンを横に押してください。
2. エマージェンシー キーを押し上げ、キーから取り出してください。

エマージェンシー キーの挿入

- ▶ しっかりと収まるまで、エマージェンシー キーをキーに挿入します。

スペア キーの注文と登録

キーの注文は、ボルシェ正規販売店からのみ行えます。これには時間がかかる場合があります。

- ▶ スペア キーを常に利用できるようにしてください。
- ▶ スペア キーを安全な場所に保管し、いかなる場合も車内または車両上に保管しないでください。

車両用の新しいキーを登録するには：

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェは、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ その車両に使用するすべてのキーを再登録します。

① インフォメーション

合計 8 個のキーを登録することができます。

① インフォメーション

- ▶ キーが紛失したり盗まれたりした場合は、ボルシェ正規販売店に依頼し、車両のキーを無効にし、必要に応じて機械的なロックを変更してください。
- ▶ キーの紛失または盗難について保険会社に通知し、追加または交換用のキーを作成したことを知らせます。

ウィンドウ

ウィンドウの開閉



警告

ウィンドウの開閉

ウィンドウを開閉するとき、特にワンタッチ操作で閉じるときは、動いているウィンドウと車両の固定部分に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。

- ▶ ウィンドウを開閉するときは、操作中のウィンドウと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずイグニッションをOFFにしてください。乗員がパワーウィンドウを誤って操作し、怪我をする恐れがあります。
- ▶ 危険が発生した場合：直ちにキーのボタンを放してください。エントリー&ドライブ装備車は、直ちにドアハンドルのタッチセンサーを放してください。
- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。



警告

サイドウィンドウを手動で閉じる

サイドウィンドウが干渉されてオートモードが無効になった場合、手動でサイドウィンドウを閉じると、最大の力で閉じようとします。可動サイドウィンドウと固定車両部品に身体の一部が挟まれると、押しつぶされる可能性があります。

- ▶ サイドウィンドウを閉じるとき、乗員が挟まれたり、圧迫されたりしないことを確認してください。

① インフォメーション

サイドウィンドウが閉じるときに障害物に妨げられると、サイドウィンドウは停止した後、再び数センチ開きます。サイドウィンドウの作動が約10秒以内に2回妨げられると、そのサイドウィンドウのワンタッチ操作ができなくなります。サイドウィンドウは手動で閉じることができます。ワンタッチ操作を再度有効にするには、サイドウィンドウを手動閉鎖操作で一度完全に閉じてください。

ウィンドウの開閉

- ✓ イグニッションをONになっている。
-または-
イグニッションをOFFにしてから10分以内。
- ✓ 運転席/助手席ドアがまだ開いていない。

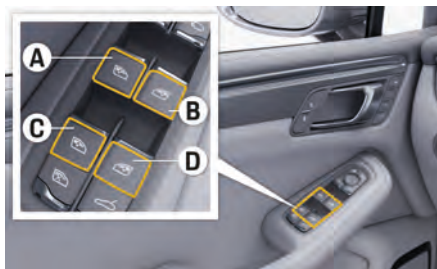


図. 19: 運転席ドアのパワーウィンドウスイッチ

- A パワーウィンドウ、フロント、運転席側
- B パワーウィンドウ、フロント、助手席側
- C パワーウィンドウ、リア、運転席側
- D パワーウィンドウ、リア、助手席側

ロッカースイッチには**2段階**の作動位置があります。この2段階の作動位置は、スイッチを操作する際にはっきりと感じ取れます。

第1段階-手動操作

- ▶ 希望の位置に達するまで、ロッカースイッチを1段階目の位置まで押すか、引いてください。
スイッチから指を離すと、ウィンドウが止まります。

2段階目-ワンタッチ操作

1. ロッカースイッチを2段階目まで押すか、引いてください。
ウィンドウは自動的にいっぱいまで開閉します。
2. ウィンドウを希望の位置で停止させたいときは、もう1度スイッチを操作してください。

キーによるウィンドウの開閉



図. 20: キーによるウィンドウの開閉

- ✓ 機能は作動しています。
- ✓ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。
- ▶ ウィンドウが希望の位置になるまでキーのロック / ロック解除ボタンを押し続けてください。
 - ➡ すべてのウィンドウとルーフシステムが閉じると、ハザードライトスイッチが点滅しません。

ドアハンドルの近接センサーでウィンドウを閉じる



図 21: ドアハンドルの近接センサーでウィンドウを閉じる

- ✓ ボルシェ エントリー&ドライブ
- ✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行している。

- ✓ 機能は作動しています。
- ✓ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。
- ▶ 車両をロックする時に、ウィンドウが希望の位置に達するまでドアハンドルの近接センサーを押し続けてください。
 - ➡ すべてのウィンドウとルーフシステムが閉じると、ハザードライトスイッチが点滅しません。

ウィンドウ停止位置の保存

バッテリーを切り離したり、再接続したりすると、ウィンドウの停止位置が消去されます。ウィンドウのワンタッチ操作が無効になります。

すべてのウィンドウで以下の作業を行ってください：

1. スイッチを 2 段目まで引いて、1 回完全にウィンドウを閉じてください。
2. ウィンドウが完全に閉じたら、ロッカースイッチを再度短く 2 段目まで引いてください。
3. ロッカースイッチを押して、1 回ウィンドウを完全に開いてください。

リヤサイドウィンドウのロールアップ式サンブラインドの使用

知識

180 km/h 超の速度でリヤサイドウィンドウを開けると、展開したロールアップ式サンブラインドが破損する恐れがあります。

- ▶ ロールアップ式サンブラインドの展開中には、180 km/h 超の速度でリヤサイドウィンドウを開けないでください。



図 22: リヤサイドウィンドウのサンブラインド

リヤサイドウィンドウのサンブラインドの展開

- ▶ ロールアップ式サンブラインドを引いて、アッパドアフレームのホルダーにはめ込みます。

リヤサイドウィンドウのロールアップ式サンブラインドを巻き上げる

- ▶ ロールアップ式サンブラインドをアッパドアフレームのホルダーから放します。
- ➡ ハンドルを保持し、損傷を与えることなくサンブラインドがドアトリムにゆっくりと巻き上がるようにします。

リヤでの操作を無効にする - チャイルドプロテクション

運転席ドア、コントロールパネルのセーフティーボタンを押すとリヤドアのパワーウィンドウスイッチと、リヤセンターコンソールのコントロールパネルの機能が無効になります。



図. 23: リヤでの操作を無効にする

- ▶ ボタンを押してください。
 - ➡ チャイルド プロテクションが作動しているときに、ボタンのコントロール ライトが点灯します。

ボンネット

ボンネットの開閉

ボンネットを開く

知識

ボンネットを開くときワイパーが起きていると、ボンネットやワイパーが損傷する恐れがあります。

- ▶ ボンネットを開くときは、フロント ウィンドウ ワイパーが起きていることを確認してください。
- ▶ エンジン コンパートメント リッドを開く前に、必ずフロント ウィンドウ ワイパーを OFF (ワイパーレバーを 0 の位置) にしてください。衝突の危険があります。ワイパー アームが停止位置にない場合、ワイパーが停止位置に移動するようにワイパーシステムを一時的に ON にしてから OFF に切り替えてください。

▶ 122 ページの「フロント ウィンドウ ワイパー」の章を参照してください。



図. 24: ボンネットのロック解除

1. 運転席ドアを開いてください。
2. リリース レバーを引いてください。



図. 25: ボンネットを開く

3. ボンネットを少し持ち上げ、リリース レバーを押します。
4. ボンネットを完全に開きます。

ボンネットを閉じる

⚠ 注意

重いボンネット

半分開いた状態のボンネットを閉じるとき、ボンネット自体の重さを利用して 2 箇所のロック部をロックできません。

- ▶ 可動部品 (ヒンジ) やボンネット下に物を置いたり、指を挟んだりしないように注意してください。

1. 半分開いた状態のボンネットが 2 か所のロック部にはまるようにしてください。必要に応じて、2 箇所のロック部を手のひらで押し、ボンネットを確実に閉じてください。
2. ボンネットがロック部に確実にハマっており、リリース レバー が初期位置に戻っていることを確認してください。

- ▶ ボンネットが正しく閉じられていない場合、インストルメントパネルに警告メッセージが表示されます。ボンネットを再度開き、そこで手を放してリッドを落とし、ロックしてください。必要に応じて、ロックエリアを手のひらで押し、ボンネットを確実に閉じてください。

リヤリッド 一般的な安全に関する指示



危険

有毒な排気ガスの吸引

リヤリッドが開いているか正しく閉じられておらず、エンジンが作動している場合、有毒な排気ガスが車内に入ることがあります。

- ▶ エンジン作動時には、必ずリヤリッドを完全に閉じたままにしてください。
- ▶ リヤリッドを開いた状態で走行しないでください。



警告

オートマチック リヤリッドの不用意な開閉

オートマチック リヤリッドが不用意に開閉することにより、怪我をする危険があります。

- ▶ リヤリッドの開閉は停車中のみに行ってください。
- ▶ リヤリッドの開閉は、作動範囲内に人や動物がいないことを確認してから行ってください。
- ▶ 危険があるときはいつでも作動を中断できるように、リヤリッドの開閉作動から目を離さないでください。

知識

オートマチック リヤリッドが不用意に開閉することにより、車両が損傷する恐れがあります。


開閉時、リヤリッドがガレージの天井や突き出た荷物に衝突することがあります。

- ▶ 車両の後方や上方に十分なスペースがあることを確認してください(ルーフトランスポートシステムやガレージの天井など)。
- ▶ 積み荷がラゲッジコンパートメントから突き出したり、はみ出したりしないようにしてください。


リヤリッドの開閉 ボタンでリヤリッドを車外から開く



図. 26: リヤリッドのロック解除ボタン

- ✓ 車両がロック解除されている (ポルシェ エントリー&ドライブ非装備車)。
- または -
キーを携帯している (ポルシェ エントリー&ドライブ装備車)。
- ▶ リヤワイパーの  ボタンを押します。設定によっては、車両のロックが解除されます。リヤリッドは、設定した高さまで開きます。


キーでリヤリッドを開く

- ✓ イグニッションを OFF にします。
- ▶ キーの  ボタンを押してください。
➡ 設定によっては、車両のロックが解除されます。
リヤリッドは、設定した高さまで開きます。

運転席ドアのボタンを操作してリヤリッドを開きます



図. 27: 運転席ドアのリヤリッドボタン

- ▶ 運転席ドアの  ボタンを押してください。リヤリッドは、設定した高さまで開きます。

インフォメーション

ロービームが ON になっているとき：


他の通行者の視認性を向上するために、リヤリッドが開かれるとテールライトの明るさが上げられます。リヤリッドのライトストリップは同時に消灯します。

リヤリッドを開く高さの設定

リヤリッドを開く高さは個別に設定できます。

レベリングシステム装備車の場合、必ず車両が最も高い状態にあるときにリヤリッドの高さを調整してください。

▶ 116 ページの「ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)」の章を参照してください。

1. 車両の後方に立ってリヤリッドを開いてください。
2. 開操作を中断するには、リヤリッドのトリムパネル内またはキーの  ボタンを押します。
3. リヤリッドを設定したい高さまで動かします。

4. リヤリッドのトリムパネルの A ボタンを約 3 秒間押し続けてください。

- ➔ 設定された高さの確認が完了すると、確認音が鳴ります。

リヤリッドが不意に操作した場合の自動停止

リヤリッドが降り積もった雪の重みなどで開いた状態から不意に下がると、パワーメカニズムのブレーキ機能が操作してリッドの動きを制止するとともに、リッドの動きが止まるまで警告音が鳴ります。

- ▶ リヤリッドの動きが止まってから約 1 秒が経過すると、
 - ➔ 自動停止が無効になります。

リヤリッドを閉じる

運転席ドアのボタンを操作してリヤリッドを閉じる

- ✓ イグニッションを ON になっている。
- ▶ リヤリッドが完全に閉じるまで運転席ドアの A ボタンを押し続けてください。
 - ➔ 警告音が鳴り、リヤリッドが閉じます。

リヤリッドのトリムパネルのボタンを操作してリヤリッドを閉じる



図. 28: リヤリッドのトリムパネルのボタン

- A リヤリッドを閉じる
- B リヤリッドの開操作と車両のロック (ポルシェ エントリー&ドライブ)

- ▶ リヤリッドトリムパネルの A ボタンを押してください。
 - ➔ リヤリッドが閉じます。

リヤリッドのトリムパネルのボタンを操作し、リヤリッドを閉じてロックする

- ✓ ポルシェ エントリー&ドライブ
- ✓ キーを携帯している。
- ▶ リヤリッドトリムパネルの A ボタンを押してください。
 - ➔ リヤリッドが閉じて、車両がロックされます。

① インフォメーション

車両をロックする際にキーが車内にある場合は、車両が再度ロック解除されます。何度か警告音が鳴り、車両は4回減します。ドアまたはリヤリッドを約45秒以内に開けなかった場合に限り、車両はロックされます。スペアキーを使用しないとロック解除できなくなります。

- ▶ 車両をロックするときは、キーが車内にないことを確認してください。




閉作動中の障害物の検出

トランク リッドの閉操作が障害物によって妨げられると、動作は自動的に中断されます。警告音が鳴り、リヤリッドが操作を停止します。

1. 障害物を取り除いてください。
2. リヤリッドを自動で閉じるか、手でゆっくり閉じてください。

緊急時の印が付いたエリアの中断

次のいずれかのボタン操作で、すぐに印が付いたエリアを中断します。

- ▶ キーの  ボタンを押してください。
 - または -
 - 運転席ドアの  ボタン。
 - または -
 - リヤリッドトリムパネル内の **A** ボタンまたは **B**。
 - または -
 - リヤワイパーの  ボタン。
- ▶ ワンタッチ操作を再操作するには該当するボタンを押します。

テールゲートの緊急時解放

リヤリッドドライブの不具合

車両バッテリー電圧が低すぎる場合、自動機能が作動しません。リヤリッドを開くボタンが押されている場合、リヤリッドロックが解除され、警告音が短く3回鳴ります。ここで、リヤリッドを手動で開けることができます。




- ▶ 車両バッテリーを充電します。
 - または -
 - 故障により自動開閉機能が作動しない場合、テールゲートを手でゆっくり開閉します。

過剰負荷保護

リヤリッドドライブの過剰負荷が検出された場合、短い警告音が鳴ります。自動リヤリッド操作は約30秒間利用できません。

リヤリッドの緊急ロック解除の実行

(キーのバッテリー切れなどにより) キーでテールゲートを解放できない場合、

1. エマージェンシーキーで運転席ドアのロックを解除し、ドアを開いてください。
2. 運転席ドアの  ボタンを押してください。
 - ▶ リヤリッドのロックが解除されます。
3. 運転席ドアの  ボタンを押してください。
 - または -
 - リヤワイパーの  ボタンを押します。
 - または -
 - リヤリッドの下端を掴み、手で開けます。

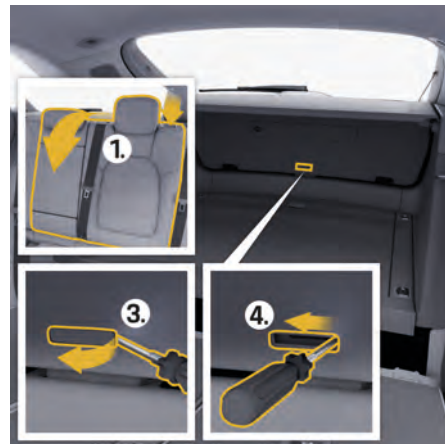


図. 29: リヤリッドの緊急ロック解除の実行

リヤリッドを開くことがまだできない場合(車両バッテリーが上がった場合など)、機械式緊急解除を行う必要があります。

1. リヤシートバックレストを折りたたみます。
 - ▶ 74 ページの「シート」の章を参照してください。
2. 折りたたまれたリヤシート上のラゲッジコンパートメントに入ります。
3. リヤリッドの内側で、機械式緊急解除用カバーを適切なツール(スクリュードライバーなど)で取り外します。
4. リヤリッド解除用ロックをツール(スクリュードライバーなど)で矢印の方向に回します。
 - ▶ リヤリッドのロックが解除される音がします。
5. ここで、リヤリッドを手で開けることができます。

ルーフシステム

一般的な安全に関する指示

▲ 警告

ルーフシステムの開閉

ルーフシステムを開閉するときには、車両の可動部品と固定部品の間に身体の一部が挟まれないように十分注意してください。特にワンタッチ操作の場合に十分に注意してください。

- ▶ 車両の可動部品と固定部品の間に身体の一部が挟まれないように十分に注意してください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずイグニッションをOFFにしてください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずキーを携帯してください。危険を十分理解していない人（お子様など）がルーフシステムを操作すると、ケガをする恐れがあります。
- ▶ 危険が生じたときは、ルーフシステムのスイッチを逆方向に押すか、開いているまたは車両のロックを行っている場合は、直ちにキーのボタンを放してください。

知識

ルーフエレメントが正しく取り付けられていないと、ルーフシステムを操作するときに怪我をする恐れがあります。

- ▶ 運転を開始する前に、ルーフアタッチメントが正しく取り付けられていることを確認してください。
- ▶ ルーフシステムと取り付けられたルーフエレメントの間に十分な空間があることを確認してください。

知識

雨の中でルーフシステムを操作した場合、損傷する恐れがあります。

- ▶ 雨の際は、ルーフシステムを直ちに閉じてください。

① インフォメーション

- パノラミックルーフは、挟み込み防止機能を備えています。閉操作中に障害物があると、すぐにまた開きます。
- ルーフシステムは、極端に走行速度が速い場合や気温が極端に低い場合には操作しません。

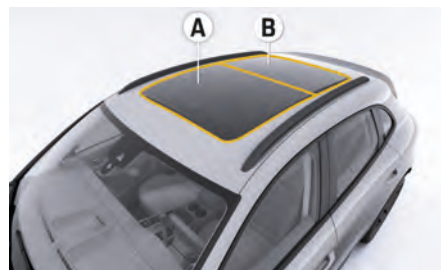


図 30: パノラミックルーフ

- A** スライディング/チルトルーフエレメント
- B** 固定ガラスエレメント

ルーフエレメント **A** は、車両の縦方向に移動できます。また、持ち上げることもできます。

ルーフエレメント **B** は、固定ガラスエレメントです。

ルーフシステムの開閉

▲ 警告

ルーフシステムを緊急に閉じる

ルーフシステムを緊急に閉じる場合、閉じる力が必要に応じて徐々に増加します。

- ▶ 誰も怪我をしたり、挟まれたり、押しつぶされたりしないように注意してください。

① インフォメーション

ルーフシステムが傾斜位置で開放されると、サンブラインドは自動的に約 10 cm 開き、手動であっても完全に閉じることはできません。

- ✓ イグニッションを ON になっている。
- または -
イグニッションを OFF にしてから 10 分以内。
- ✓ 運転席/助手席ドアがまだ開いていない。



図 31: ルーフシステムの開閉

ボタンは **2-段階で表示されます**。この 2 段階の操作位置は、スイッチを操作する際にははっきりと感じ取れません。

走行速度によっては、風の音がすることがあります。

第1段階-手動操作

- ▶ 希望の位置に達するまで、スイッチを1段階目の位置まで該当する方向へ押すか、または引いてください。
スイッチから指を離すと、ウィンドウが止まります。

2段階目-ワンタッチ操作

- ▶ 2段階目まで該当する方向へスイッチを完全に押したり引いたりしてください。
ルーフシステムが自動的に風切り音を最小限に抑える位置まで開/閉じます。
- ▶ ルーフシステムを希望の位置で停止させるため、スイッチを再度操作させます。

ルーフシステムを完全に開く

ワンタッチモードで、ルーフシステムは風切り音を最小限に抑える位置まで開きます（コンフォートポジション）。ルーフシステムを完全に開くために：

- ▶ スwitchを開く方向にもう一度押してください。
ルーフシステムがいったいまで開きます。
- ▶ 走行速度によっては、風の音がすることがあります。

狭み込み防止機能が繰り返し介入した後に閉じる

閉操作が障害物に妨げられた場合、ルーフシステムは力を入れれば閉じることができます。

1. 障害物を取り除いてください。
2. ルーフシステムが閉位置で止まるまで、スイッチを閉じる方向に押し続けてください。

キーによるルーフシステムの開閉

ルーフシステムを開く

- ▶ 希望の位置になるまでキーの \odot ボタンを押し続けます。

ルーフシステムを閉じる

- ▶ 希望の位置になるまでキーの \odot ボタンを押し続けます。
 - ➡ すべてのウィンドウとルーフシステムが閉じると、ハザードライトスイッチが点滅しなくなります。

ドアハンドルの近接センサーでルーフシステムを閉じる

- ✓ ポルシェ エントリー&ドライブ
- ✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携帯している。
- ▶ 希望の位置に達するまでドアハンドルの近接センサーを押します。
 - ➡ すべてのウィンドウとルーフシステムが閉じると、ハザードライトスイッチが点滅しなくなります。

サンブラインドの印が付いたエリア



図 32: サンブラインドの印が付いたエリア

スイッチには**2段階-機能**を装備する必要がありますこの2段階の操作位置は、スイッチを操作する際にはっきりと感じ取れます。

1段階目-手動操作

- ▶ 希望の位置に達するまで、スイッチを1段階目の位置まで押すか、または引いてください。
 - ➡ スwitchから指を離すと、動作が止まります。

自動操作の-2段階目の設定

1. 2段階目いっぱいまで押したり引いたりします。
 - ➡ サンブラインドが自動的にいったいまで開閉します。
2. サンブラインドを希望の位置で停止させるため、スイッチを再度操作します。

ルーフシステムおよびサンブラインドを閉じる

- ルーフシステムを閉じているときにサンブラインドを閉じると（ワンタッチ操作）、ルーフシステムがルーフシステム停止位置に達した後、サンブラインドがサンブラインド停止位置まで閉じます。
- サンブラインドを閉じているときにルーフシステムを閉じると（ワンタッチ操作）、サンブラインドの閉操作は中断されます。ルーフシステムがルーフシステム停止位置に達した後、サンブラインドがサンブラインド停止位置まで閉じます。

ルーフ駆動機構が故障している場合のルーフシステムの閉操作

ルーフ駆動機構が故障した場合、電気リカルヒューズが損傷しているかどうかを確認します。

- ▶ 246 ページの「ヒューズの点検および交換」の章を参照してください。

ルーフシステムを修理するには：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ルーフシステム停止位置およびサン ブラインド停止位置の保存

車両バッテリーの切り離し/再接続、バッテリー上がり、緊急操作、ヒューズ交換の後には、ルーフシステムおよびサン ブラインドの停止位置情報が消去されます。



警告

挟み込み防止保護無効

ルーフシステムおよびサン ブラインドは、システムの最大力で閉じます。そのため、車両の可動部品と固定車両部品の間には身体の一部が挟まれると、押しつぶされる危険があります。

- ▶ 閉じるときは、車両の可動部品と固定車両部品の間に身体の一部が挟まれないように十分注意してください。

ルーフシステム停止位置の保存

- ✓ 車両が停止している状態。
- ✓ イグニッションを ON になっている。
- ▶ オーバーヘッド コンソールの該当するスイッチを閉じる方向に押し、ルーフシステムが完全に停止するまで押し続けます。
 - ➡ 終端位置の保存プロセスが約 10 秒後に始まります。

この閉操作と保存のプロセスは最大 45 秒かかります。

サンブラインド停止位置の保存

- ✓ 車両が停止している状態。
- ✓ イグニッションを ON になっている。
- ▶ オーバーヘッド コンソールの該当するスイッチを閉じる方向に押し、サン ブラインドが完全に停止するまで押したままにします。
 - ➡ 終端位置の保存プロセスが約 10 秒後に始まります。

この閉操作と保存のプロセスは最大 45 秒かかります。

サン ブラインドの清掃



警告

挟み込み防止保護無効

ルーフシステムおよびサン ブラインドは、システムの最大力で閉じます。そのため、車両の可動部品と固定車両部品の間には身体の一部が挟まれると、押しつぶされる危険があります。

- ▶ 閉じるときは、車両の可動部品と固定車両部品の間に身体の一部が挟まれないように十分注意してください。

- ✓ 車両が停止している状態。
 - ✓ イグニッションを ON になっている。
1. ルーフシステムを完全に開きます。
 2. 可能な限りサン ブラインドを閉じます。
 3. フロント部のサン ブラインド ボタンを押します。
 - ➡ サン ブラインドが 3 秒後に閉じ始めます。
 4. サン ブラインドが完全に閉じるまで、そのままボタンを押し続けてください。
 5. 汚れを取り除きます。

清掃機能の終了

- ▶ 車両を発進させます。
 - または-

ルーフシステムを操作します。

 - または-

サン ブラインドを操作します。

セントラルロック

概要 – 車外からのドアの開閉操作とロック

この概要は「セントラル ロッキング システム」の章に記載された詳細な情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図. 33: キー

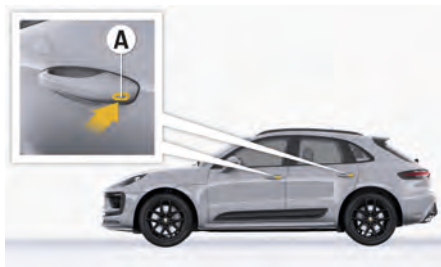






図. 34: ポルシェ エントリー&ドライブ

希望する操作	操作方法	結果	操作箇所
解除	キーを使用する： <ul style="list-style-type: none"> ▶ キーの  ボタンを押してください。 装備車 Porsche Entry & Drive： <ul style="list-style-type: none"> ▶ ドアハンドルをしっかりと握ってください。 	ハザード ライト スイッチが 1 回点滅します。 ドアおよびリヤ リッドを開くことができます。	▶ 42 ページ以降
ロック	キーを使用する： <ul style="list-style-type: none"> ▶ キーの  ボタンを押してください。 装備車 Porsche Entry & Drive： <ul style="list-style-type: none"> ▶ ドアハンドルの A ボタンを押してください。 	ハザード ライト スイッチが 2 回点滅します。ドアとリヤ リッドがロックされますが、インナー ドアハンドルを引いて、ドアを車内側から開くことができます。 セーフロック装備車両： インナー ドアハンドルを引いて、車内側からドアを開くことはできません。	▶ 42 ページ以降

希望する操作	操作方法	結果	操作箇所
<p>人/動物を車両に残してロックする</p> <p>▶ セーフロック (国によって異なります) と警報システムの車内モニタリングシステムを OFF にします。</p>	<p>キーを使用する:</p> <p>▶ キーの  ボタンを 2 回押してください (約 2 秒以内)。</p> <p>装備車 Porsche Entry & Drive:</p> <p>▶ ドアハンドルの A ボタンを 2 回押してください (約 2 秒以内に)。</p>	<p>ハザードライトスイッチがゆっくり 1 回点滅します。</p> <p>ドアトリヤリッドがロックされますが、インナー ドアハンドルを引いて、ドアを車内側から開くことができます。</p>	▶ 42 ページ以降
<p>警告システムの警告音を OFF にする</p>	<p>▶ キーの  ボタンを押してください。 -または- イグニッションを ON にします。</p>	<p>警告音が OFF になります。</p>	▶ 27 ページ以降

セントラル ロッキング システムの使用

インフォメーション

- ▶ キーを使用するのは、車両が視界に入っているときだけにしてください。

車両装備により、キーを使用して、またはキーを使用せずに Porsche Entry & Drive で、ドアのロック解除およびロックができます。車両のロックを解除する際、運転席ドアとフィラー フラップのみを解除するか、または車両全体のロックを解除するかを選択できます。

▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。

選択した設定にかかわらず、すべてのドアがロック解除します。

- ▶ キーの  ボタンを 5 秒以内に 2 回押してください。

インフォメーション

車両の工場設定については、この章で説明されています。

Porsche Entry & Drive¹



Porsche Entry & Drive 装備車では、キーを使用せずにロック解除およびロックができます。ただしそのためには、常にキーをズボンのポケットなどに入れて携帯する必要があります。

第三者による車両の不正なロック解除および始動を防ぐため、キーを使用して Porsche Entry & Drive 機能を一時的に停止することができます。

ドアハンドルの汚れがひどいと、Porsche Entry & Drive 機能が妨げられることがあります。

▶ 228 ページの「車両のお手入れ」の章を参照してください。

Porsche Entry & Drive キーを使用したの解除

- ▶ キーのインジケーター ライトが点灯し続けるまで  および  ボタンを同時に押します。
 - ▶ キーのインジケーター ライトが点灯し続けている間は、キーが解除されていることを示しています。

キーのボタンを押す、またはコントロールユニットを回すと Porsche Entry & Drive は自動的に起動します。

- ▶ キーを強い電磁波にさらさないでください。Porsche Entry & Drive が妨げられることがあります。

1. Porsche Entry & Drive は現在の最先端技術に対応しています。しかし、無線キーのキーコードが傍受されて、車両のロック解除や盗難に使用される可能性を完全に排除できるわけではありません。

ドアのロック解除とロック

ドアのロック解除

① インフォメーション

ドアまたはリヤリッドを開かなかった場合、30秒後に車両は自動的にロックされます。警報システムは起動します。傾斜センサーと室内モニタリングシステムは解除されます（盗難防止機能が制限されます）。ドアはインナー ドアハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。

- ▶ ドアを開いたら警報システムが作動することを、車内に残る人に伝えてください。
再度ロックされた後は、室内モニタリングシステムおよび傾斜センサー*が再び作動します。

① インフォメーション

事故が発生してエアバッグが作動した場合、救助者が車両に入れるようにするために、車両全体が自動的にロック解除されます。さらに、ハザードライトスイッチも自動的に作動します。

キーでドアのロック解除

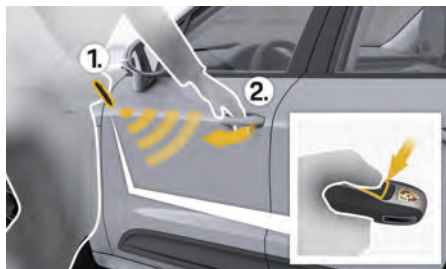


図. 35: キーによるドアのロック解除

1. ④ボタンを押してください。
➔ ハザードライトスイッチが1回点滅します。

設定によっては、車両のロックが解除され、ドアハンドルが展開します。

2. ドアハンドルを引いてください。

ドアハンドルの近接センサーによるドアのロック解除



図. 36: ポルシェ エントリー&ドライブを使用したドアのロック解除

- ✓ Porsche Entry & Drive
- ✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行していること。
- ✓ キーを携行して運転席または助手席側のドアに近づくと、ドアロックを解除することができます。

1. ドアハンドルをしっかり握ってください。作動中にドアハンドル前部の近接センサーに触れないでください。ハザードライトスイッチが1回点滅します。
➔ 設定によっては、車両のロックが解除されません。
2. ドアハンドルを引いてください。

① インフォメーション

バッテリーを節約するために、不要なコンフォート機能は次第にOFFになります。その後、キーを使用して車両のロックを解除できます。

車内からのドアのロック解除

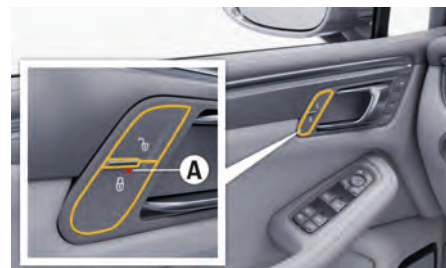


図. 37: ドアパネルのセントラルロッキングシステム ボタン

- ▶ ドアパネルの④ボタンを押してください。
—または—
インナー ドアハンドルを引いてください。
- ➔ すべてのドアとリヤリッドのロックが解除されます。
インジケーター ライト A が消灯します。

① インフォメーション

セーフロック作動で車両をロックした場合、またはエマージェンシー キーを使用して車両をロックした場合には、車内からドアを開くことはできません。

車両の自動ロック解除

ポルシェ エントリー&ドライブ非装備車：

キーを抜くと、車両のロックが自動的に解除されます。

ポルシェ エントリー&ドライブ装備車：

運転席ドアを開くと、車両は自動的にロック解除されません。

ドアをロックする

セーフロックの使用



警告

車外からドアをロックする

車外からドアをロックすると、車内からドアやウィンドウを開くことができなくなります (セーフロック)。そのため、ロックする前に車両に人または動物が残っていないことを確認してください。ロックされたドアによって緊急時に救助者が車内に入ることが困難になります。

- ▶ 車両をロックするときは、車内に人や動物がいないことを確認してください。

セーフロック (国別仕様による) を使用すると、車両をロックしたときにインナー ドアハンドルとセントラル ロッキング ボタンが無効になり、車両に侵入することが一層難しくなります。

セーフロックが作動: ドアハンドルを引いても車内から**ドアとリヤリッドを開けることはできません。**

人や動物を車内に残して車両をロックする場合、セーフロックを解除してください。

キーでドアをロックする

- ✓ すべてのドアが閉じられています。

- ▶ ㊦ ボタンを 1 回押してください。
 - ➡ ハザード ライト スイッチが 2 回点滅します。

セーフロック装備車両:

インナー ドアハンドルを引いて、車内側からドアを開くことはできません。

セーフロック非装備車:

ドアはロックされますが、インナー ドアハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。

車両をロックするときのセーフロックの解除

1. ㊦ ボタンを 2 秒以内に 2 回押してください。
 - ➡ ハザード ライト スイッチがゆっくり 1 回点滅します。

ドアハンドルが格納します。

ドアはロックされますが、インナー ドアハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。車内モニタリングは停止します。

2. ドアを開いたら警報システムが作動することを、車内に残る人に伝えてください。

① インフォメーション

- ドア、ボンネット、またはリヤリッドが完全に閉じていない場合、車両を完全にロックできません。警告音が鳴り、ハザード ライト スイッチは点滅しません。
- 運転席ドアのみが閉じている状態でロックすると、車両はプリロックされます。

① インフォメーション

キーを車内に残したままにすると、スペア キーを使用しなければロックを解除することができなくなります。

- ▶ 車両をロックするときは、キーが車内にあることを確認してください。

ドアハンドルの近接センサーによりドアをロックする



図. 38: ポルシェ エントリー&ドライブを使用したドアのロック

- ✓ Porsche Entry & Drive
- ✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行している。
- ✓ すべてのドアが閉じられています。
- ▶ ドアハンドルの近接センサー **A** に触れます。
 - ➡ ハザード ライト スイッチが 2 回点滅します。

一時的に外側のドアハンドルでドアを開けられなくなります。車両がロックされたかどうかを確認するには、ドアハンドルを引いてください。

セーフロック装備車両:

インナー ドアハンドルを引いて、車内側からドアを開くことはできません。

セーフロック非装備車:

ドアはロックされますが、インナー ドアハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。

ロックされた車両でのセーフロックの解除

- ▶ ドアハンドルの近接センサー **A** に 2 秒以内に 2 回触れてください。

ハザードライトスイッチがゆっくり1回点滅します。

ドアはロックされますが、インナー ドアハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。車内モニタリングは停止します。

一時的に外側のドアハンドルでドアを開けられなくなります。車両がロックされたかどうかを確認するには、ドアハンドルを引いてください。

① インフォメーション

- ドア、ボンネット、またはリアリッドが完全に閉じていない場合、車両を完全にロックできません。警告音が鳴り、ハザードライトスイッチは点滅しません。
- 運転席ドアのみが閉じている状態でロックすると、車両はプリロックされます。
- ドアをロックするときはキーを車外に持ち出してください。キーが車内にあるとドアをロックできません。

車内からドアをロックする

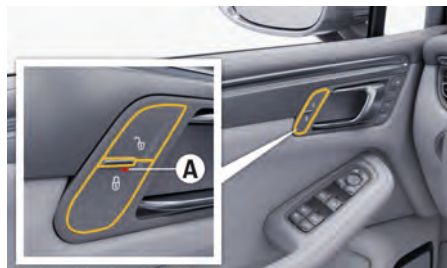



図. 39: ドアパネルのセントラルロックシステム ボタン

- ✓ ドアが閉じられています。
- ▶ ドアパネルの  ボタンを押してください。
 - ➔ すべてのドアとリアリッドがロックされます。フィラーフラップはロックされません。

インジケータライト **A** が点灯します。

インナー ドアハンドルを引くことによりのみ、車内からドアを開くことができます。

自動ロック (オートロック)

✓ 機能が有効になりました。

速度が約 15km/h を超えると、車両は自動的にロックされます。

▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。

チャイルドロックの有効化/無効化

リアドアは、車内から開けられないようにロックできます。

チャイルドロックは、リアドアのロック部分に設置されています。

ソフトクローズ非装備車のチャイルドロック機能の作動/解除



図. 40: 右リアドアのチャイルドロック

チャイルドロックの作動

▶ エマージェンシーキーを使用して、右リアドアのチャイルドロックは反時計回りに約 45°、左リアドアのチャイルドロックは時計回りに約 45° 回してください。

➔ チャイルドロックが作動すると、スロットが縦位置になります。

リアドアを内側から開くことはできません。

チャイルドロックの解除

▶ エマージェンシーキーを使用して、右リアドアのチャイルドロックは時計回りに約 45°、左リアドアのチャイルドロックは反時計回りに約 45° 回してください。

▶ 28 ページの「キー」の章を参照してください。

➔ リアドアを内側から開くことができます。

ドアの緊急ロック解除および緊急ロック

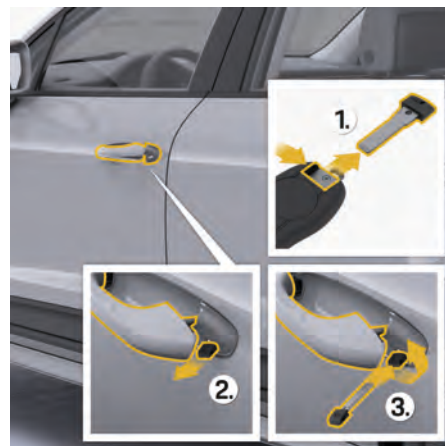


図. 41: 緊急ロック解除/緊急ロックの実行

キーのリモートコントロールが機能しない場合、リモートコントロールなしでもドアのロックおよびロック解除ができます。

緊急ドアロック解除の実行

- ▶ リヤウィンドウの右上にキーを置き、同時に🔑ボタンを押してください。

車両のロックがまだ解除できない場合：

1. キーからエマージェンシーキーを取り外してください。
▶ 28 ページの「キー」の章を参照してください。
2. ドアハンドルを引いたままにしてください。
3. ドアロックの保護プラグを取り外します。
4. エマージェンシーキーをドアロックに差し込みます。
5. エマージェンシーキーを、最初に抵抗を感じるまで反時計回りに回してから、回るところまでさらにしっかり回します。
6. エマージェンシーキーを最初の位置まで戻し、抜いてください。
7. ドアロックに保護プラグを再挿入します。
8. ドアハンドルから手を離し、もう1回引いてドアを開いてください。
9. 警報システムの作動を回避するため、15 秒以内にイグニッションを ON にしてください。

📌 インフォメーション

国別仕様により、警報システムが作動するまでの時間が異なる場合があります。

Porsche Entry & Drive のその他の手順:

イグニッションを ON にできないか、エンジンが始動しない場合、キーが車内不在ことを知らせるメッセージがマルチファンクションディスプレイ内に表示されます。

1. コントロールユニットをイグニッションロック位置 **0** に回してください。
2. エンジンを再度始動してください。
3. エンジンを始動できない場合、キーが車内不在ことを知らせるメッセージがインストルメントパネル内に再表示されます。
4. 約 1 秒後、コントロールパネルにメッセージ「左に回す、引き抜く、カギをさす」が表示されます。
5. コントロールユニットを元のイグニッションロック位置 **0** に回して、イグニッションロックから取り外してください。
▶ 29 ページの「キーまたはコントロールユニットの緊急解除の実行」の章を参照してください。
6. キーを使用してイグニッションを ON にしてください（エマージェンシーキーは除く）。

緊急ドアロックの実行

📌 インフォメーション

緊急ロック機能は、車両を駐車する際にドアをロックする場合にのみ使用してください。

- ▶ 運転を開始する前に、ドアのロックを解除してください。

1. キーからエマージェンシーキーを取り外してください。
▶ 30 ページの「エマージェンシーキーの使用」の章を参照してください。
2. 運転席ドアを開き、ドアハンドルを引いたままにします。
3. ドアロックの保護プラグを取り外します。

4. ドアロックにエマージェンシーキーを挿入し、エマージェンシーキーを最初に抵抗を感じるまで時計回りに回してから、回るところまでさらにしっかり回します。
5. エマージェンシーキーを最初の位置まで戻し、抜いてください。
6. ドアハンドルから手を離し、運転席ドアを閉じます。
7. 車両がロックされているか確認してください。

📌 インフォメーション

セントラルロッキングシステムが故障した場合、セントラルロッキングシステムのすべてのファンクションロックエレメントは運転席のドアロックからロックすることができます。

- ▶ セントラルロッキングシステムの故障は修理してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

セントラルロッキングシステムが機能しなくなった場合のドアの緊急ロックの実行



図. 42: 助手席ドアの緊急ロック

✓ 助手席ドアおよびリヤ ドアに対して、この手順を行ってください。

1. ドアを開けます。
2. キーからエマージェンシー キーを取り外してください。
3. カバーを取り外してください。
4. エマージェンシー キーを使用して、キー スイッチを車両の外側方向に約 45°回してください。
5. リヤ ドアについても同じ手順を行ってください。
6. 全てのドアを閉じます。
7. 運転席ドアのドアハンドルを引いたままにします。
8. ドアを開けた状態で、エマージェンシー キーを最初に抵抗を感じるところまで時計回りに回してから、回るところまでさらにしっかり回します。
9. エマージェンシー キーを最初の位置まで戻し、抜いてください。
10. 保護プラグを再度挿入します。
11. 運転席ドアを閉じます。
12. すべてのドアがロックしているか確認してください。

ドアはインナー ドアハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。

ラジオ アンテナの取り付け位置



警告

電波による医療技術機器の障害

車両のアンテナが電波を送信することにより、ペースメーカーや除細動器などの医療機器の機能が損なわれる可能性があります。

- ▶ アンテナから約 22 cm の距離を維持してください。
- ▶ 考えられる障害については、医師またはメーカーにご相談ください。



図. 43: ラジオ アンテナの取り付け位置

車両装備により、アンテナ **A** の数は(図. 43)異なります。

▶ 255 ページの「テクニカル データ」の章を参照してください。

エアコンおよび人間工学 エアバッグ

一般的な安全に関する指示



危険

不適切なシート位置または適切に収納していない荷物

エアバッグは、乗員全員がシートベルトを着用して正しく着席している場合のみ、保護機能を発揮します。荷物や手荷物は安全に収納する必要があります。

エアバッグは、衝突の強さおよび角度に応じて作動します。最適な保護機能を提供するため、エアバッグは非常に高速で展開する必要があります。シートベルトを着用していない、不適切なシート位置が想定される、または乗員がエアバッグに近すぎる場合、エアバッグの展開時に正しく保護効果を発揮できず、ケガや死亡の危険性があります。

- ▶ 常にシートベルトを着用してください。
- ▶ ドライバーや乗員とエアバッグが展開するエリアとの間に、人や動物がいないように、また物がないようにしてください。
- ▶ ステアリングホイールは必ずステアリングホイールリムを握るようにしてください。
- ▶ 保護効果を発揮するには、ドライバーや乗員からエアバッグまで一定の距離が必要です。シート位置が不必要にエアバッグに近くならないようにします。
- ▶ ドアの内側(エアバッグが膨らむエリア)にもたれかからないでください。
- ▶ 走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシートの上に足を乗せないでください。
- ▶ ドアの小物入れから中身がはみ出ないようにしてください。
- ▶ 重い荷物をシートの上や前方に積載して輸送しないでください。

- ▶ ダッシュボードの上に物を置かないでください。
- ▶ 走行中はグローブボックスを閉じてください。
- ▶ シートバックレストには何も掛けないでください(ジャケットやコートハンガーなど)。
- ▶ ドライバーはこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

エアバッグの機能

エアバッグは、シートベルトと併用することで衝突時の乗員の負傷を最小限に抑えるよう設計されています。

正面または側面から衝撃を受けた場合、エアバッグが作動し、ドライバーや乗員が受ける衝撃を吸収しつつ、頭部、骨盤、上半身を保護します。

フロントエアバッグは、運転席側ではステアリングホイールのパッド内、助手席ではダッシュボードの中に取り付けられています。

フロントシートの**サイドエアバッグ**はシートポルスターの側面に取り付けられています。リヤシートのサイドエアバッグ(車両装備による)は車内のホイールアーチトリムパネルに取り付けられています。

ヘッドエアバッグはサイドルーフフレームに取り付けられています。

それぞれのエアバッグは、衝突の角度や力に応じて作動します。



危険

作動済みのエアバッグを作動させることはできません。

エアバッグは1回しか作動できません。

- ▶ 作動済みのエアバッグは直ちに取り替える必要があります。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



危険

エアバッグの改造による不具合

手を加えたエアバッグは、保護効果を発揮しません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。予期しないタイミングでエアバッグが作動すると、重症を負う可能性があります。

- ▶ エアバッグシステムの配線や構成部品を改造しないでください。
- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ エアバッグ付近にアクセサリを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- ▶ シートに保護カバーを装着しないでください。
- ▶ エアバッグ構成部品を取り外さないでください。

助手席エアバッグを OFF にする



図. 44: 助手席エアバッグ OFF/ON インジケーター



危険

助手席エアバッグ OFF

助手席エアバッグを OFF にしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。
- ▶ チャイルドシートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再び ON にしてください。



危険


助手席エアバッグの故障と作動不良

作動待機が確立されていて助手席エアバッグが OFF のときに PASSENGER AIR BAG OFF ライトが点灯しない場合、システム故障の恐れがあります。

- ▶ 助手席にチャイルドシートを取り付けないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▶ 50 ページの「チャイルドシート」の章を参照してください。

故障の認識

エアバッグシステムが故障した場合、インストルメントクラスターの赤いエアバッグ警告灯  によって表示されます。

次の場合は、必ずポルシェ正規販売店にご相談ください。

- イグニッションを ON にしたときに警告灯が点灯しない。
- または - イグニッションが ON のときに警告灯が消灯しない。
- または - 走行中に警告灯が点灯する。

ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インストルメントおよびインテリアライト

計器照明の明るさ調整



警告

走行中の明るさの調整

運転中に明るさ調節を行うと、車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 運転中にステアリングホイールのスポークの間に手を差し込まないでください。



図. 45: 調節ボタン

ライトセンサー **B** により、周囲の明るさによって照明が自動的に調節されます。更に、車両のライトスイッチが ON のときはインストルメントパネルおよびスイッチの照明を手動で調節することができます。

- ▶ 調節 **A** ボタンを、希望の明るさになるまで左右どちらかに回して保持してください。

インテリアライトの ON/OFF の切り替え



図. 46: オーバーヘッド操作コンソールのインテリアライト用ボタン

- A リヤインテリアライト用ボタン
- B フロントインテリアライト用ボタン
- C、D フロント読書灯用ボタン
- E アンビエントライト用ボタン
- F 自動インテリアライト用ボタン



図. 47: リヤ読書灯/インテリアライト用ボタン

インテリアライト/読書灯の ON/OFF の切り替え

フロントインテリアライト:

- ▶ B ボタンを押してください。
- ### リヤインテリアライト:
- ▶ A ボタンを押してください。
- または -
該当するドア上の G ボタンを押します。

読書灯の ON/OFF の切り替え

フロント読書灯:

- ▶ C ボタンまたは D を押します。

リヤ読書灯:

- ▶ A ボタンを押してください。
- または -
該当するドア上の G ボタンを押します。

明るさを調節する (減光)

- ▶ フロント オーバーヘッド コンソールの A ボタンまたは B または希望するインテリアライト用リヤドアの上にある G ボタンを 1 秒以上押し、希望の明るさになるまで保持します。

自動インテリアライトの ON/OFF の切り替え

- ▶ F ボタンを押してください。
➡ インテリアライトを OFF にすると、ボタンのインジケータライトが点灯します。

インテリアライトを ON にすると、周囲が暗いときに次のように作動します:

- 点灯: ドア/リヤリッドのロックが解除されているまたは開いているとき、またはキーがイグニッションロックから抜かれているとき。
- 消灯: ドア/リヤリッドが閉じた後、約 120 秒経過したとき。この遅延消灯時間は、マルチファンクションディスプレイで変更できます。イグニッションを ON にしたときや、車両をロックしたときは、直ちにインテリアライトが消灯します。

バッテリー保護のためのインテリアライトの自動消灯機能

周囲が暗いときは、バッテリー上がりを防止するためにエンジンを停止してから約 15 分後にインテリアライトが自動的に消灯します。

周囲が明るいときは、インテリアライトを手動で点灯した後、約 3 分が経過すると自動的に消灯します。

オリエンテーションライト

オーバーヘッド コンソールおよびイグニッションロック部のライトにより、周囲が暗いときに車両の主要な装備の位置を照らして乗降性を高めます。これらのライトは車両のロックを解除したときに点灯し、車両をロックすると自動的に消灯します。オリエンテーションライトの明るさはマルチファンクションディスプレイで調節 (減光) することができます。

アンビエントライトの ON/OFF

夜間の運転中、控えめな明るさのライトが車内をやわらかく照らします。アンビエントライトは、車両をロックすると自動的に消灯します。

- ▶ E ボタンを押してください。
➡ インテリアライトを OFF にすると、ボタンのインジケータライトが点灯します。

明るさを調節する (減光)

- ▶ アンビエント ライトを減光するために、E ボタンを希望の明るさになるまで少なくとも 1 秒間押し続けます。

チャイルドシート

一般的な安全に関する指示



危険

チャイルドシートの誤った使用

チャイルドシートを正しく使用しないと、重傷または致命傷を負う危険があります。

チャイルドシートが車種に適していない場合、またはチャイルドシートが車両に正しく取り付けられていない場合、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

- ▶ チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。
- ▶ チャイルドシートは使用する国の道路交通法規に従って使用してください。
- ▶ ポルシェが推奨するチャイルドシートのみを使用してください。ポルシェ推奨のチャイルドシートは、テストが実施されており、この車両のインテリアやお子様の体重グループに適するように調整されています。推奨外のチャイルドシートはテストされておらず、万一のときに負傷する危険性が高まります。
- ▶ チャイルドシートを助手席で使用するときは、必ず助手席エアバッグを OFF にしてから行ってください。

ポルシェでは、ポルシェ テクニク製品製品のチャイルドシートを使用することを推奨いたします。取り付け方法に関するインフォメーション:

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▶ www.porsche.com/tequipment
- ▶ 54 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。



危険

助手席のチャイルドシート

助手席エアバッグは、ある程度の体格と体重のある乗員にのみ保護効果を発揮します。チャイルドシートを助手席に取り付けた場合、または乗員が小柄である場合、助手席エアバッグが作動することにより重傷または致命傷を負う危険があります。

- ▶ 後ろ向きに着座するタイプのチャイルドシートは**使用しないでください。フロントエアバッグが作動した場合、お様が致命傷または重傷を負う危険があります。**
- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付ける前に、助手席エアバッグを OFF にする必要があるかどうかを必ず確認してください。
- ▶ 助手席とチャイルドシート システムが確実に接するように助手席のバックレスト角度を調節すること。

▶ 54 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。

▶ 48 ページの「助手席エアバッグを OFF にする」の章を参照してください。

- ▶ チャイルドシートが取り付けられている場合、シートヒーターを必ず OFF にしてください。
- ▶ 前向きに着座するタイプのチャイルドシートを取り付ける前に、ヘッドレストを可能な限り高く調節してください。
リヤシートのヘッドレストを最も高い位置に調節してもチャイルドシートが取り付けられない場合は、ヘッドレストを取り外す必要があります。チャイルドシートを取り外した後は、必ずヘッドレストを取り付けてください。
- ▶ 76 ページの「ヘッドレストの調整」の章を参照してください。



図. 48: エアバッグ警告ラベル



図. 49: サンバイザーのエアバッグ警告ラベル

- ▶ エアバッグ警告と警告標識付きラベル **A** を除去したり、汚損したり、判読不能にしたりしないでください。

この章の説明は UN-R 14 または UN-R 145 の要件に準拠しています。

チャイルドシートの正しい使用

このセクションは、1 つずつ遵守していただく必要のある 3 つの項目に分けられています。

- ▶ チャイルドシートを安全に取り付けるため、以下の 3 つの項目すべてを注意深くお読みください。
1. 適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートを使用してください。

▶ 51 ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。

2. チャイルドシートは正しい取り付け位置で使用してください。

▶ 54 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。

3. チャイルドシートを確実に固定して取り付けてください。

▶ 56 ページの「チャイルドシートの取り付け」の章を参照してください。

適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用

- ▶ 適切な体重およびサイズグループに加えて、チャイルドシートが正しく取り付けられていることも確認してください。

▶ 54 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。

▶ 50 ページの「チャイルドシート」の章を参照してください。



図. 50: チャイルドシートの ECE ラベルの例

A サイズグループ

B 「汎用 (ユニバーサル)」または「準汎用 (セミユニバーサル)」マーク

C 体重グループ

- ▶ 準汎用 (セミユニバーサル) 認可のチャイルドシートの場合は、該当のチャイルドシートに付属する、またはインターネットで入手できる適合車種一覧表を参照してください。

チャイルドシートの体重グループによる分類

グループ 0 および 0+ のお子様: 13 kg 以下 (ISOFIX システム、車両のシートベルトによる固定)

この体重グループのお子様は、後ろ向きに着座するタイプのチャイルドシートを必ず使用してください。

このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

グループ I のお子様：9～18 kg (ISOFIX システム、車両のシートベルトによる固定)

このグループのお子様は、必ず前向きに着座するタイプのチャイルドシートを使用してください。特別な状況に限り、この体重グループのお子様は後ろ向きに着座するタイプの特別なチャイルドシートを使用することもできます。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

体重グループ II のお子様：15～25 kg (車両のシートベルトによる固定)

このグループのお子様は、必ず前向きに着座するタイプのチャイルドシートを使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

体重グループ III のお子様：22～36 kg (車両のシートベルトによる固定)

このグループのお子様は、必ず前向きに着座するタイプのチャイルドシートを使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

チャイルドシートのサイズグループによる分類

- A** ISO/F3：前向き、フルサイズチャイルドシート
- B** ISO/F2：前向き、小型サイズチャイルドシート
- B1** ISO/F2X：前向き、小型サイズチャイルドシート
- C** ISO/R3：後ろ向き、フルサイズチャイルドシート

- D** ISO/R2：後ろ向き、小型サイズチャイルドシート
- D1** R2X：後ろ向き、小型サイズチャイルドシート
- E** ISO/R1：後ろ向き、乳幼児用チャイルドシート
- F** ISO/L1：左向きチャイルドシート (ベビーキャリア)
- G** ISO/L2：右向きチャイルドシート (ベビーキャリア)

バックレスト装備または非装備のブースターシート

- ISO/B2：前向きチャイルドシート (バックレスト装備または非装備のブースターシート)、減少幅 440 mm
- ISO/B3：前向きチャイルドシート (バックレスト装備または非装備のブースターシート)、全幅 520 mm

- ▶ チャイルドシートの適用範囲、および使用するチャイルドシートのメーカーの取り付けおよび取扱説明書を遵守してください。

体重およびサイズグループの概要

この表は利用可能なチャイルドシートサイズの概要を示しています。推奨する取り付け方法を示しているわけではありません。

体重グループ	チャイルドシートの位置	サイズグループ/ISOFIXグループ
グループ 0：0～10kg	左向き	F/L1
	右向き	G/L2
	後ろ向き	E/R1
グループ 0+：0～13kg	後ろ向き	C/R3
		D/R2
		E/R1
グループ I：9 から 18kg	前向き	A/F3
		B/F2
		B1/F2X
	後ろ向き	C/R3
		D/R2
グループ II：15 から 25kg	前向き	—
グループ III：22 から 36kg	前向き	—
i-Size チャイルドシート	後ろ向き	-/R2X
	前向き	-/B2, F2X
ブースターシート	前向き	-/B2, B3

チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底

- ▶ 適切な取り付け位置に加えて、チャイルドシートが正しい体重およびサイズグループで、正しく取り付けられていることを確認してください。
 - ▷ 51 ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。
 - ▷ 56 ページの「チャイルドシートの取り付け」の章を参照してください。

下表は、ECE-R16 規格に従ってチャイルドシートを使用する方法の概要です。

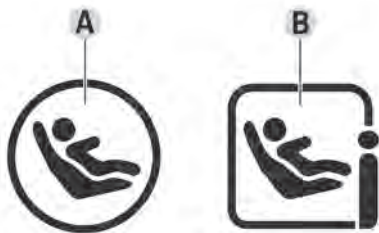


図 51: ISOFIX および i-Size のシンボル

- A** ISOFIX チャイルドシートのアタッチメントのシンボル (国によって異なる)
- B** i-Size チャイルドシートのアタッチメントのシンボル (国によって異なる)

i-Size および ISOFIX はチャイルドシート用の標準化されたアンカーシステムです。使用できるかどうかは国によって異なります。ECE-R129 および ECE-R44 に準拠して承認された ISOFIX チャイルドシートおよび i-Size チャイルドシートは、i-Size のアンカーポイントに取り付けることができます。

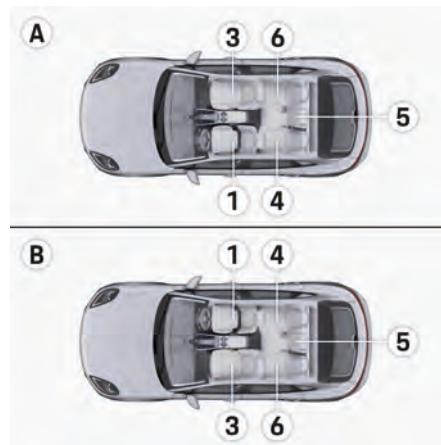


図 52: チャイルドシート取り付けのためのシート番号

- A** 左ハンドル車両
- B** 右ハンドル車両

	i-Size システムによる固定	車両のシートベルトによる固定	ISOFIX システムによる固定
シート番号に応じて許容される取り付け位置	なし	3、4、5 および 6	4 および 6

チャイルドシート取り付けのためのシート番号	1	3 ¹	4 ²	5 ³	6 ²
車両のシートベルトによる固定	不可	可	可	可	可
ISOFIX の取り付け位置	不可	不可	可	不可	可
i-Size の取り付け位置	不可	不可	不可	不可	不可
横向きのチャイルドシート	不可	不可	不可	不可	不可
適切な後ろ向きチャイルドシートで最大のもの	不可	R3	R2X/R3	R2 ⁴	R2X/R3
適切な前向きチャイルドシートで最大のもの	不可	F3	F3	F2X ⁴	F3
適切なチャイルドシートで最大のもの（バックレスト装備または非装備のブースターシート）（B2/B3）	不可	B3	B3	B3	B3

不可：シートはこのグループのチャイルドシートの取り付けに適していません。

助手席へのチャイルドシートの取り付けの概要

汎用 (U) または「準汎用」(L) 認定カテゴリーのチャイルドシートを助手席に取り付ける場合、下記の表を使用して、助手席エアバッグを OFF にする必要があるかどうかを確認してください。

認定カテゴリーの詳細については、チャイルドシートにあるオレンジ色の認証マークを参照してください。

X： シートはこのグループのチャイルドシートには適していません。

U/ 「汎用」または「準汎用」認定カテゴリーの前向きタイプのチャイルドシートで、大人用シートベルトで固定され、このグループでの使用が認定されているものに適しています。

グループ	助手席	
	助手席エアバッグ ON	助手席エアバッグ OFF
グループ 0： 0～10kg	X	U / L
グループ 0+： 0～13kg	X	U / L

1. 助手席エアバッグを OFF にする必要があるかどうかを必ず確認してください。
2. この取り付け位置は、サポートレッグ付きのチャイルドシートの取り付けに適しています。
3. この取り付け位置は、サポートレッグ付きのチャイルドシートの取り付けに適していません。
4. 車両のシートベルトによる固定

グループ	助手席	
	助手席エアバッグ ON	助手席エアバッグ OFF
グループ I : 9~18kg 後ろ向き	X	U / L
グループ II : 9~18kg 前向き	U / L	U / L
グループ III : 15~25kg	U / L	U / L
グループ IV : 22~36kg	U / L	U / L

チャイルドシートの取り付け

- ▶ チャイルドシートは、適切に取り付けることに加えて、体重、サイズグループ、および取り付け位置が適切であることも確認してください。
▶ 51 ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。
- ▶ 54 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。
- ▶ チャイルドシートが取り付けられている場合、シートヒーターを必ず OFF にしてください。
- ▶ 前向きに着座するタイプのチャイルドシートを取り付ける前に、ヘッドレストを可能な限り高く調節してください。

リヤシートのヘッドレストを最も高い位置に調節してもチャイルドシートが取り付けられない場合は、ヘッドレストを取り外す必要があります。チャイルドシートを取り外した後は、必ずヘッドレストを取り付けてください。

▶ 77 ページの「リヤシートのヘッドレストの取り外しと取り付け」の章を参照してください。

ベビーキャリア

サイズカテゴリ F および G の左向きまたは右向きタイプのチャイルドシート（ベビーキャリアなど）は、一般的にこのシートにも使用できません。

▶ 54 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。

ポルシェでは、ポルシェ Equipment 製品のチャイルドシートを使用することを推奨いたします（例：Porsche Babyseat ISOFIX GO+）。

助手席エアバッグの ON/OFF



危険

助手席エアバッグ OFF

助手席エアバッグを OFF にしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。
- ▶ チャイルドシートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再び ON にしてください。



図. 53: 助手席エアバッグを OFF にする

✓ イグニッションを OFF にします。

1. グローブボックスを開いてください。
2. **知識**

キースイッチおよびエアバッグシステムが損傷する危険があります

- ▶ エマージェンシーキーは、キースイッチに2回抵抗を感じる位置まで挿入した場合のみ、回すようにしてください。
- ▶ 助手席エアバッグはイグニッションが OFF のときのみ、ON/OFF を切り替えてください。

キーからエマージェンシーキーを取り外してください。

▶ 28 ページの「キー」の章を参照してください。

3. エマージェンシーキーをキースイッチに2回抵抗を感じる位置まで押し込んでください。
 ▶ エマージェンシーキーの歯がキースイッチ内に約3/4まで挿入されます。

4. **危険** 助手席エアバッグの不意の作動により重傷または致命傷を負う危険

キースイッチにエマージェンシーキーを挿入したまま走行した場合、振動によってエマージェンシーキーが不意に回転し、エアバッグが作動する恐れがあります。

- ▶ エマージェンシーキーをキースイッチに挿入したまま走行しないでください。

エマージェンシーキーを回し、助手席エアバッグをオフ（スイッチ位置OFF）またはオン（スイッチ位置ON）にしてください。

5. エマージェンシーキーをキースイッチから抜き取ってください。
6. グローブボックスを閉じます。

表示 PASSENGER AIR BAG OFF/ON



図. 54: 助手席エアバッグ OFF/ON インジケータ

助手席エアバッグ OFF/ON インジケータは、ルーフコンソールにあります。

- OFF 警告 ON 点検 **ライト作動点検**
 イグニッションをONにすると、ライト作動点検のためにインジケータ PASSENGER AIR BAG OFF/ON が約5秒点灯します。

- OFF 警告 **助手席エアバッグ OFF**
 助手席エアバッグをOFFにすると、イグニッションがONのときはエンジンが作動しているときは、PASSENGER AIR BAG OFF インジケータが継続的に点灯します。

- ON 点検 **助手席エアバッグスイッチ ON**
 助手席エアバッグをONにすると、イグニッションがONのときはインジケータ PASSENGER AIR BAG ON が点灯し、約1分後に消灯します。

- 危険** 助手席エアバッグの故障と作動不良

作動機が確立されていて助手席エアバッグがOFFのときに PASSENGER AIR BAG OFF ライトが点灯しない場合、システム故障の恐れがあります。

- ▶ 助手席にチャイルドシートを取り付けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両シートベルトを使用したチャイルドシートの取り付け

車両シートベルトを使用した助手席シートへのチャイルドシートの取り付け

1. 助手席とチャイルドシートシステムが確実に接するように助手席のバックレスト角度を調節すること。
2. 助手席シートを最後部上部位置に調整します。
 ▶ 74 ページの「正しいシート位置の選択」の章を参照してください。
3. チャイルドシートバックレストのベルトガイドを、車両Bピラーのベルトアウトレットの前側および下側になるように調整します。
4. フロント助手席とその後ろに座っている乗員の間に快適な距離があることを確認してください。

車両シートベルトを使用したリヤシートへのチャイルドシートの取り付け

- ▶ ブースターシートにバックレストがない場合は、ブースターシートとリヤシートバックレストが接触していることを確認します。

i サイズシステムまたは ISOFIX システムタイプのチャイルドシート取り付け

- ▶ 51 ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。
- ▶ チャイルドシートシステムに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。

チャイルドシートのリヤシートへの取り付け



図 55: アウターリヤシートの ISOFIX リテーニングラグ

チャイルドシート用 ISOFIX アンカーシステムのリテーニングラグ **A** は、外側シートのシート面にあります。

1. ISOFIX アンカーシステムの保護キャップを取り外して保管します。
2. チャイルドシートを付属の説明書に従ってリテーニングラグ **A** に固定してください。
3. チャイルドシートを引っ張って、両側のリテーニングラグに確実に固定されているか点検してください。

回転しないように、チャイルドシートをサポートレッグまたはトップテザーでさらに固定する必要があります。

サポートレッグ付きチャイルドシートの取り付け



図 56: サポートレッグ付きチャイルドシートの取り付け

1. チャイルドシートを ISOFIX アタッチメントブラケットで、リテーニングラグ **A** と共に正しく取り付けます。
 ▶ 51 ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。
2. チャイルドシートメーカーの指示に従って、サポートレッグを位置決めします。
3. チャイルドシートがリヤシートに対して面一に取り付けられているようにします。

トップテザー付きチャイルドシートの取り付け



図 57: トップテザーのアンカーポイント

- ▶ チャイルドシートをトップテザーと一緒に使用する場合、トップテザーはリヤシートバックレスト背面のリヤシェルフ上の固定箇所に取り付けます。

i インフォメーション

中央リヤシート上部のアンカーポイントは、ISOFIX トップテザーの固定に使用できません。

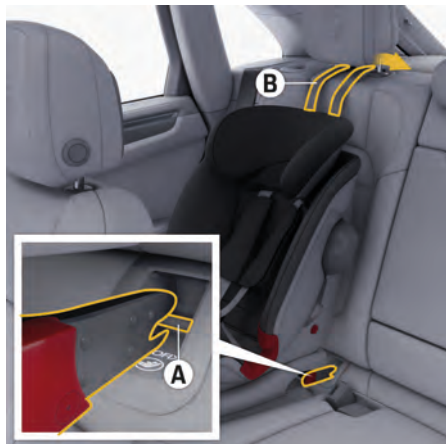


図 58: トップテザー付きチャイルドシートの取り付け

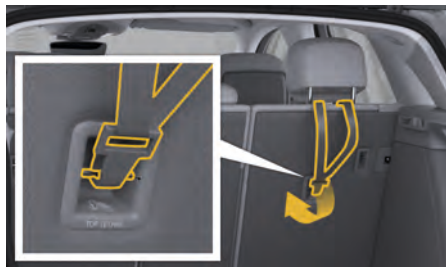


図 59: ISOFIX トップテザー付きチャイルドシートの取り付け

▷ 77 ページの「リヤシートのヘッドレストの取り外しと取り付け」の章を参照してください。

3. トップテザー **B** をバックレスト後部のアンカーポイントに固定し、トップテザーを締め付けます。

1. チャイルドシートを ISOFIX アタッチメントブラケットで、リテーニングラグ **A** と共に正しく取り付けます。
▷ 56 ページの「チャイルドシートの取り付け」の章を参照してください。
2. トップテザー **B** をヘッドレストに通します。容易に取り付けられるようにヘッドレストは取り外すことができます。

エアコンシステム (3 ゾーンオートエアコン)

エアコンの概要

フロント コントロール パネル

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

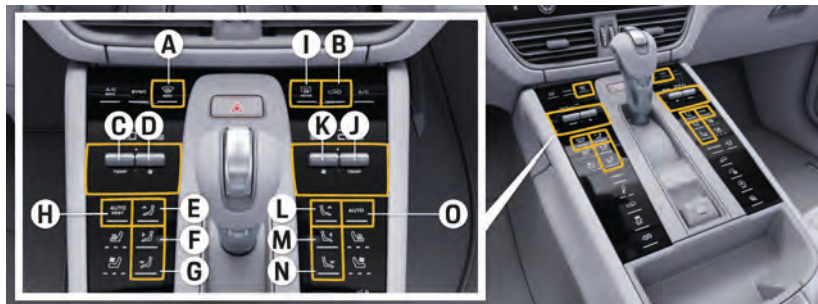


図. 60: 概要 - フロントエアコン

希望する操作	操作方法	操作箇所
オートモードをONにする	左側は H ボタン、右側は O ボタンを押します。	▶ 62 ページの「エアコンシステムの ON/OFF」の章を参照してください。
温度の設定	左側は C ボタン、右側は J ボタンを押します。	▶ 63 ページ以降
オートモードで風量を設定する	設定 ⚙ ▶ 車両設定 ▶ エアコンおよびヒーター ▶ エアコン ▶ 風量	▶ 63 ページ以降
送風量を手動で設定する	左側は D ボタン、右側は K ボタンを押してください。	▶ 63 ページ以降
送風口を調節する	左右のフロント ウィンドウへの送風 : E ボタンまたは L ボタンを押してください。中央および左右のエアセントへの送風 : F ボタンまたは M ボタンを押してください。左右の足元への送風 : G ボタンまたは N ボタンを押してください。	▶ 63 ページ以降

希望する操作	操作方法	操作箇所
フロントウィンドウデフロスター	A ボタンまたは I ボタンを押してください。	▷ 65 ページ以降
リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターを ON にする	I ボタンを押してください。	▷ 65 ページ以降
手動で内気循環モードを ON にする	B ボタンを押してください。	▷ 65 ページ以降

リヤコントロールパネル

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

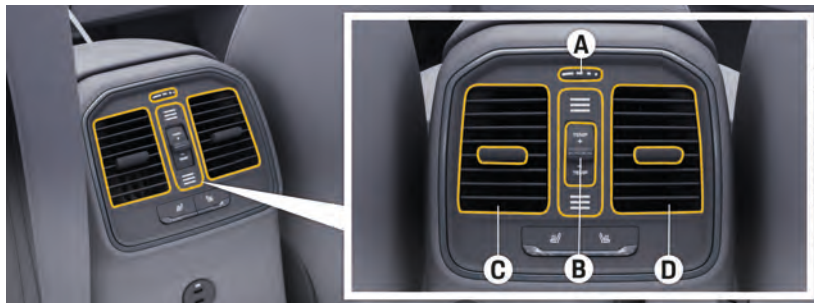


図. 61: 概要 - リヤエアコン

希望する操作	操作方法	操作箇所
温度の設定	B ボタンを上（温度を上げる）または下（温度を下げる）に押してください。	▷ 63 ページ以降
送風量を手動で設定する	ロータリーノブ A を時計回り（強くする）または反時計回り（弱くする）に回してください。	▷ 63 ページ以降
送風口を調節する	ベントのペーン C（左側）または D（右側）を望む方向に回転させてください。	▷ 63 ページ以降

作動原理

オートモードでは、車内温度、日射量、空気質など、様々な環境条件に応じて、エアコンシステムが送風口や送風量を完全に全自動で制御します。

エアコンシステムの設定を手動で調整すると、オートモードが直ちに解除されます。ただし手動操作で変更しなかった機能については、自動制御を継続します。

エアコンシステムは、リヤおよびセンターコンソールのボタン、またはダッシュボードのタッチディスプレイを使用して操作することができます。

エアコンシステムは、ウィンドウを閉じた状態で最も効果的に作動します。

車内に熱がこもっている場合：

- ▶ ウィンドウを開けて車内を短時間換気します。

外気温度および湿度によっては、除湿した水分により車両下部に水たまりができることがあります。これは正常な状態であり、故障ではありません。

バッテリー電圧が低すぎると、最初エアコン機能が制限され、その後 OFF になります。

3 ゾーンエアコン

温度、風量、送風口、エアコンの種類は、左、右、リヤの空調エリアで個別に設定できます。エアコンの種類は、車内全体に対して設定できます。

エアコンシステムの ON/OFF

冷房機能の ON/OFF

冷房機能は空気を冷却し、乾燥させます。

オートモードでは、冷房機能が常に ON になります。冷房の出力は自動制御されます。



図. 62: 冷房機能の ON/OFF

冷房機能を ON にする

- ▶ **A/C**ボタンを押してください。
 - ➡ ボタンのインジケータールイトが点灯します。
- または-
- 任意の空調エリアの**AUTO**ボタンを押してください。
 - ➡ 冷房機能が作動中。

冷房機能を OFF にする

例えば燃料を節約したいときなどには、冷房機能を手動で OFF にすることができます。

- ▶ **A/C**ボタンを押してください。
 - ➡ ボタンのインジケータールイトが消灯します。
- 冷房機能が解除されます。

-最大冷房出力の ON/OFF の切り替え A/C MAX モード

A/C 最大モードでは、最大出力で車内が冷却されます。

このとき車内温度は自動調節されません。

冷房機能 MAX モードを ON にする



図. 63: 最大冷房出力の作動

- ▶ **A/C MAX**ボタンを押してください。
 - ➡ ボタンのインジケータールイトが点灯します。

冷房機能 MAX モードを OFF にする

- ▶ **A/C MAX**ボタンを押してください。
 - ➡ ボタンのインジケータールイトが消灯します。
- または-
- 任意の空調エリアの**AUTO**ボタンを押してください。

オートモードを ON にする

フロントの空調エリアは、個別にオートモードに切り替えることができます。

- ▶ フロント エアコンコントロールパネルの切り替えたい空調エリアの**AUTO**ボタンを押してください。
 - ➡ ボタンのインジケータールイトと、エアコンディスプレイの **AUTO** インジケータールイトが点灯します。気温、風量および送風口が自動的に制御されます。

① インフォメーション

必要であれば、自動システムを手動で制御できます。手動で設定すると、適切な機能ボタンがもう一度押されるか、または**AUTO**ボタンが押されるまで保持されま

エアコン システムの操作

フロントの温度の設定



図. 64: フロントのエアコンコントロールパネルの温度と風量の設定

各エアコンエリアの温度は 16.5°C~29°C の範囲で調整できます。選択した温度は、該当する空調エリア用 **TEMP** ボタンの上にあるディスプレイに表示されま


フロントの温度を上げる/下げる

- ▶ 該当する空調エリアの**TEMP**ボタンを押して調節してください。
 - ➡ ディスプレイにまたはが表示された場合、エアコンは冷房 (LO) または暖房 (HI) の最大出力で作動しています。このときオートモードは OFF になります。


① インフォメーション

エアコン制御が同期モードのとき、いずれかの空調エリアの温度設定を **LO** または **HI** にすると、他のゾーンも **LO** または **HI** に設定されます。**AUTO** ボタンを押すと、初期設定温度の 22°C に切り替わります。

フロントの送風量の設定

設定した風量が、センターコンソールのエアコンディスプレイの  ボタンの上部にパーディスプレイで表示されます。パーの数が多くなるほど、車室内への風量が多いことを示します。

送風量を上げる/下げる

- ▶  ボタンを上方向または下方向に押ししてください。

AUTO ボタンを押すと、オートモードに戻ります。


風量を最小にすると、エアコンディスプレイに **OFF** と表示され、外気導入による送風が停止し、エアコンシステムが OFF になります。



警告

風量 OFF による視界の低下

風量設定を OFF にすると、ウィンドウが曇りやすくなります。

- ▶ 風量を再び強くしたい場合、 ボタンを上方向に押すか、オートモードに戻してください。

リヤの温度の設定



図. 65: リヤのエアコンコントロールパネルの温度の設定

温度は複数のレベルに設定できます

設定した温度は、該当する空調エリアの **TEMP** ボタンの上/下のインジケータールイトで表示されます。

リヤの温度を上げる/下げる

- ▶ **TEMP** ボタンを上方向または下方向に押ししてください。
 - ➡ 赤のインジケータールイトは、3 つの暖房レベルの温度設定を表示します。
 - 青のインジケータールイトは、3 つの冷房レベルの温度設定を表示します。

送風口を調節する



図. 66: 送風口切り替えボタン

送風口を手動で切り替える

- ✓ エアイベントが開いている。
- 1. ボタンを押してください。
 - ➔ フロントウィンドウおよびサイドウィンドウへの送風を開始します。
- 2. ボタンを押してください。
 - ➔ 中央および左右エアイベントからの送風を開始します。
- 3. ボタンを押してください。
 - ➔ フットウェルへの送風を開始します。各ボタンのインジケータールイトが点灯します

送風口の手動切り替えの解除

- ▶ 該当する送風口ボタンを再度押してください。
 - ➔ 各ボタンのインジケータールイトが消えます。
- または-
- AUTO** ボタンを押してください。
 - ➔ 風量および送風口が自動的に制御されます。

エアイベントの調整

エアイベントは手動で開閉することができ、ダッシュボードと、フロントセンターコンソールとリヤ上にあります。送風方向も調節可能です。

知識

エアイベントを損傷する恐れがあります。

- ▶ 携帯電話クレードルやプラグイン式のエアフレッシュナーなど、エアイベントには何も挟まないでください。

エアイベントの開閉

- ▶ エアイベントの刻み付きホイールを回してください。

風向の変更

- ▶ ルーバーの角度を調節して希望の方向に風を送ることができます。

外気の取り入れを可能にする

- ▶ フロントウィンドウとボンネットの間の外気導入口を雪、氷、木の葉などが塞がないようにしてください。

アッパーベンチレーションパネル

ダッシュボード上にあるベンチレーションパネルでも車内への補助的な送風ができます。エアコンシステムは送風量を自動的に調整します。

エアコンの種類の設定

オートモードでは各空調エリアのために3段階で送風の強さを調節できます。

1. **車両設定** ▶ エアコンおよびヒーター ▶ エアコン ▶ **風量**
2. 希望するエアコンのタイプを選択します。

自動内気循環の ON/OFF

自動内気循環モードでは、空気の状態に応じて自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。外気温度が約5°Cを下回ると、ウィンドウの曇りを防止するため、内気循環モードが自動的に停止します。

ダッシュボードのタッチディスプレイ:

- ▶ **車両設定** ▶ エアコンおよびヒーター ▶ エアコン ▶ **自動内気循環**

手動で内気循環モードの ON/OFF



図. 67: 内気循環ボタン



警告

手動内気循環モードでの視界の低下

手動内気循環モードを長時間 ON にすると、ウィンドウが曇る恐れがあります。外気が導入されないため、倦怠感を引き起こし、集中力が低下する恐れがあります。

- ▶ 手動内気循環モードは長時間 ON にしないでください。

手動で内気循環モードを ON にする

- ▶ ボタンを押してください。
 - ➔ ボタンのインジケータールイトが点灯します。

手動で内気循環モードを OFF にする

- ▶ ボタンを押してください。
 - ➔ ボタンのインジケータールイトが消灯します。
- または-
- AUTO** ボタンを押してください。

① インフォメーション

手動または自動で冷房機能を OFF にすると、約 3 分後に内気循環モードが停止します。

– 同期モードは車両全体の気候設定を引き継ぎます

同期モードでは、運転席のエアコン設定が車内全体に適用されます。




同期モードを ON にする

- ▶ **SYNC** ボタンを押してください。
 - ➡ ボタンのインジケーター ライトが点灯します。
- ➡ 助手席側のディスプレイが、運転席の値に変わります。

同期モードを OFF にする

- ▶ **SYNC** ボタンを押してください。
 - ➡ ボタンのインジケーター ライトが点灯します。
- または –
- 残りの空調エリアのうちの 1 つの設定を変更してください。

同期モードのリヤの空調エリアの送風が、ON になります

フロントコントロールパネルの  ボタンまたは  ボタンが押されると、リヤセンター コンソールのエアイベントから送風が行われます。フロントコントロールパネルの  ボタンが押されると、リヤフットウェルへの送風が行われます。

ドライバーが一人で乗車する場合の推奨エアコン設定

- ▶ 車室内の快適性を最大限に高めるには、同期モードを ON にしてください。

リヤ空調エリアへの風量を少なくしても、フロント空調エリアの快適性は向上しません。

風量の設定に関する情報：

- ▶ 64 ページの「エアイベントの調整」の章を参照してください。

イオナイザーの ON/OFF




図 68: イオン発生機の ON/OFF

対象：イオナイザー装備車


イオン発生機は、空気の状態が悪い地域–大都市などにおいて車室内の空気の状態を向上させることができます。

イオナイザーは無臭です。

イオナイザーを ON にする

- ▶  ボタンを押してください。
 - ➡ ボタンのインジケーター ライトが点灯します。

イオナイザーを OFF にする

- ▶  ボタンを押してください。
 - ➡ ボタンのインジケーター ライトが消灯します。


フロントウィンドウ、リヤウィンドウ、ミラーヒーターの操作

フロントウィンドウデフロスター



図 69: フロントウィンドウデフロスター

デフロストモードを ON にする

- ▶  ボタンを押してください。
 - ➡ ボタンのインジケーター ライトが点灯します。


フロントウィンドウおよびフロント サイドウィンドウへの送風を開始します。

なるべく早くフロントウィンドウの曇りまたは霜を取ります。

デフロスター モードでは、リヤへのエアの供給が状態に応じて制御されており、曇りを取り除く効果を最大にします。


対象：フロントウィンドウヒーター装備車

フロントウィンドウヒーターはデフロスターの作動をサポートでき、外気温に応じて自動的に停止します。

フロントウィンドウヒーターは、有効にされてから最大、10分経過すると、フロントウィンドウは加熱されなくなります。デフロスターモードは操作し続け、 ボタン上のインジケータライトが再度点灯します。

▶ 66ページの「リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターのON/OFFの切り替え」の章を参照してください。

デフロストモードをOFFにする


- ▶  ボタンを押してください。
 - ➔ ボタンのインジケータライトが消灯します。

リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターのON/OFFの切り替え




図. 70: フロントウィンドウ/リヤウィンドウ/ドアミラーヒーター

フロントウィンドウヒーター、リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターをONにする

- ✓ エンジンが操作しています。
- ▶  ボタンを押してください。
 - ➔ ボタンのインジケータライトが点灯します。

外気温度によって、約5~20分後にフロントウィンドウ/リヤウィンドウ/ドアミラーヒーターのスイッチが自動的にOFFになります。

リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターをOFFにする

- ▶  ボタンを押してください。
 - ➔ ボタンのインジケータライトが消灯します。

リモートエアコンのタイマーおよびプレクーリング/ヒーティングの使用

エンジンの余熱の利用 - REST モード



図. 71: REST モードの作動および停止

イグニッションをOFFにしてから最大20分間は、作動温度に達しているエンジンの余熱を利用して車内を暖めることができます。

- ✓ イグニッションをOFFにします。
- ▶ フロントコントロールパネルの **AUTO REST** ボタンを押してください。
 - ➔ ボタンのインジケータライトが点灯します。

RESTモードではエアコンシステムの設定を変更できません。

機能を終了する

- ▶ フロントコントロールパネルの **AUTO REST** ボタンを押してください。
 - ➔ ボタンのインジケータライトが消灯します。
- または-
- イグニッションをONにします。
 - ➔ ボタンのインジケータライトは以前の設定状態を示します。

① インフォメーション

バッテリー電圧が低すぎると、最初に REST モードが制限され、その後 OFF になります。

ステアリングホイール

ステアリングホイールの調節

ステアリングホイールの手動調節



警告

運転中のステアリングホイールの調節

走行中にステアリングホイールを調節すると、ステアリングホイールが必要以上に移動する可能性があります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 運転中はステアリングホイールの調節を行わないでください。



図. 72: ステアリングホイール調節用ロックレバー

1. ロックレバーを押し下げてください。
2. ステアリングホイールを垂直および平行に動かし、ステアリングホイールの位置をバックレストの傾斜や着座位置に合わせます。
3. ステアリングホイールが確実に固定されるまで、ロックレバーを元の位置まで戻してください。

ステアリングホイールの電動調節



注意

メモリー設定の予期せぬ呼び出し

ステアリングホイールの調節中に可動範囲に人や動物がいると、身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。



図. 73: ステアリングホイール調節ボタン

- ▶ ステアリングコラム下に取り付けられているスイッチを前後上下に動かして、ステアリングホイールを希望の位置に調節してください。

ステアリングホイール設定の保存

ステアリングホイール設定の保存と呼び出しに関する詳細なインフォメーション:

- ▶ 68 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

マルチファンクションステアリングホイールによるインストルメントパネルの操作

インストルメントパネルの操作に関する詳細情報:

- ▶ 138 ページの「マルチファンクションディスプレイおよびマルチファンクションステアリングホイールの操作」の章を参照してください。

ステアリングホイールヒーターの ON/OFF



図. 74: ステアリングホイールヒーターボタン

- ✓ エンジンが操作しています。
- ▶ インストルメントパネルにメッセージが表示されるまで、センターステアリングホイールスポークのボタンを押します。

パーソナル設定

概要 - パーソナル設定



この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図. 75: 運転席ドアのメモリーボタン (運転席およびコンフォートメモリーパッケージ)



図. 76: 助手席ドアのメモリーボタン (運転席およびコンフォートメモリーパッケージ)

どのように設定を保存/呼び出せますか?	メモリーパッケージでは、どのようなパーソナル設定の保存/呼び出しができますか?	操作箇所
<p>キーを使用して車両をロックまたはロック解除するたびに自動的に行われます。</p>	<p>✓ マルチファンクションディスプレイでオートメモリー機能が作動しています。</p> <p>人間工学に基づいた設定</p> <ul style="list-style-type: none"> - 運転席メモリーパッケージ：運転席、ドアミラー - コンフォートメモリーパッケージ：運転席、助手席、ドアミラー、ステアリングホイール <p>コンフォート設定</p> <ul style="list-style-type: none"> - コンフォートメモリーパッケージ：エアコンシステム、マルチファンクションディスプレイ <p>情報：オートメモリーが作動している場合、キー/キーボタンに保存されている設定が、車両をロックするたびに上書きされます。</p>	<p>▷ 70 ページ以降</p>
<p>運転席ドアのメモリーボタン1または2、あるいは3（装備により異なる：助手席ドア）を使用します。</p>	<p>人間工学に基づいた設定</p> <ul style="list-style-type: none"> - 運転席メモリーパッケージ：運転席、ドアミラー - コンフォートメモリーパッケージ：運転席、助手席、ドアミラー、ステアリングホイール 	<p>▷ 70 ページ以降</p>
<p>運転席ドアのキーボタンを介してキーで</p>	<p>人間工学に基づいた設定</p> <ul style="list-style-type: none"> - 運転席メモリーパッケージ：運転席、ドアミラー - コンフォートメモリーパッケージ：運転席、助手席、ドアミラー、ステアリングホイール <p>コンフォート設定</p> <ul style="list-style-type: none"> - ライト、フロントウィンドウワイパー、エアコンシステム、マルチファンクションディスプレイ、セントラルロッキングシステム 	<p>▷ 70 ページ以降</p>

個人設定の保存と呼び出し

人間工学に基づいた設定の機能：

シート、ドアミラー、およびステアリングホイールの設定（装備による）。

運転席および助手席ドアのメモリー ボタン（装備による）を使って、手動で、最大 3 つの人間工学に基づいた設定を保存して呼び出せます。

ドアのロックを解除し、ドアを開くと、キーに保存された設定が自動的に呼び出されます。複数の人が車両を使用する際、各自が 1 本ずつ鍵を使用し、専用設定をキーに保存すると便利です。

コンフォート設定の機能：

ライトの設定（オートマチック カミング ホーム ライトの遅延消灯設定など）、視界の設定（リバース ギヤ選択時のリヤワイパー機能など）、エアコン設定（運転席および助手席のエアコン設定など）、セントラルロック設定（自動ロックなど）。

ドライバーメモリーパッケージ装備車両は、前回選択したコンフォート設定を自動的に呼び出します。コンフォートメモリーパッケージ装備車両は、キーに保存されているコンフォート設定を呼び出します。



注意

シート、ドアミラー、およびステアリングホイールの自動設定の呼び出し

メモリー設定が予期せぬタイミングで起動した場合、身体の一部が挟まれたり、圧迫されたりする恐れがあります。

- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。
- ▶ 必要なときにメモリー ボタン、シート調節ボタン、セントラルディスプレイのいずれかを使って設定を変更すると、**人間工学に基づいた設定の自動呼び出し機能がキャンセル**されます。
- ▶ メモリー ボタンかシート調節ボタンのいずれかを押すか、または PCM により、必要に応じて**コンフォート設定の自動呼び出し機能をキャンセル**できます。

人間工学に基づいた設定とコンフォート設定をキーに個別に割り当てることができます。

① インフォメーション

各メモリーの情報は合計 4 本のキーに保存することができます。さらにキーを追加する場合は、最後に車両に登録されたキーのメモリー情報が適用されます。

オートメモリーの ON/OFF

オートメモリー機能はインストルメントパネルで作動/停止できます。

▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ロック ▶ オートメモリー

この機能が作動している場合、車両をロックしたときにパーソナル設定が自動的にキーに保存されます。

▶ 67 ページの「マルチファンクションステアリングホイールによるインストルメントパネルの操作」の章を参照してください。

車両ロック時の自動保存

- ✓ オートメモリー機能が作動している。
- ▶ 車両をロックします。
- ➔ 設定が既存のキーに保存されます。

どのような状況でオートメモリー機能を作動すると良いですか？


ドライバーが自分のキーを使用する場合にお勧めします。車両をロックしたときに最後に選択していた設定がキーに保存されます。ドライバーが変わる時に、各自のキーを使用してパーソナル設定を呼び出すことができます。

① インフォメーション

オートメモリー機能が作動している場合、キーに保存されている設定は、車両をロックするたびに上書きされます。

設定を手動でキーに保存する

運転席ドアのキー ボタンを操作することによって

1. 設定 ボタンを押してください。
 - ➔ ボタンのインジケーター ライトが点灯します。
2. キー ボタン  を 10 秒以内に押し続けてください。
 - ➔ 人間工学に基づく設定およびコンフォート設定（キーに特有の設定）が保存されます。保存されると確認音が鳴り、設定ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

キー ボタンを使用して設定をキーに保存するのは、いつが良いですか？

車両のロック/ロック解除時だけでなく、車両の停車中または運転中に一部の設定を保存したり呼び出したりしたい場合があります。

- ▶ オートメモリーを停止します。



そうしないと、車両のロック時に設定が上書きされます。

キーから設定を呼び出す


車両ロック解除による自動呼び出し

- ▶ 車両のロックを解除し、運転席ドアを開けてください。既存のキーの設定が呼び出されます。

運転席ドアのキー ボタンを操作することによって

- ✓ イグニッションを OFF にします。
- ✓ 運転席ドアが開いています。
- ▶ すべての設定が呼び出されるまでキー ボタンを押し続けてください。
-または-
キー ボタンを短く押してください。既存のキーの設定が呼び出されます。

キー ボタンに保存されている設定が、そこに保存した設定と一致しないのはなぜですか？

オートメモリー機能をマルチファンクションディスプレイで有効にした場合、人間工学に基づいた設定およびコンフォート設定は車両ロック時にキーに保存されます。このとき、キー ボタンに保存された設定が上書きされます。

メモリー ボタン 1、2 または 3 への設定の保存

人間工学に基づいた設定を運転席ドアのメモリー ボタン 1 と 2 に割り当てることができます。

助手席の設定は、助手席ドアのボタン 1、2 および 3 に個別に割り当てることができます。

- ✓ イグニッションを ON になっている。
- 1. 設定ボタンを押してください。
➡ ボタンのインジケーター ライトが点灯します。
- 2. それぞれのメモリー ボタン 1、2 または 3 を 10 秒以内に押してください。
➡ 設定が保存されます。
保存されると確認音が鳴り（運転席ドアのみ）、設定ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

メモリー ボタン 1、2 または 3 による設定の呼び出し

人間工学に基づいた設定を運転席ドアのメモリー ボタン 1 と 2 を使って呼び出すことができます。助手席の設定は、助手席ドアのボタン 1、2 および 3 を使って呼び出すことができます。

- ✓ イグニッションを OFF にします。
- ✓ 運転席ドアが開いています。
- ▶ それぞれのメモリー ボタン 1、2 または 3 を短く押してください。
-または-
すべての設定が呼び出されるまでそれぞれのメモリー ボタン 1、2 または 3 を押し続けてください。
➡ 設定が自動的に適用されます。

シートベルト

シートベルトの正しい使用方法

⚠ 危険

シートベルトを着用していない、または正しく使用していない

シートベルトを着用していないと、事故の際に保護効果を発揮できません。シートベルトを正しく着用していない場合、事故の際に負傷する危険が高まります。

- ▶ 安全のため、すべての乗員がシートベルトを着用するよう義務付けられています。
- ▶ **1本**のシートベルトを同時に2人で使うことは絶対に避けてください。
- ▶ だぶついた衣服やかさばる衣服(ジャケットなど)は、シートベルトを正しく装着できない上に動きが制限されるので、乗車時には脱ぐようにしてください。
- ▶ 硬い物や壊れやすい物(メガネ、ボールペン、携帯電話など)の上からシートベルトを締めないでください。衝突の際に怪我をする危険性が高くなります。
- ▶ シートベルトがねじれていないか、ゆるんでいないかを確認してください。
- ▶ また、運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員の方に理解してもらってください。
- ▶ すべてのお子様に適切なチャイルドシートを使用してください。
- ▶ 身体の上半身と腰が前方にスライドしないよう、シートベルトを身体の正しい位置に着用してください。シートベルトを正しい位置に着用しないと、事故の際に重傷を負う可能性があります。
- ▶ 肩のストラップは必ず上半身に当てる必要があります。肩のストラップは背中の後ろや腕の下にるように着用しないでください。

- ▶ 最大限の効果を得るため、腰のベルトが腰の低い位置に当たるように着用してください。
- ▶ 妊娠中の方の場合、シートベルトは骨盤の上のできるだけ低い位置に着用する必要があります。腹部の圧迫を避けるようにしてください。
- ▶ ベルトストラップの損傷を防ぐため、シートベルトが鋭利なものに擦れることがないようにしてください。

⚠ 危険

損傷したシートベルトを使用した場合

損傷したシートベルト、強い負荷のかかったシートベルト、または摩耗したシートベルトは、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

シートベルトプリテンショナーシステムは1回しか作動できません。作動した場合、早急に交換してください。

- ▶ すべてのシートベルトを定期的に点検し、ベルトの帯が損傷していないか、またシートベルトバックルと取り付け部が正常に機能することを確認してください。
- ▶ シートベルトは清潔に保つ必要があります。そうしないと、リトラクターローラーが正しく機能しない場合があります。
- ▶ シートベルトバックルは汚れないように保護し、清潔に保ってください。
- ▶ 損傷していたり、事故によって大きな負荷がかかったりしたシートベルト、および作動したシートベルトプリテンショナーシステムと挟み込み防止機能は、早急に交換してください。
- ▶ さらに、シートベルトのアンカー部分についても点検してください。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ シートベルトを使用しないときは、汚れや損傷を防ぐために完全にリトラクターに巻き取らせてください。
- ▶ 清掃後は、シートベルトが乾くまでリトラクターに巻き取らないでください。
- ▶ シートベルトを染めたり漂白したりしないでください。

シートベルトプリテンショナー

シートベルトプリテンショナーは、事故時の衝撃の大きさに応じて作動します。

シートベルトプリテンショナーの作動条件：

- 車両の前方および後方からの衝突時。
- 車両の側面からの衝突時。
- 車両が横転した場合。

ⓘ インフォメーション

シートベルトプリテンショナーが作動すると、煙が発生する場合があります。しかし、この煙は必ずしも車両火災の兆候ではありません。

シートベルトの着用と取り外し

シートベルトの着用

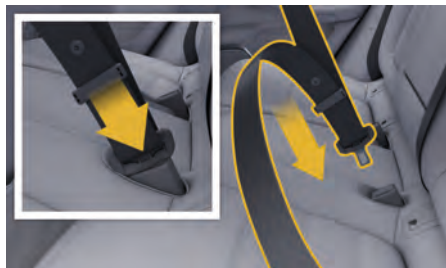


図. 77: シートベルトの着用

- 適切な位置に着座します。
▶ 74 ページの「シート」の章を参照してください。
- シートベルトが常に上半身に当たり肩の中央を横切るように、バックレストを調整します。
- シートベルトのバックルプレートをつかみ、ゆっくり連続した動きでベルトを引き出し、胸とひざに回します。
- シートベルトのバックルプレートを、シートの内側の適切なベルトバックルにカチッと音がするまで確実に差し込みます。
- シートベルトが引っかかったり、ねじれたり、鋭利な物に擦れたりしないように注意してください。
- 腰ベルトは必ず腰の低い位置（骨盤）にぴったりとかかっていることを確認してください。そのため、シートベルトを装着した後、肩ベルトを上へ引っ張ってください。**妊娠中の方**：腰ベルトをできる限り低い位置まで下げて骨盤部を横切るように調整し、腹部の圧迫を避けるようにしてください。

- 走行中は肩ベルトを定期的に引き上げ、腰ベルトがゆるまないようにしてください。

ⓘ インフォメーション

- シートベルトは、次のような場合に引っかかる場合があります。
- 車両が傾いています。
 - シートベルトが急激に引き出された場合。
 - 加速時または減速時、コーナリング時または登坂時。

シートベルトの取り外し

- シートベルトのバックルプレートを手で持ちます。
- シートベルトのバックルにある赤いボタンを押します。
- シートベルトのラッチをベルトアウトレットにガイドします。

シートベルトの調節



図. 78: ベルト高さの調節

フロントシートのベルトアウトレットは、高さ調節が可能です。

- ▶ シートベルトが首ではなく、肩の中央を横切るようにベルトアウトレットの高さを調節します。
 - 上げる - ベルトアウトレットを上方向に押しします。
 - 下げる - ロック A ボタンを押し、ベルトアウトレットを動かします。


シートベルト警告灯および警告メッセージの確認




図. 79: マルチファンクションディスプレイのシートベルトステータス表示

- A 左リヤシートのシートベルトステータス表示
- B 中央リヤシートのシートベルトステータス表示
- C 右リヤシートのシートベルトステータス表示
- D 警告シンボル：運転席または助手席のシートベルトが着用されていない


フロントシート


イグニッションを ON にした後、インストルメントパネルに赤色の警告シンボル  が点灯し、運転席側および助手席側（乗員が座っている場合）のシートベルトが着用されるまで点灯し続けます。



さらに、インストルメントパネルに警告シンボルが表示されます。

速度が約 24km/h を超えると、運転席側および助手席側（乗員が座っている場合）のシートベルトが着用されていない場合、インストルメントパネルに赤色の警告シンボル  が点滅し、警告音が鳴ります。

リヤシート

イグニッションを ON にした後、リヤシートのシートベルトステータス表示  (図. 79) がインストルメントパネルに約 60 秒間表示されます。

緑色のシンボルマーク  は、そのシートに座った人がシートベルトを着用していることを示します。

赤色のシンボルマーク  は、そのシートに座っている人がシートベルトを着用していないか、誰もそのシートに座っていないことを示します。運転中にリヤシートのシートベルトが外された場合は、警告音が鳴り、該当するシンボルマークが赤色で約 60 秒間点滅します。 

シート

正しいシート位置の選択

正しいシート位置は、安全で疲れにくい運転に重要な要素です。

運転席シート位置を個別に調節するには、以下の手順を実施してください。

1. 頭上の空間に十分余裕があり、周囲がよく見える高さにシートの高さを調節してください。
2. ペダルをいっぱい踏んだ時に足が伸び切らないように、かつ靴の裏がペダルの表面全体に接触するように、シートの前後位置を調節してください。
3. ステアリングホイールの上部を握ってください。バックレストの角度とステアリングホイールの位置は、肘が少し曲がる程度に調節してください。このとき、肩をバックレストに預けられる位置に調節してください。
4. 必要であればシートの前後位置を調節します。



警告

走行中のシート調節

走行中にシートを調節すると、シートが予期した以上に移動する恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

事故が起きた場合、首に怪我を負うリスクを最小限に抑えるため、ドライバーを含むすべての乗員のシートバックレストが正しい位置に調節されてから運転するようにしてください。

- ▶ 走行中にはシートを調節しないでください。
- ▶ シートバックレストの角度を調節し、ヘッドレストが垂直になるようにします。
- ▶ ドライバーおよび他の乗員は背筋を伸ばしてシートの中央に座るようにします。

電動シートの調節機能は走行中は制限されます。



注意

シート調節

シート位置を調節するときに、シートが動く範囲に人や動物がいると、身体の一部が圧迫されたり挟まれたりする危険があります。

- ▶ シートが動く範囲に人や動物がいないことを確認してからシート位置を調節してください。
- ▶ 物や人が邪魔になっているときはメモリーボタンを ON にしないでください。
- ▶ シート調整ボタンをどれか 1 つ押して、自動調整過程を終了します。

知識

ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーなどを損傷する恐れがあります。

- ▶ ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーとの間に十分なスペースを確保してからシート位置を調節してください。

ヘッドレスト



危険

取り外されたまたは未調節のヘッドレスト

ヘッドレストなし、ヘッドレストの調節が正しくない、またはヘッドレストが正しく取り付けられていない状態で走行すると、事故の際に重傷または死亡に至る可能性があります。

- ▶ ヘッドレストの上端が目線の位置になるように、ヘッドレストを調節してください。
- ▶ ヘッドレストを取り付けずに、またはヘッドレストを正しく調節せずに車両を走行させないでください。

車両には、合計5個のヘッドレストが装備されており、フロントおよびリヤシートのシートバックレストに取り付けられています（3リヤシート）。

フロントシートのヘッドレストは、高さの調整および前後への調整が可能です（シートの仕様に応じて）。リヤシートのヘッドレストの高さは調整可能です。

フロントシートの調節

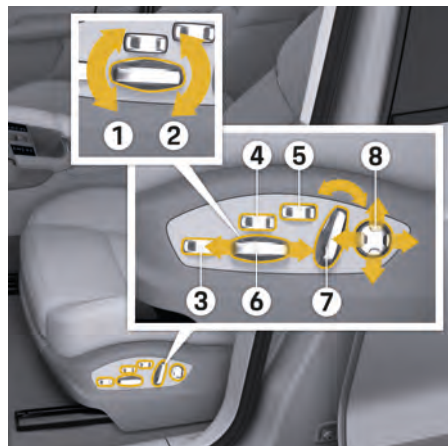


図 80: シートの電動調節

- 1 シートの角度調節
- 2 シート高さ調節
- 3 サイサポートの調節
- 4 シートクッションのサイドボルスターの調節
- 5 シート背もたれのサイドサポートの調節
- 6 シートの前後調節
- 7 バックレストの角度調節
- 8 ランバーサポートの調節

- ▶ 各スイッチを矢印の方向に押し、希望のシート位置、または停止位置まで調節してください。

シート設定の保存

シート設定の保存および呼び出しに関するインフォメーション:

- ▶ 68 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

リヤシートのバックレストを折りたたむ

リヤシートバックレストは、ラゲッジコンパートメントをより広く使用するため、個々に前方に倒すことができます。

知識

リヤシートの荷物により損傷する危険があります。

- ▶ バックレストを前方に倒す場合はシートに荷物を置かないでください。

① インフォメーション

左側と中央のリヤシートのバックレストは、つながっています。このため左側のバックレストを倒すと、中央のバックレストも一緒に倒れます。中央のバックレストは個別に前方に倒すことができます。

外側リヤシートのバックレストを前方に倒す



図 81: 外側リヤシートのバックレストを前方に倒す

4 ゾーンオートエアコン装備車両:

1. ヘッドレストを押し下げてください。
▶ 76 ページの「ヘッドレストの調整」の章を参照してください。
2. リリース A ボタンを引き上げながらバックレストを前方に倒してください。

中央のリヤシートバックレストを前方に倒す



図. 82: 中央のリヤシートバックレストを前方に倒す

- ▶ 解除レバー **A** を矢印の方向に操作しながらバックレストを前方に倒してください。

リヤシートバックレストを垂直位置に戻す



警告

シートバックレストが正しく固定されていない

リヤシートバックレストが正しく固定されていないと、走行中に意図せずに前に倒れてしまう場合があります。

赤いマーク **B** がまだ見える場合、シートバックレストは正しく固定されていません。

- ▶ シートバックレストを起こした後、赤いマーク **B** が見えなくなったことを確認してください。
- ▶ 必要に応じて、再度シートバックレストを倒してから、もう一度起こしてください。

- ▶ バックレストを接続音が聞こえるまで起こしてください。シートベルトを挟み込まないように注意してください。

ヘッドレストの調整

1. ヘッドレストの高さを、上端が目線より高くなる位置に調節してください。
2. ヘッドレストがしっかり固定されていることを確認してください。

フロントシートのヘッドレストの調節

フロントシートのヘッドレストは、高さと同後位置の調節が可能です。



図. 83: フロントシートのヘッドレストの高さと前後位置の調節

上昇

- ▶ **A** ボタンを押しながらご希望の設定になるまでヘッドレストを押し上げてください。

下げる

- ▶ **A** ボタンを押しながらご希望の設定になるまでヘッドレストを押し下げてください。

前方向

- ▶ ご希望の設定になるまでヘッドレストを前方向に引いてください。

- ▶ **A** ボタンを押しながらご希望の設定になるまでヘッドレストを後ろに押ししてください。

リヤシートのヘッドレストの調節

リヤシートのヘッドレストは、高さ調節が可能です。

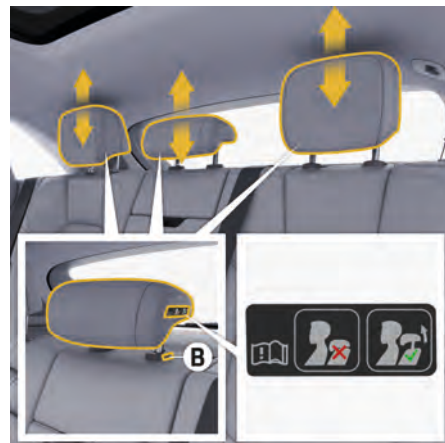


図. 84: フロントシートのヘッドレストの高さと前後位置の調節

上昇

- ▶ ご希望の設定になるまでヘッドレストを持ち上げてください。

下げる

- ▶ **B** ボタンを押しながらご希望の設定になるまでヘッドレストを押し下げてください。

後方視界を確保するために、中央のリヤシートのヘッドレストの位置を格納位置まで通常より下げることができます。

▲ 警告

リヤシート中央のヘッドレスト格納位置

ヘッドレストが正しく調節されていないと事故の際に負傷する恐れが高まります。

- ▶ 中央のリヤシートに乗員が座っている場合、ヘッドレストを格納位置から上部に動かし調節してください。

リヤシートのヘッドレストの取り外しと取り付け

チャイルドシートを正しく取り付けるために、リヤシートのヘッドレストを取り外さなければならない場合があります。

▶ 50ページの「チャイルドシート」の章を参照してください。

▲ 警告

リヤシートのヘッドレストが取り外されている、または正しく調節されていない

ヘッドレストが取り外されている、または正しく調節されていない場合、事故の際に負傷する恐れが高まります。

- ▶ リヤシートに乗員が座っている場合、ヘッドレストを取り付けてください。
- ▶ ヘッドレストの高さを、上端が目線より高くなる位置に調節してください。
- ▶ ヘッドレストが正しく固定されていることを確認してください。

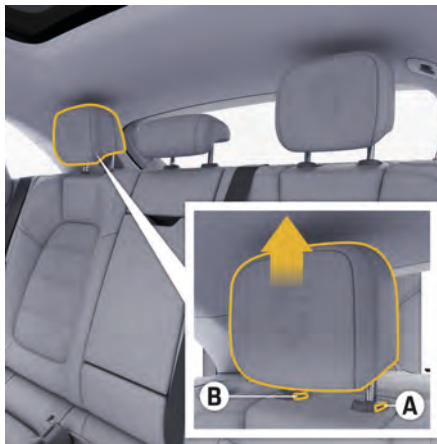


図 85: リヤシートのヘッドレストの取り外しと取り付け

取り外し

1. ヘッドレストをいっぱいに押し上げてください。
2. **A** ボタンと **B** を押しながら、**A** ボタンがかみ合ったままヘッドレストを持ち上げてください。
3. リヤシートバックレストを前方へおおよそ半分折りたたんでください。
4. ヘッドレストを取り外し、車内の安全な場所に収納してください。
5. 必要に応じてリヤシートのバックレストを起こして固定してください。

▲ 警告

ヘッドレストの取り違え

ヘッドレストは、それぞれのシートに合わせて特別に設計されています。ヘッドレストが再取り付け時に正しく装着されていないと事故の際に負傷する恐れが高まります。

- ▶ ヘッドレストが誤った位置に取り付けられていないか確認してください。

インストール

1. リヤシートバックレストを前方へおおよそ半分折りたたんでください。
2. ヘッドレストをガイドに挿入し、カチッと音がするまで押し下げてください。
3. **A** ボタンを押しながら、ヘッドレストを完全に押し下げてください。
この状態になるとヘッドレストを引いてもシートバックレストから外れません。
4. リヤシートのバックレストを起こして固定してください。

シートヒーター/シートベンチレーターの使用

シートヒーター/シートベンチレーターのON/OFF

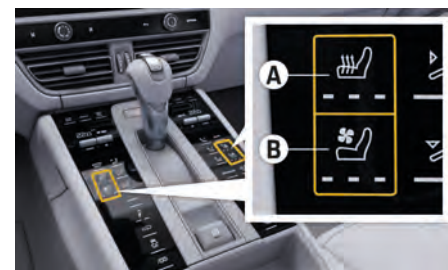


図 86: シートヒーター/シートベンチレーターをON/OFFにする

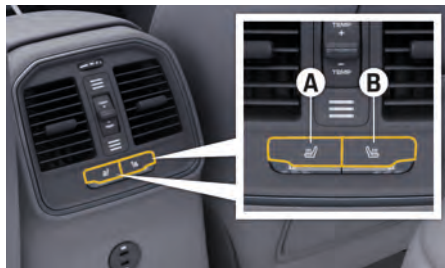


図 87: リヤシートヒーターを ON/OFF にする

シートヒーター/シートベンチレーターを ON にする

- ✓ エンジンが操作しています。
- ▶ 必要に応じて **A** ボタン (シートヒーター) または **B** ボタン (シートベンチレーター) を-繰り返し-押します。
 - ➔ 選択した設定に応じた数のインジケータライトが点灯します。

シートヒーター/シートベンチレーターを OFF にする

- ▶ インジケータライトがすべて消灯するまで、必要に応じて **A** ボタン (シートヒーター) または **B** ボタン (シートベンチレーター) を-繰り返し-押します。

i インフォメーション

車内の温度が高いときはシートヒーターを使用できません。

室内の温度が低いときは、シートベンチレーターを使用できません。

バッテリー電圧が低すぎると、シートヒーターおよびシートベンチレーターの操作が制限され、その後 OFF になります。

イージーエントリー機能の利用

イージーエントリー機能は、車両への乗り降りをしやすくするための装備です。

⚠ 注意

運転席シートの自動調節

運転席の後ろにいる人は、運転席が後ろに向かって自動的に調節された結果、座席に挟まれる可能性があります。

- ▶ 運転席の真後ろに乗員がいるときはイージーエントリー機能を OFF にしてください。

知識

リヤシートを前方に倒した状態で設定を呼び出すと、車両を損傷する恐れがあります。

シートが後退して破損する可能性があります。

- ▶ リヤシートが折りたたまれている場合は、イージーエントリー機能を OFF にしてください。

降車するとき

イージーエントリー機能は、インストルメントパネルで調節することができます。

機能を有効にする

▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ロック ▶ イージーエントリー

- ✓ 機能が作動していること
- ▶ イグニッションを OFF にし、さらに運転席ドアを開いてください。
 - ➔ ステアリングホイールが上に移動します。運転席が後ろに移動します。

乗車するとき

機能を有効にする

▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ロック ▶ イージーエントリー

- ✓ 機能は作動しています。
- ✓ 運転席とステアリングホイールは、イージーエントリーで設定した位置にあります。
- ▶ 運転席のドアを閉じて、イグニッションを ON にします。
 - ➔ 運転席とステアリングホイールは格納位置に移動します。

i インフォメーション

キーを交換した場合、シートおよびステアリングホイールはそのキーに保存された位置に移動します。

i インフォメーション

シート設定を手動で変更すると、イージーエントリー機能はキャンセルされます。

- ▶ ドライビングポジションを手動で調節してください。

リヤでの操作を無効にする-チャイルド プロテクション

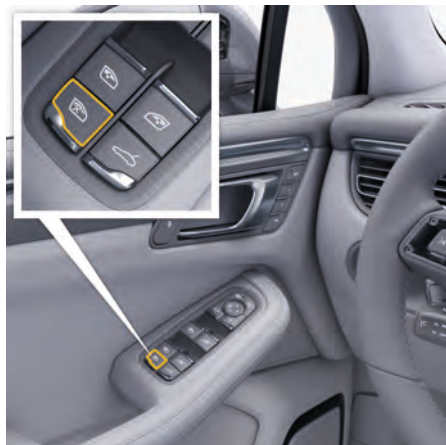


図. 88: リヤでの操作を無効にする

運転席ドア、コントロールパネルのセーフティ ボタンを押すとリヤドアのパワーウィンドウスイッチと、リヤセンターコンソールのコントロールパネルの機能が無効になります。

チャイルド プロテクションの ON/OFF を切り替える

- ▶ セーフティ ボタンを押します。
 - ➡ ボタンのインジケーターライトが点灯します。
 - リヤコントロールパネルで行われたシート設定は保持されます。
 - リヤコントロールパネルの機能が停止します。

サンバイザー サンバイザーの調節



図. 89: サンバイザーの調節

- ▶ サンバイザーを手で下げて、正面方向からの直射日光を遮ってください。



図. 90: 左右方向からの眩しい光を防ぐ

横から眩しい光が入る場合は次のことを行ってください。

1. 内側のブラケットからサンバイザーを外します。
2. サンバイザーを回転させ、ドアウィンドウ側にセットします。

▲ 注意

バニティー ミラーのカバーを開く

カバーを開いている状態で事故が起きた場合、ミラーが割れて車内にガラスの破片が散乱する恐れがあります。

- ▶ 走行中はスライド カバーを閉じてください。



図. 91: バニティー ミラーを開く

- ▶ サンバイザー内側にあるバニティー ミラーのスライドカバーを開きます。バニティー ミラーのライトが点灯します。

ミラー

ドアミラーの使用

▲ 警告

ドアミラーに周囲がゆがんで映るため、交通状況を正しく評価できないことがあります

凸面形ミラーでは、車両や物が小さく写るため、実際の距離よりも遠く感じられます。走行状況を正しく評価できず、事故につながる場合があります。

- ▶ 後続車との距離を判断するときや、後退して駐車するときなどは、歪みを念頭に置いてください。
- ▶ 距離の判断はルームミラーと併用して行ってください。

▲ 注意

電解液の流出

破損したミラーからは電解液が流出する可能性があります。この液体は皮膚や目の炎症を引き起こします。

- ▶ 電解液が皮膚や目にかかった場合、清潔な水で直ちに洗い流してください。
- ▶ 必要に応じて、医師の診察を受けてください。

知識

塗装、レザー、プラスチック、布を損傷する恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- ▶ 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

知識

洗車機で洗車を行う場合にドアミラーを損傷する恐れがあります。

- ▶ 洗車機を使用する前にドアミラーを格納してください。

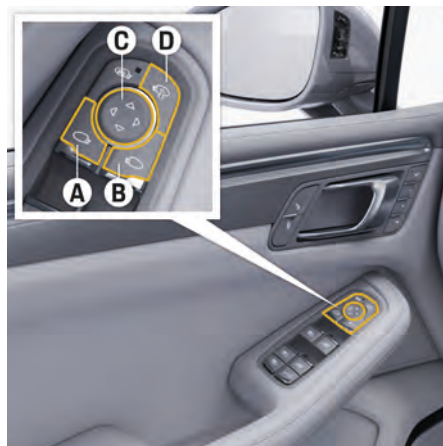


図. 92: ドアミラーコントロールパネル

- A ドアミラーの選択 – 運転席側
- B ドアミラーの選択 – 助手席側
- C ドアミラーの調節
- D ドアミラーの格納および復帰

ドアミラーの調節



図. 93: ドアミラーの調節

- ✓ イグニッションを ON になっている
– または –
イグニッションを OFF にして、運転席ドアまたは助手席ドアをまだ開けていない状態（最大 10 分以内）。
1. **A** ボタンまたは **B** を押して、操作するドアミラーを選択します。
▶ 選択したボタンのインジケーターライトが点灯します。
 2. **C** 調節ボタンを押して、ドアミラーの角度を正しい位置に調節します。

電動機能が故障した場合

- ▶ ミラーの表面を押してミラーを調節します。

ドアミラーの格納および復帰

車内からのドアミラーの格納および復帰

- ✓ 速度が約 50 km/h 以下のとき。
- ▶ **D** ボタンを押してください。
 - ➡ ドアミラーが格納または復帰します。
- ▶ 手でドアミラーの格納や復帰をしないでください。

ドアミラーの自動格納および復帰

ロック時のドアミラーの格納

- ▶ キーのボタンを少なくとも 2 秒間押し続けるか、運転席ドアハンドルの近接センサー（装備による）に少なくとも 2 秒間触れ続けてください。
 - ➡ ドアミラーが格納されます。

ドアミラーの自動格納

- ✓ 機能が有効になりました。
- ✓ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。
- ▶ 車両をロックします。
 - ➡ ドアミラーが格納されます。

ドアミラーの自動復帰

- 機能が有効になりました。
- ▶ イグニッションを ON にします。
 - ➡ ドアミラーが自動的に復帰します。

i インフォメーション

手動でドアミラーを格納した場合はドアロックを解除した後、自動的に元の位置には復帰しません。

自動防眩機能の使用

ドアミラーの自動防眩機能の ON/OFF

ルームミラーの自動防眩機能の切り替えに合わせて、ドアミラーの防眩機能が作動します。

- 81 ページの「ルームミラーの自動減光機能の ON/OFF」の章を参照してください。

ルームミラーの手動防眩



図 94: ルームミラーの手動防眩

ミラーを調節するときは、防眩機能のレバー **A** を車内側に向けてください。

- ▶ 通常位置 — レバーを車内側に向けます。
- ▶ 防眩位置 — レバーをフロントウィンドウ側に向けます。

ルームミラーの自動減光機能の ON/OFF

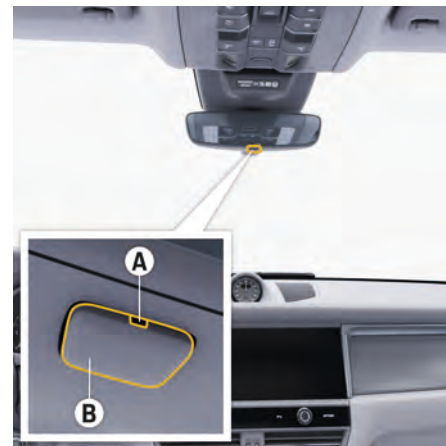


図 95: ルームミラーの自動減光機能

自動減光機能を ON にする

- ▶ **B** ボタンを押してください。
 - ➡ インジケーターライト **A** が点灯します。

光の強さに応じて防眩機能が自動的に作動し、ルームミラーが暗くなったり、明るくなったりします。

i インフォメーション

リバースギヤに入れた場合、またはインテリアライトが点灯している場合は、ルームミラーの自動防眩機能は作動しません。

自動減光機能の停止

- ▶ **B** ボタンを押してください。
 - ➡ インジケーターライト **A** が消灯します。

▲ 注意

電解液の流出

破損したミラーからは電解液が流出する可能性があります。この液体は皮膚や目の炎症を引き起こします。

- ▶ 電解液が皮膚や目にかかった場合、清潔な水で直ちに洗い流してください。
- ▶ 必要に応じて、医師の診察を受けてください。

知識

塗装、レザー、プラスチック、布を損傷する恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- ▶ 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

ドアミラー設定の保存

ドアミラー設定の保存と呼び出しに関する情報：

- ▶ 68 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

駐車時の助手席ドアミラー下向き自動切り替え

メモリーパッケージ装備車両においては、ギヤをリバース（後退）に入れると助手席側のミラーが少し下向きになり、縁石を視認しやすくなります。

ドアミラーを自動で下向きにする

- ✓ イグニッションを ON になっている。
- ✓ 機能が有効になりました。

- ▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。

手動でのミラーガラスの下向き切り替え

1. ギヤをリバース（後退）に入れます。
 - ➡ 運転席ドアミラーを調節するための **A** ボタンのインジケーターライトが点灯します。
2. 助手席側ドアミラーを調節するには **B** ボタンを押してください。
 - ➡ 助手席のドアミラーが下向きになります。

ドアミラーの下向き角度の個別調整

- ▶ **C** ボタンを押して、ドアミラーの角度を希望の位置に調節してください。

ミラーガラスを通常位置に戻す

車両速度が 15 km/h 以上に達すると、ミラーガラスが通常的位置に戻ります。

手動操作で助手席のドアミラーを通常位置に戻す

- ▶ 運転席側ドアミラーの **A** ボタンを押してください。

運転 / ドライバーアシスタンス アダプティブクルーズコントロール (ACC)

一般的な安全に関する指示

アダプティブクルーズコントロール (ACC) は国別仕様に応じて使用可能です。

▲ 警告 集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。システムが作動している場合でも、ドライバーは安全な車間距離を保ち、適切な速度で走行するなどして安全運転に努めてください。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ システムによる減速が不十分な場合には、フットブレーキを使用して直ちに車両を減速させます。
- ▶ 常に車両がコントロールできるか確認してください。

▲ 警告 危険な交通状況や路面状態が悪い状況

現在の交通状況では前走車との安全な距離を保って走行できない場合や一定の車速で走行できない場合、アダプティブクルーズコントロールを使用すると事故を起こす危険があります。

- ▶ 激しい渋滞、道路工事区間、市街地、カーブの多い道、路面状態が悪い場合 (冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面) などでアダプティブクルーズコントロールを使用しないでください。

▲ 警告 検出されない車両または物体

レーダーセンサーは、車両の前方の狭い円錐形の領域をカバーします。そのため、場合によっては、車両または物体がタイミングよく検出できなかったり、全く検出できないこともあります。

- ▶ 必要に応じて適切な運転をし、ブレーキをかけてください。
- ▶ 細心の注意を払って運転し、交通状況と車両の周囲に常に注意を払ってください。

以下の状況では、検出が遅くなるか、検出できない場合があります。

- 車線変更、または割り込みをする車両の場合
- 投影面積が小さな車両、または幅の狭い車両の場合
- コーナーへの進入および脱出時
- 停車中の車両の場合
- オーバーハングの長い車両の場合
- 歩行者、自転車、動物の場合
- 道路上に障害物がある場合
- 対向車および交差車両の場合

システム制限

アダプティブクルーズコントロール (ACC) を使用すると、前走車のいない道路を走行する場合に、約 30~210km/h の範囲でアクセルペダルを踏まなくても希望する速度を維持したまま走行できます。

設定した速度よりも遅い車両を同一車線上に検出すると、アダプティブクルーズコントロールは既定の車間距離を自動的に維持します。アダプティブクルーズコントロールは、前走車との車間距離が短くなると自車にブレーキをかけ、車間距離が長くなると自車を加速します。

警告メッセージ



図.96. マルチファンクションディスプレイの警告メッセージ

▲ 警告 システムによる自動ブレーキ中の制動力不足

この場合、アダプティブクルーズコントロールシステムのブレーキ制動力では衝突を回避するのに不十分です。

- ▶ 直ちにブレーキをかけてください。

制御モード (ACC 作動中) でのドライバーへの運転操作の要求

アダプティブクルーズコントロールが作動しているときに、ドライバーのブレーキ操作が必要であると判断された場合は警告音が鳴り、マルチファンクションディスプレイの警告メッセージが表示されます。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) の例外

次のような状況では、アダプティブクルーズコントロールは利用できません：

- イグニッション OFF
- PSM OFF
- 運転席ドアが開き、運転席シートベルトを着用していないとき
- 駐車時や操舵時など、ステアリングホイールをいっぱいに切ったとき
- 電動パーキングブレーキ作動中
- 操作モードが **N**、**R** および **P** のとき
- 上り坂や下り坂の傾斜が 20% 以上のとき
- ポルシェヒルコントロール (PHC) 付き (またはスタンバイ状態)

アダプティブクルーズコントロール ON 時に、上記のいずれかの例外状況があてはまる場合、アダプティブクルーズコントロールは OFF になります。

マルチファンクションディスプレイに該当するメッセージが表示されます。

レーダーセンサーが前走車を正常に検出できない状況

アダプティブクルーズコントロールのレーダーセンサーは、車両の前方の狭い円錐形の領域を検出します。このため周囲の道路状況や、前走車の大きさによっては、レーダーセンサーが前走車を検知できない、または検知が遅れる場合があります。その結果、アダプティブクルーズコントロールの制動が遅れたり、ブレーキが突然かかることがあります。

停止中の車両は検出されません。アダプティブクルーズコントロールは停止中の車両に反応できません。

- ▶ 十分に注意して運転してください。
- ▶ 必要に応じて減速してください。

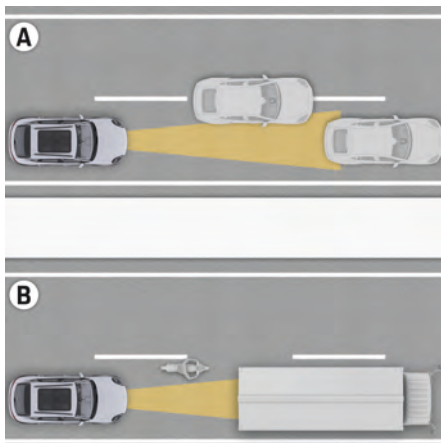


図. 97: 前方への割り込み、幅の狭い車両

A - 前走車の車線変更 / 前方への割り込み

他の車両が自車の車線に割り込んだときや離れる場合、自車と同一車線に完全に移動するまでその車両は検出されません。

B - 投影面積が小さな車両、または幅の狭い車両

小さな車両や幅の狭い車両は検出できないか、または検出のタイミングが遅れます。

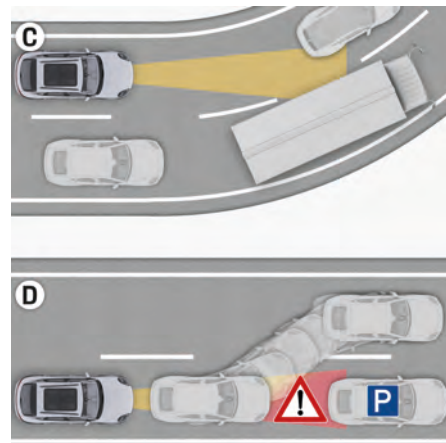


図. 98: コーニングおよび停止中の車両

C - コーナーへの進入および脱出時

コーナーにさしかかったときやコーナーから出るときは、前走車を検出できなかったり、検出するタイミングがかなり遅くなったりする場合があります。また、システムが隣の車線を走行する車両に反応する場合もあります。

D - 停止中の車両

レーダーセンサーの監視エリアに突然停車中の車両が現れたとき (前走車が車線変更したときなど) は、アダプティブクルーズコントロールによってその車両は検出されません。

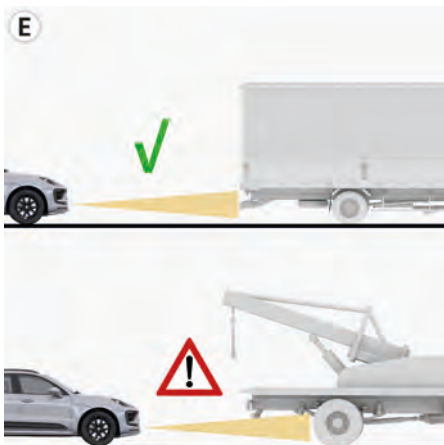


図. 99: オーバーハングの長い車両

E- オーバーハングの長い車両

木材運搬トラックなどの車両後端部は正しく検出できません。



警告

前走車の後部が正しく検出されない

前走車のオーバーハングが長い場合、アダプティブクルーズコントロール (ACC) のレーダーセンサーはその車両の後端を検出できない、または距離を正しく検出することができません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 必要に応じて減速してください。

レーダー センサー



警告

レーダー センサーの視界の妨げ

雨水、雪、氷、多量の水しぶきなどでレーダーセンサーの機能が阻害される場合があります。前走車両を正しく検出できないことや、全く検出できなくなることがあります。

- ▶ 上記のような状況下ではアダプティブクルーズコントロールを使用しないでください。

アダプティブクルーズコントロールは、フロントバンパーの中央のレーダー センサーを使用します。



図. 100: レーダー センサーの取り付け位置



インフォメーション

- ▶ システムの正常な機能を維持するために、レーダーセンサーに付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。

車両のお手入れについて：

- ▶ 228 ページの「車両のお手入れ」の章を参照してください。

例外的な状況

レーダー センサーの汚れが激しい場合や氷などで覆われているとき、豪雨など悪天候のとき、トンネルを通過中などに、アダプティブクルーズコントロールが自動的に解除されることがあります。マルチファンクションディスプレイに ACC が使用できないことを示す通知が表示されます。

▶ 157 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) の作動原理

前方に車両がないとき - 一般道路での運転

アダプティブクルーズコントロールは車両の速度を調節します。設定された希望の速度が常に維持されます。

前走車両の検出 - フォロアアップ

設定した速度よりも遅い車両を同一車線上に検出すると、アダプティブクルーズコントロールは既定の車間距離を自動的に維持します。前走車両が停止すると、アダプティブクルーズコントロールの制御範囲内で減速して停車します。アダプティブクルーズコントロールは前走車が発進するまで停車状態を維持します。前走車が発進すると、自動車速制御および自動車間距離制御を再開することができます。

追い越し加速

アクセルペダルを踏むことにより、いつでも速度することができます。設定速度よりも高速で走行すると、アダプティブクルーズコントロール (ACC) が解除されます。

マルチファンクションディスプレイに ACC がパッシブであることを示す通知が表示されます。設定された希望の速度は保存されています。

アクセルペダルを放すと、ACC は、目標速度まで車速を調整し、追跡モードで車間距離を制御します。

ACC の操作状態に関するインフォメーション：

▶ 86 ページの「アダプティブクルーズコントロール (ACC) の ON 時の作動モード」の章を参照してください。

表示部と制御部

各操作部

アダプティブクルーズコントロールは、ステアリングホイール左下にあるレバーで操作してください。



図 101: アダプティブクルーズコントロール (ACC) レバー

- R ACC の ON/OFF
- 1 設定速度の設定/加速
- 2 目標速度の引き下げ
- 3 中断 (OFF)
- 4 再開 (RESUME)

ⓘ インフォメーション

ブレーキまたはアクセルペダルを踏むことにより、いつでも手動で介入することができます。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) の表示

アダプティブクルーズコントロールに関するすべての重要な情報、メッセージおよび警告はマルチファンクションディスプレイの ACC メインメニューに表示されます。



図 102: マルチファンクションディスプレイの ACC

- A 前走車との目標車間距離
- B ステータス表示と目標速度
- C 前走車の検知
- D 先行車両からの現在の距離
- E 先行車両の現在の速度
- F 速度制御範囲のバー表示 (0~210km/h)
- G 現在の速度

アダプティブクルーズコントロール (ACC) を ON にすると、マルチファンクションディスプレイ左下にステータスディスプレイ **B** (図 102) が表示されます。

アダプティブクルーズコントロールが作動すると、ステータスディスプレイ **B** が橙色に変わります。アダプティブクルーズコントロールの作動を中断すると、ステータスディスプレイ **B** が灰色になります。

ⓘ アダプティブクルーズコントロールを ON にすると、クルーズコントロールのシンボルマークが表示されます。ただし設定速度を設定するまでは、速度表示が空欄になります。

ⓘ PID 120 設定速度を設定した後、前走車を検出していないときは、クルーズコントロールのシンボルマークと設定速度が表示されます。

ⓘ 120 設定速度を設定した後で前走車を検出した場合、車両のシンボルマークと設定速度が表示されます。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) の ON 時の作動モード

アダプティブクルーズコントロール ON 時には、3 種類の作動モードがあります。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) が作動中

アダプティブクルーズコントロールが自動的に速度および前走車との車間距離を制御します。ステータスディスプレイ **B** が橙色になります。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) がスタンバイ状態

ブレーキペダルを踏んだときや、クルーズコントロール操作レバーを下方 (3 の位置、OFF) に押ししたときは、アダプティブクルーズコントロール (自動車速制御および自動車間距離制御) が解除されます。

保存されている目標速度および選択された目標車間距離は保持されます。ステータスディスプレイ **B** が灰色になります。

アダプティブクルーズコントロール (自動車速制御および自動車間距離制御) の再開に関するインフォメーション:

▶ 87 ページの「ACC の操作」の章を参照してください。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) は停止中

アクセルペダルを踏むと、クルーズコントロールおよび車間距離制御は停止します。マルチファンクションディスプレイに ACC が停止中であることを示す通知が表示されます。保存されている目標速度および選択された目標車間距離は保持されます。

ステータスディスプレイ **B** が灰色になります。アクセルペダルから足を放すと、アダプティブクルーズコントロールは再び作動します。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) の ON/OFF

アダプティブクルーズコントロール (ACC) を ON にする

- ▶ レバーの **R** ボタンを押してください。
 - ➡ マルチファンクションディスプレイに灰色のシンボルマークが表示されます。アダプティブクルーズコントロールがスタンバイ状態です。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) を OFF にする

- ▶ レバーの **R** ボタンを押してください。
 - ➡ マルチファンクションディスプレイに ACC が停止中であることを示すメッセージが表示されます。目標速度設定は削除されました。設定車間距離が初期値 (デフォルト値) にリセットされます。

ACC の操作

目標速度の設定および変更

- ✓ アダプティブクルーズコントロールが ON になっています。
- ✓ 車両が動いています。
- ✓ 前方に静止した物体を検出していません。

目標速度の設定

1. ステアリングホイールのレバーを前方 (位置 **1**) に押します。
 - ➡ 現在の速度が目標速度として保存され、自動的に維持されます (約 30~210km/h の制御範囲内)。ステータスディスプレイ **B** に緑色で表示されます。速度制御範囲のバーグラフの下部に表示されている赤色の **▲** マーク **G** が、現在の速度を示しています。
2. アクセルペダルから足を放してください。
 - ➡ 目標速度は、より低速の車両が前方で検出されない限り自動的に維持されます。

i インフォメーション

停止中にレバーを前方 (**1** の位置) に押すと、マルチファンクションディスプレイに「停車中 ACC 不可」のメッセージが表示されます。

前方に静止した物体を検出すると、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

目標速度の引き上げ/引き下げ

目標速度の引き上げ

- ▶ ステアリングホイールのレバーを前方 (**1** の位置) に短く押してください。
 - ➡ 速度が 1km/h 単位で上がります。
- または -
- ▶ ステアリングホイールのレバーを前方に押し、押し続けてください (**1** の位置)。
 - ➡ 速度が 10km/h 単位で上がります。ステータスディスプレイ **B** に新しい設定速度が表示されます。速度制御範囲のバーグラフの下部に表示されている赤色の **▲** マーク **G** が、現在の速度を示しています。

目標速度の引き下げ

- ▶ ステアリングホイールのレバーを、ステアリングホイール (**2** の位置) に向かって軽く引いてください。
 - ➡ 速度が 1km/h 単位で下がります。
- または -
- ▶ ステアリングホイールのレバーを、ステアリングホイール (**2** の位置) に向かって引き、引き続けてください。
 - ➡ 速度が 10km/h 単位で下がります。ステータスディスプレイ **B** に新しい設定速度が表示されます。速度制御範囲のバーグラフの下部に表示されている赤色の **▲** マーク **G** が、現在の速度を示しています。

車間距離の設定

前走車との車間距離は 5 段階に設定できます。



図. 103: 車間距離の設定

① インフォメーション

車間距離を設定すると、マルチファンクションディスプレイに「ACC」(アダプティブクルーズコントロール)のメインメニューが一時的に表示されます。

システムディスプレイが作動していない場合、初めてロッカースイッチ **Z** を押すと、目標距離が変更されず、ACC のメインメニューが表示されます。

① インフォメーション

実際の車間距離は速度に応じて変化します。車両が減速すると車間距離は短くなり、加速すると長くなります。

車間距離を長くする

- ▶ ロッカー スイッチ **Z** を上方向に押します。
 - ➔ 目標車間距離を示す橙色のセグメント **A** の数が増えます。

車間距離を短くする

- ▶ ロッカー スイッチ **Z** を下方向に押します。
 - ➔ 前走車との目標車間距離を示す橙色のセグメント **A** の数が減ります。

前走車との車間距離を表示する

前走車を検出すると、インストルメントパネルまたはステータス表示 **B** に車両のシンボルマーク **C** が表示されます。

灰色のゾーン **D** は、前走車との現在の車間距離を示します。



流れに乗った高速走行に適しています。前走車との間隔は 1 秒です。この場合、120km/h のときに約 33m の車間距離になります。



少し余裕のあるドライビングに適した車間距離です。前走車との間隔は 1.3 秒です。この場合、120km/h のときに約 43m の車間距離になります。



初期設定値

道路運行上の安全基準(「前走車との間隔が 2 秒」)に即した車間距離です。前走車との間隔は 1.8 秒です。この場合、120km/h のときに約 60m の車間距離になります。



郊外路を走行するときに適しています。前走車との間隔は 2.3 秒です。この場合、120km/h のときに約 77m の車間距離になります。

自動ブレーキによる停車

アダプティブクルーズコントロールが作動しているときに前走車が停止すると、車両はシステムの制限内で減速して停車します。

インストルメントパネルのインジケーターライト **HOLD** が点灯します。車両は、自動的に停止状態を保ちます。

HOLD 機能に関するインフォメーション:

- ▶ 108 ページの「HOLD 機能」の章を参照してください。

① インフォメーション

周囲の交通の状況によっては(たとえば、ゆっくりとした交通の流れの中では)、車両はゆっくりと徐行してから停車します。

① インフォメーション

アダプティブクルーズコントロールが正常に機能している場合や、HOLD 機能が作動したときは、ブレーキペダルの感触が変化したり、油圧作動音が聞こえたりすることがあります。

これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

再発進

⚠ 警告

障害物がある場合の発進

渋滞走行時に、自分自身の車両と前走車との間に障害物がある場合でも、車両が再発進する可能性があります。その結果、衝突するおそれがあります。

- ▶ この場合はすぐにブレーキをかけてください。

アダプティブクルーズコントロールの作動モードに応じて、停車後に再発進し、自動車速制御と自動車間距離制御を再開することができます。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) が作動中

- ▶ ステアリングホイールのレバーを上方(4 の位置、再開)に押しします。
 - または-
 - アクセルペダルを短く踏んでください。
 - ➔ 車両が自動的に走行を再開します。
- 渋滞の場合、数秒以内に再自動発進します。

① インフォメーション

状況に応じて、アダプティブクルーズコントロールは渋滞の場合の再自動発進をサポートします。これは、低速走行する交通状況での快適な制御を可能にします。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) がスタンバイ状態

車両が動いているときのみ、自動車速制御および自動車間距離制御を再開することができます。

1. 通常の運転操作で発進してください。
2. ステアリングホイールのレバーを上方 (4) の位置、再開) に押します。
 - ➡ 速度を設定する、または設定速度を変更してください。

アダプティブクルーズコントロール (自動車速制御および自動車間距離制御) の中断と再開

アダプティブクルーズコントロール (自動車速制御および自動車間距離制御) の中断 - オフ

- ▶ ブレーキペダルを踏んでください。
 - または -
 - ステアリングホイールのレバーを下方 (3) の位置、オフ) に押します。
 - ➡ アダプティブクルーズコントロールの制御が中断されます。

保存されている目標速度および目標車間距離は保持されます。

ステータスディスプレイ B がオレンジ色から灰色になります。

クルーズコントロールと車間距離制御の再開 - 再開 E

- ▶ ステアリングホイールのレバーを上方 (4) の位置、再開) に押します。
 - ➡ 自車よりも遅い速度の前走車を検出し、あらかじめ設定した車間距離よりも接近するまでは、車両は設定速度まで加速します。

ステータスディスプレイ B が灰色からオレンジ色になります。

 - または -
 - ステアリングホイールのレバーを上方 (4) の位置、再開) に押します。
 - ➡ 通常よりもスポーティーなドライビングスタイルで保存された目標速度まで加速します。

① インフォメーション

コントロールレバーを 3 の位置 (CANCEL) にして速度および車間距離の制御を中断していた場合、前方に静止した物体を検出していない状態でのみ制御を再開できます。

オートスタート/ストップ機能 オートスタート/ストップ機能

例えば信号待ちや渋滞などで停車した場合、エンジンを自動で停止するためのすべての条件が満たされると、オートスタート/ストップ機能が作動してエンジンが自動停止します。車両が徐行中に停車した場合も、エンジンが自動的に停止することがあります。これにより燃料の消費を節減します。

エンジンが自動停止した後もイグニッションが ON の状態が維持され、すべての安全機能が作動可能な状態になっています。

エンジンを自動停止するための条件

- ✓ オートスタート/ストップ機能が ON になっている。
- ✓ ボンネットが閉じている。
- ✓ ブレーキペダルが踏み込まれている。
- ✓ 作動モード D、M、N、または P。
- ✓ エンジン、トランスミッション、エアコンが作動温度に達している。
- ✓ エンジンが最後に自動停止して以降、車両を徐行運転した事。
- ✓ 運転席ドアが閉じていて、運転席シートベルトを着用している (6 シリンダーエンジン装備車両ではこの条件は不要)。

エンジンの自動停止および自動始動

自動停止

1. ブレーキペダルを踏んで車両にブレーキをかけてください。
2. フットブレーキを踏み続けてください。
- または -
停止状態で、操作モード **P** または **N** を入力します。

i インフォメーション

停車中にブレーキペダルをいっぱいまで踏み込むと、ホールド機能が作動します。この機能は、ブレーキペダルを踏まなくても車両を停止した状態に維持します。

エンジンはアクセルペダルを踏んだとき、またはエンジンを始動する必要が生じたときに自動的に始動します。

i インフォメーション

アダプティブクルーズコントロール (ACC) が ON で前走車が停車した場合、車両は走行を停止し、エンジンが自動的に停止します。

車両はホールド機能によって停止状態に維持されます。

エンジン始動

- ✓ 作動モード **D**、**M**、**N**、または **P**。
- ▶ フットブレーキを放してください (作動モードが **P** または **N** にない場合)。
- または -
アクセルペダルを操作します。
- または -
ステアリングホイールを動かします。
- または -
作動モード **R** を選択してください。

エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

i インフォメーション

エアコンで車内を快適にするためなど特定の条件下で、エンジンが自動的に始動する場合があります。場合によっては、ドライバーにブレーキペダルを踏むよう指示するメッセージがインストルメントパネルに表示されます。

i インフォメーション

アダプティブクルーズコントロール (ACC) の作動中は、前走車が発進するとエンジンが自動的に始動します。

降車時の作動

- ✓ 作動モード **D**、**M** または **N**。
- ✓ エンジンが自動停止している。

6 シリンダー エンジン 装備車:

ドライバーが運転席ドアから降車した場合 (運転席ドアが開いて、ブレーキペダルが踏まれていない状態)、エンジンが自動的に始動し、オートスタート/ストップ機能が作動中であることを知らせます。作動モードが **D**、**M** および **R** にあり、ドアが開いた場合、エレクトリックパーキングブレーキが自動的にかかります。

4 シリンダー エンジン 装備車:

ドライバーが運転席ドアから降車した場合 (運転席ドアが開いている、または運転席のシートベルトが外れている状態)、エンジンは**自動始動しません**。ブレーキペダルが踏まれていない場合、エンジンを手動で始動することを促すメッセージが、インストルメントパネルに表示されます。

作動モードが **D**、**M** および **R** にあり、ドアが開いた場合、エレクトリックパーキングブレーキが自動的にかかります。

降車時の作動

- ✓ 作動モード **P**。
- ✓ エンジンが自動停止している。

6 シリンダー エンジン 装備車:

ドライバーが運転席ドアから降車した場合 (運転席ドアが開いて、ブレーキペダルが踏まれていない状態)、オートスタート/ストップ機能は停止し、エンジンは**自動始動しません**。

車両を離れてから 30 秒以内に運転席ドアを閉めてブレーキペダルを踏み込めば、オートスタート/ストップ機能が再作動します。

そうではない場合、車両は**手動**で始動する必要があります。エンジンを手動で始動することを促すメッセージが、インストルメントパネルに表示されます。

4 シリンダー エンジン 装備車:

ドライバーが運転席ドアから降車した場合 (運転席ドアが開いて、運転席シートベルトが外れている状態)、オートスタート/ストップ機能は停止し、エンジンは**自動始動しません**。降車後 30 秒以内に以下の条件が満たされた場合、オートスタート/ストップ機能が再作動します。

- ✓ 運転席ドアが閉じられている。
- ✓ ブレーキペダルが踏まれている。
- ✓ 運転席シートベルトが着用されている。

上記の条件のいずれかが満たされなかった場合、エンジンを**手動**で始動する必要があります。エンジンを手動で始動することを促すメッセージが、インストルメントパネルに表示されます。

オートスタート/ストップ機能の例外

例えば次のような状況では、オートスタート/ストップ機能は使用できません：

- エアコン機能の「最大冷房出力」が有効な場合
- 「フロント ウィンドウ デフロスター」機能が有効。
- スポーツ/スポーツプラス モードが作動中。
- PSM が OFF のとき、または PSM がスポーツ モードのとき
- クリーピング時
- オフロード モードが ON になっているとき
- ポルシェ ヒルコントロール (PHC) 作動
- 標高が高いとき
- 車高を調整しているとき
- トレーラーが検出されている場合 (バイク ラックまたはトレーラー コネクタが差し込まれている)。他のメーカーのトレーラー ヒッチが車両に取り付けられている場合は、オートスタート/ストップ機能を手動で停止する必要があります。

次のような状況では、オートスタート/ストップ機能が制限されます。例：

- エアコンやヒーターを高負荷で作動させているとき
- バッテリーの充電状態が低いとき
- 上り坂や下り坂で停車したとき
- オート エンジン診断機能など車両が内部点検を実行している場合
- 外気温度やバッテリー温度が非常に低いまたは高いとき

i インフォメーション

エンジンが自動停止した後、上記のいずれかの条件が満たされると、エンジンが自動的に再始動します。

オートスタート/ストップ機能および惰性走行モードの ON/OFF の切り替え



図. 104: オートスタート/ストップボタン

OFF にする

- ▶ **A** ボタンを押してください。
 - ➔ ボタンのインジケーター ライトが点灯します。
 エンジンのオートストップは停止し、惰性走行モードも OFF になります。

ON にする

- ▶ **A** ボタンを押してください。
 - ➔ ボタンのインジケーター ライトが消灯します。
 車両が停止した時にエンジンは自動的に停止し、惰性走行モードが ON になります。

オートスタート/ストップ機能の表示



自動停止および再始動の準備

オートスタート/ストップ機能でエンジンが自動停止し、自動始動が利用できる場合、インストルメントパネルのインジケーター ライトが緑色に点灯します。



自動停止または再始動の準備ができていない自動停止が利用できない、またはエンジンが自動停止した後に再始動できない場合は、停車中にインストルメントパネルのインジケーター ライトが黄色に点灯します。

オートスタート/ストップシステムは、次の状態を検出します：

- エンジン自動停止の前提条件が 1 つ以上満たされていない。
 - または -
 - オートスタート/ストップ機能の例外条件が 1 つ以上満たされている。
- ▶ 89 ページの「エンジンを自動停止するための条件」の章を参照してください。
- ▶ 91 ページの「オートスタート/ストップ機能および惰性走行モードの ON/OFF の切り替え」の章を参照してください。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 157 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ボルシェヒルコントロール (PHC)



警告

ブレーキ効果の低下

通常のブレーキと同様にブレーキ性能はすべりやすい路面状況（凍結路やぬかるみなど）では制限され、事故につながる場合があります。

- ▶ 常に走行状況に応じた適切な運転を心がけてください。

ボルシェヒルコントロール (PHC) は、（急な坂道、冬場の山道など）下り坂を前進または後退でゆっくり走行する際にドライバーを支援するアシスタンスシステムです。システムは4つのホイールすべてにブレーキをかけて、速度を制限します。ABSは作動を継続し、ホイールのロックを防ぎます。

ボルシェヒルコントロール (PHC) の使用

ボルシェヒルコントロールは以下の条件が満たされた場合にのみ使用することができます。

- ✓ ボルシェヒルコントロール (PHC) が ON になっています。
- ✓ 車両が約 3km/h 以上、約 30km/h 以下の速度で走行しています。
- ✓ 坂道の勾配率は約 12%以上でなければなりません。
- ✓ ブレーキおよびアクセルペダルが踏まれていない。



図. 105: ボルシェヒルコントロールボタン

- ▶ ボタンを押してください。
- ➡ ボタンのインジケータライトが点灯します。

以下のシンボルマークのいずれか1つがマルチファンクションディスプレイに表示されます。



PHC スタンバイ
PHC スタンバイ

灰色の PHC シンボルマークはスタンバイを示しています。



PHC コントロール作動
PHC コントロールが作動中 / 目標速度

設定速度は白色の PHC シンボルマークの下にオレンジ色で表示されます。



インフォメーション

坂道の勾配率が約 6%未満の場合、作動状態のシステムはもう一度作動スタンバイ状態になります。

PHC を OFF にする

- ▶ ボタンを再度押します。
- ➡ ボタンのインジケータライトが消灯します。

速度の変更

- ✓ PHC が ON になっています。
- ▶ ブレーキまたはアクセルペダルを踏んでください。
 - または —
 - クルーズコントロールまたはアダプティブクルーズコントロールが ON のときに、クルーズコントロールまたはアダプティブクルーズコントロールレバーを作動します。

ブレーキペダルまたはアクセルペダルから足を離れた後、または設定速度をステアリングホイールのレバーで設定した後に、新しい設定速度が保存されます。

ブレーキ

一般的な安全に関する指示

▲ 警告

ペダル操作の妨げ

フットマットの固定が不適切であるか、正しく固定されていないと、アクセルペダルやブレーキペダルが誤って操作されたり、ペダルが固定される可能性があります。

その結果、意図せず車両が加速または減速したり、加速や減速が困難になる場合があります。

- ▶ 車両には適切なフロアマットのみを使用してください。
- ▶ フロアマットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- ▶ 幾つものフロアマットを重ねて敷かないでください。
- ▶ 清掃などのためにフロアマットを取り外した場合には、元の場所に正しく取り付けられているか確認してください。

▲ 警告

ブレーキ ブースターの機能停止

ブレーキ ブースターは、エンジン作動時に作動準備完了状態になります。エンジン停止時やブレーキ ブースターに不具合がある場合は、ブレーキペダルを踏み込むときに大きな力が必要になります。

- ▶ ブレーキが故障した車両は、必ず車両輸送専用車かトレーラーでけん引してください。

▲ 警告

ブレーキディスクの水膜

激しい降雨時や水たまりを通過したときや洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

- ▶ 洗車後にはブレーキを点検してください。
- ▶ 後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけ、ブレーキを乾かしてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

▲ 警告

ブレーキ性能の低下

塩分を含んだ道路や砂利の多い道路を長時間運転した後、ブレーキディスクとパッドにコーティングが形成され、ブレーキ性能が低下する場合があります。

車両を長期間駐車すると、ブレーキディスクが腐食して振動を引き起こす可能性があります。

- ▶ ブレーキ効果が著しく損なわれている場合：
ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェは、トレーニングを受けたメカニックと必要な部品とツールが備わっているため、ボルシェ正規販売店のご利用を推奨します。
- ▶ ブレーキの効きを持続するため、下り坂を走行するときは、タイミング良くギヤを落とし、エンジンブレーキを利用してください。坂道でのエンジンブレーキ効果が十分でない場合は、間隔を置いてフットブレーキを使用します。継続的にブレーキをかけると、ブレーキの過熱を引き起こす恐れがあり、ブレーキ効果が損なわれます。

ブレーキフルードとブレーキフルードレベルの点検に関する情報：

▶ 223 ページの「ブレーキフルード」の章を参照してください。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 157 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

車両を ON にすると、ブレーキ機能によって自動的に作動状態が点検されます。警告灯とインジケータライトが短時間点灯し、再び消灯します。ブレーキ警告灯が常時点灯している場合は、故障が発生しています。

- ▶ 直ちに故障を修理してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

停車中にエレクトリックパーキングブレーキを完全に作動させることができない場合、P ボタンのインジケータライトとブレーキ警告灯が点滅します。

ブレーキパッドの摩耗限界

ブレーキパッドが摩耗限界に達すると、インストルメントパネルに警告メッセージが表示されます。

▶ 157 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

- ▶ 直ちにブレーキパッドを交換してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ブレーキパッドおよびブレーキディスク

ブレーキパッドやブレーキディスクなどのブレーキシステム関連部品の摩耗は、運転スタイルや使用状況によって異なるため、必ずしも実際の走行距離で表すことはできません。

特定の色、制動力、車両を取り巻く環境(気温、湿度など)によってブレーキから異音が発生することがあります。

ボルシェ社が宣言している数値は、交通状況に合わせた通常の運転操作に基づいています。サーキット走行時または対応する運転スタイルで車両を使用すると、摩耗が特に大きくなります。

- ▶ 車両をサーキット走行などに使用する場合は、最新のガイドラインについてボルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▶ レースサーキット走行の前後に、ブレーキパッドおよびブレーキディスクの摩耗点検を行ってください。

ボルシェサーフェスコアテッドブレーキディスク (PSCB)

PSCB ブレーキのブレーキディスク摩擦面は特徴的な外見で、標準的なブレーキディスクとはまったく異なります。車両が通常の交通状況で一般的な方法で運転されている場合は、細かいひびで覆われた光るクロムのような摩擦面が現れます。このように車両を運転すると、摩耗、亀裂、光沢のある銀色の摩擦面の黒ずみが増加します。これらの外見の変化によってブレーキ機能が影響を受けることはなく、数千キロ走行した後で一部軽減します。

ハードコートされたブレーキディスクは、技術的にわずかなブレーキノイズを引き起こすことがあります。

エレクトリックパーキングブレーキ

エレクトリックパーキングブレーキは停車中に車両が動き出さないよう固定するために使用します。

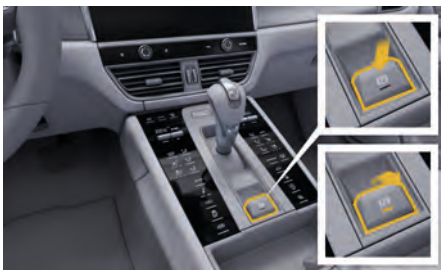


図. 106: エレクトリックパーキングブレーキを動作させます

パーキングブレーキの作動

- ✓ 車両が停止している状態。
- ▶ (P) ボタンを引いてください。
 - ➔ エレクトリックパーキングブレーキは停車中に車両が動き出さないよう固定するために使用します。

パーキングブレーキを手動で解除する

- ✓ イグニッションを ON になっている。
- 1. ブレーキペダルを踏んでください。
- 2. P ボタンを押してください。
 - ➔ ブレーキ警告灯が消灯します。

パーキングブレーキの自動解除

- ✓ エンジンが操作しています。
- ✓ 運転席ドアを閉じています。
- ✓ 運転席シートベルトを着用しています。

パーキングブレーキをかけたままでも、通常とおりに進退できます。

▶ 93 ページの「警告メッセージへの対応」の章を参照してください。

パーキングブレーキの自動ロック

- ✓ 車両が停止している状態。
- ✓ 作動モード **D**、**R**、または **M** が選択されています。
- ✓ 運転席ドアが開いています。
- ✓ 運転席シートベルトが外れています。

エレクトリックパーキングブレーキが自動的に入り、トランスミッションパーキングロックが挿入されません。

P ボタンのインジケーターライトとブレーキ警告灯が点灯します。

エレクトリックパーキングブレーキの自動ロックが手動解除によって中断された場合、この機能はドアを再度開いた後、または運転席シートベルトが再び外された後のみ使用可能となります。

緊急ブレーキ機能の作動



警告

急激な減速

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。周囲の走行を妨げたり、車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は緊急時以外作動させないでください。

通常のブレーキ操作が機能しなくなった場合、車両を停車させることができます。

- ▶ P ボタンを引いたままにします。
 - ◆ ブレーキ警告灯と P ボタンのインジケータールイトが点滅します。

緊急ブレーキ機能を解除するには：

- ▶ P ボタンを放します。

車両の始動、走行、駐車

イグニッションロック

キーは、ステアリングコラム左側のイグニッションロックに差し込んでください。

ボルシェ エントリー&ドライブ装備車では、キーを携行するだけでよく、イグニッションロックに差し込む必要がありません。キーはイグニッションロック内のコントロールユニットに変更されました。このコントロールユニットは、けん引のときを除いて常時イグニッションロックに差し込んでおいてください。

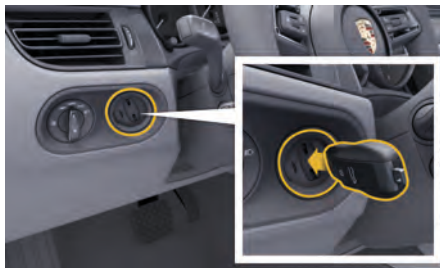


図. 107: イグニッションロックへのキーの差し込み

i インフォメーション

キーを差し込んだまま放置するとバッテリーが消耗します。

バッテリー上がりの場合には、キー抜き取りの緊急操作を行った場合のみイグニッションロックからキーを抜き取ることができます。

- ▶ 28 ページの「キー」の章を参照してください。

イグニッションロックには 3 つのイグニッションロック位置があります。

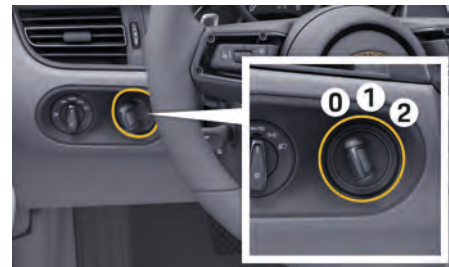


図. 108: イグニッションロックの位置

- 0** 基本設定
- 1** イグニッション ON
- 2** エンジン始動

0—イグニッション OFF (初期位置)

イグニッションロックが位置 **0** のとき、エンジンとイグニッションは OFF になっています。キーはこの位置で抜き取ることができます。

1—イグニッション ON

すべての電装品が作動可能になります。インストルメントパネルの警告灯が点灯し、ライトの作動を点検します。

i インフォメーション

イグニッションを ON にしてから 10 分以上電装品を ON にしなかった場合、再度イグニッションを ON にする必要があります。初めにキーをイグニッションロック位置 **0** (初期位置) に回します。

イグニッションを ON にするか、またはエンジンを始動すると、キーが抜き取れなくなります。

2—エンジン始動

エンジン始動後、キーは位置 **2** から **1** の位置に自動的に戻ります。

エンジン始動

1. フットブレーキを踏んでください。
2. セレクター レバーを **P** 位置または **N** 位置に入れます。
3. アクセルペダルは踏まないでください。
4. キーまたは (ボルシェ エントリー&ドライブ) コントロールユニットをイグニッション ロック位置 **2** に回してください。エンジン スターターを約 10 秒以上連続して作動させないでください。
 - ▶ イグニッション ロック位置 **2** にすると、クラッキング (エンジン始動) が自動的に始まり、エンジンが始動します。
 - ▶ エンジンが始動しない場合は、10 秒程度間をおいてから再度始動させてください。再始動する場合は、はじめにキーをロック位置 **0** (初期位置) に戻してください。停車した状態での暖機運転は行わず、直ちに発進してください。ただしエンジンが通常の作動温度になるまでは、スロットル操作を控えめにし、エンジン回転数を上げすぎないように注意して運転してください。

エンジンの停止



警告

車両が動き出す危険

車両を適切に駐車しなかった場合、車両が不意に動き出して人や物に危害を与える恐れがあります。

- ▶ 車両から離れるときは、必ずエレクトリック パーキング ブレーキをかけ、セレクター レバーの **P** ボタンを押してください。



警告

作動停止状態のパワー ステアリングおよびブレーキ ブースター

パワー ステアリングおよびブレーキ ブースターは、エンジンが作動しているときのみ作動します。エンジンが OFF になると、ステアリング ホイールを回すことやブレーキングに普段より大きな力が突然必要になります。

- ▶ イグニッションは、車両が停止している場合のみ、OFF にしてください。

1. 車両を停止させます。
2. キーまたはコントロールユニットをイグニッション ロック位置 **0** に回してください。
3. エレクトリック パーキング ブレーキを作動させ、セレクター レバーを **P** の位置にしてください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずキーを引き抜いてください。

オフロード走行

一般的な安全に関する指示



警告

車両のコンポーネントにかかる高い応力

オフロード走行中には、砂粒、ほこりの粒子など研磨作用のある物質がブレーキなどのコンポーネント内に入り込むことがあります。これにより、過度の摩耗または予測不能なブレーキ作動を引き起こし、事故や車両の損傷につながる場合があります。

- ▶ ボルシェ正規販売店で定期的な点検や保守、修理を行ってください。

知識

損傷する恐れがあります。スポーツデザインパッケージ装着車は、フロント、リヤ、サイドスカートに塗装が施されています。

- ▶ オフロード走行時にこれらの部品が損傷しないよう注意してください。
- ▶ 障害物と車両下面の間に十分な空間があることを確認してください。
- ▶ 水たまりや浅瀬の走行は避けてください。
- ▶ サイド スカートを足かけとして使用しないでください。

オフロード走行の準備

このセクションでは、オフロード走行で発揮される特別な性能について説明します。この車両でオフロード走行する前に:

まず、適度なオフロードで練習されることをお勧めします。

フルードおよび燃料の確認

充填レベルが十分である場合にのみ、急な傾斜でも車両にフルードおよび燃料を供給できます。

- ▶ エンジン オイルがガソリンなど、すべてのフルードおよび燃料を点検し、充填します。

タイヤおよびリムの点検

- ▶ トレッドの深さが十分あるか、タイヤ空気圧は適正か点検してください。
- ▶ 損傷がないか点検し、トレッドに異物（石など）がある場合は取り除いてください。
- ▶ バルブキャップが紛失している場合は新しいものを取り付けてください。
- ▶ ホイールにへこみや損傷がある場合はオフロード走行前に交換してください。

オフロード走行で注意すべき点

- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ オフロード走行を開始する前に、オフロード走行プログラムを ON にしてください。
 - ▷ 100 ページの「オフロード走行プログラム」の章を参照してください。
- ▶ オフロード走行を開始する前に、オフロードレベルを作動させます。車高レベルを調整している間はブレーキを踏まないでください。
- ▶ 車高レベルは必ず平坦な場所で調整してください。
- ▶ 荷物をしっかり固定してください。
 - ▷ 208 ページの「荷物の積載」の章を参照してください。
- ▶ 路面状況が運転席から確認しづらい場合、障害物を早期に発見できるよう、一度車外に出て歩いて状況を確認した上で慎重に運転してください。

- ▶ 必ずエンジンを作動させて走行してください。パワーステアリングはエンジン作動時にのみ使用することができます。
- ▶ ゆっくりと一定の速度で運転してください。
- ▶ 常に全ホイールが接地した状態で運転してください。
- ▶ 水たまりや浅瀬を走行する場合は、水の深さ、底の状態、流速を確認してください。
- ▶ 岩、穴、切り株、溝などの障害物に注意してください。
- ▶ 走行中には、ルーフシステムおよびサイドウィンドウを必ず閉じます。
- ▶ マークされたルートや経路から外れないでください。
- ▶ 自然を大切にしてください。
- ▶ 進入禁止標識には必ず従ってください。

異なるタイプのオフロード走行

上り坂でのオフロード走行



危険

危険な上り勾配

危険な急勾配では、車両が転覆することがあります。

- ▶ 上り坂走行時には、方向転換しないでください。
- ▶ 勾配がきつくて登れない場合は、必ずリバースギヤに入れてバックしてください。
- ▶ 土手や上れそうにない急坂路には進入しないでください。
- ▶ 車両が傾きはじめた場合、すぐに傾いた側にステアリングを切ってください。
- ▶ 上り坂走行時にニュートラル状態やクラッチを離している状態で車両を後退させないでください。このような状態でフットブレーキのみを使用するのは非常に危険です。

急勾配を上る際は、以下の点をご確認ください。

- ▶ 急坂路を上り下りする場合は、その前にオフロードモードを ON にしてください。
- ▶ 可能であれば、走行中はマニュアルによるギヤチェンジは行わないでください。また、停車もしないでください。
- ▶ エンジンを過回転させないでください。

上り坂でのトラクション増加

坂でトラクションを増加する際は、以下の点をご確認ください。

- ▶ オフロードモードを ON にします。
- ▶ 上り坂走行時にはアクセルペダルの踏み込みを加減して、ホイールが十分なトラクションを得られる（スピンしない）ようにしてください。
- ▶ 坂道で車高レベルを調整しないでください。
- ▶ エンジンを過回転させないでください。
- ▶ スピードを落として運転してください。

下り坂でのオフロード走行



危険

危険な下り勾配

危険な下り勾配では、車両が転覆することがあります。

- ▶ 土手や上れそうにない急坂路には進入しないでください。
- ▶ 下り坂はフロント ホイールを直進位置に保ち、スピードを落として走行してください。
- ▶ 車両が傾きはじめた場合、すぐに傾いた側にステアリングを切ってください。
- ▶ 下り坂をニュートラル状態で下りないでください。
- ▶ エンジン ブレーキを使用してください。エンジン ブレーキでは十分な制動効果が得られない場合は、フット ブレーキを軽く踏んでください。
- ▶ ポルシェ ヒルコントロール (PHC) を作動させてください。

▷ 92 ページの「ポルシェ ヒルコントロール (PHC)」の章を参照してください。

急勾配を下る際は、以下の点をご確認ください。

- ▶ オフロード モードを ON にします。オフロード ABS が自動的に作動します。
- ▶ 可能であれば、走行中はマニュアルによるギヤチェンジは行わないでください。また、停車もしないでください。
- ▶ 坂道で車高レベルを調整しないでください。
- ▶ 舗装されていない急坂路を下る場合は、ブレーキ操作を慎重に行い、滑らないように注意してください。



インフォメーション

オフロード ABS の特別制御メカニズムにより、フロント ホイールが意図的に短時間ロックアップされ、ゆるんだ路面に効果的に食い込みます。

ロックされたホイールはスリップし、ステアリング操作ができなくなります。

隆起部分の走行

隆起を超えて走行する際は、以下の点をご確認ください。

- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ オフロード走行プログラムを ON にしてください。
- ▶ 隆起部分にさしかかる前にアクセルペダルをゆるめて、慣性運動を利用して隆起を越えてください。隆起を越える際に車両がジャンプせず、下り部分への激しい着地を防ぐことができます。
- ▶ エンジンを過回転させないでください。

水たまりや浅瀬の走行



危険

車内への水の浸入

車内への浸水により生命の危機につながる危険な状態となることがあります。また車両の損傷にもつながります。

- ▶ 水たまりや浅瀬を走行する場合は、水の深さ、流速、水面下の状態を確認してください。水の深さがテクニカル データに記載されている渡河能力を超えないようにしてください。
- ▶ 運転前にドア シルおよびラバー シールを清掃してください。
- ▶ 深く流れの速い場所には進入しないでください。山間部の小川など、深く流れの速い場所では、意図したコースから外れてしまう場合があります。
- ▶ 波をかぶらないように適切な速度で走行してください。
- ▶ 水たまりや浅瀬を走行中は絶対にドアを開かないでください。



警告

ブレーキ ディスクの水膜または汚れの膜

濡れた路面や泥でぬかるんだ路面を走行すると、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

- ▶ ブレーキが汚れていないか点検し、必要に応じて清掃してください。

知識

電気系統が故障する恐れがあります。

- ▶ 塩水の中を走行するのは避けてください。

水たまりや浅瀬を渡るときは以下の点に注意してください。

- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ オフロード走行プログラムを ON にしてください。
- ▶ エアコンシステムを OFF にします。
- ▶ ヘッドライトを OFF にしてください。
- ▶ エンジンを過回転させないでください。
- ▶ 可能であれば、走行中はマニュアルによるギヤチェンジは行わないでください。また、停車もしないでください。

水たまりや浅瀬では、抵抗が大きく地面がぬかるんでいるため、発進が困難になる場合があります。

- ▶ 水たまりや浅瀬を渡る場合は浅い場所から歩行速度程度で進入してください。
- ▶ 水の状態を確認した後、最短距離で渡ってください。
- ▶ 高速で水たまりや浅瀬に進入しないでください。波をかぶりエンジンやアクセサリが損傷する恐れがあります。
- ▶ 状況の変化に対処できるよう慎重に運転してください。
- ▶ 水たまりや浅瀬はゆっくり一定の速度で走行してください。
- ▶ 水たまりや浅瀬を渡るときは方向転換しないでください。
- ▶ 渡り切れない場合はリバースギヤに入れ、車両をバックさせて水から出てください。

i インフォメーション

長時間水たまりや浅瀬を走行すると、パワーステアリングポンプやオルタネーターが故障する恐れがあります。

水上走行後の車両点検

水たまりや浅瀬を走行した後は特別な点検が必要になります。

- ▶ タイヤトレッドから泥を落としてください。
- ▶ 水たまりや浅瀬を走行した後は「ブレーキ」を軽くかけて、ブレーキパッドを乾かしてください。

障害物の乗り越え

知識

障害物を乗り越える際に運転を誤ると、アンダーボディやシャーシを損傷する恐れがあります。

- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ 切り株や岩などの障害物を乗り越える場合は、一方のフロントホイールが障害物の中央を通るようにゆっくり走行してください。
- ▶ リヤホイールも同様にして障害物を乗り越えてください。

障害物を越えて走行する際は、以下の点をご確認ください。

- ▶ オフロード走行プログラムを ON にしてください。
- ▶ 必要に応じて同乗者の指示を受けてください。
- ▶ エンジンを過回転させないでください。
- ▶ スピードを落として運転してください。

砂上走行

柔らかい砂道はオフロード走行の中でも特に運転しにくい路面です。運転を誤ると、すぐに立ち往生することになります。

砂上を走行する際は、以下の点をご確認ください。

- ▶ オフロード走行プログラムを ON にしてください。
- ▶ すみやかに通過し、決して途中で停車しないでください。立ち往生することになります。
- ▶ 飛砂で覆われておらず深すぎない場合、そして地上高に余裕がある場合 - わだちに沿って走行してください。
- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ 砂道の傾斜に停車する必要がある場合は、より容易に発進できるようにできるだけ下り坂を選択してください。

柔らかい砂道の傾斜を走行する場合:

- ▶ 高いエンジン回転数を得るため、必要に応じてオフロード走行プログラムを起動させ、マニュアルモード **M** を使用してください。

車両がまだ停止する場合:

- ▶ タイヤを回したり、傷を付けたり、マットなどを敷いたりして、タイヤを適切なトラクションに維持し、危険エリアから引き出します。

わだちでのオフロード走行

知識

深いわだちを走行すると、車両の下周りを損傷する恐れがあります。

- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ 深すぎるわだちは走行しないでください。

オフロードや砂利道の多くにはわだちができています。

- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ オフロード走行プログラムを ON にしてください。

- ▶ 片方のホイールが脇の草の上を通過するように走行すると、比較的安全にわだちを通過することができます。
- ▶ エンジンを過回転させないでください。
- ▶ スピードを落として運転してください。

オフロード走行後の車両点検



警告

車両の損傷

車両の損傷は後に乗員や通行者に事故を引き起こす原因になる恐れがあります。

- ▶ 故障の疑いがある場合はポルシェ正規販売店で点検してください。
- ▶ タイヤの異常 (亀裂、損傷、空気圧過多、異物の挟まり) がないか確認してください。必要な場合は、タイヤを交換してください。
- ▶ 車両に損傷がある場合は早めに修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

オフロード走行では通常のオンロード走行時より車両に大きな負担がかかります。オフロード走行後には車両点検を行うことをお勧めします。見えない損傷でも事故の危険があり、走行快適性も損なわれます。車両点検を行うことにより、損傷の拡大を防ぐことができます。

車両を点検する際は、以下の点をご確認ください：

- ▶ オフロードモードを OFF にします。
- ▶ ヘッドライトおよびテールライトを清掃し、損傷していないか点検してください。
- ▶ フロントおよびリヤのナンバープレートを清掃してください。

- ▶ ウォーター ジェットでタイヤトレッドを洗浄して異物を取り除いてください。
- ▶ ウォーター ジェットでホイール、ホイールハウジング、車両下周りを洗浄してください。
- ▶ 車両に木の葉や枝などが挟まっていないか点検してください。
これらは車両火災の原因となる恐れがあります。また、フューエルライン、ブレーキホース、アクスルジョイントブーツ、ドライブシャフトなどが損傷する原因になる場合があります。
- ▶ オフロード走行後にフロア部品全体、タイヤ、ボディ、ステアリング、シャーシ、エキゾーストシステムが損傷していないか、必ず点検してください。
- ▶ むかるんだ道、砂道、水たまりや浅瀬などを長時間走行した場合は、ブレーキディスク、ブレーキパッド、ホイール、アクスルジョイントを点検して、清掃してください。
- ▶ オフロード走行後に振動が激しくなった場合は、ホイールに異物がないか点検してください。異物があるとホイールバランスが損なわれ、振動の原因になる恐れがあります。異物を取り除くと、振動が解消する場合があります。

オフロード走行プログラム

作動原理

オフロードモードでは、パワー トランスミッションおよびシャーシコントロールシステム (ABS など) が自動的にオフロード走行用のプログラムで作動します。これにより、安全に走行できる範囲内で最高のドライビングダイナミクスを実現できます。

SPORT PLUS モードへの切り替えは、ポルシェ アクティブサスペンション マネージメント (PASM) が自動的に行います。

エアサスペンションとの連動により、車両が、標準車高より約 40mm 高い位置に持ち上げられます。

オフロードモードは、以下のような走行状況で起動させると役に立ちます。

- スノーチェーンを装着して走行する。
- 深雪のまたは未舗装の路面を走行する。
- 未舗装の下り坂を走行したり、未舗装の路面でブレーキを掛けたりする。
- 1 つ以上のホイールの負荷が極端に減少する凹凸のある路面を走行する (アクスルアーティキュレーション)。
- 雪または砂にはまり込んだときに、車両を揺らして脱出する。

オフロード走行プログラムの ON/OFF 切り替え



図. 109: センターコンソールの走行プログラムボタン

オフロード走行プログラムの ON への切り替え

- ✓ 車両速度が約 90km/h 未満であるか確かめます。
- ▶ ボタンを押してください。
 - ➡ ボタンのインジケーターライトが点灯します。
 セットした走行プログラムはマルチファンクションディスプレイにも表示されます。

オフロード走行プログラムの OFF への切り替え

- ▶ ボタンを再度押します。
 - ➡ ボタンのインジケーターライトが消灯します。

i インフォメーション

イグニッションを OFF にした後に、選択された走行プログラムは自動的に Normal (標準) オンロード走行プログラムに戻ります。

i インフォメーション

いったん起動した走行プログラムは、走行状況の変化が生じた場合（その後、車両が道路をより高速で走行した場合など）でも起動されたままとなります。駆動力およびシャーシコントロールシステムは、変化した走行状況および速度に応じて調整されます。

オンロードドライビングプログラム

作動原理

装備によっては、舗装された道路の走行時に、全体的によりスポーティーに設定された多様な走行プログラムが提供されます。

ノーマル

日常の走行において、コントロールシステムは快適性と経済性が両立するように作動します。

SPORT

日常の走行において、躍動感とダイナミズムを向上させるようコントロールシステムを切り替えます。

SPORT PLUS

レースサーキット走行のように、性能を最大限に発揮できる設定に切り替わります。

インディヴィチュア

個別調整のための走行モード。

オフロード走行プログラム

オフロード走行プログラムに関する情報：

- ▶ 100 ページの「オフロード走行プログラム」の章を参照してください。

走行プログラムの選択

i インフォメーション

作動準備が整うと、ノーマル走行モードが自動的に有効になります。

センターコンソールでの走行プログラムの選択

- ✓ スポーツ クロノ パッケージ非装備車



図. 110: センターコンソールの走行プログラム ボタン

- ▶ **SPORT** ボタンを押してください。
 - ➔ 走行プログラムが作動している場合、ボタンのインジケータライトが点灯し、デジタルスピードメーターに走行プログラムが表示されます。

モードスイッチでの走行プログラムの選択

- ✓ スポーツ クロノ パッケージ装備車



図. 111: ステアリング ホイールのモードスイッチ

- ▶ モードスイッチを左または右に回して、希望する走行プログラムを選択します。

INDIVIDUAL 走行モードの設定

INDIVIDUAL 走行プログラムでは、シャシー、車両レベル、およびオート スタート/ストップ機能の各設定を、NORMAL、SPORT、SPORT PLUS 走行プログラムに基づいて組み合わせることができます。保存した組み合わせは、モードスイッチを INDIVIDUAL で呼び出すことが可能です。

インストルメント パネルで INDIVIDUAL 走行モードを設定する

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ INDIVIDUAL

SPORT Response モードの使用

- ✓ スポーツ クロノ パッケージ装備車



図. 112: SPORT Response ディスプレイ タイマー

SPORT Response モードでは、エンジンおよびトランスミッションがタイマー コントロールで最大レスポンスに設定されます。

SPORT Response モードの作動



図. 113: ステアリングホイールの SPORT Response ボタン

- ▶ モードスイッチの **SPORT Response** ボタンを再度押してください。
 - ➔ マルチファンクションディスプレイ内のタイマーは、この機能が有効な残り時間を示します。その後、約 20 秒後、車両は前に選択していた走行プログラムに戻ります。

SPORT Response モードの作動停止

- ✓ SPORT Response モードが作動中
- ▶ モードスイッチの **SPORT Response** ボタンを再度押してください。
 - ➔ 車両は以前に選択していた走行プログラムに戻ります。

選択した走行プログラムの車両設定の概要

- ▶ 個々の車両機能に関して詳しくは、該当するセクションを参照してください。

走行プログラム	ノーマル	SPORT	SPORT PLUS
アイドル回転数上昇	無効	有効	有効
バックファイアー	無効	有効	有効
ローンチコントロール	作動不可	作動不可	有効化可能
オートスタート/ストップボタン	有効	作動不可	作動不可
スポーツエキゾーストシステム	有効化可能	有効	有効

スポーツエキゾーストシステムの ON/OFF



図 114: センターコンソールのスポーツエキゾーストシステム操作ボタン

スポーツエキゾーストシステムはイグニッションがONのときに排気音最適化モードに切り替えることができます。

スポーツエキゾーストシステムをONにする

- ✓ イグニッションをONになっている。
- ▶ ボタンを押してください。
 - ➔ スポーツエキゾーストシステムがONになると、ボタンのインジケータライトが赤色に点灯します。

スポーツエキゾーストシステムをOFFにする

- ▶ ボタンを押してください。
 - ➔ ボタンのインジケータライトが消灯します。

スピードリミッター

作動原理

速度制御装置は、30~240km/hの範囲内で設定した速度を維持するよう支援する機能で、市街地などで所定の速度を超えないようにします。

速度制御装置は、追い越し操作中にアクセルペダルを踏み込むなどすれば、いつでも無効になります。

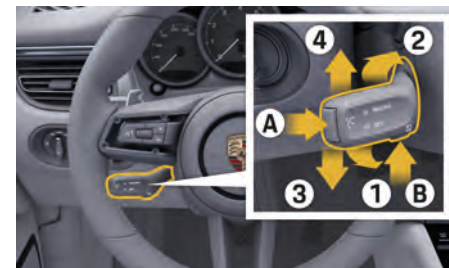


図 115: コントロールレバー

A スピードリミッターのON/OFF

B スピードリミッターの ON/OFF の切り替え

- 1 最高速度の設定/増加
- 2 最高速度を下げる
- 3 速度制限のキャンセル (OFF)
- 4 速度制限の再開 (再開)

スピードリミッターの ON/OFF

速度制御装置を ON にする

- ✓ スピードリミッター ON (**A** ボタン)
- ▶ **B** ボタンを押してください。
➔ スピードリミッターは ON です。

速度制御装置を OFF にする

- ▶ コントロールレバーの **B** ボタンを押します。
➔ 以前選択した最高速度は保存されたままになります。スタンバイシンボルは非表示になっており、クルーズコントロールスタンバイは ON です

A ボタンを押すか、イグニッションを OFF にすることで保存された最高速度が消去されます。

自動

次のような状況では、スピードリミッターは自動的に中断されます。

- スピードリミッターの機能が損なわれるシステムエラーが発生した場合。
- エアバッグが操作した場合。

i インフォメーション

システムエラーによりスピードリミッターが自動で解除された場合、アクセルペダルを離すか、**A** または **B** ボタンを押してシステムを OFF にしたときのみ完全に無効になります。

スピードリミッターの操作

最高速度を設定する、保存する、上げる

方法 1

1. アクセルペダルを使用して、車両を目標速度まで加速します。
2. ステアリングホイールのレバーを前方 (位置 1) に押します。
➔ そのときの最高速度が保存され、自動的に維持されます。

方法 2

- ▶ ステアリングホイールのレバーを前方 (位置 1) に押します。
短く押す = 1km/h 単位、長く押す = 10km/h 単位。
➔ 新しい最高速度がインストルメントパネルに表示されます。

i インフォメーション

最高速度は、車両が停止してイグニッションが ON のときにステアリングホイールのレバーを使用して設定することもできます。

- ▶ ステアリングホイールのレバーを前方 (位置 1) に短く押してください。
プリセットされた 30km/h の最高速度がインストルメントパネルに表示されます。

保存された最高速度を下げる

- ▶ ステアリングホイールのレバーを、ステアリングホイール (位置 2) に向かって引いてください。
短く引く = 1km/h 単位、引き続ける = 10km/h 単位。
➔ 新しい最高速度がインストルメントパネルに表示されます。

スピードリミッターの中断 - OFF

- ▶ ステアリングホイールのレバーを下方 (位置 3) に押します。
- または -
B ボタンを押してください。
- ➔ 中断前に保存された最高速度はメモリーに保存され、操作レバーを押して呼び出すことができます。

キックダウンによるスピードリミッターの一時的な解除

キックダウンにより設定された最高速度を超えた場合 (追い越し中など)、保存された最高速度とスピードリミッターのシンボルマークがインストルメントパネルで赤色に点滅します。スピードリミッターは一時的に解除されます。車両の速度が保存された最高速度を下回ると、スピードリミッターが再度操作します。

下り坂の走行

車両の本質的な重量のため、下り坂走行時には速度制御装置は設定最高速度を維持できません。設定最高速度を超えた場合、警告音が連続して鳴り、マルチファンクションディスプレイのステータスディスプレイ **B** に速度制御シンボルが保存した最高速度と共にオレンジ色で点滅し続けます。

- ▶ ギヤをシフトダウンするかブレーキペダルで車両を停止させます。

保存した最高速度の再開 - 再開

- ▶ ステアリングホイールのレバーを前方 (位置 4) に押します。
➔ スピードリミッターは保存された最高速度を設定します。

i インフォメーション

周囲の交通状況や路面状態が設定速度での走行に適しているときのみ、保存された最高速度を呼び出す必要があります。

トランスミッション

Porsche Doppelkupplung (PDK) による走行

Porsche Doppelkupplung (PDK) はオートマチックシフトモードとマニュアルシフトモードで搭載した7速トランスミッションです。

オートマチックシフトモード (セクターレバー **D** 位置) では、ギヤは自動的にシフトされます。ステアリングホイールのシフトパドルを操作することにより、一時的にオートマチックシフトモードからマニュアルシフトモードに切り替えることができます。

マニュアルシフトモード (作動モード **M**) では、ギヤの変更がステアリングホイール上にあるシフトパドルを操作してします。

D と **M** の作動モードは、走行中も必要に応じて切り替えられます。

- ▶ オートマチックとマニュアルのどちらのモードにあるときでも、ステアリングホイールのギヤシフトパドルを誤って操作しないように注意してください。思わぬタイミングでギヤシフトが発生してしまいます。



図. 116: セクターレバー位置の変更

セクターレバー位置の変更

イグニッションがOFFのとき、セクターレバーは動かないように **P** 位置に固定されます。

イグニッションがONのとき、リリースボタンを押し、ブレーキペダルを踏んでいるときに限り、セクターレバーを **P** および **N** の位置から動かすことができます。

ロック解除ボタン

セクターレバー上のリリースボタン (矢印) は、誤ってギヤがシフトされないようにするための機構です。セクターレバーを **R** または **P** の位置にシフトするときは、このリリースボタンを押しなければなりません。

エンジン始動

エンジンは、ブレーキペダルが踏まれていて、セクターレバーが **P** または **N** 位置にある場合に限り始動できます。

発進

- ▶ エンジンがアイドリング状態で、ブレーキペダルを踏んでいるときのみ、運転位置 (**D**、**M** または **R**) にシフトしてください。
- ▶ ギヤが入ると車両はゆっくりと動き出そうとするので、発進の準備が整うまでブレーキペダルから足を放さないでください。

坂道での発進

- ▶ 108 ページの「HOLD 機能」の章を参照してください。

車両の停止

- ▶ 信号待ちなどの短時間の停車時には、セクターレバーをトランスミッションレンジ **D** の位置に保持し、ブレーキペダルを使って車両を止めます。
- ▶ 加速するのではなく、ブレーキペダルまたは電動パーキングブレーキを使って、車両を傾斜させてください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ず電動パーキングブレーキを作動させ、セクターレバーを **P** 位置にしてください。

駐車

- ▶ アクセルペダルは慎重に操作してください。
- ▶ 狭い場所での駐車時や操作中は、ブレーキペダルを慎重に使用し速度をコントロールしてください。

セクター レバー ポジション インジケータ およびギヤ ポジション インジケータ を読み取る



図 117: セクターレバー ポジション インジケータ およびギヤ ポジション インジケータ

エンジンが作動中には、作動モードと締結ギヤが表示されます。

セクター レバーが2つのポジションの間にある場合は、該当するセクターレバー ポジションが点滅し、マルチファンクションディスプレイに警告が表示されます。

- ▶ ブレーキを踏んで、セクターレバーを再び締結位置に入れます。

インストルメントパネルのシフトモード R または D の点滅

駆動力が伝達されません。フット ブレーキを踏まずにセクターレバーが切り替えられた、あるいは最高許容速度以上で、または進行方向と反対にセクターレバーが R または D にシフトされました。

- ▶ ブレーキを踏んで、セクターレバーを再び N から締結位置に入れます。

操作モード

P-パーキングロック

- ▶ 車両が完全に停止してからパーキングロックをかけてください。セクターレバー位置 P の表示が点滅している場合、パーキングロックが正しくかかっていません。車両が動き出す可能。セクターレバーを再び R から P の位置に入れてください。

R-リバースギヤ

- ▶ セクターレバーの選択は、車両が停止しブレーキをかけてからにしてください。

N-ニュートラル (アイドリング)

自動洗車機を使用するときなどは、セクターレバーの位置を必ず N にします。

- ▶ 発進するために希望する走行作動モード (D、M または R) は、エンジンがアイドリング状態で、ブレーキペダルを踏んでいるときにのみ選択してください。

D-オートマチックシフトモード

- ▶ 「Normal (通常)」走行時には、セクターレバーを D 位置に入れてください。アクセルペダルの踏み込み方と車速により、ギヤが自動的に切り替わります。

① インフォメーション

ステアリングホイールのギヤシフト操作により、一時的にオートマチックシフトモード D からマニュアルシフトモード M に切り替えることができます。

例:

- カーブや市街地に入る前にシフトダウンしたいとき
- 下り坂でエンジンブレーキをかけるためにシフトダウンしたいとき
- 急加速のためにシフトダウンしたいとき

マニュアルシフトモードが維持されます:

- オーバーランモードのとき
- 車両が交差点などで止まった場合

マニュアルシフトモードが再び終了します:

- 自動的に約 6 秒後 (オーバーラン時以外)

M-マニュアルシフトモード



図 118: ステアリングホイールのマニュアルシフトモード

- ▶ ステアリングホイールの M+ ボタンを押します。
 - ➔ 現在のギヤは、D から M にシフトしてもそのまま維持されます。

M から D にシフトする場合は、現在の走行スタイルに適したギヤにシフトされます。



図. 119: シフトパドル付きステアリングホイール

右側の「+」シフトパドルでのシフトアップ

- ▶ セレクターレバーまたは右側シフトパドルを手前に引いてください。

左側の「-」シフトパドルでのシフトダウン

- ▶ 左側シフトパドルを手前に引いてください。

シフトアップインジケーター

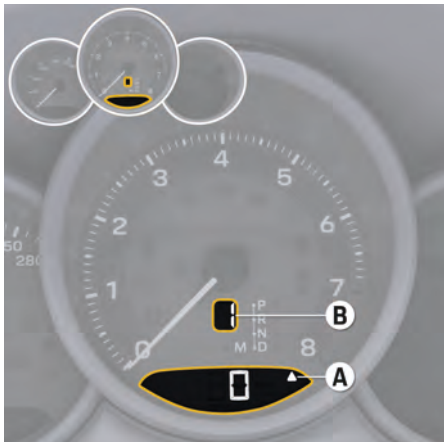


図. 120: シフトアップインジケーター A、ギヤインジケーター B

燃費重視の運転を促すシフトアップインジケーター A は、ドライバーが経済的な運転をできるよう支援します。現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセルペダルの踏み込み量に応じてこのインジケーターが点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

- ▶ シフトアップインジケーターが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

キックダウン機能を作動させる

キックダウン機能はモード D で作動します。

- ▶ 追い越し時などで大きな加速力が必要な場合は、アクセルペダルを素早く深く踏み込んで（キックダウン）ください。

走行速度とエンジン回転数に応じて、トランスミッションがシフトダウンされます。そのギヤでのエンジン回転数の許容上限に達するまで、シフトアップされません。

惰性走行モードで走行する¹

惰性走行とは、車両がエンジンを切り離れた状態でアイドル回転数で走行し、エンジンブレーキの効果が得られない状態をいいます。この標準機能は、燃費と乗り心地の向上を目的として自動的に作動します。アクセルペダルを通常の仕方ですべて完全に放すと惰性走行モードになります。加速するためにアクセルペダルを踏み込むと、エンジンが素早く再始動し、惰性走行が終了します。

自動惰性走行モードの作動条件

- ✓ セレクターレバーを D の位置にして走行している。
- ✓ オートスタート/ストップ機能/惰性走行モードが ON になっている。
- ✓ PSM が作動しています。
- ✓ SPORT、SPORT PLUS およびオフロードモードが OFF になっています。
- ✓ クルーズコントロールが有効になっていません。
- ✓ エンジン、トランスミッション、バッテリーが作動温度に達しています。
- ✓ ゆるやかな上り/下り勾配。
- ▶ アクセルペダルからゆっくりと足を離します。
- ▶ エンジンを切り離れた状態でアイドル回転数で走行します。車両はエンジンブレーキの効果なしで走行します。

グライダーモードを手動で開始する

交通状況に応じて、惰性走行を手動で開始し、慎重に運転することで効率を向上することができます。例えば、前走車や赤信号に接近するときは、エンジンブレーキを積極的に使用してください。ブレーキをより強く踏むか、シフトパドルまたはセレクターレバーを操作することで、エンジンへの燃料供給を効果的に節約できます。

- ▶ シフトパドルを使用して、可能な限り高いギヤより上に手動でシフトアップします。

ローンチコントロールを使用した発進

① インフォメーション

通常の発進に比べて、最大加速での発進が構成部品に与える負荷は劇的に増大します。

1. 利用可否は国によって異なります

ローンチコントロールは停車状態から最大加速度で発進することができるシステムです。

- ✓ エンジンが作動温度に達しています。
 - ✓ SPORT PLUS モードが ON になっています。
1. 左足でブレーキペダルを踏んでください。
 2. 素早くアクセルペダルをいっぱい踏み込んで、そのまま保持してください。
 - ➔ エンジン回転数が自動的に維持されます。

e-Launch 機能が作動していることを示すメッセージがインストルメントパネルに表示されます。
 3. 数秒以内にブレーキを解除してください。

オフロードモードを OFF にして走行する

トランスミッションはオフロードシフトマップに切り替わります。シフティングポイントは非常に難しい地形での最適な車両コントロールに適応します。急な斜面の下り坂を走行する時、中レベルのエンジン回転数になるまでシフトアップされません。

HOLD 機能

一般的な安全に関する指示



警告

上り坂での僅かな後退

ブレーキを使用せずに急な上り坂で停車する場合、HOLD 機能が操作する前に車両がわずかに後退する恐れがあります。このような状況では、ドライバーはフットブレーキを踏んで後退を抑制することができます。

- ▶ ブレーキペダルの操作でブレーキ力を大きくすることにより、車両の保持をアシストします。



警告

車両コントロールの喪失

HOLD 機能を使用している場合でも、勾配での停止および始動の責任はドライバーにあります。滑りやすい路面（凍結している、またはぬかるんだ路面など）での停止および始動時には、HOLD 機能によるアシストは保証されません。この場合、発進時に車両がスリップする恐れがあります。

- ▶ 常に路面状況や車両負荷に応じた適切な運転を心がけてください。必要に応じてフットブレーキを使用してください。
- HOLD 機能が作動しない場合、ドライバーは坂道での発進時にアシストを受けられなくなります。
- ▶ フットブレーキをかけて停車してください。

作動原理

HOLD 機能は、上り坂での停車時や発進時に、ドライバーの運転操作を支援します。

この機能により、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。HOLD 機能が作動すると、インストルメントパネル上でインジケータライト **HOLD** が点灯します。車両が停止状態にあるときに HOLD 機能が作動します。

この機能により、ブレーキペダルを踏んでいないときでも、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。

アダプティブクルーズコントロールが正常に機能している場合、HOLD 機能は自動ブレーキ後に車両を停車状態に維持します。

車両が HOLD 機能により保持されている場合は、通常の運転操作で発進できます。HOLD 機能の作動中にドライバーのシートベルトが外され、運転席ドアが開いた場合、車両は動き出さないように自動的に固定されます。

① インフォメーション

以下の条件では、HOLD 機能は作動しません。

- 作動モードが **P** および **N** の場合。
- 車両が停止していないとき。
- エンジンが手動で OFF にされたとき。
- 坂道の勾配率が 5% 未満の場合。
- 運転席ドアが開いており、運転席シートベルトが着用されていない場合。

① インフォメーション

車両が停止している間に素早くブレーキペダルを踏み込むと、勾配に関係なく HOLD 機能が作動します。この機能により、ブレーキペダルを踏んでいないときでも、車両が動き出すことを防ぎます。この場合、セレクターレバーを操作しても、HOLD 機能は解除されません。

① インフォメーション

HOLD 機能が作動したときは、ドライバーはブレーキペダルの感触に変化を感じたり、油圧作動音が聞こえたりすることがあります。

これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

ライト

ライトスイッチの設定



警告

ライトが点灯していない状態での走行

ライトを点灯しないで走行すると、ドライバーの視界が大幅に制限されるばかりでなく、他の道路利用者の視認性を大きく妨げることになります。

- ▶ オートマチックライトの作動状況を常に監視して、必要に応じてロービームを手動でONにしてください。
- ▶ 特定の国では、ロービームヘッドライトを使用した走行に関する法律を遵守してください。



図. 121: ライトスイッチ

☀️ ライトスイッチ

OFF ライトの消灯

イグニッションがONのとき、デイトタイムドライビングライトがONになります。

AUTO オートマチックドライビングライトアシスタント

日中にイグニッションがONのとき、デイトタイムドライビングライトは自動的に点灯します。



車幅灯

ライセンスプレートライト、計器照明およびデイトタイムドライビングライトがONになります。



ロービーム/ドライビングライト

イグニッションがONのときのみ。フォグライト、モーターウェイライトおよびダイナミックハイビームが非作動となります。



リヤフォグライト

ロービーム位置でスイッチを引いてください。インジケーターライトが点灯します。



インフォメーション


- 灯火類が点灯した状態でキーを抜いてドアを開くと、警告音が鳴り、バッテリー上がりを防止します。各国の法律等に準拠して、ライトの仕様が異なる場合があります。
- 気温と温度によっては、車両のエクステリアライトが曇ることがあります。この曇りは十分な距離を走行すると乾燥して消えます。

オートマチックヘッドライト/エクステリアライトのON/OFF

ロービーム/ドライビングライト

次のような状況では、ライトスイッチ位置 **AUTO** でロービームは自動的にONになります：

- 夕暮れ時
- 夜間
- トンネル内走行時
- 雨天時
- 高速走行（ボルシェダイナミックライトシステムPDLs 装備車）

ロービームがONのときは、スピードメーターのインジケーターライトが点灯します。



インフォメーション

霧は検出されません。

- ▶ 霧が発生したときは、手動でドライビングライトを点灯させてください。

雨機能

ワイパーを連続作動に切り替えてから5秒が経過すると、ドライビングライトが自動的にONになります。ワイパーを停止してから約4分が経過すると、ドライビングライトが消灯します。

オートマチックドライビングライトアシスタント

オートマチックドライビングライトアシスタントはコンフォート機能の1つです。この車両のドライビングライト（ロービーム）は、周囲の明るさに応じて自動的に点灯/消灯します。

オートマチックヘッドライト機能は、デイトタイムドライビングライト、オートマチックカミングホームライトおよびダイナミックコーナリングライト（装備仕様による）も制御します。

オートマチックドライビングライトアシスタントを有効にするには：

- ▶ ライトスイッチを**AUTO**の位置に回してください。

① インフォメーション

なおドライビングライトアシスタントを作動させていても、法律等を遵守し、ライトスイッチの手動操作によってドライビングライトの点灯/消灯することは運転者の責務です。

ドライビングライトアシスタント機能によるヘッドライトの点灯は、運転者を支援するためのものであり、ドライビングライトの操作は運転者が正しく行わなければなりません。

オートマチックカミングホームライトのON

▶ ライトスイッチを**AUTO**にしてください。

暗闇の中で車両に乗降するとき視認性および安全性を高めるため一定時間、以下の車両ライトが点灯したままにします。

- デイタイムドライビングライト
- 開いた状態の格納式ドアミラーのカーテシーライト (コンフォートメモリー装備車またはライトコンフォートパッケージ装備車)
- リヤの車幅灯
- ライセンスプレートライト

ウェルカムホーム機能 (遅延消灯)

キーを抜き取る (エントリー&ドライブ非装備)、または運転席ドアを開ける (エントリー&ドライブ装備) と、マルチファンクションディスプレイで設定した遅延消灯時間の間、ライトが点灯したままになります。マルチファンクションディスプレイのエクステリアライトの遅延消灯調整に関するインフォメーション:

▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。

エントリー機能/降車機能

車両をロック解除すると、マルチファンクションディスプレイで設定した遅延消灯時間の間、車両の周囲が照らされます。

以下の場合、ライトが消灯します:

- イグニッションがONになっている。
 - ライトスイッチを**AUTO**の位置から動かします
- マルチファンクションディスプレイのエクステリアライトの遅延消灯調整に関するインフォメーション:

▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。

ライト機能を使用する

ポルシェダイナミックライトシステム (PDLS)



警告

ダイナミックハイビームまたはハイビームアシストを操作させて運転している際の集中力低下

走行時、ダイナミックハイビームまたはハイビームアシストを過信せず、走行時の周囲の明るさ、視界、交通状況に応じてハイビームを手動で調節し、責任ある運転を心がけてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。

- ▶ 十分に注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 必要に応じ、ハイビームをライト、視界、交通状況に手動で合わせてください。

次のような場合には手動での設定が必要になることがあります。

- 雨、霧、雪、氷、多量の水しぶきなどの悪天候時
- 高速道路など、対向車が確認しづらい道路
- 自転車など、ライトが暗い道路利用者がいる場合
- 狭いカーブ、急な傾斜路の頂上や山道
- 明かりが少ない市街地
- 道路標識などの強い反射がある場合
- フロントウィンドウのカメラの視界が曇り、汚れ、凍結、またはステッカーで覆われている

① インフォメーション

カメラの作動を干渉する物がないことを確認してください。

- ▶ ルームミラーのカメラの視界を異物 (ステッカーなど) で遮らないでください。
- ▶ 正常な機能を維持するために、カメラに付着した汚れ、氷、雪などは取り除いてください。

ダイナミックコーナリングライトおよび夜間の高速道路機能を作動させるには:

- ▶ ライトスイッチを**AUTO**の位置に回してください。

ダイナミックコーナリングライト

約8km/hを超える速度で走行している場合、そのときの速度やステアリングホイールの切れ角によって、コーナーの先に向けてロービームが向きを変え、進行方向の路面を照らします。ダイナミックコーナリングライトが故障した場合、インストルメントパネルのPDLS警告灯が点滅します。

夜間の高速道路走行時の作動

夜間は速度が約130km/hを超えるとドライビングライトの配光特性が変化します。このときドライビングライトは、より遠くが見渡せるように照射距離を長くします。

フォグランプ

速度が70km/h以下でリヤフォグライトが点灯している場合、ドライビングライトの配光特性が変化します。

光線の範囲を広げ、眩惑を低減します。

パルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS プラス)



図. 122: カメラの取り付け位置

ダイナミック ハイ ビーム

ダイナミック ハイ ビーム 装備車では、ルーム ミラー付近に取り付けられたカメラ A で前方の走行車および対向車の光源を検知し、ドライビングライトの遮光ポイントをハイビームからロービームの間で段階的に調節します。検出された他の車両がドライビングライトの明/暗境界線を認識できるような段階に調整されます。周囲が暗い状態で以下の条件が揃うと、この機能が作動します：

- ✓ ライトスイッチが **AUTO** 位置に選択されている。
- ✓ 速度が約 60km/h 以上。
- ✓ マルチファンクションディスプレイでダイナミックハイビームが作動している。
- ✓ ダイナミックハイビームが ON になっている。

市街地走行時にハイビームに切り替わらないようにするため、ダイナミックハイビームは約 35km/h 以下の速度では作動しません。

また、カメラが複数の街路灯を検出した場合も自動的にハイビームからロービームに切り替わります。

指示灯/ハイビームレバーの操作

このレバーを使用して、方向指示灯およびハイビームに加えて、パーキングライトおよびヘッドライトパッシングも操作できます。

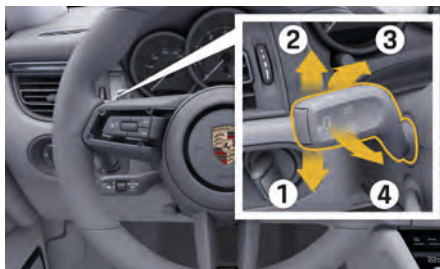


図. 123: 方向指示灯およびハイビームレバー

- 1 方向指示器、左
- 2 方向指示器、右
- 3 ハイビームヘッドライト/ダイナミックハイビーム
- 4 ヘッドライトパッシング

方向指示器の操作

1. 圧力ポイント **1** または **2** までレバーを押してください。
 - ➔ 指示灯は、操作レバーを手動で初期位置に戻すか、ステアリングホイールを回したときに自動的に初期位置に戻るまで、作動し続きます。
2. 抵抗を感じる位置まで操作レバーを下方向 **1** または上方向 **2** に動かしてください。
 - ➔ 方向指示灯が 3 回点滅します。

ハイビームヘッドライトの作動




ハイビームヘッドライトの ON/OFF (ダイナミックハイビーム非装備車)

- ▶ **ON** にする：抵抗を感じる位置まで操作レバーを前方向 **3** に 1 回動かしてください。
 - ➔ インジケーターライト が点灯します。
- ▶ **OFF** にする：抵抗を感じる位置まで操作レバーを手前 **4** に 1 回動かしてください。

ダイナミックハイビームの作動/停止

ダイナミックハイビームを作動させるには、次の条件を満たさなければなりません。


- ✓ 夜間
- ✓ ライトスイッチが **AUTO** 位置に選択されている。

- ✓ 速度が約 60km/h 以上。
- ✓ マルチファンクションディスプレイでダイナミックハイビームが作動している。
- ▶ **有効にする**：抵抗を感じる位置まで操作レバーを前方向 **3** に 1 回動かしてください。
- ➔ インジケーター ライト  が点灯します。ロービームとハイビームの間で段階的に配光が自動調節されます。
- ハイビームの部分的な点灯時または完全な点灯時には、インジケーター ライト  が点灯します。
- ▶ **無効にする**：抵抗を感じる位置まで操作レバーを手前 **4** に 1 回動かしてください。
- ➔ インジケーター ライト  が点灯しているときのみ、ダイナミックハイビームを無効にできます。


ダイナミックハイビームの手動 ON/OFF

ダイナミックハイビームを解除した場合、またはダイナミックハイビームの作動条件が満たされなかった場合、手動でハイビームの点灯/消灯を切り替えることができます。

以下の条件を満たさなければなりません。

- ✓ 夜間
- ✓ ライトスイッチが **AUTO** 位置に選択されている。
- ▶ **ON にする**：抵抗を感じる位置まで操作レバーを前方向 **3** に 1 回動かしてください。
- ➔ インジケーター ライト  が点灯します。
- ▶ **OFF にする**：抵抗を感じる位置まで操作レバーを手前 **4** に 1 回動かしてください。

ヘッドライトパッシングを操作する

- ▶ 抵抗を感じる位置まで操作レバーを手前 **4** に 1 回動かしてください。
- ➔ インジケーター ライト  が短時間点灯します。

パーキングライトの ON/OFF

- ✓ イグニッションが OFF です。
- ▶ 操作レバーを上方向 **2** または下方向 **1** に押すと右または左側のパーキングライトが点灯します。

ハザードライトスイッチの ON/OFF



図. 124: センターコンソールのハザードライトボタン

ハザードライトスイッチはイグニッションが OFF のときでも作動します。

ハザードライトスイッチの ON/OFF

- ▶ センターコンソールのハザードライト ボタンを押してください。
- ➔ すべての方向指示灯とボタンのインジケーターライトが同時に点滅します。

緊急ブレーキ後のハザードライトスイッチの解除

約 70km/h 以上の速度で走行中、例えば目前に渋滞の最後尾が現れたとき、停車するために急ブレーキをかけると、制動中にブレーキライトが点滅し、車両の停止後にハザードライトスイッチが自動的に作動します。

- ▶ センターコンソールのハザードライト ボタンを押して、ハザードライトスイッチを消灯してください。車両が動き出すと、ハザードライトスイッチが自動的に解除されます。

事故後のハザードライトスイッチを無効にする

衝突時、ハザードライトスイッチが自動的に解除されます。

- ▶ ハザードライトスイッチを解除するには、イグニッションを OFF にした後、再度イグニッションを ON にしてください。

発光ダイオード (LED) の交換

デイトタイムライト、フロントサイドライト、方向指示器、ヘッドライト、テールライト、ライセンスライト、ハイマウントブレーキライトおよびインテリアライトには、発光ダイオード (LED) が使用されています。

LED は個別に交換できません。

- ▶ 不具合のある LED の交換はボルシェ正規販売店にお任せください。ボルシェは、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

パークアシスト

一般的な安全に関する指示



警告

運転中または駐車中の不注意

パークアシストによって運転は快適になりますが、無謀な運転は避けてください。パークアシストはあっても、駐車の際に注意したり、障害物の有無を確認したりする責任は、依然としてドライバーにあります。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 人や動物、障害物が取り回しの範囲内にあることを確認してください。
- ▶ 操作中、および人、動物、障害物、または他の車両がある場合は、赤色のエリアに進入しないでください。

作動原理

パークアシストによって、駐車時や操作中に、障害物との距離が視覚的と音響的にドライバーに示されます。

パークアシストインフォメーションはダッシュボードのタッチディスプレイに表示されます。車両前後の障害物が色別にフィールド表示されます。このフィールドにより障害物の形や車両との距離が分かります。

パークアシストは以下のものを検出できません。

- 音波を吸収する物体（粉雪などの雪、布地や毛皮の衣類など）。
- 音を反射する障害物（ガラス面、平坦な塗装面など）。
- 非常に細い障害物（細い支柱など）。
- 外部超音波を発する機器（他車のエア ブレーキ、掃除機、削岩機など）が障害物の検出に干渉する可能性があります。
- センサーまたはカメラがひどく汚れている場合の障害物。

距離測定



図. 125: 距離測定用超音波センサー

フロントおよびリアバンパーの超音波センサー **A** が最も近くにある障害物からの距離を測定します。障害物を検出すると、警告音が断続的に鳴ります。車両が障害物に近づくにつれて警告音の断続間隔は短くなります。障害物との距離が約 30cm 以下になると、警告音が連続して鳴ります。センサーの上および下にある障害物は検知できません。

パークアシストの有効化と無効化

自動作動（約 15km/h の速度まで）

- ✓ イグニッションを ON になっている。
- ✓ リバース（後退）ギヤに入っていること。
 - または - 前方の距離が約 80cm 以下です。
 - または - 車両が後退していることを検出しています。

手動での作動

▶ 車両 ▶ コントロール ▶ パークアシスト

ダッシュボードのタッチディスプレイの表示

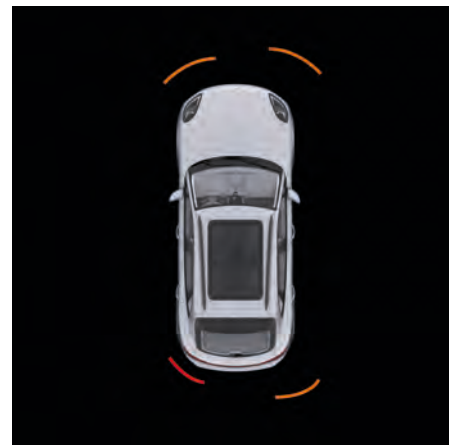


図. 126: 駐車支援の表示

カラー	前側の距離	後ろ側の距離
白	> 80cm	> 80cm
橙色	< 80cm	< 80cm
赤色	< 40cm	< 40cm
赤 + 連続音	< 30cm	< 30cm

パークアシストの停止

自動停止

- ✓ セレクター レバーが P 位置になっていること。

手動での停止



図 127: パークアシストの停止

- ▶ ルーフ コンソールの **A** ボタンを押してください。
➔ ボタンのインジケータ ライトが点灯します。

ダッシュボードのタッチ ディスプレイに何の表示もありません。ダッシュボードのタッチ ディスプレイの表示を手動で再起動することはできません。

パークアシストの警告音量を設定する

パークアシスト警告音の音量はインストルメント パネルで調節できます。

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 音量

ポルシェ アクティブセーフ (PAS) アクティブセーフティ – ポルシェ アク ティブセーフ (PAS)

⚠ 警告

PAS 制限または使用不可

- ▶ 次のような状況では、PAS は制限されるか使用できません：
 - PSM、ACC またはフロント カメラが故障している場合、PAS 機能を利用できないことがあります。
 - PSM の機能が制限されているか OFF になっている場合、PAS は OFF になります。
- ▶ 公共の通行から離れた道路の走行時、または、カー トランスポーター、鉄道、船などの交通手段に車両を積むときには、PAS を OFF にしてください。これにより、意図しない PAS の介入を防ぐことができます。

⚠ 警告

検出されない障害物

- ▶ センサーやカメラは、障害物や車線境界線をどのような場合であってもすべて検出できるというわけではありません。
- ▶ 複雑な走行状況では、システム内部の限界によって PAS が不適切な警告を発したり、不必要なブレーキ介入を行う可能性があります。
- ▶ PAS は動物、横断する見えにくい物体には反応しません。
- ▶ ガードレールやトンネルの入り口などの反射物、豪雨、降雪、対向車の明るいヘッドライト、氷によって衝突リスクの検出が低下する場合があります。

⚠ 注意

PAS 制限または使用不可

フロント ウィンドウ、バンパー、ホイールハウジングへの損傷、または駐車時の衝突などのアンダーボディへの損傷により、センサーの位置が移動することがあります。それにより、PAS に悪影響が及ぶ場合があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

作動原理

ポルシェ アクティブセーフ (PAS) には、次の機能が搭載されています：

- 警告およびブレーキ機能
- 歩行者警告

アダプティブクルーズコントロール (ACC) のレーダー センサーおよびフロント ウィンドウ背面のカメラは、車両正面エリアを監視します。

市街地や郊外を所定の速度範囲で走行中に別の車両または歩行者と衝突しそうなとき、システムの制限の範囲内で衝突を検出できます。このような場合、システムは必要に応じて、ブレーキ振動によりドライバーに視覚と音により警告を発します。ある特定の状況下では、システムは、衝突速度の抑制または衝突回避のために、状況に応じてドライバーがかけたブレーキ圧を高める、軽いまたは完全な減速を始める場合があります。

1. すべての国別仕様で使用可能ではありません。

システム制限


警告およびブレーキ機能

システムの限界内で、PAS は衝突しそうな場合に警告を発し、適切なブレーキ操作を開始することが可能です。

検出のタイミングが合えば、システムは危険な状況を察知し適切に対応します。例えば、前方車両が急ブレーキを踏んだり、前方にあるかなり低速で走行している車両や停車車両に、運転している車両が高速で近づいたりしている場合などには、危険な状況になる恐れがあります。検出できない場合、PAS は反応しません。

走行中の車両は、5km/h 以上の速度で検出できます。停車中の車両は、5km/h から 85km/h の速度範囲で検出できます。

距離警告

PAS は、前方車両に接近し過ぎて危険な状態を検出した場合、車速が約 5km/h 以上であれば、インストルメントパネルにシンボルマーク  を表示してドライバーに警告します。

▶ 157 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

インストルメントパネルでの PAS の ON/OFF 切り替え

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ アシスタンスシステム ▶ Porsche Active Safe ▶ システムを起動する

PAS が OFF の場合、 がインストルメントパネルに表示されます。

衝突警告



図. 128: マルチファンクションディスプレイの警告メッセージ

PAS は、他車両と衝突する危険を検出した場合、車両の速度が最大が約 5km/h の範囲内であれば、警告音とインストルメントパネルの表示によりドライバーに警告します。

この警告が発生しても、ドライバーは、ステアリング回避や急ブレーキにより衝突を防止できる可能性があります。交通状況とドライバーの運転方法で、警告のタイミングが違ってきます。同時に、車両は緊急ブレーキに備えられます。

インストルメントパネルでの衝突警告の OFF/ON 切り替え

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ アシスタンスシステム ▶ Porsche Active Safe ▶ 障害物を検知した際、警告音および車両のブレーキが作動します

ブレーキ時の振動

PAS は、ドライバーが衝突警告に反応しない場合、速度が約 5km/h 以上であれば、ブレーキを振動させるアクティブブレーキ介入によりドライバーの注意を喚起し、衝突の危険が高まっていることを知らせます。さらに、警告音とインストルメントパネルの表示が発せられます。

システムが検知した危険な状況にドライバーが対応しないか対応が適切でない場合、PAS がブレーキ介入を行い、アシストする場合があります。

自動ブレーキ



警告

PAS を介した自動ブレーキ

必要に応じて、自動ブレーキにより車両が減速し停止する場合があります。車両が停止しても、それ以降、ブレーキがそのままずっとかけられるわけではありません。

- ▶ ブレーキをかけ、車両の制御を引き継いでください。

① インフォメーション

PAS による自動ブレーキは、ドライバーが自分でブレーキをかけたり、アクセルを強く踏み込んだり、回避操作をしたりすると中止されます。

PAS は、ドライバーがブレーキ振動告に反応しない場合、速度が約 5~210km/h の範囲内であれば、制動力を徐々に強めながら車両に自動的にブレーキをかけます。衝突しそうな状況で減速することにより、事故の被害を軽減することができます。

衝突しそうな状況でドライバーのブレーキ操作が十分でないと PAS が判断した場合、ブレーキ圧を増加させることがあります。さらに、警告音とインストルメントパネルの表示が発せられます。PAS は、車両の速度が約 5km/h 以上の場合に、ブレーキ力を上昇させることがあります。

歩行者警告



図 129: マルチファンクションディスプレイの歩行者警告

警告

PAS 検出性能が正常に機能しない場合

- ▶ 以下の点を遵守してください。
 - 霧、豪雨、降雪、対向車のヘッドライトが明るすぎるといった視界が悪い状況では、常に歩行者を検知できるとは限りません。
 - PAS 歩行者警告は横断する見えにくい動物や物体には反応しません。
 - PAS 歩行者警告は、システムの内部制限による複雑な走行状況では、不測の警告を作動することがあります。
 - PSM の機能が制限されたり、OFF になったりすると、歩行者警告は停止します。
- ▶ 必要に応じて適切な運転操作をしてください。
- ▶ 進行方向の状況に常に気を配ってください。

システムは、歩行者と衝突する危険性を検出した場合、車両の速度が約 12~65km/h の範囲内であれば、警告音、ブレーキ振動、インストルメント パネルの表示によりドライバーに警告します。歩行者警告は、歩行者が走行車線内で立ち止まっているか、走行車線内に入ってきた場合に行われます。この警告が発生しても、ドライバーは、ステアリング回避や急ブレーキにより衝突を防止できる可能性があります。交通状況とドライバーの運転方法で、警告のタイミングが違ってきます。

ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)

作動原理

PASM はショック アブソーバーをアクティブに調整します。アジャスタブル ダンパー システムは、走行状態や走行条件に応じて各ホイールに適切なダンピングフォースを制御します。走行安全性、俊敏性、および快適性が最適化されます。

ボタンの操作で 3 種類のシャーシ モードから選択できます。

- 「Comfort」
- 「Sport」
- 「Sport Plus」

「Comfort」モードでは、車両は快適な設定となります。「Sport」シャーシ設定ではスポーティーなダンパーコントロール設定になります。「Sport Plus」モードでは、サーキットなどでダンパー コントロールは妥協のないスポーティーな走行に最適化されます。走行状況に合わせて、マニュアル モードに加えて、PASM もショック アブソーバーを調整し、スポーティーまたは快適な走行を可能にします。

シャーシ モードの設定



図 130: センターコンソールの PASM ボタン

1. イグニッションを ON にします。
2. ϕ ボタンを繰り返し押ししてください。

ボタンのインジケータ:

- 「Comfort」(デフォルト設定)を選択した場合、インジケータ ライトは**点灯しません**。
- 「Sport」を選択した場合、インジケータ ライトが**1 つ**点灯します。
- 「Sport Plus」を選択すると、インジケータ ライトが**2 つ**点灯します。

更に、選択したシャーシモードはインストルメントパネルに短時間表示されます。

i インフォメーション

イグニッションを OFF にした後でも、最後に選択したシャーシモードは保存された状態のままになります。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 157 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

エアサスペンションおよびレベルコントロールシステム付きポルシェアクティブサスペンションマネージメント (PASM)

エアサスペンションおよびレベリングコントロールシステム付き PASM は、ダンパーカおよび車高バランスシステムをアクティブに調整するためのシステムです。アジャスタブルシャーシシステムは、走行状態や走行条件に応じて、各ホイールの減衰力を適切な力に調整します。レベリングシステムは、負荷変動を自動的に均等化し、一定の車高を保ちます。走行安全性、俊敏性、および快適性が最適化されます。

ボタンの操作で 3 種類のシャーシモードから選択できます。

- 「Comfort」
- 「Sport」
- 「Sport Plus」

ノーマルモードでは、車両は快適な設定となります。「Sport」シャーシ設定ではスポーティーなショックアブソーバー設定になります。「Sport Plus」モードでは、ダンパーコントロールは、サーキットなどでの妥協のないスポーティーな走行に最適化されます。走行状況に合わせて、マニュアルモードに加えて、PASM もショックアブソーバーを調整し、スポーティまたは快適な走行を可能にします。

i インフォメーション

- 車両に荷物が載っている場合、車高は自動的に保持されます。エンジン作動中のみ個別レベルステップが設定できます。
- レベルを何度も切り替えると、コンプレッサーがオーバーヒートすることがあります。この場合、コンプレッサーが冷えるまで数分間待ってから、レベリングシステムを再度正常に機能させてください。コンプレッサーが冷えると、システムは選択したレベルに自動的に調整されます。

i インフォメーション

エアサスペンション装備車の場合、車両を数週間使用していなかった場合、車両レベルを下げることはできません。エンジン始動後、車両が車両レベルを下げるのを自動的に調整します。このプロセスは、車両によっては数分かかります。このとき、地上高が減少します。

シャーシモードの設定



図 131: センターコンソールの PASM ボタン

1. イグニッションを ON にします。
2. ϕ ボタンを繰り返し押ししてください。

ボタンのインジケータ:

- 「Comfort」(デフォルト設定)を選択した場合、インジケータ ライトは**点灯しません**。
- 「Sport」を選択した場合、インジケータ ライトが**1 つ**点灯します。
- 「Sport Plus」を選択すると、インジケータ ライトが**2 つ**点灯します。

更に、選択したシャーシモードはインストルメントパネルに短時間表示されます。

i インフォメーション

イグニッションを OFF にした後でも、最後に選択したシャーシモードは保存された状態のままになります。

i インフォメーション

車両が停止している場合、車両重量のバランスを保つため車高が自動的に調整されることがあります。

シャーシ高の調節

シャーシ高を設定できます。イグニッションを OFF にした後も、最後に手動で選択したシャーシモードは保存された状態のままになります。

ノーマルレベル

ノーマルレベルの場合、地上高は約 200mm です。

テレーンレベル (高レベル 1)

オフロードモードでのテレーンレベルは、オフロード走行、路面走行、木道などに使用します。車両はノーマルレベルと比較すると約 40mm 上がります。

テレーンレベルは手動でかつ約 90km/h 未満のスピードで走行している場合にのみ ON にすることができます。テレーンレベルはオフロードモードが ON になっているときに自動的に適用されます。

▶ 100 ページの「オフロード走行プログラム」の章を参照してください。

低レベル

低レベルは手動で選択することができ、全速度範囲で有効のままになります。車両はノーマルレベルと比較すると約 20mm 下がります。

低レベルの ON および OFF の切り替え



図. 132: 低レベルボタン

- ✓ イグニッションは ON に切り替わり、エンジンは作動中です。
- ▶ ボタンを押してください。
 - ➡ 低レベルが設定されているとき、ボタンのインジケーターライトが点灯します。

i インフォメーション

レベルを何度も切り替えると、コンプレッサーがオーバーヒートすることがあります。この場合、コンプレッサーが冷えるまで数分間待ってから、レベリングシステムを再度正常に機能させてください。コンプレッサーが冷えると、システムは選択したレベルに自動的に調整されます。

i インフォメーション

ドアが開いている場合、車両は下がりません。ドアが閉じた後に、選択したレベルが設定されます。

レベリングシステムの ON および OFF の切り替え



警告

タイヤ交換時のレベリングシステムの作動

ジャッキから車両が滑り落ちる恐れがあります。身体の一部が挟まれたり、ケガをする恐れがあります。

リフティングプラットフォームまたはジャッキによるリフトアップを行う前に：

- ▶ 中間の高さを手動で設定します。
- ▶ レベリングシステムを OFF にします。

知識

トレーラー車両けん引時に車高レベルを調整すると、車両の垂直連結荷重を超えることがあります。

- ▶ 標準の高さでの垂直連結荷重を必ず確認してください。

トレーラーモード時、低レベルは利用できません。トレーラーモード時、テレーンレベルおよび高レベルは 15km/h 以下で走行している場合にのみ選択できません。速度が 15km/h を超えると、車両は自動的にノーマルレベルまで下がります。

車両をリフトで持ち上げたり、ジャッキを使用して持ち上げたりする場合、オートレベリングシステムは必ず OFF にしてください（車両ジャッキモード）。

車両のリフトアップに関する情報：

▶ 252 ページの「ジャッキおよびリフティングプラットフォーム」の章を参照してください。

レベリングシステムを OFF にする

- ✓ 車両が停止している状態。
 - 1. イグニッションを ON にします。
 - 2. ボタンを約 10 秒間押し続けます。
 - ➡ マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。
- これで車両をジャッキアップできます。

レベリングシステムを ON にする

- ✓ 車両が停止している状態。
- 1. イグニッションを ON にします。
- 2. ボタンを約 10 秒間押し続けます。
 - ➡ マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

i インフォメーション

車速が約 7km/h を超えると、レベリングシステムは自動的に ON になります。

ドロップフレーム機能

知識

シャーシ部品、アッセンブリーおよび車両下周りを損傷する恐れがあります。

車両がカーブからフレームを落としたまま発進すると、地上高が不十分などの理由で、車両の下周りが地面に接触することがあります。

- ▶ 発進する前には必ず中レベルに切り替えてください。

この機能はラゲッジコンパートメントへの積載を容易にするものです。車両後部を約 40mm 下げます。

速度が約 5km/h を超えると、車両は自動的に以前の設定レベルまで上がります。



図. 133: ラゲッジコンパートメントのボタンによるローディングレベル機能の設定

ローディングレベル機能は、ラゲッジコンパートメント進行方向右側のサイドトリムパネルの2つのAボタンおよびBを使用して設定できます。

選択されたモードにより、ボタンを押してから車両後部が上昇または降下するのに1~2秒かかることがあります。車両後部は選択するモードにより、様々な速度で上昇することがあります。

車両後部を下げる

- ✓ リヤリッドが開いています。
 - ▶ A ボタンを押し続けます。
 - ➔ 2つのAボタンおよびB間のインジケータライトが点灯します。
- 車両後部が下がります。

車両後部のリフトアップ

- ✓ リヤリッドが開いています。
 - ▶ B ボタンを長押ししてください。
 - ➔ 2つのAボタンおよびB間のインジケータライトが点灯します。
- 車両後部が初期レベルに上げられ、インジケータライトは消灯します。

① インフォメーション

- ローディングレベル機能が作動しているときは、その他のレベリングシステムは作動しません。
- 2つのAボタンおよびB間のインジケータライトが点滅し続ける場合、ローディングレベル機能を作動させることはできません。例：コンプレッサーエアがない、バッテリー電圧が低すぎる、レベリングシステムに故障があるなど。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 157 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

ポルシェスタビリティマネージメント (PSM)

ポルシェスタビリティマネージメント (PSM)

▲ 警告

車両コントロールの喪失

PSMは、不適切な走行速度による事故の危険性を減少させるものではありません。走行安全性は向上しますが、より大きな安全上のリスクを冒すことを誘発するものではありません。PSMが装備されていても、物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ PSMの利点にかかわらず、ドライバーには路面、天候、周囲の交通状況に応じた適切な運転に努める責任があります。

作動原理

PSMは、極端な条件での運転時に車両を安定させるためのアクティブコントロールシステムです。エンジンが始動すると、自動的に有効になります。PSMは、アンチロックブレーキシステム (ABS) とエンジンドラッグトルクコントロールシステム (MSR) の機能と同様に、オートマチックブレーキディファレンシャル (ABD) とアンチスリップコントロール (ASR) システムの両方を利用します。以下の条件でPSMコントロールの作動を知ることができます。

- インストルメントパネルのPSM警告灯が点滅します。
- 油圧作動音が聞こえます。
- 車両は減速し、ステアリングホイールの力は目標を定めたブレーキ介入によって変化します。
- エンジン出力が低下します。
- ブレーキペダルが振動し、ペダルの位置が変化します。最大の制動力を得るため、ブレーキペダルに振動を感じたらさらに強く踏み込んでください。

オートマチック ブレーキディファレンシャル (ABD)

いずれかのアクスルで一方のホイールが空転し始めると、そのホイールにブレーキをかけて、反対側のホイールの駆動力を確保します。

アンチスリップコントロール (ASR)

アンチスリップコントロールシステムは、エンジン出力を調整することでホイールのスピンを防止し、確実な追従性および走行安定性を実現します。

エンジンドラッグトルクコントロール (MSR)

オーバーラン時、ホイールのスリップが激しい状況では、エンジンドラッグトルクコントロールが駆動輪のロックアップを防ぎます。滑りやすい路面でシフトダウンした場合も同様です。

ステアリングトルクパルス

ステアリングトルクパルスは摩擦値が異なる路面でブレーキをかけた場合に運転者のステアリングアシストを行います。カウンターステアリング中も操舵力を追加して運転者を支援します。

PSM の操作

PSM スポーツの作動

- ✓ スポーツクロノパッケージ装備車。



警告

PSM サポート制限

PSM スポーツモードで、ABS コントロール範囲外の極限的な走行状況においては PSM からのサポートが制限される。

- ▶ 「通常」走行では常に PSM スポーツを OFF にすることを勧めます。
- ▶ スペア ホイールを装着して走行している場合は、絶対に PSM スポーツを有効にしないでください。

PSM スポーツモードにすると、システムは特定のスポーツモードに切り替わります。

- ▶ ボタンを短く押します。
 - ➔ ボタンのインジケーターライトとインストールメントパネルの PSM OFF 警告灯 が点灯します。
- ▶ インストールメントパネルに PSM スポーツが作動していることを示すメッセージが表示されます。

PSM を OFF にする



警告

PSM アシスタンスなし

PSM を OFF にすると、ABS 制御の範囲外になるような過酷な走行状況では、PSM によるサポートが行われなくなります。

- ▶ 「ノーマル」走行では常に PSM を ON にすることを推奨いたします。
- ▶ スペア ホイールを装着して走行している場合は、絶対に PSM を OFF にしないでください。



図. 134: センターコンソールの PSM OFF ボタン

- ▶ ボタンを 2 秒以上押しします。
 - ➔ ボタンを押してから実際に PSM が OFF になるまでには、若干の遅れがあります。ボタンのインジケーターライトとインストールメント

パネルの PSM OFF 警告灯 が点灯します。インストールメントパネルに PSM メッセージが表示されます。

① インフォメーション

ABS コントロール範囲内でブレーキをかけた場合、PSM が OFF の状態でも車両は安定性を維持します。片方の駆動輪が空転すると、PSM を OFF にしていても空転を抑制します。

以下の例外的な状況では、PSM を一時的に OFF にすることが有効な場合があります。

- むかるんだ路面、または積雪が多い場合。
- スタックした車両を脱出させる場合。

① インフォメーション

PSM スポーツモードが作動しているとき、PSM を事前に ON にしていた場合のみ PSM OFF モードへの切り替えが可能です。

PCM を ON にする

- ▶ ボタンを押してください。
 - ➔ 直ちに PSM が復歸します。

ボタンのインジケーターライトとインストールメントパネルの PSM OFF 警告灯 が消灯します。インストールメントパネルに PSM が作動していることを示すメッセージが表示されます。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 157 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

ABS ブレーキシステム (アンチロック ブレーキシステム)



警告

車両コントロールの喪失

ABSは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

走行安全性は向上しますが、だからといって無謀な運転は避けてください。アンチロックブレーキシステムが装備されていても、物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ アンチロックブレーキシステムの有無にかかわらず、ドライバーには路面、天候、周囲の交通状況に応じた適切な運転に努める責任があります。

ABSの特徴:

- ステアリングの操作性の確保: 安定したステアリングコントロール性能を維持します。
- 優れた走行安定性: ホイールロックによるスリップを回避します。
- 制動距離の短縮: ほとんどの状況で制動距離が短くなります。
- ホイールロックの回避: タイヤのフラットスポットを回避できます。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 157 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

機能

ABSは、緊急回避が必要な状況で最も効果を発揮し、走行安定性とステアリングコントロール性を維持します。

ABSは、あらゆる路面状況下での急ブレーキ時、車両が停止する直前までホイールロックを回避します。

ホイールのロック点付近でブレーキをかけたときにABSは作動し始めます。

このブレーキコントロールは、非常に小刻みなポンピングブレーキをかけるのと似た状態です。ブレーキペダルの脈動やノイズは、ドライバーが道路状況に対してスピードを調整するようにという警告の役目をします。

フルブレーキをかける必要がある場合:

- ▶ 急ブレーキ操作が必要な場面では、ブレーキペダルが脈動してもしっかりとブレーキペダルを踏み続けてください。ブレーキ圧力を低下させないようにしてください。

マルチ コリジョン ブレーキング

マルチ コリジョン ブレーキングは、事故が起こった際に自動的にブレーキをかけ、衝突後の車両の横滑りや多重事故のリスクを軽減し、ドライバーを補助します。

必要条件

マルチ コリジョン ブレーキングが作動するのは、以下の場合のみです。

- 車両の前方、横方向および後ろからの衝突時。
- 事故の際に、エアバッグコントロールユニットが該当する作動しきい値を検出する場合。
- 車速約 10km/h 以上で走行しているときに事故が発生する場合。

インフォメーション

事故後に PSM や電気系統に損傷がなく、作動可能な場合、PSM によって自動的に車両の油圧ブレーキが作動されます。

例外的な状況

以下の状況では事故の際に自動的にブレーキが作動しません。

- ドライバーがアクセルペダルをはっきりと踏み込んだ場合。
- ドライバーがブレーキペダルを踏み込んだ際のブレーキ圧力がシステムによって加えられるブレーキ圧力よりも強い場合。

フロント ウィンドウワイパー

概要

この概要説明は「フロント ウィンドウワイパー」の項の詳しい情報に代わるものではありません。

操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図 135: フロント ウィンドウワイパー レバー



図 136: リヤワイパー用のボタン (A) およびレインセンサー感度のスイッチ (B)

希望する操作	操作方法	操作箇所
フロント部のワイパーを自動で作動 (レインセンサー/間欠作動)	▶ 操作レバーを 1 の位置にしてください。	▶ 123 ページ以降
レインセンサー/間欠作動の感度設定	▶ レバー右側のスイッチ A を上 (作動回数が増える) または下 (作動回数が減る) 向きに押してください。	▶ 123 ページ以降
フロントワイパー	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 遅い: 操作レバーを 2 の位置にしてください。 ▶ 速い: 操作レバーを 3 の位置にしてください。 ▶ ワンタッチ: 操作レバーを短く押して 4 の位置にしてください (4 の位置で保持すると、ワイパーの動きが速くなります)。 	▶ 123 ページ以降
フロントワイパーとウォッシャー	▶ 操作レバーをステアリングホイール方向 5 に引いて、保持してください。	▶ 123 ページ以降

希望する操作	操作方法	操作箇所
リヤ部のワイパーを作動させる (間欠作動)	▶ 操作レバーのスイッチ B を上方向 INT 位置まで押してください。	▶ 123 ページ以降
リヤ部のワイパーを作動させる (1 回のみ作動)	▶ スイッチ B を上または下方向いっばいに押してください。	▶ 123 ページ以降
フロント ワイパーを格納位置から出す	▶ イグニッションを OFF にして、ワイパー レバーを 4 の位置に 1 回押し下げます。フロント ウィンドウワイパーが上方に約 45°移動します。	▶ 123 ページ以降

一般的な安全に関する指示



警告

ワイパーの不意の作動

フロント ウィンドウ清掃時に怪我をする恐れがあります。レイン センサー モードでは、フロント ウィンドウに水滴を検出すると自動的にワイブ作動を行います。

- ▶ フロント ウィンドウワイパーを OFF にしてからフロント ウィンドウを清掃してください。

知識

ラゲッジコンパートメントリッド、フロント ウィンドウおよびワイパーシステムを損傷する恐れがあります。

- ▶ フロント ウィンドウが十分に濡れた状態でワイパーを操作させてください。乾いた状態での使用はウィンドウの擦り傷の原因になります。
- ▶ ワイパー ブレードが凍結した場合は、走行前に慎重にフロント ウィンドウから剥がしてください。
- ▶ (レイン センサー機能により) 不意に操作することのないよう、洗車機で洗車する前に必ずフロント ウィンドウワイパーを OFF にしてください。

フロント ワイパーの操作



図. 137: フロント ウィンドウワイパー レバー

0 フロント ウィンドウワイパー OFF

フロント ワイパーまたはイグニッションを OFF にすると、ワイパー アームが通常位置からわずかに上方に動きます。この動きにより、ワイパー ブレードのウィンドウ接触面の向きを整えます。

1 レイン センサー/間欠作動、フロント ワイパー

- ▶ ワイパー レバーを最初の位置にまで動かします。

2 フロント ワイパー低速

- ▶ ワイパー レバーを 2 番目の位置にまで動かします。

3 フロント ワイパー高速

- ▶ ワイパー レバーを 3 番目の位置にまで動かします。

4 フロント ワイパーのワンタッチ機能

- ▶ ワイパー レバーを押し下げます。フロント ワイパーがワイブ サイクルを 1 回実施します。

5 フロント ワイパー/ウォッシャー システム

- ▶ ワイパー レバーをステアリング ホイールの方向に引いてください。レバーを手前に引いている間、ウォッシャー システムとワイパーが作動します。ワイパー レバーを放すと、拭き取りのためワイパーが数回作動します。

アイス/サン シールドの装着またはワイパー ブレードの交換

アイス/サン シールドの装着

- ▶ イグニッションを OFF にして、ワイパー レバーを **4** の位置に 1 回押し下げます。フロント ウィンドウワイパーが上方に約 45°移動します。

レインセンサー作動の調節



図 138: レインセンサー/間欠作動感度の切り替えスイッチ

レインセンサーが操作すると、フロント ウィンドウに付着する水滴の量を感知します。ワイパーの操作間隔は、状況に応じて自動的に調節されます。

フロント ウィンドウ ワイパーを ON にしているときに速度が約 4km/h 以下になると、レインセンサーが自動的に作動します。速度が約 8km/h を超えると、システムが設定したワイパー作動に切り替わります。

i インフォメーション

- イグニッションを ON にしたとき、ワイパー レバーがすでに **1** の位置にあった場合、速度が 4km/h を超えるまでレインセンサーは作動しません。
- イグニッションを ON にしたときに、すでにワイパー レバーが **2** または **3** の位置にある場合、フロント ウィンドウ ワイパーはワイパー レバーを操作しなければ作動しません。

レインセンサー感度の手動調節

ワイパー速度を手動で設定することができます。

- ▶ スイッチ **A** を上向きに押す - 高感度。
 - ➔ フロント ウィンドウ ワイパーが 1 回ワイブ作動を行い、設定が切り替わったことを知らせます。
- ▶ スイッチ **A** を下向きに押す - 低感度。

リヤワイパーの操作



図 139: リヤワイパーのスイッチ

リヤワイパーの間欠作動を ON にする

- ▶ スイッチ **B** を INT 位置まで押し上げます。

リヤワイパーの間欠作動を OFF にする

- ▶ スイッチ **B** を OFF 位置まで押し下げます。

ワイパーの手動操作

- ▶ スイッチ **B** を OFF 位置 (戻り止め機構付き) から下方向に押すか、または INT 位置 (戻り止め機構付き) から上方向に押します。スイッチを押している間、ワイパーが作動します。

リヤウィンドウの清掃

- ▶ スイッチ **B** を停止位置まで下または上に押し下す。
 - ➔ スイッチを下または上に押ししている間、ウオッシャー システムとワイパーが作動します。スイッチを放すと、拭き取りのためワイパーが数回作動します。

i インフォメーション

リヤウィンドウの清掃時に、リバースカメラが同時に清掃されます。

リバース機能を ON にする

マルチファンクションディスプレイでは、雨天時やフロントワイパー操作中にギヤをリバースにいれると一連のワイブ操作が自動的に実行されるようにリヤワイパーを設定できます。

リバース (後退) ギヤ選択時のリヤワイパーの作動設定に関するインフォメーション:

- ▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。

ワイパー ブレードの交換

ワイパー ブレードは年に 2 回 (寒い季節の前後に)、またはワイパーのパフォーマンスが落ちたり、ブレードが損傷したりした場合に交換する必要があります。

▲ 注意 正しく取り付けられていないワイパー ブレード

ワイパー ブレードが適切に交換されていないと、走行中に脱落することがあります。

- ▶ ワイパー ブレードはワイパー アームに適切に固定する必要があります。
- ▶ ワイパー ブレードが確実に固定されていることを確認します。

知識

ワイパー アームを誤ってフロントウィンドウに勢いをつけて戻すと、フロントウィンドウが損傷することがあります。

- ▶ ワイパー ブレードを交換する場合は、ワイパー アームをしっかり保持してください。

知識

ワイパー ブレードは低温で凍結することがあります。

- ▶ 走行前に凍結したワイパー ブレードを溶かしてください。

i インフォメーション

必要な場合は、ボルシェ正規販売店で交換作業を行ってください。ボルシェは、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

フロント ウィンドウ ワイパー ブレードの交換

ワイパーの展開

- ✓ イグニッションを OFF にします。
- 1. ワイパー レバーを 1 回押し下げてください (位置 4)。
 - ▶ フロント ウィンドウ ワイパーが上方に約 45° 移動します。
- 2. ワイパー ブレードの交換は、メーカーより提供の別紙の取扱説明書を参照してください。ワイパー ブレードの長さが異なるので注意してください。

ワイパーの格納

- ✓ イグニッションを ON になっている。
- ▶ ワイパー レバーを約 1 秒間押し下げます (位置 4)。
 - ▶ フロント ウィンドウ ワイパーが通常位置に戻ります。

レーンキープアシスト

一般的な安全に関する指示

▲ 警告

集中力の低下

ドライバーは走行中、レーンキープアシストが有効な場合であっても、意識的に走行車線内に留まるなど、常に安全運転に努めてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。

- ▶ システムは車両を走行車線に留めるよう、システムの性能範囲内でドライバーをサポートしますが、代わりに運転するわけではありません。常にステアリング ホイールを保持し、いつでもハンドルを切れる状態でいてください。インストールメント パネルに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人が直ちに車両のコントロールを行ってください。
- ▶ 具体例を挙げると、急ブレーキのときには補正的なステアリング介入が作動しない場合があります。
- ▶ ドライバーが積極的にハンドル操作を行っている場合は、ステアリング介入による補正が発動しない、または発動が制限されることがあります。
- ▶ 車線区分線が一部検出されない場合もあります。ステアリング介入は、車線区分線が検出された側に対してのみ発動します。
- ▶ 道路構造物や路上の物体などが、車線区分線と誤って認識される場合があります。これにより、ステアリング介入や警告音が予期せぬ形で発動、または発動しない場合があります。
- ▶ わだち、カーブの多い道、坂道、または横風がある場合など、ステアリング介入による補正だけでは車両を走行車線に保つには不十分な場合があります。これらの状況では、ドライバーが積極的にステアリングを行わなければなりません。

以下の状況では、レーンキープアシストを決して使用しないでください。

- 通常よりもドライバーの注意が必要とされる場合。
- スポーツ走行中。
- 悪天候 (霧、雪、または豪雨など)。
- 道路状況 (悪路、道路のくぼみ、汚れている路面を含む) が悪い場合。
- 道路工事区間。
- 起伏の激しい路面や坂道に近づいている場合。
- 曲がりくねった狭い道路、道路工事区間、市街地での走行。
- 不安定な交通状況 (分岐点や料金所など)。
- ▶ 十分に注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 道路状況と天候に応じて適したスピードで運転してください。
- ▶ ステアリング ホイールには物を取り付けしないでください。

▲ 警告

車線を検出するカメラの不良

カメラの視界は、雨水、雪、氷、多量の水しぶき、対向車のヘッドライト、損傷などさまざまな要因によって低下します。特に、カメラがレーンマーカーを認識できない、または正しく認識しない場合があります。それによって、ステアリング操作ができなかったり、あるいは不意の介入が行われる恐れがあります。

- ▶ 十分に注意して運転してください。
- ▶ ハンドルをしっかりと持ち、車線区分線に常に注意を払ってください。
- ▶ カメラレンズは定期的洗浄し、雪や氷が付着したときは取り除いてください。
- ▶ カメラレンズを覆わないでください。
- ▶ カメラレンズ前面のフロントウィンドウに損傷がないかを定期的に確認してください。

① インフォメーション

- ▶ システムの故障またはレーンキープアシストの機能不全がこの章の記載どおりに発生する場合、レーンキープアシストを使用しないでください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

① インフォメーション

レーンキープアシスト ON で作動中の場合、ドライバーのステアリング操作は監視されます。ステアリングが操作されない場合（ステアリングホイールを握っていない、または軽く手を置いているなど）、インストールメントパネルに警告メッセージが表示されます。システムは、ステアリング操作を行うようドライバーに促します。ドライバーがメッセージに応じて操作しない場合、システムは停止モードに切り替わります。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 157 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

故障発生時の作動停止：

システムエラーが発生した場合、レーンキープアシストは自動的にスイッチ OFF になり、警告メッセージが表示されます。

作動原理



図. 140: フロントウィンドウフロントカメラ

レーンキープアシスト¹は、正面のカメラAを使用して、システムの性能範囲内で車線区分線に基づき前方のコースを検出します。車両が検出された車線区分線に接近して、走行車線を逸脱する危険があるときには、システムはステアリング介入による補正を開始し、車両が走行車線に留まるようにします。インストールメントパネルのレーンキープアシストステータスディスプレイおよびACCメインメニューで車線区分線はオレンジ色で強調表示されます¹。ドライバーはいつでもステアリング介入を無効にすることができます。

システムは、ドライバーが走行車線を守って走行するようにアシストしますが、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。車両が方向指示器を出さずに車線区分線を超えると、システムはドライバーに対して音響的および視覚的に注意を喚起します。インストールメントパネルのレーンキープアシストステータスディスプレイおよびACCメインメニューで車線区分線はオレンジ色で強調表示されます。そのため、「車両」メニューで警告音設定が有効になっていなければなりません。

このシステムは高速道路やよく整備されたA道路、郊外道路での走行を想定して設計されており、約65km/h〜250km/hの速度範囲で作動します。システムが有効な場合でも、車線変更前に方向指示灯が作動していれば、ドライバーへの警告や補正ステアリングはなされません。これらの状況では、システムは車線変更が意図的なものであると解釈します。

国別仕様に応じて、運転手は車線内での希望する位置を設定できます。運転手が車両を希望する位置に数秒間保持すると、システムは車線中央維持機能を終了し、車線内のオフセット位置での走行を開始します。そのため、介入時間を「早く」に必ず設定します。システムが停止するまたは無効化される場合（例：方向指示灯を操作、車線変更、ブレーキ操作）、位置の変更は再度リセットされます。

1. 利用可否は国によって異なります

✓ レーンチェンジアシスト装備車：

深刻な事故につながる可能性のある状況で車線変更を試みると、ステアリング介入による補正によってドライバーに警告が行われます。これは、該当する方向への方向指示器が操作している場合でも同様です。ドライバーがステアリング介入を無効にすると、警告音により追加の警告が行われます（作動している場合）。

レーンキープアシストの呼び出しおよび読み取り



図. 141: レーンキープアシスト表示

- A ACC 表示
- B 車線区分線の表示
- C ステータス表示
- D レーンキープアシストのステータス表示

アダプティブクルーズコントロール (ACC) 装備車：

車線区分線 (B) は「ACC」(A) メインメニューに表示されます。「ACC」メインメニューを選択していない場合、ステータスディスプレイ (C) を介して表示されます。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) 非装備車：

車線区分線はステータスディスプレイ (C) にのみ表示されます。

システムステータスの読み方

表はレーンキープアシストのシステムステータスおよびインストルメントパネルにおけるその表示を示します。

レーンキープアシスト表示	ステータス表示	意味
表示なし	表示なし	レーンキープアシストがOFFになっています。
		レーンキープアシストはONになっていますが、停止しています。
		レーンキープアシストはONで作動しています。

レーンキープアシスト表示	ステータス表示	意味
		ドライバーはレーンキープアシスト作動中に車線を逸脱すると、右側で警告されます。
		レーンキープアシストは、右側のステアリング介入を実行します ¹ 。
		レーンキープアシストは介入時間「早期」がONですが、停止中です ¹ 。
		レーンキープアシストは介入時間「早期」がONで、作動中です ¹ 。

1. 利用可否は国によって異なります

① インフォメーション

システムが ON であっても停止モードである場合、下記のような原因が考えられます。

- 車両がシステム動作速度である約 65km/h 未満の速度で走行している。
- 自車の車線のレーン マーカーが認識できない (例えば、積雪、汚れ、降雨、反射光、または先行車により)。
- 車線区分線の状態が良好ではないために、レーンキープアシストが起動できない。
- カーブの半径が小さすぎる。
- 一番近い車線区分線までの距離が遠すぎる。
- 車線区分線が車両に近すぎる。
- 稼働中、一時的に極めて激しい運転が行われています。
- 方向指示灯が作動中。
- ドライバーがステアリング ホイールを握っていません。

レーンキープアシストの ON/OFF



図. 142: レーンキープアシスト

レーンキープアシストを ON に切り替える

- ▶ ボタンを押してください。
 - ボタンのインジケータライトが点灯します。

レーンキープアシストを OFF に切り替える

- ▶ ボタンを押してください。
 - ボタンのインジケータライトが消灯します。

介入時間の設定¹

介入設定のタイミングはインストルメントパネルで設定することができます (国によってはご利用いただけない場合があります)。

早い: 車両を希望の車線に留めるためのステアリング介入が続きます。約 160km/h 以降、介入時間は自動的に「遅い」に切り替わります。

遅い: ステアリング介入による補正が行われるのは、車両が車線区分線を越える直前になります。

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ アシスタンスシステム ▶ レーンキープアシスト

警告音の設定

警告音はインストルメントパネルで ON と OFF に切り替えることができます。警告音の音量も 3 段階で選択できます。

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ アシスタンスシステム ▶ レーンキープアシスト

車線逸脱警告

一般的な安全に関する指示



警告

車線を検出するカメラの不良

カメラの視界は、雨水、雪、氷、多量の水しぶき、対向車のヘッドライト、損傷などさまざまな要因によって低下します。特に、カメラがレーン マーカーを認識できない、または正しく認識しない場合があります。それによって、ステアリング操作ができなかったり、あるいは不意の介入が行われる恐れがあります。

- ▶ 十分に注意して運転してください。
- ▶ ハンドルをしっかり持ち、車線区分線に常に注意を払ってください。
- ▶ カメラレンズは定期的洗浄し、雪や氷が付着したときは取り除いてください。
- ▶ カメラレンズを覆わないでください。
- ▶ カメラレンズ前面のフロント ウィンドウに損傷がないかを定期的確認してください。

システム制限

車線逸脱警告の例外

以下の状況では、車線逸脱警告は利用できません。

- 方向指示器が設定されているとき。
- PSM 介入の場合。
- 走行するカーブの半径のカーブが小さすぎるとき (約 250m 未満の半径のカーブ)。
- ブレーキ圧力、加速またはステアリングホイール操作が大きすぎるとき。

1. 利用可否は国によって異なります

- 車線区分線が隠れている、不明瞭、またはない場合。カメラがひどく汚れている、氷結している、あるいは（ステッカーなどで）覆われている場合。
 - 悪天候（豪雨、薄暮など）のとき。
- ✓ レーンチェンジアシスト装備車：

レーンチェンジアシスト装備車でこの機能が有効である場合、危険な状況の可能性のある車線変更を行おうとすると、ドライバーは車線逸脱警告によって音響的および視覚的にさらに警告されます。これは、該当する方向への方向指示灯が操作している場合でも同様です。

操作原理

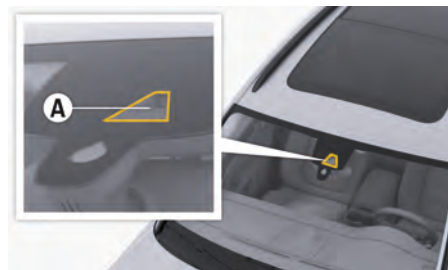


図 143: フロント ウィンドウ フロント カメラ

車線が不意に変更されたことを検出すると、車線逸脱警告は直ちに音響的および視覚的にドライバーに警告します。前方のコースを常に再算出するために、車線区分線はカメラ A によって検出されます。

約 65~250km/h の速度で、車線区分線までの距離がシステムによって危険とみなされる場合、警告音が鳴り、警告対象の区分線がインストルメントクラスターのマルチファンクションディスプレイでハイライトされます。

車線変更前にドライバーが方向指示灯を操作すれば、作動中のシステムは警告を出しません。これらの状況では、システムは車線変更が意図的なものであると解釈します。

車線逸脱警告の表示と読み取り



図 144: 車線逸脱警告の表示

- A ACC 表示
- B 車線区分線の表示
- C ステータス表示

アダプティブクルーズコントロール (ACC) 装備車

車線区分線 B は「ACC」 (A) メインメニューに表示されます。ACC メインメニューを選択していない場合、ステータスディスプレイ C に表示されます。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) 非装備車

車線区分線はステータスディスプレイ C にのみ表示されます。

システム ステータスの読み方

表は車線逸脱警告のシステム ステータスおよびインストールメント パネルにおけるその表示を示します。

ACC 表示	ステータス表示	意味
表示なし	表示なし	車線逸脱警告がオフになっていること。
		車線逸脱警告は ON だが停止モード。
		車線逸脱警告は ON で有効。
		ドライバーは車線逸脱警告作動中に車線を逸脱すると、右側で警告されます。

車線逸脱警告の ON/OFF の切り替え



図 145: 車線逸脱警告

車線逸脱警告を ON にする

- ▶ ボタンを押してください。
 - ➔ ボタンのインジケーター ライトが点灯します。

車線逸脱警告を OFF にする

- ▶ ボタンを押してください。
 - ➔ ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

警告音の設定

警告シグナルが発令されるタイミングおよび警告シグナルの音量は、インストルメント パネルで変更できます。

- ▶ **車両 ▶ 設定 ▶ アシスタンスシステム ▶ 車線逸脱警告**

レーンチェンジアシスト (LCA)

一般的な安全に関する指示

▲ 警告 レーダー センサーの視界の妨げ

レーダー センサーの視界は急カーブ、急勾配への接近、および悪天候 (雨、雪、氷、強い水しぶき) では低下することがあります。車両を正しく検出できないことや、まったく検出できなくなることがあります。

- ▶ ハンドルをしっかりと持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

▲ 警告 検出されない車両

- ▶ 次のような状況では、システムはタイミングよく車両を検出できない場合があります。
 - レーンチェンジアシストは高速で後方から接近する車両や遠ざかる車両に対しては、タイミング良く警告できない場合があります。
 - レーンチェンジアシストは、急カーブでは車両を検出できません。
 - レーンチェンジアシストは約 10km/h 以上の速度で走行しているときのみ、接近車両や死角エリアの車両をドライバーに警告します。
- ▶ ハンドルをしっかりと持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

システム制限

一般情報

- システムは車速が約 10km/h を超えるとアシスタンスを提供します。
- このディスプレイはドライバーがドア ミラーを一目見ただけで気づくよう設計されています。

- レーンチェンジアシストのレーダー センサーが覆われていることをシステムが検出した場合は、レーンチェンジアシストは利用できません。
- レーダー センサーは、車両以外の他の障害物 (高いまたは隆起した中央分離帯など) を検出する場合があります。

i インフォメーション

- ▶ 衝突修理後などレーダー センサーの位置が変更された場合は、安全上の理由から必ずボルシェ正規販売店でレーンチェンジアシスト システムを点検してください。

i インフォメーション

レーダー センサーは左右の周辺トラックをカバーしません。レーダー センサーは他のトラックをカバーしません。

情報および警告ステージ

方向指示灯が設定されたかに応じて、レーンチェンジアシストには適切に作動する 2 つのインジケーター レベルがあります。

情報ステージ

ドライバーが方向指示灯を操作していない場合、レーンチェンジアシストは、車線変更する場合に検出した車両が危険であると判断すると、ドライバーに知らせます。レーンチェンジアシストが検出した車両との速度差および距離を危険と判断すると、該当するドア ミラーの警告インジケーターが弱い光で点灯します。

警告ステージ

方向指示器が ON で、その方向にレーンチェンジアシストが危険とみなされる車両を検出した場合、検出した側のドア ミラーの警告インジケーターが**明るく**点滅を開始します。警告ステージの数回の明るい点滅は、ドア ミラーを見るかまたは肩越しに確認するなど、再度周囲の交通状況を確認するよう促しています。

① インフォメーション

- 車両がより高速で接近してくると、ドアミラーの警告インジケータはより早いタイミングで点灯します。レーンチェンジアシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも「死角エリア」に入るまでにドライバーに警告されます。
- ドアミラーの警告インジケータがまだ表示されていないなくても、高速で接近する車両がある場合、車線変更は危険と考えられます。

作動原理

レーンチェンジアシスト (LCA¹) は、後方から接近する車両や死角にある車両をドライバーに警告します。これは他車を追い越すときにも、追い越されるときにも作動します。危険な状況や車線変更が不可避な状況を検出すると、両側のドアミラーハウジングの一体化されている警告インジケータ A (図 213) が直ちに点灯します。



図 146: ドアミラーの警告インジケータ A



図 147: リヤバンパーのレーダーセンサー

レーンチェンジアシストは、リヤバンパー内に組み込まれたレーダーセンサーを使用して、検出した車両と自車との距離および速度差を測定します。レーダーセンサーは後方約 70m の範囲 (アプローチゾーン) および死角を監視しています。レーンチェンジアシストがその速度差および距離から車線変更が危険と判断した場合、該当するドアミラーに表示されます。その際、車両の左右が別々に表示されます。例えば、左ドアミラーの警告インジケータはドライバーが左車線に車線変更する際に役立ちます。近くの車両が危険として分類されているときにインジケータが作動すると、ドアミラーの該当する表示が数回明るく点滅します。

他車をゆっくり (速度差約 15km/h 未満) と追い越す場合、他車が死角エリアに入ったことをレーンチェンジアシストが検出すると、直ちに警告インジケータが点灯します。速度差がそれ以上の場合、ドアミラーには表示されません。

レーンチェンジアシストの ON/OFF

ON にする

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ アシスタンスシステム ▶ 車線変更補助 ▶ システム ON

レーンチェンジアシストが ON の場合、イグニッションを ON にするとドアミラーのインジケータが短く点灯します。

OFF にする

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ アシスタンスシステム ▶ 車線変更補助 ▶ システム ON

① インフォメーション

レーンチェンジアシストを適切に機能させるには：

- ▶ リヤバンパーのレーダーセンサー部をステッカーなどで覆わないでください。また、この周囲から汚れや雪、氷を取り除いてください。
- ▶ ドアミラーハウジングのインジケータをステッカーなどで覆わないでください。

ドアミラーの画面の明るさを設定する

情報と警告の画面の明るさは、どちらも周囲の明るさに応じて自動的に調整されます。

基本的な明るさはインストルメントパネルで調節することができます。

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ アシスタンスシステム ▶ 車線変更補助 ▶ 明るさ

① インフォメーション

明るさを調整している間はレーンチェンジアシストが作動しません。警告インジケータは明るさ設定の補助として短時間のみ点灯します。

1. 利用可否は国によって異なります

運転状況

起こり得るケースとそれに関連するレーンチェンジアシストの警告インジケータを、運転状況に応じて以下に説明します。

急速に接近する車両

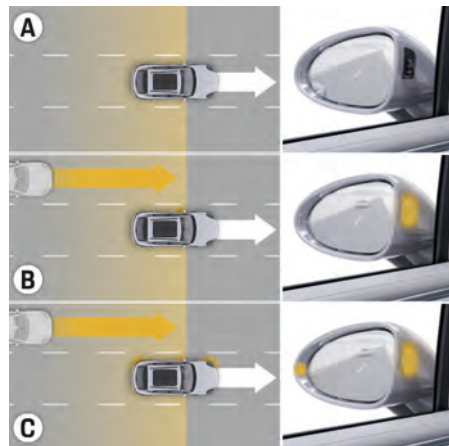


図 148: 急速に接近する車両

A-ドアミラーの警告インジケータは点灯しない

センサーは車両を検出していません。ドアミラーの警告インジケータは点灯しません。

B-警告インジケータが情報ステージで点灯する

高速で接近する車両-図の例は左車線を示す-を検出しました。車両との距離はまだ離れていますが、著しい速度差があるため、すでに車速変更を行うには危険であると判断されます。ドアミラーのインジケータが点灯します。

C-警告インジケータが警告ステージで点滅する

運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドアミラーの警告インジケータが数回明るく点滅します。レーンチェンジアシストは、車両を見落としていた可能性があることを警告します。

ゆっくりと接近する車両

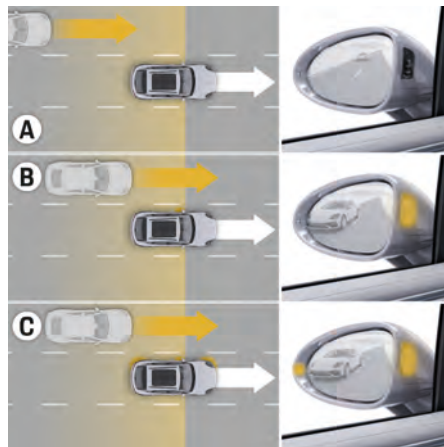


図 149: ゆっくりと接近する車両

A-ドアミラーの警告インジケータは点灯しない

センサーがゆっくりと接近する車両-を検出しています(図の例は左側車線-を示しています)。速度差が小さくして車間距離が長い場合は、ドアミラーに表示されません。

B-警告インジケータが情報ステージで点灯する

車両がゆっくりと接近してきています。ドアミラーのインジケータが点灯します。

レーンチェンジアシストがその速度差および距離から車線変更が危険と判断した場合、該当するドアミラーに表示されます。

レーンチェンジアシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも「死角」に入るまでにドライバーに警告されます。

C-警告インジケータが警告ステージで点滅する

運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドアミラーの警告インジケータが数回明るく点滅します。レーンチェンジアシストは、車両を見落としていた可能性があることを警告します。

ゆっくりと後ろに遠ざかる車両

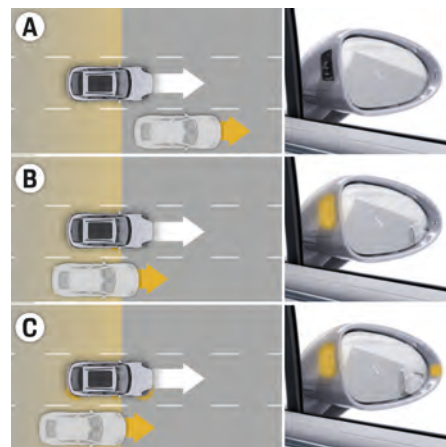


図 150: ゆっくりと後ろに遠ざかる車両

A-ドアミラーの警告インジケータは点灯しない

レーンチェンジアシストはこの車が追い越した車両をまだ検出していません。ドアミラーの警告インジケータが点灯しません。

B-警告インジケータが情報ステージで点灯する

レーンチェンジアシストはゆっくりと遠ざかる車両(速度差約 15km/h 未満)を右側車線で検出しました。

ドアミラーのインジケータが点灯します。

C-警告インジケータが警告ステージで点滅する

運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドアミラーの警告インジケータが数回明るく点滅します。レーンチェンジアシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

急速に後ろに遠ざかる車両

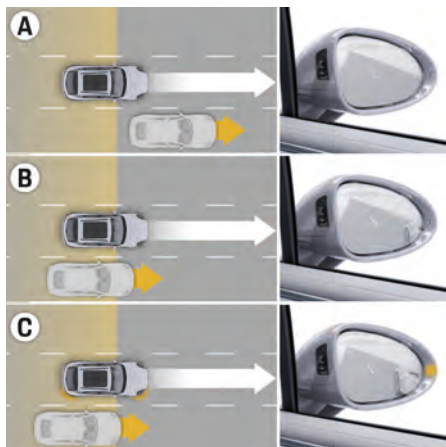


図. 151: 急速に後ろに遠ざかる車両

A-ドアミラーの警告インジケータは点灯しない

レーンチェンジアシストはこの車が追い越した車両をまだ検出していません。ドアミラーの警告インジケータが点灯しません。

B-ドアミラーの警告インジケータが点灯しない

この例では、レーンチェンジアシストは高速で遠ざかる車両（速度差約 15km/h 以上）を右側車線で検出しますが、高速で遠ざかっているため車線変更を行う際の危険とはみなされません。ドアミラーの警告インジケータが点灯しません。

C-ドアミラーのインジケータが点灯しない

運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作しても、ドアミラーの警告インジケータは作動しません。

コーナリング

カーブを走行する場合、レーンチェンジアシストが 2 つ離れたレーンを走行する車両に反応し、ドアミラーのインジケータが点灯することがあります。

レーンチェンジアシストは急カーブ上では車両を検出できません。

- ▶ レーンの幅が異なるカーブを走行するときは十分に注意してください。

トラフィック ジャム アシスト (TJA)

一般的な安全に関する指示

▲ 警告

注意の欠如および環境要因の変化

トラフィック ジャム アシストは、高速道路やよく整備された郊外道路でのみ使用することを想定して設計されています。トラフィック ジャム アシストのおかげで運転は非常に快適になりますが、無謀な運転は避けてください。車線を守ることおよび交通状況を常に正しく判断することは、ドライバー本人の責任です。

- ▶ 常にステアリングホイールを保持し、いつでもハンドルを切れる状態でいてください。
- ▶ 常にドライバー本人が運転操作（加速または減速）を引き継げる状態でいてください。インストルメント パネルに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人が直ちに車両のコントロールを行ってください。
- ▶ 以下の状況では、トラフィック ジャム アシストを決して使用しないでください：
 - 通常よりもドライバーの注意が必要とされる場合。
 - オフロード走行中や未舗装または滑りやすい道路を走行中の場合。
 - 悪天候の場合（霧、雪、または豪雨など）。
 - 道路状況が悪い場合（悪路、道路のくぼみ、汚れている路面を含む）。
 - 起伏の激しい路面や坂道に近づいている場合。
 - 曲がりくねった狭い道路、道路工事区間、市街地での走行。
 - 分岐点や料金所などの不安定な交通状況。

知識

システムは、常に、車両を車線の中央部分または前の車の中央位置に保持できるわけではありません。トラフィック ジャム アシストは路上の障害物を避けて走行するためのものではありません。渋滞アシストは、人や動物、車線を横切る車、または同じ車線の対向車には反応しません。センサーはこれらを障害物として検知しません。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▷ 157 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

作動原理

渋滞アシスト (TJA) ¹ は、渋滞時や低速走行する交通状況でドライバーの運転をサポートするものです。

トラフィック ジャム アシストは、システムが計算した車線を車両が維持できるようにします。ACC が ON である場合は、システムの制限内で、システムが車両のハンドル操作を自動で行います。ドライバーはいつでもステアリング介入を無効にすることができます。

渋滞アシストの有効化と無効化

トラフィック ジャム アシストを作動させるには、次の条件を満たさなければなりません。

- ✓ レーンキープアシストが ON になっており、介入のタイミングが早くに設定されています ¹ 設定されています。
- ✓ アダプティブクルーズコントロール (ACC) が作動中。

1. 利用可否は国によって異なります

さらに、ステアリング介入のためには次の条件を満たさなければなりません。

- ✓ 約 65km/h 以下の車速で車線区分線が検出されます。

—または—

アダプティブクルーズコントロール (ACC) のターゲットオブジェクトは、約 35km/h 未満の車速で利用できます。

- ✓ ステアリングホイールを保持しています。
- ✓ 方向指示器が設定されていません。

トラフィック ジャム アシストを無効にするには、アダプティブクルーズコントロール (ACC) またはレーンキープアシストを OFF にします。

渋滞アシストが ON の場合、ドライバーのステアリング操作が監視されます。ステアリングが操作されない場合、短時間でインストルメントパネルに警告メッセージが表示されます。

システムは、警告音とインストルメントパネルのテキストメッセージによって、積極的にステアリング操作を行うようにドライバーに促します。ドライバーがこれに反応しない場合、渋滞アシストは停止モードに切り替わります。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) に関する制限や情報：

▷ 83 ページの「アダプティブクルーズコントロール (ACC)」の章を参照してください。

i インフォメーション

- ▶ この章の記載どおりにシステムの故障または交通渋滞アシストが機能しない場合は、交通渋滞アシストを使用しないでください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェは、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

渋滞アシストの表示と読み取り

システム エラーがある場合、交通渋滞アシストは自動的に OFF になり、警告メッセージが表示されます。

▷ 125 ページの「レーンキープアシスト」の章を参照してください。

クルーズコントロール

一般的な安全に関する指示



警告

危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

現在の交通状況で前走車との安全な距離を保って走行できない場合、または一定の車速で走行できない場合、クルーズコントロールを使用すると事故を起こす危険があります。

- ▶ 渋滞、カーブの多い道、悪い路面状態(冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面など)ではクルーズコントロールを使用しないでください。

作動原理

クルーズコントロールは、アクセルペダルを踏まなくても、選択された速度を約 30~240km/h の範囲で一定に保ちます。

クルーズコントロールは、ステアリングコラム左下にあるレバーで操作します。

コントロールレバー



図. 152: クルーズコントロール操作レバー

A クルーズコントロールの ON/OFF の切り替え

1 設定速度の設定 / 加速

- 2 目標速度の引き下げ
- 3 クルーズコントロールモードの中断 (OFF)
- 4 保存した速度の再開 (RESUME)

ⓘ インフォメーション

アクティブ ブレーキ機能は、特に下り坂などで設定速度を維持するため、自動的に作動します。

クルーズコントロール ON/OFF

クルーズコントロール ON (スタンバイ)

- ▶ コントロールレバーの A ボタンを押します。



クルーズコントロール ON

マルチファンクションディスプレイのグレーのアイコンは使用可能状態を示します。速度は保存されていません。

クルーズコントロールを OFF にする

- ▶ コントロールレバーの A ボタンを押します。
 - ➡ メモリーが消去され、スタンバイのシンボルマークが消灯します。

ⓘ インフォメーション

保存された速度はイグニッションを OFF にすると消去されます。

クルーズコントロールの作動

1. アクセルペダルの操作で目標速度まで加速または減速します。
2. コントロールレバーを前方 (1 の位置) に短く押します。

クルーズコントロールの操作

速度の維持と保存

1. アクセルペダルの操作で目標速度まで加速または減速します。
2. ステアリングホイールのレバーを前方に押しします。(位置 1)



目標速度

オレンジ色に変わったクルーズコントロールアイコンの下に走行中の速度が表示され、自動的に維持されます。

速度の変更

- ▶ 速度を上げる場合は、ステアリングホイールのコントロールレバーを前方に押しします (位置 1)。短く押す = 1km/h、長く押す = 10km/h
- ▶ 速度を下げる場合は、ステアリングホイール側にコントロールレバーを引きます (位置 2)。短く引く = 1km/h 単位、引き続ける = 10km/h 単位
- ➡ 新しく設定した速度がマルチファンクションディスプレイに表示されます。

ⓘ インフォメーション

通常通りアクセルペダルの操作で加速することができます。これにより保存された速度は変更されません。アクセルを緩めると保存した速度に戻ります。

クルーズコントロールモードの中断 (OFF)

中断前の走行速度はメモリーに保存され、操作レバーを押して呼び出すことができます。

- ▶ コントロールレバーを下方 (位置 3) に押し下す
 - または -
 レバーにスピードリミッター ボタン B が付いている車両。
 - または -
 ブレーキ ペダルを踏んでください。
 - または -
 セレクターレバーを **N** 位置に入れます。

クルーズコントロールの自動中断:

- 設定速度より約 25km/h 以上速い速度で、20 秒以上走行した場合。
- 上り坂などで、設定速度より約 60km/h 以上遅い速度で 60 秒以上走行した場合。
- ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が 0.5 秒以上作動した場合。

保存した速度の再開 (RESUME)

- ▶ コントロールレバーを押し上げてください (位置 4)。
- ➡ クルーズコントロールは設定速度になるまで加減速を行います。

表示および入力

インストルメントパネル

インストルメントパネル

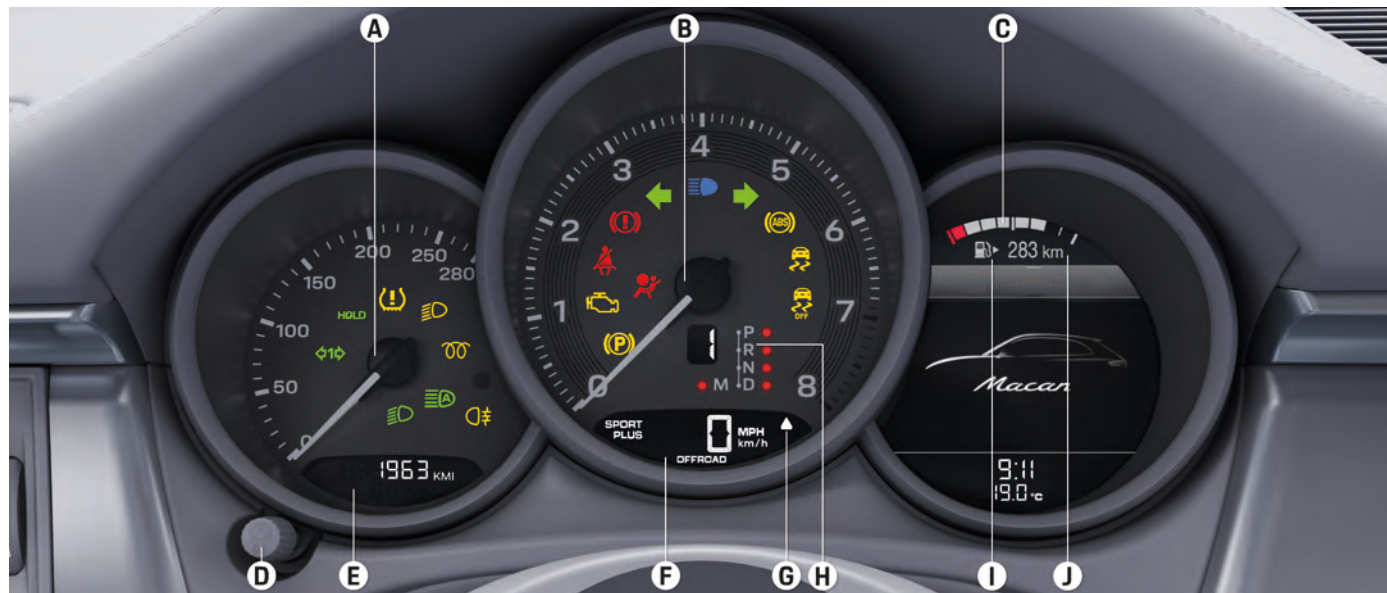


図. 153: インストルメントパネル

A – スピードメーター

B – タコメーター (回転計)

タコメーターの目盛りが赤色の部分は、エンジン回転数の許容上限を示しています。

C – マルチファンクションディスプレイ

▶ 138 ページの「マルチファンクションディスプレイおよびマルチファンクションステアリングホイールの操作」の章を参照してください。

D – トリップメーター、計器照明および PCM の明るさ設定用リセット ボタン

E – オドメーターおよびトリップメーター表示

ディスプレイの上段は総走行距離を表示し、下段は区間の走行距離を表示しています。トリップメーターは、9,999km (6,213 マイル) を超えた後、「0」に戻ります。

トリップメーターを手動でリセットしてください。

- ▶ D ボタンを約 1 秒押ししてください。
- ➡ トリップメーターが「0」にリセットされます

F- デジタルスピードメーター

G- シフトアップインジケーター

現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセルペダルの踏み込み量に応じて経済的な運転を促すシフトアップインジケーターが点灯し、1 段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。マニュアルモードでのみシフトアップインジケーターが使用可能です。

- ▶ シフトアップインジケーターが点灯したときは、1 段高いギヤにシフトアップしてください。

H- 作動モードと締結ギヤのインジケーター

I- フィラーフラップ位置の表示



矢印は車両のフィラーフラップの付いている側面を示しています。

J- 燃料計

車両ピッチが変化する場合（上り坂や下り坂の走行など）、表示位置が少し変化することがあります。

燃料残量警告

燃料の残量が機種ごとに設定された一定量の燃料残量を下回る場合、残燃料低下警告メッセージが表示されません。

- ▶ 最寄りの給油所で給油してください。
 - ▶ 250 ページの「補給」の章を参照してください。

知識

燃料不足は、エミッションコントロールシステムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。
- ▶ 燃料警告が表示された場合、カーブを曲がるときにスピードを出さないでください。

マルチファンクションディスプレイおよびマルチファンクションステアリングホイールの操作



運転中の使用および操作

マルチファンクションステアリングホイールやインフォテインメントシステムなどの設定や操作を行うと、交通状況に対する注意がそらされる危険があります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 運転中は、周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限りコンポーネントを操作してください。
- ▶ 安全にできるか分からない場合は、車両を安全な場所に停車し、車両停車中にのみ詳細な操作や設定を行ってください。

インストルメントパネルは、イグニッションがONの時のみ有効です。安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。

マルチファンクションディスプレイの表示エリア



図. 154: マルチファンクションディスプレイの表示エリア

個々のエリア A、C および D の表示内容は変更できません。

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ディスプレイ
2. 希望の表示内容を選択してください。

A/D- 上部/下部ステータスエリア

上部/下部ステータスエリアには、時刻、温度などの基本情報がずっと表示されます。

B- タイトルエリア/メニューインジケーター

タイトルエリアには、現在選択しているメニュー項目が表示されます。

右側のメニューインジケータ（灰色のバー）には、選択可能な全メニューにおける現在のメニュー項目の位置および、選択できるメニュー項目の数が表示されます。

メニューインジケータの幅が広いほど、選択できるメニュー項目の数が少ないことを意味します。

C- インフォメーションエリア

インフォメーションエリアには、現在選択できるメニュー項目が表示されます。メニュー項目を選択した後は、そのメニュー項目に関する情報や、その他の選択肢が表示されます。

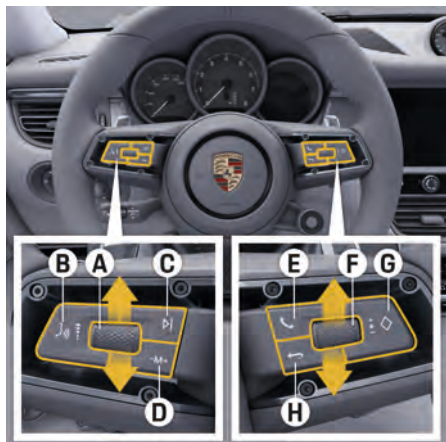


図. 155: マルチファンクションステアリングホイールによるインストールメントパネルの操作

A- 音量の調節またはオーディオソースのミュート

- ▶ 音量の調節：ロータリーノブAを上方向または下方向に回します。
- ▶ ミュート：ロータリーノブAを押します。

B- ボイスコントロールの呼び出し

- ▶ Bボタンを押してください。

C- 次の放送局/トラックを再生する

- ▶ Cボタンを押してください。

D-M- 手動切り替えモードを有効にする

- ▶ Dボタンを押してください。

E- 着信を受ける

- ▶ Eボタンを押してください。

F- マルチファンクションディスプレイのメニューおよび機能をスクロールし、選択する

- ▶ スクロール：ロータリーノブFを上方向または下方向に回してください。
- ▶ 選択/入力：ロータリーノブFを押します。

G- 保存した機能を呼び出す

- ▶ ◇Gボタンを押します。
ボタンは個別に割り当てることができます。
▶ 181ページの「車両設定」の章を参照してください。

H- 1つ前、または複数前の選択レベルに戻る

- ▶ Hボタンを押します。

i インフォメーション

長いリストでエントリを探す際、選択した文字で始まる項目までスキップするには、ロータリーノブを上方向または下方向に素早く回してください。

オプションの選択および機能の有効化

手前のシンボルマークは、オプションが選択されているかどうか、または機能が有効な状態であるかどうかを示します。

複数のオプションから1つを選択

- オプションは選択されています。
- オプションは選択されていません。

機能の有効化および無効化

- 機能は作動しています。
- 機能が無効になりました。

インストルメントパネルの表示項目

一部のディスプレイ表示は停車中のみ利用できます。

この取扱説明書は機能の一部のみを紹介しています。ここではメニューの構成や、主な機能を例示し、操作方法をわかりやすく説明します。

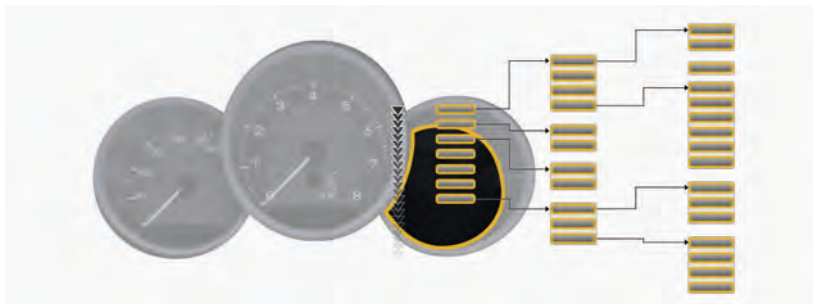


図. 156: インストルメントパネルの表示項目

メニュー	何かお手伝いいたしましょうか?	操作箇所
車両 インフォ	車両情報の確認 (メッセージ、サービス間隔、平均燃費、シャーシ設定)	▷ 181 ページ以降
車両 ▶ オイル測定	エンジン オイル レベルの測定と表示	▷ 225 ページ以降
車両 ▶ 制限	制限速度の設定	▷ 142 ページ以降
車両 ▶ 設定 ▶ 表示	マルチファンクション ディスプレイの表示を変更する	—
車両 ▶ 設定 ▶ 日付/時刻	日付と時刻の調整	—
車両 設定 アシスタンスシステム	アシスタンス システムの調整	—
車両 設定 INDIVIDUAL	INDIVIDUAL 走行プログラムの調整	▷ 101 ページ以降

メニュー	何かお手伝いいたしましょうか？	操作箇所
車両 設定 ライトと視界	エクステリアライト、インテリアライト、後退時のディスプレイ補助、およびフロントワイパー設定の調整	-
車両 設定 ロック	ロック解除/ロックの設定	▷ 40 ページ以降
車両 設定 エアコン	エアコンの設定の調整	▷ 60 ページ以降
車両 ▶ 設定 ▶ ステアリングホイールオプション ▶ ◇ ボタン	マルチファンクションステアリングホイールの◇ボタンを割り当てる	-
車両 設定 音量	警告シグナルおよびパークアシストの音量の調整	▷ 113 ページ以降
車両 設定 単位	車両ディスプレイ用測定単位の調整	-
車両 ▶ 設定 ▶ 言語	マルチファンクションディスプレイの言語の設定	-
車両 設定 Porsche Car Connect アプリ	車両とアプリ間の通信の設定	-
車両 設定 リセット	工場出荷時の設定に戻す	-

メニュー	何かお手伝いいたしましょうか？	操作箇所
オーディオ	有効なオーディオ ソースから放送局またはトラックを選択する	▷ 184 ページ以降
電話	電話の使用	▷ 198 ページ以降
マップ	地図画面の表示および調整	▷ 186 ページ以降
ナビゲーション	ナビゲーション システムを使用する	▷ 186 ページ以降
トリップ	走行データを表示/リセットする	—
タイヤ空気圧	タイヤ空気圧を表示してタイヤ設定を調整する	▷ 234 ページ以降
4 輪駆動	4WD に関する情報を表示する	—
CHRONO	ストップウォッチで時間を計測する	▷ 195 ページ以降
ACC	アダプティブクルーズコントロール (ACC) の使用	▷ 83 ページ以降

速度警告を伴うカスタム速度制限の設定

速度警告を伴う制限速度のパーソナル設定を行い有効にすると、制限を超えた場合に警告メッセージが表示され、警告音が鳴ります。

この機能は、装着しているタイヤの種類に許容される最高速度を守るために、ドライバーに注意を喚起する場合などに利用できます。

1. 車両 ▶ 制限 ▶ 制限 1 または制限 2

2. 任意の制限を選択します：

- 現在の速度：現在の速度を設定してください。
- 手動：任意の速度値を設定してください。
- 有効：速度制限を有効、または無効にします。

- 速度制限が作動しています。
 速度制限は無効です。

車両情報の表示

メッセージの表示

▶ 車両 ▶ インフォ ▶ 通知

未解決の警告または車両メッセージが表示されます。

下部のエリアに表示される警告メッセージは、未解決の重要な警告メッセージの数を示します。

サービスインターバルの表示

▶ 車両 ▶ インフォ ▶ サービスインターバル

任意のサービスインターバルを選択します。
 次のサービス時期が表示されます。

エアスプリングの高さの表示

- ✓ エアサスペンションおよびレベリング システム装備 Porsche Active Suspension Management (PASM)

▶ 車両 ▶ インフォ ▶ レベル

ディスプレイには、現在設定されているエアスプリングの高さの情報が表示されます。

ドライビングデータの表示 (トリップ情報)

タッチディスプレイとインストールメント パネルには、走行時間、走行距離、平均車速、平均燃費などの一連のドライビングデータを表示することができます。

インストルメントパネルの走行データの表示

トリップデータの表示



1. メニュートリップを選択します。
2. リストから表示内容を選択します。

トリップデータのリセット




1. トリップ ▶ トリップデータをリセットする
2. リストから表示内容を選択します。

ダッシュボードのタッチディスプレイ上での走行データの表示




トリップデータの表示

1. 車両  トリップ 
2. 必要な表示内容までスクロールしてください。

トリップ設定をカスタマイズする

1. 車両  トリップ  オプション  ▶ トリップをカスタマイズする
2. 長押しして移動させることで、各種ドライビングデータを4つのフィールドに割り当てることができます。走行データの1つの項目を複数のフィールドに割り当ててはできません。

トリップデータのリセット

- ▶ 車両  トリップ  オプション  ▶ トリップデータをリセットする

警告灯およびインジケーターライト

知識

不具合は警告灯により示されます。不具合の原因が解消した場合に限り、該当する警告灯が消灯します。

次の場合は、必ずボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ エンジン作動中または走行中に、警告灯が点灯または点滅しています。

ボルシェは、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ハイビームのインジケーターライト

ダイナミックハイビームインジケーターライト

ロービームインジケーターライト

リヤフォグライトインジケーターライト

トレーラー方向指示灯

ボルシェダイナミックライトシステム (PDLS) 警告灯

ライト警告灯



ステアリングが操作されていない場合に表示される警告灯

- ▶ ドライバー自らステアリング操作を行ってください。



クーラント温度の警告灯



タイヤ空気圧警告灯

ホイールまたはタイヤや新しく取り付けた空気圧センサーの登録プロセス中に、1つのタイヤの圧力が低下した場合、またはタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムの故障や一時的な不具合が生じた場合、警告灯が点滅または点灯することがあります。



AWD システム警告灯



エレクトリックパーキングブレーキ警告灯



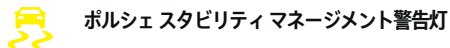
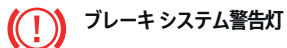
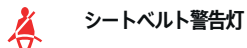
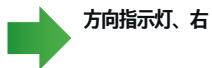
ボルシェアクティブサスペンションマネージメント (PASM) 警告灯



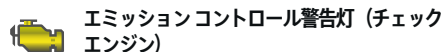
アンチロックブレーキシステム警告灯



方向指示灯、左



HOLD HOLD 機能インジケータライト



汚染物質の排出量を増加させたり、損傷を引き起こす原因となったりする作動不良 (エンジンの不点火など) が生じた際に、警告灯が点滅または点灯する場合があります。

エミッションコントロール (チェックエンジン) 警告灯が点滅または点灯する場合

- ▶ 直ちにエンジンの回転数を下げ、エンジンの負荷を軽減してください。
- ▶ 必要に応じて、安全な場所に停車してください。可燃物 (乾燥した草や枯れ葉など) が高温の排気システムに接触しないよう注意してください。
- ▶ 必要な措置を講じて、エミッションコントロールシステムの不具合を解消してください。

ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)

PCM の概要

この概要説明は、本項に記載された完全な説明に代わるものではありません。

操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。









図. 157: PCM ロータリー プッシュ ボタンおよびボリュームスイッチ



図. 158: タッチディスプレイ エリア

希望する操作	操作方法	操作箇所
PCM を ON にする	▶ イグニッションを ON にするか、ボリュームスイッチ A (図. 157)を押してください。	—
PCM を OFF にする	▶ イグニッションを OFF にするか、ボリュームスイッチ A (図. 157)を押し続けてください。	—
音量を調節する	▶ ボリュームスイッチ A (図. 157)を回してください。 ミュート：ボリュームスイッチ A (図. 157)を短く押してください。	—
PCM の操作	▶ ロータリー プッシュ B ボタン(図. 157)で PCM を操作します。	▶ 145 ページ以降

希望する操作	操作方法	操作箇所
メインメニューおよびサブメニューの内容を使用する	▶ メニュー エリア C (図. 158)およびインタラクシ ョンエリア E (図. 158)を使用します。	▶ 148 ページ以降
コンテキスト依存検索機能およびオプション、ディスプ レイ接続、ステータス シンボル、戻る機能を使用する	▶ ステータス エリア D (図. 158)を使用します。	▶ 148 ページ以降
ホーム画面を開く	▶ ステータス エリアで D  (図. 158)を選択しま す。	▶ 148 ページ以降
Info Widget を開いて使用する	▶ すべてのメニュー中の Info Widget F (図. 158)を 開いて使用します。	▶ 148 ページ以降
ホーム画面/Info Widget を設定する	▶  ▶ オプション  ▶ ホームを設定/インフォウ ィジェットを設定する	▶ 148 ページ以降
セットアップウィザードを呼び出す	PCM 初回起動時にはセットアップウィザードが表示さ れ、PCM 設定のための重要なステップが案内されま す。 ▶ 設定  ▶ セットアップウィザード	—
システムおよび車両設定を変更する	▶ 車両  ▶ 制御 	▶ 181 ページ以降

ダッシュボードのタッチディスプレイ

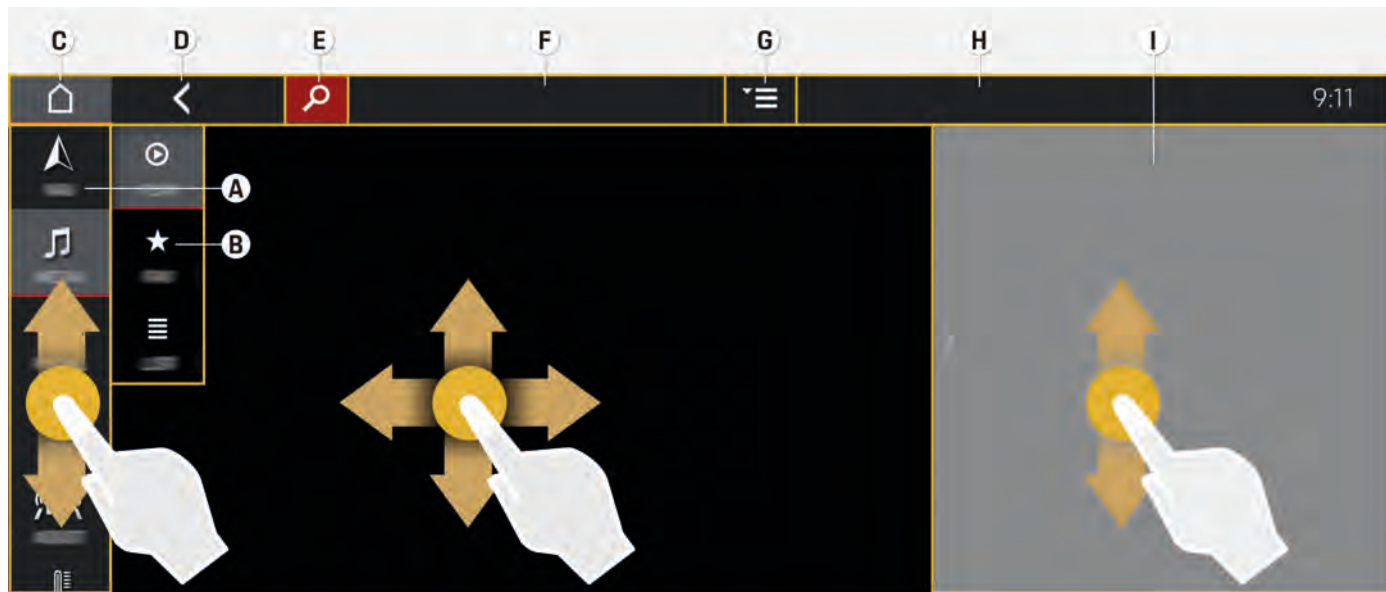


図. 159: ダッシュボードのタッチディスプレイ各操作部

A - メインメニュー**B - サブメニュー**

設定によっては、サブメニューは非表示になっており、操作者の手がタッチディスプレイに近づくと、メインメニューが表示されます。

▶ 181 ページの「インストールメント パネルでの車両設定の概要」の章を参照してください。

C - ホーム画面

新車出荷時に設定された機能および個別に設定された機能が表示されます。

さまざまなカテゴリーのコンテンツを個別にタイルにグループ分けすることができます。タイルによって、該当するメニューに直接ジャンプしたり、機能に直接アクセスしたりすることができます。

合計 6 つのレイアウトを設定できます。

D - 戻る**E - コンテキスト依存検索****F - クイック選択付きのヘッダー**

例えば、選択したメディアソースを表示します。クイック選択をタップして開いてください。

G - 各メニュー項目のオプションおよびショートオプション (最も重要な設定)

H- 接続およびステータス シンボル

各種の機能および温度や時間などが表示されます。アイコン選択をタップして開いてください。

I- Info Widget

くを開くと、新車出荷時に設定された機能および個別に設定された機能が表示されます。上下にスワイプすると、Info Widget が変わります。

さまざまなカテゴリーのコンテンツを個別にタイルにグループ分けすることができます。タイルによって、該当するメニューに直接ジャンプしたり、機能に直接アクセスしたりすることができます。

合計 3 つのレイアウトを設定できます。

操作に関する重要なインフォメーション

ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM) はセントラルコントロールユニットです。車両バッテリーを保護するため、PCM はイグニッションを OFF にしてから数分経過すると自動的に OFF になります。

安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。



警告

運転中の使用および操作

マルチファンクション ステアリング ホイールやインフォテインメント システムなどの設定や操作を行うと、交通状況に対する注意がそらされる危険があります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 運転中は、周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限りコンポーネントを操作してください。
- ▶ 安全にできるか分からない場合は、車両を安全な場所に停車し、車両停車中にのみ詳細な操作や設定を行ってください。

タッチ ディスプレイの操作

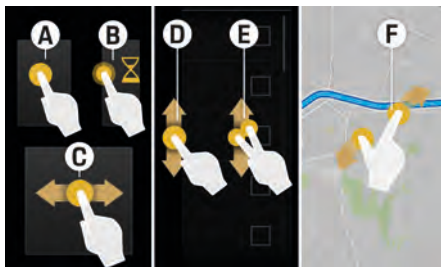


図. 160: タッチディスプレイの操作

A タップ (選択)

タッチスクリーンを指で軽くタッチします。

例: 機能をタップしたり、チェックボックスを有効/無効に切り替えます。

B 長押し

タッチスクリーンを指で長くタッチします。

例: メディア メイン メニューでお気に入りとして放送局を保存します。

C スワイプ

タッチスクリーン上で指を水平方向に動かします。

例: お気に入りを左右にスクロールします。

D 上下にスワイプ (スクロールと切り替え)

タッチスクリーンを 1 本の指で上下にスワイプします。

例: リスト内を手動でスクロールするか、情報ウィジェットを変更します。

E 上下にスワイプ (切り替え)

タッチスクリーンを 2 本の指を使って上下にスワイプするとナビゲーションメインメニューの地図が傾きます。

F ズーム

2 本の指をディスプレイに触れたまま指を広げる、または指を狭めてください。タッチディスプレイを 2 回タップすると、そのセクションが拡大表示されます。

ロータリー プッシュ ボタンとボタンを使用した PCM の操作




図. 161: ロータリー プッシュ ボタンの操作


1. 希望の機能がハイライトされるまで、ロータリー プッシュ ボタンを回してください。
2. ロータリー プッシュ ボタンを押して、ハイライト表示された機能を有効にします。

メニューを開く

メインメニューを開く


- ▶ タッチスクリーンで (例: ナビ ) 選択します。

サブメニューの呼び出し

- ▶ タッチスクリーンでメニュー項目（例：マップ）を選択します。

各メニュー項目の設定を開く

✓ 希望のメニューが選択されている。

- ▶ オプションを選択します。
 - ➔ それぞれのメニューの設定およびその他の機能が表示されます。

時刻の表示または温度の設定

- ▶ ステータスエリアで時間9:11または温度を選択すると、ディスプレイを調整できます。

PCM および画面の明るさの設定方法：

▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。

テキストと文字の入力

ナビゲーション目的地や検索語句の入力など、テキストや文字を入力する必要がある場合はすぐに、入力フィールドが表示されます。

PCM では、キーボード言語を設定できます。



図. 162: タッチスクリーンのキーボード


- A 現在のカーソル位置
- B 文字/数字と特殊文字の入力切り替え
- C キーボードを表示する/隠す
- D 手書き入力（タッチスクリーンからアルファベットや文字を入力）
- E キーボードの調整（国別仕様による）
- F スペースを挿入する
- G 入力内容を確定する
- H 入力データを削除する
- I 結果リスト
- J ボイス入力
- K 統合検索
- L オンライン検索（国によってはご利用いただけない場合があります）


テキストや文字の入力には様々なオプションがあります：

キーボードによる入力

1. 入力フィールドを選択します。
 - ➔ タッチディスプレイキーボードが表示されます。
2. 希望のテキストまたは文字を入力してください。
3. アクセントを入力するには、希望の文字を長押ししてください。
 - ➔ アクセントが表示されたウィンドウが開きます。

ロータリー プッシュ ボタンによる入力

1. 希望の文字または記号がハイライト表示されるまで、ロータリー/プッシュ(図. 161)ボタンを回します。
2. ロータリー プッシュ ボタンを押し、ハイライトされたアルファベットまたは文字を決定してください。
3.  ボタンを使用して、文字入力フィールドから結果リストにジャンプします。

4.  ボタンを使用して、結果リストから入力フィールドにジャンプします。

手書き入力による入力

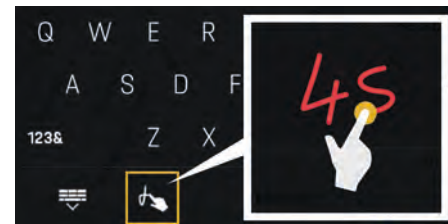



図. 163: 手書き入力

手書き入力では、手書き文字認識機能により指でテキストや文字を書くことができます。

1.  を選択して手書き入力を開きます。
2. 指で入力したい文字を書いてください。
3. スペースを入力するには、左から右に指でスワイプします。
4. エントリーを削除するには、右から左に指でスワイプします。

音声入力による入力

ボイスコントロールを使用して、テキストや数字を入力することも可能です（例：電話番号をダイヤルするときや、ナビゲーション目的地を入力するときなど）。▶ 151 ページの「ボイスコントロール」の章を参照してください。

ホーム画面および情報ウィジェット

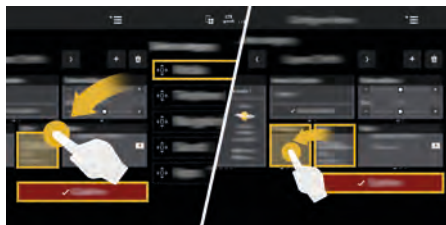


図. 164: 押し続けて移動することにより、ホーム画面を構成します

ホーム画面の設定

1. **☰ ▶ オプション ▶ ホームを設定**
2. 希望のカテゴリーを押したまま、左レイアウトの任意のタイルに移動させます。
3. タイルをスワイプして、希望の表示内容を選択してください。
4. 左レイアウトからタイルを削除するには、そのタイルを押し続けて引き上げるか、別のタイルと取り替えます。

ホーム画面のレイアウトを設定するには、**レイアウトを切り替える**を選択します。

i インフォメーション

1つのタイルを他の任意のタイルに動かすこともできます（押したままにして移動させる）。

ホーム画面からのタイルの削除

- ▶ **☰ ▶ オプション ▶ 削除モードを有効にする**

情報ウィジェットの設定

1. **☰ ▶ オプション ▶ インフォウィジェットを設定する**
2. 希望のカテゴリーを押したまま、左レイアウトの任意のタイルに移動させます。
3. タイルをスワイプして、希望の表示内容を選択してください。
4. 左レイアウトからタイルを削除するには、そのタイルを押し続けて引き上げるか、別のタイルと取り替えます。

情報ウィジェットのレイアウトを設定するには、**レイアウトを切り替える**を選択します。

i インフォメーション

1つのタイルを他の任意のタイルに動かすこともできます（押したままにして移動させる）。

情報ウィジェットからのタイルの削除

- ▶ **☰ ▶ オプション ▶ インフォウィジェットを設定する ▶ オプション ▶ 削除モードを有効にする**

PCM でマニュアルを開く

- ✓ 車両が停止している状態。

- ▶ **車両  ▶ 制御  ▶ 取扱説明書**

各種ドライブおよび外部接続機器に関する注意事項

- 記憶媒体に多くのファイル、フォルダーまたはプレイリストが含まれている場合、最初にトラックを読み込むのに時間がかかる場合があります。
- オーディオファイルの再生時は、記録された追加情報（アーティスト、タイトル、アルバムカバーなど）が自動的に表示されます。該当する情報が媒体に記録されていない場合は、利用可能なインターネットのデータベースが利用されます。それでも個々の追加情報が表示されない場合があります。
- USB 延長ケーブルまたはアダプターを使用しないでください。性能が損なわれる原因になります。
- USB ハブには対応していません。
- ポルシェ社は、ファイルやメディアの損傷や紛失に対していかなる責任も負いかねます。

対応するメディアおよびファイル形式に関するテクニカルデータ：

▶ 145 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

インターフェース

アームレスト内のインターフェースの使用

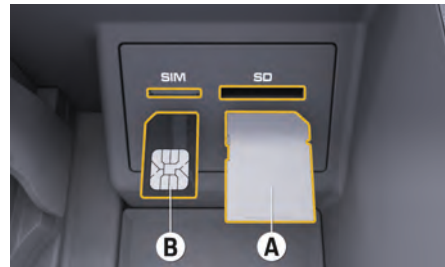


図. 165: アームレスト内の SIM カードおよび SD カード

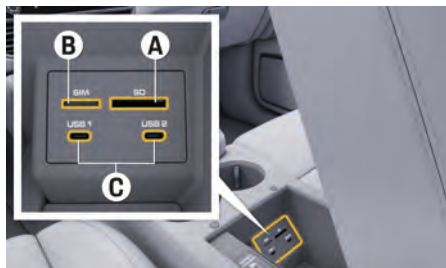


図. 166: アームレスト内のインターフェース

- 1 A SD カード/SD カードリーダー
- 2 B SIM カード/SIM カードリーダー
- 3 C USB インターフェース (タイプ C)

SD カードの挿入

知識

SD カードを正しく使用しないと、PCM を損傷する恐れがあります。

マルチピースの SD カードを使用する場合、振動により SD カードがアダプターから外れ、カードの一部が PCM に引っかかる恐れがあります。

▶ SD カードアダプターは使用しないでください。

1. SD カード A (図. 165) のラベル面を上にして、SD カードリーダーにカチッと音がするまで差し込みます。
2. **メディア** ▶ **再生** ▶ **メディアソースを呼び出す**
3. 希望のメディアソースを選択します。

SD カードを取り出す

- ▶ 挿入されている SD カード A (図. 165) を押して、SD カードを取り出します。

USB を介した外部機器の接続

✓ PCM が ON になっています。

1. アームレストを開きます。
2. 外部機器 (iPod、USB メモリーなど) を USB インターフェース (タイプ C) **C** (図. 166) に接続します。
3. **メディア** ▶ **再生** ▶ **メディアソースを呼び出す**
4. 希望のメディアソースを選択します。
5. 必要に応じて、外部機器および PCM の音量を調節します。

リヤコントロールパネルには、追加の USB インターフェース (タイプ C) があります。

ボイスコントロール

ボイスコントロールの概要

警告

正常に機能しない音声認識

声はストレスの多い状況で変化することがあります。特定の状況では、これにより電話接続に失敗したり、接続に時間を要してしまうおそれがあります。

- ▶ 緊急時はボイスコントロールを使用しないでください。
- ▶ セントラルディスプレイを使用して緊急電話番号を入力してください。

数多くのナビゲーション、メディア、電話およびアプリをボイスコマンドで起動することができます。車両機能は、ボイスコマンドでは操作できません。ボイスコントロールは話者に適応し、最初の会話から登録を開始します。オンボードおよびオンライン音声認識機能¹ ボイスコントロールシステムにおいて途切れることなく連携されています。ボイスコントロールはすべてのシステム言語に対応しているわけではありません。

ポルシェコミュニケーションマネジメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：

▶ 145 ページの「ポルシェコミュニケーションマネジメントシステム (PCM)」の章を参照してください。

1. 必要条件：データ接続が確立されていること。



ボイスコントロールの使用 ボイスコントロールの呼び出し




図. 167: ステアリングホイールのボイスコントロールボタン

ボイスコントロールを有効にする

- ✓ イグニッションがオンになっていること。
- ✓ 通話中でない。
- ✓ パークアシストが作動していません。

1. ステアリングホイールの  ボタンを押します。
➔ 起動音が鳴り、PCM にアイコン  が表示されます。
2. ボイス コマンドを使用してください。


ボイスコントロールを無効にする

- ✓ ボイス コントロールが作動していること。
- ▶ ステアリングホイールの  ボタンを押します。
➔ 終了音が鳴ります。

インフォメーション

会話は「マイク」アイコン  をタップすると一時停止し、再度タップすると再び開始します。

ボイスコントロール ボタンのその他の機能

ステアリングホイールの  ボタンからは、アプリに応じたさまざまな機能を有効にできます。

- 短く押すと、現在の会話を中断します。
- 長押しすると、シリ音声認識システムが起動します。

▶ 180 ページの「PCM で Apple CarPlay を操作する」の章を参照してください。

インフォメーション

- 会話中は、ナビゲーション音声案内および交通情報通知が中断されます。
- ボイスコントロールが有効のとき、リスト項目をボイスコントロール、ロータリー プッシュ ボタン、またはタッチスクリーンによって選択することができます。
- 発話されたボイス コマンドを理解できない場合や意味を解釈できなかった場合、ボイスコントロールはもう一度お願いしますと応答しますので、再度ボイス コマンドを言ってください。

ボイスコントロールシステムでポルシェ コネクト サービスを利用する



- ✓ データ接続が正常に確立されていること。
▶ 190 ページの「ポルシェ コネクト」の章を参照してください。
- Porsche Connect からナビゲーション目的地を入力して、ポータル POI やその他の施設情報カテゴリーをロードする場合のオンライン検索。
- 音声入力力でテキスト メッセージとオンライン言語検索を行います。

ボイスコントロールを用いたコミュニケーションに関する注意事項

ボイスコントロールを使用する際は、以下の点を遵守してください。


- 通常通りの声量で、はっきりと分かりやすく発音してください。
- 長い間をおかずにむらなくボイス コマンドを強調してください。
- ドア、ウィンドウ、サンルーフを閉めるなどして、混乱の原因となる雑音を低減してください。
- ハンズフリー マイクは運転席側に向いているため、ボイス コマンドを発話するのはドライバーだけにしてください。

ボイスコントロールの調節

1. 車両  ▶ コントロール  ▶ システム ▶ ボイスコントロール
2. 希望の設定を選択します。

ボイス コマンドを使用する

3 種類のボイス コマンドがあります：

- グローバルボイス コマンドは、いつでも使用できます。たとえば、NAV  メインメニューが表示されていて、ボイス コマンドのラジオ放送局 XY と発話すると、その放送局が呼び出されます。
- 以下の一般的な有効なボイス コマンドは対話中にいつでも使用できます。
 - **新規入力**
 - **訂正**：例えば、電話番号をいくつかのブロックに分けて発話した場合（0711 911 など）、このボイス コマンドは最後に発話したブロックを取り消します。

- **一時停止**：ボイスコントロールを一時停止します（メッセージを口述するときなど）。ボイスコントロールは、最大5分間一時停止できます。この時間が経過すると、会話は自動的に終了します。
- **ヘルプ**：可能なボイス コマンドを示す入力支援が表示されます。
- **キャンセル**
- **対話関連のボイス コマンド**は、PCM との会話が開始されるとすぐに必要になります。例えば、**1 行目**、**次のページ/前のページ**、**はい/いいえ**です。

インフォメーション

ポルシェ コネクトに関する詳細な情報（ヘルプビデオ、ポルシェ コネクト取扱説明書およびヘルプ）は、www.porsche.com/connect で入手できます。

ボイス コントロールでリストを操作する

リストをブラウズする

- ▶ PCM でリストを前/後にスクロールするには、**次のページ/前のページ**と発話してください。
- または -
タッチ ディスプレイまたはロータリー プッシュ ボタンでリスト内を移動します。

リスト項目を発話します。

ダッシュボードのタッチ ディスプレイで青色の印が付いているリスト項目および行番号を発話できます。

- ▶ ボイス コマンドで **1 行目**と発話します。
- または -
青色の印が付いているリスト項目を発話します。

ラジオ用のグローバルボイス コマンド

希望する操作	どのように発話するのか？	情報
受信範囲を切り替える	チューナー（の FM/DAB/ネットラジオ/AM など） （国により異なる）（ の設定/スイッチオン/ON ）	
放送局を選択する	放送局を選択する	現在受信が可能な放送局のみを発話することができます。
現在受信が可能な放送局を選局する	放送局 （放送局 XY など）（ を ON にする ）	現在受信が可能な放送局のみを発話することができます。
周波数を入力する	周波数 （91.1FM など）（ の選択 ）	必要な場合は、周波数の直接選択により、受信範囲が変更されます。

メディア用のグローバルボイスコマンド

希望する操作	どのように発話するのか？	情報
メディアソースを変更する	再生 (SD カード/USB/Bluetooth®/iPod など)	
アーティスト/アルバム/トラック/ジャンルを選択する	再生 (アーティスト) (アラン テーラーなど) 再生 (アルバム) (Songs For The Road など) 再生 (トラック) (Let the Music Flow など) 再生 (ジャンル) (ロックなど)	有効なメディアソース内にあるアーティスト/アルバム/トラック/ジャンルのみを発話することができます。
自然なボイスコマンドを使用する	例: SD カードから何かを再生して。 ▶ ロックミュージックが聴きたい。	特定のコマンドを使用しない場合でも、PCM は自然なボイスコマンドを検出します (言語によっては利用できない場合があります)。

電話のグローバルボイスコマンド

✓ 電話が PCM に接続されていること。

▶ 199 ページの「Bluetooth®を介した電話の接続」の章を参照してください。

希望する操作	どのように発話するのか？	情報
リダイヤル機能を開く	リダイヤル	
電話番号を入力する	ダイヤルする/番号 (0711 911 12345 など) を選択します	次のステップでは、システムが電話番号を尋ねます。/入力した番号に発信します。
ボイスメールを呼び出す	ボイスメールを呼び出す	
連絡先に発信する	連絡先に発信する/電話帳を表示	次のステップでシステムが連絡先の名前を尋ねます。
保存されている連絡先に発信する	(スミスなど) 電話する ▶ (プライベート/職場/一般)	連絡先が 1 つ以上の場合、このコマンドにより会話が始まります。名、姓、またはその両方を発話することができます。特定の電話番号を選択することも可能です。
通話履歴の呼び出し	通話履歴/不在着信/着信/発信番号	ボイスコマンドは、項目を選択したり項目に電話をかけたりできるグローバル通話履歴を表示します。

希望する操作	どのように発話するのか？	情報
テキストメッセージを読み上げる	テキストメッセージを読み上げる	✓ 接続している電話が機能に対応しています。
メッセージを音声入力する	(新しい) Eメール	✓ 接続している電話が機能に対応しています。 サービスは、言語およびマーケットによってはご利用いただけない場合があります。このサービスは Apple 機器ではご利用いただけません。
自然なボイス コマンドを使用する	例：山田太郎に電話したい。 ジョンドウの携帯電話に電話をかけて。▶ 通話履歴を表示して。▶ 最後の電話番号にもう一度ダイヤルして。	特定のコマンドを使用しない場合でも、PCM は自然なボイス コマンドを検出します（言語によっては利用できない場合があります）。

ナビゲーションのグローバルボイス コマンド

希望する操作	どのように発話するのか？	情報
新しい目的地を入力する	シュトゥットガルトのポルシェプラッツ 1 などに運転してください/住所を入力/新しい目的地を入力	選択した国によって、ルート案内を一文で、または順次言うことでナビゲーションを使用することができます。
目的地履歴から選択する	目的地履歴/保存した目的地	
目的地として自宅/職場を選択する	自宅へ帰る/職場へ行く	保存されている住所へのナビゲーションが開始されます。
目的地または施設情報を検索する	検索 (施設情報) (ポルシェ サービスなど)	ブランド名や施設情報のカテゴリーを発話することができます (関心のある空港の検索など)。 ¹
市町村を選択する	位置情報を入力	

1. コネクテッドスピーチデータ パッケージが契約済みで、データ接続が利用可能な場合、検索は併行してオンラインでも実施されます。これによって検索結果が変わることがあり、会話に少々遅れが生じる原因となる場合があります。

希望する操作	どのように発話するのか？	情報
レストラン/休憩所/トイレ/ATM/ガソリンスタンドの検索	次の▶ レストラン/休憩所/トイレ/ATM/ガソリンスタンド	近隣のそれぞれの検索基準を表示します。
ルート案内の開始/終了	ルート案内の開始/終了	
燃料残量を特定する	走行可能距離/残りの距離	
交通情報を呼び出す	交通情報	✓ ルート案内が作動中です。
到着時間を要求する	到着時刻は？	✓ ルート案内が作動中です。
自然なボイス コマンドを使用する	例：シュトゥットガルトのポルシェプラッツ 1 などに運転してください。 次のレストランに連れて行ってください。 最寄りのガソリンスタンドはどこにある？ 給油しなければなりません。 地図を見せて。 ルートに交通渋滞はありますか？	特定のコマンドを使用しない場合でも、PCM は自然なボイス コマンドを検出します（言語によっては利用できない場合があります）。

アプリのグローバル ボイス コマンド

希望する操作	どのように発話するのか？	情報
ニュース	ニュースを表示 BBC ニュースからニュースを表示	
天気	天気を表示 シュトゥットガルトなどの天気は？ ▶ ▶ 明日、雨が降る？	

希望する操作	どのように発話するのか？	情報
自然なボイス コマンドを使用する	例：トップニュースの到着？ トップニュースを読み上げてください。 天気レポートを表示してください。	特定のコマンドを使用しない場合でも、PCM は自然なボイス コマンドを検出します（言語によっては利用できない場合があります）。

警告および情報メッセージ





警告メッセージが表示された場合は、このマニュアルの該当する章をお読みください。

一部の警告灯には、インジケータ ライトと警報も同時に鳴るものがあります。

すべての測定条件が揃っている場合にのみ、警告メッセージが表示されます – そのため、定期的なすべてのフルード レベルを確認してください。

次の表は、主な警告メッセージとインフォメーションメッセージの抜粋です。

セキュリティ

表示	メッセージ	意味および必要な措置
 点灯	 シート ベルトの着用	シート ベルトが着用されていません。 ▶ シート ベルトを着用してください。
	 助手席エアバッグ ON/ OFF	助手席エアバッグが ON または OFF です。
	 エアバッグインジケータ ーライト故障 要整備	エアバッグインジケータ ライトが故障しています。 引き続き走行可能。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹

1. ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 ステアリングを解除します 引き続き走行可能	ステアリング ロックに大きな負荷がかかっています。 引き続き走行可能。 ▶ ステアリング ホイールを左右に回して、ステアリング ロックを解除してください。
	 完了するとステアリング ロックが作動します	ステアリング ロックが作動していません。 ▶ ステアリング ホイールをロックするには、車両をロックしてください。
	 故障 パワーステアリング より大きな力が必要 引き続き走行可能	パワー ステアリングは使用できません。 引き続き走行可能。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	 パワーステアリングの制限あり 慎重に走行してください	パワー ステアリングが一時的に制限されます。 ▶ 引き続き走行可能。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	 ブレーキブースターの減少。 要整備 引き続き走行可能	ブレーキ ブースターが故障しています。 引き続き走行可能。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
 点灯	 ブレーキフルードレベル 車両を安全に駐車する	ブレーキ液面が低過ぎます。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹

1. ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
 点灯	 故障制動力配分。 車両を安全に駐車する	制動力配分装置が故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
 点灯	 故障 ABS/PSM 慎重に走行してください	ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が機能しなくなりました。 引き続き走行可能。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
 点灯	 ブレーキパッドの摩耗限界を変更 引き続き走行可能	ブレーキパッドが摩耗しています。 ▶ 直ちにブレーキパッドを交換してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
 点滅	 緊急ブレーキ	電動パーキングブレーキの緊急ブレーキ機能が作動中です。 緊急ブレーキの後、シンボルは消灯します。
 点灯	 故障パーキングブレーキ	パーキングブレーキが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	 電動パーキングブレーキがサービスモードです	サービスモードのパーキングブレーキ。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
 点滅	 パーキングブレーキ解除	パーキングブレーキが作動しています。 ▶ 電動パーキングブレーキのスイッチを引いてください。 ▶ 93 ページの「ブレーキ」の章を参照してください。

1. ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示		メッセージ		意味および必要な措置
	点灯		ブレーキペダルを踏んでください	<p>パーキングブレーキが作動しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 電動パーキングブレーキを解除するときは、ブレーキペダルを踏んでください。
			雨/光センサーの故障 要整備	<p>雨/光センサーが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ フロントワイパーおよびライトを手動で ON にしてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	点滅		コーナリングライトの故障 要整備	<p>コーナリングライトが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	点灯		ドライビングライト制御の故障 要整備	<p>ドライビングライト制御が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
			ヘッドライトレンジ調整の故障 要整備	<p>ヘッドライトレンジ調整が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	点滅		ヘッドライト制御の故障 要整備	<p>ヘッドライト制御が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
			例： 左前ウィンカーを点検します	<p>インジケーターライトが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹





1. ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	<p>▲</p> <p>ハイビームアシスト故障 ハイビームを手動で操作 する 要整備</p>	<p>ハイビーム アシスタントが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ハイビームを手動で操作してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	<p>▲</p> <p>ハイビームアシストに目 下、制限時間あり カメラ視野無 要ガラス洗浄</p>	<p>カメラの不具合により、ハイビーム アシスタントが一時的に使用できなくなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 必要であればウィンドウを清掃してください。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	<p>▲</p> <p>PDLS+ に目下、制限あ り、カメラ視野なし 要ガラス洗浄</p>	<p>カメラの故障により、ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS プラス) は一時的に使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 必要であればウィンドウを清掃してください。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	<p>▲</p> <p>故障 PDLS+ ハイビームを手動で操作 する 要整備</p>	<p>ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus) が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	<p>マーカーライト ON</p>	<p>ドライビングライトまたはパーキングライトが点灯しています。</p>
	<p>パーキングライト ON</p>	<p>左または右のパーキングライトが点灯しています。</p>
	<p>▲</p> <p>ワイパーの故障 要整備</p>	<p>ワイパーが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹



1. ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
(!)	点灯	<p>(!)</p> <p>タイヤ要点検</p> <p>1つまたは複数のタイヤに著しい空気圧の低下があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 該当するタイヤに損傷がないか点検してください。 ▶ 必要に応じてシーラントを追加してください。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▷ 243 ページの「パンク」の章を参照してください。
(!)	点灯	<p>(!)</p> <p>空気を充填</p> <p>1つまたは複数のタイヤの空気圧が不足しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▷ 243 ページの「パンク」の章を参照してください。
(!)	点滅または点灯	<p>(!)</p> <p>タイヤ空気圧モニタリング要整備</p> <p>タイヤ空気圧モニタリング (TPM) が故障しています。タイヤ空気圧がモニターされていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
(!)	点滅または点灯	<p>(!)</p> <p>タイヤ空気圧の監視が一時的無効</p> <p>タイヤ空気圧モニタリング システム (TPM) に一時的な故障が発生しています。タイヤ空気圧がモニターされていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
(!)	点滅または点灯	<p>(!)</p> <p>タイヤ空気圧モニタリングなし</p> <p>「System learns from 25km/h (システムの学習機能は 25km/h からです)」</p> <p>タイヤ空気圧監視システム (TPM) にタイヤ情報を登録するには表示された速度で走行する必要があります。</p> <p>このプロセスを実行中は、マルチファンクションディスプレイに現在のタイヤ空気圧が表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 後ほどタイヤ空気圧モニタリングを再実行してください。





1. ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
 点滅または点灯	 ホイール交換? 新しい選択	<p>タイヤを交換した後は、タイヤ設定を更新する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ マルチファンクションディスプレイのタイヤ設定を更新してください。 ▷ 234 ページの「タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム」の章を参照してください。
 点灯	 コンフォート ブレッシュャー/タイヤ空気圧 減速してください	<p>設定したタイヤ空気圧の最高速度を超過しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 減速してください。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▷ 234 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

エンジン

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	オイルレベルが下限を下回っている 直ちにオイル充填	<p>オイルレベルが最低値を下回りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに適切な場所に停車し、エンジンを停止してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ 車両上または車両下に明らかなオイル漏れがないか点検します。明らかなオイル漏れが確認できる場合は、これ以上走行しないでください。 ▶ マルチファンクションディスプレイでオイル測定を選択してください。 ▷ 225 ページの「エンジン オイル」の章を参照してください。 ▶ 必要に応じてエンジン オイルを補充してください。
	オイルレベルが上限を超えている 要整備 引き続き走行可能	<p>オイルレベルが最大値を超過しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹





1. ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p style="text-align: center;">故障 オイル測定 要整備 引き続き走行可能</p>	<p>オイルレベル測定が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	 <p style="text-align: center;">オイルレベルが下限に達している オイルの補充</p>	<p>オイルレベルが最低値に達しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ エンジン オイルを補充します。 ▶ 225 ページの「エンジン オイル」の章を参照してください。
	 <p style="text-align: center;">現在オイルレベル表示は不可</p>	<p>特定の状況下では、オイルレベルが表示されないことがあります。以下の場合に発生します：</p> <ul style="list-style-type: none"> - エンジンが冷えています。 - フルスロットル走行後のエンジン回転数が高い状態で車両を停車させた場合。 - エンジンオイルの温度が高すぎます。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ オイルレベル測定を再度実施してください。 ▶ 225 ページの「エンジン オイル」の章を参照してください。
	 <p style="text-align: center;">油圧が低すぎます 車両を安全に駐車する</p>	<p>エンジン油圧が低すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに適切な場所に停車し、エンジンを停止してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。 ▶ マルチファンクションディスプレイでオイル測定を選択してください。 ▶ 必要に応じてエンジン オイルを補充してください。 ▶ 225 ページの「エンジン オイル」の章を参照してください。 ▶ オイルレベルが適正であるにもかかわらず警告メッセージが表示されるときは、運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹

1. ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p>油圧測定エラー 引き続き走行可能 要整備</p>	<p>油圧測定が故障しています。 引き続き走行可能。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	 <p>オイル温度が高すぎる 負荷を軽減してください</p>	<p>エンジンオイルの温度が高すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ マルチファンクションディスプレイでオイル測定を選択してください。 ▶ 必要に応じてエンジン オイルを補充してください。 ▶ 225 ページの「エンジン オイル」の章を参照してください。
	 <p>故障オイル温度計 要整備 引き続き走行可能</p>	<p>エンジン油温計が故障しています。 引き続き走行可能。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
クーラント表示が最高マークおよびクーラント表示が警告灯を点滅	 <p>すぐに冷却水を充填して下さい 運転を続けしないでください</p>	<p>クーラント レベルが低すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてください。 ▶ クーラント レベルを点検してください。 ▶ 必要に応じてクーラントを補充してください。 ▶ 224 ページの「クーラント」の章を参照してください。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> - ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹

1. ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p data-bbox="480 209 751 268">クーラントを補充します エンジン温度に注意してください</p>	<p data-bbox="810 138 1129 162">クーラント レベルが低くなっています。</p> <ul data-bbox="810 177 1310 265" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="810 177 1166 201">▶ クーラント レベルを点検してください。 <li data-bbox="810 212 1310 265">▶ 必要に応じてクーラントを補充してください。 ▶ 224 ページの「クーラント」の章を参照してください。 <p data-bbox="810 277 1007 301">エラーが継続する場合：</p> <ul data-bbox="810 316 1254 339" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="810 316 1254 339">- ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
<p data-bbox="70 500 293 577">クーラントまたはエンジン オイルの温度表示が最高マ ーク</p>	 <p data-bbox="504 512 724 571">エンジン温度超過 停車して冷ましてください</p>	<p data-bbox="810 365 1182 389">クーラントまたはエンジン油温が高すぎます。</p> <ul data-bbox="810 404 1461 642" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="810 404 1461 451">▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてください。 <li data-bbox="810 463 1461 510">▶ ラジエーターおよび車体周辺の空気取り入れ口がゴミなどで塞がれていないか点検してください。 <li data-bbox="810 522 1353 610">▶ クーラントおよびエンジン オイル レベルを点検してください。 ▶ 224 ページの「クーラント」の章を参照してください。 ▶ 225 ページの「エンジン オイル」の章を参照してください。 <li data-bbox="810 616 1214 639">▶ 必要に応じてクーラントを補充してください。 <p data-bbox="810 651 1007 675">エラーが継続する場合：</p> <ul data-bbox="810 690 1254 713" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="810 690 1254 713">▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	 <p data-bbox="504 742 724 836">クーラント温度表示の故障 引き続き走行可能 要整備</p>	<p data-bbox="810 742 1070 765">冷却水温度計が故障しています。</p> <ul data-bbox="810 780 1254 804" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="810 780 1254 804">▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	 <p data-bbox="504 859 724 953">クーリングシステムの故障 要整備 要整備</p>	<p data-bbox="810 859 1070 883">冷却システムが故障しています。</p> <ul data-bbox="810 898 1254 921" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="810 898 1254 921">▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹

1. ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。









表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p>故障 エンジンルームファン エンジン全負荷回避 引き続き走行可能</p>	<p>エンジン コンパートメント ブロワーが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	 <p>エンジン出力低下 引き続き走行可能 要整備</p>	<p>エンジン出力が低下しています。 引き続き走行可能。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	 <p>エンジン制御故障 引き続き走行可能 要整備</p>	<p>エンジン制御システムが故障しています。 引き続き走行可能。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
クーラント温度計警告灯の点滅	 <p>エンジン制御故障</p>	<p>エンジン制御システムが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	<p>長時間のエンジン運転が必要です。 取扱説明書を確認してください</p>	<p>燃料がエンジン オイル内に溜まっています。内燃エンジンをより長時間作動させる必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ Sport モードを有効にする <ul style="list-style-type: none"> ▷ 101 ページの「走行プログラムの選択」の章を参照してください。 ▶ メッセージが消えるまで中程度のエンジン回転数で運転してください。エンジン回転数を上げすぎないように、スロットル操作を控えめにしてください。該当する制限速度を遵守してください。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹

1. ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	オルタネーター故障 車両を安全に駐車する	オルタネーターが故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	バッテリー機能の制限あり 要整備	バッテリー機能が制限されます。 引き続き走行可能。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	バッテリー低下 エンジンを始動し、一定時間運転させてください。	バッテリー充電量が低すぎます。 ▶ バッテリーを充電するため、エンジンを始動してください。
	バッテリー充電量が低すぎる 電力消費物オフ	バッテリー充電量が低すぎます。 バッテリーの放電を防ぐため、コンフォート機能への電源供給が停止されます。 引き続き走行可能。
	停車中にバッテリー保護が有効でした	バッテリー保護が有効です、または有効でした。 バッテリーの放電を防ぐため、停車時に電装品の作動が停止されました。 引き続き走行可能。
	バッテリー放電保護が有効 容量 xx%	バッテリー放電保護が有効です、または有効でした。 バッテリーの放電を防ぐため、車両電装品の作動が停止されました。 引き続き走行可能。 ▶ バッテリー容量を監視してください。必要に応じてバッテリーを充電します。 ▶ 218 ページの「12V バッテリー」の章を参照してください。

1. ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p>バッテリー要充電 極性に注意してください</p>	<p>バッテリー充電量が低すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ バッテリーを充電します。 ▶ 218 ページの「12V バッテリー」の章を参照してください。
	 <p>手動でエンジンを始動してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ イグニッションを使用して、手動でエンジンを始動してください。
	 <p>ブーストプレッシャー表示の故障 要整備</p>	<p>ブースト圧表示が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
セレクターレバー ポジションディスプレイが点滅	 <p>セレクターレバーを正しい位置にシフトしてください</p>	<p>セレクターレバーが2つのポジションの間にある可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ セレクターレバーを正しい位置にシフトしてください。
	 <p>セレクターレバーを P 位置に入れる</p>	<p>選択レバーを P 位置にしてから、キーを抜くか、車両を駐車します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ セレクターレバーを P 位置に入れてください。
	 <p>セレクターレバーを P または N 位置に入れる</p>	<p>エンジンはセレクターレバーが P 位置または N 位置にある場合のみ始動できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ セレクターレバーを P または N 位置に入れてください。
	 <p>ブレーキの操作</p>	<p>ブレーキペダルが踏まれているときのみ始動可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 始動時はフットブレーキを踏んでください。
セレクターレバー ポジションディスプレイが点滅	 <p>伝送故障 車両を安全に駐車する</p>	<p>トランスミッションが故障しています。</p> <p>インストルメントパネルにセレクターレバーの位置が表示されなくなります。次に停車するまでは走行が可能です。引き続き走行できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ただちに適切な場所に停車してください。 ▶ ポルシェ正規販売店まで車両をけん引してください。 ▶ 221 ページの「けん引」の章を参照してください。

1. ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p>ギヤボックス温度超過 停車して冷ましてください</p>	<p>トランスミッション温度が高すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。トランスミッションを冷やしてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
<p>セレクトアーレバー ポジションディスプレイが点滅</p>	 <p>リバースギヤ Rギヤに入らない場合がある 引き続き走行可能</p>	<p>トランスミッションが故障しています。 リバースギヤに入らないことがあります。 スムーズな変速ができなくなりますが、継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	 <p>トランスミッション温度が高すぎる 負荷を軽減してください</p>	<p>トランスミッション温度が高すぎます。 引き続き走行可能。車両発進時に異常を知らせる不自然な動きが感じられるとともに、エンジン出力が制限されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ エンジンにかかる負荷を小さくしてください。 ▶ アクセルペダルの操作で車両を制御するのではなく、ブレーキを使用してください。 ▶ 警告が消えるまでセレクトアーレバーを P または N の位置にしてエンジンをアイドリングしてください。
	 <p>微粒子フィルターを点検 取扱説明書を確認してください。</p>	<p>粒子フィルターがすすでいっぱいです。 フィルターを自動清掃するためのドライビングスタイルで運転してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ クルーズコントロールおよびアダプティブクルーズコントロール (ACC) を OFF にします。 ▶ 最高 130km/h に加速することと (必ず速度制限を考慮し、それに応じて速度を調整する)、アクセルペダルから足を完全に外してペダルを解除することを交互に行います。 ▶ メッセージが表示されなくなるまでこの手順を繰り返します。







1. ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
		エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
 	微粒子フィルター 引き続き走行可能 要整備	粒子フィルターがすすでいっぱいです。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
 	微粒子フィルター 車両を安全に駐車する	粒子フィルターがすすでいっぱいです。 - ただちに適切な場所に停車してください。 - ポルシェ正規販売店まで車両をけん引してください。 ¹
	非常通報作動	車両からの緊急通報がセキュリティオペレーティングセンター（SOC）で確認されました。
	緊急通報故障 ポルシェ正規販売店に相談してください	緊急通報機能が故障しています。 - ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	非常通報機能故障	車両からの非常電話を、セキュリティーオペレーティングセンター（SOC）に転送できませんでした。
	緊急通報サービス契約の有効期限が切れま した	緊急通報サービスのサービス契約期間が終了しましたが、ポルシェ サービスポータルで延長可能です。
	外気温度表示機能の故障 要整備	外気温度表示機能が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	スライディングルーフを完全に閉じる	サンルーフが閉じていません。 ▶ スライディングルーフを完全に閉じてください。
	例：xxxkm 以内に修理してください	▶ 表示されている距離/期日を過ぎる前にメンテナンスを行ってください。

1. ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	故障故障 要整備 引き続き走行可能	▶ できるだけ早く整備/点検してください。
燃料警告灯が点灯	 走行可能範囲をモニターしてください。	▶ 最寄りの給油所で給油してください。 ▶ 250 ページの「補給」の章を参照してください。
	 故障燃料計修理が必要です	燃料計が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	 ドア/後ろカバー開	▶ 該当する車両のドアまたはカバーを閉じてください。
 点灯	 タンク蓋要点検	タンク キャップが完全に閉じていません。 ▶ 燃料キャップを正しく取り付け、確実にロックするまで回します。
	 燃料減少 補助ヒーター ON にできない	燃料タンク残量が予備残量まで下がっているため、 補助ヒーターのスイッチを ON にできません。
	 外気温度 補助ヒーター ON にできない	外気温度が高過ぎます。 補助ヒーターのスイッチを ON にできません。
	 補助ヒータータイマー <> <時間 日付> 有効/無効	補助ヒーター タイマーが特定の日に設定されており、設定日に達したため作動または停止しました。
	 ウォッシャー液を補充	ウォッシャー液が空です。 ▶ ウォッシャー液を 補充してください。
	 ポルシェ エントリー&ドライブの故障	ポルシェ エントリー&ドライブの故障 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹

1. ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p>キーが見つかりません/故障 キーの位置を変更してください</p>	<p>ボルシェ エントリー&ドライブ装備車： キー位置が正しくありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ キーを携行するか、キー位置を変更してください。
	 <p>トランクからキーを取り出してください</p>	<p>ボルシェ エントリー&ドライブ装備車：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ラゲッジコンパートメントからキーを取り出してください。
	 <p>車両内で複数のキーが検知されました</p>	<p>ボルシェ エントリー&ドライブ装備車： 車内に複数のキーがあります（乗員の荷物の中など）。</p>
	 <p>イグニッションキーのバッテリーを交換</p>	<p>キーのバッテリーが消耗している場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 電池を交換してください。 ▷ 28 ページの「キー」の章を参照してください。
	 <p>イグニッションキーを抜き取る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ イグニッションキーを抜き取ってください。
	 <p>操作部：左に回す、引き抜く、カギをさす」 が表示されます。</p>	<p>ボルシェ エントリー&ドライブ装備車： 車内にキーが見つかりません。 イグニッションを ON にできず、エンジンを始動できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ コントロールユニットを元のイグニッションロック位置 0 に回して、イグニッションロックから取り外してください。 ▶ キーを使用してイグニッションを ON にしてください（エマージェンシーキーは除く）。

ドライビング システム

表示	メッセージ	意味および必要な措置
  	 <p>システムエラー PSM 車両を安全に駐車する</p>	<p>ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) システムエラー。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	 <p>故障 ABS/PSM 要整備 慎重に走行してください</p>	<p>ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が機能しなくなりました。 引き続き走行可能。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	 <p>PSM OFF</p>	<p>ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が OFF になりました。</p>
	 <p>PSM ON</p>	<p>ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が ON になりました。</p>
   	 <p>PSM 診断中</p>	<p>ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が診断モードです。</p>
	 <p>故障シャーシシステム</p>	<p>サスペンション システムが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ただちに適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	 <p>故障するサスペンションシステム 慎重に走行してください</p>	<p>サスペンション システムが故障しています。 ハンドリング性能に悪影響が出ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹

1. ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p>全輪駆動の故障 後輪のみ駆動 慎重に走行してください</p>	<p>ボルシェトラクションマネージメント (PTM) に一時的なエラーがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 負荷を軽減してください。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	 <p>全輪過負荷 2WD 後輪駆動 負荷を軽減してください 引き続き走行可能</p>	<p>ボルシェトラクションマネージメント (PTM) に一時的なエラーがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 負荷を軽減してください。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	 <p>全輪機能の制限あり 慎重に走行してください</p>	<p>ボルシェトラクションマネージメントシステム (PTM) の利用が制限されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 負荷を軽減してください。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	 <p>全輪機能の故障 慎重に走行してください</p>	<p>ボルシェトラクションマネージメント (PTM) が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 負荷を軽減してください。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	 <p>全輪駆動温度制限 負荷を軽減してください</p>	<p>ボルシェトラクションマネージメント (PTM) の負荷が過大です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 負荷を軽減してください。






1. ボルシェは、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	オフロード不可 減速してください	オフロード モードは 90km/h 未満でのみ選択できます。 ▶ 減速してください。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	デフロック故障 引き続き走行可能	ポルシェトルク ベクトリング プラス (PTV プラス) が故障しています。 ▶ 負荷を軽減してください。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	デフロック過負荷 慎重に走行してください	ポルシェトルク ベクトリング プラス (PTV プラス) が過負荷です。 ▶ 負荷を軽減してください。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	Sport モード利用不可 オフロードを OFF にしてください	▶ スポーツ モードを利用するにはオフロード モードを OFF にしてください。
	アシスタンス システム/カメラの故障 要整備	アシスタンス システムまたは車両カメラが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	視野前面カメラ制限中場合により要ガラス 洗浄	アシスタンス システムまたはカメラが天候状態やウィンドウの汚れにより一時的に使用できなくなっています。 ▶ 必要であればウィンドウを清掃してください。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	ローンチコントロールが起動	ローンチコントロールが起動しています。

1. ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	システムエラー 引き続き走行可能 要整備	複数の電気系統のシステムが故障している可能性があります。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	音声出力の故障。マルチファンクションディスプレイ/フロントパークアシスト 要整備	警告音およびパークアシストなどの距離信号が使用できません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	パークアシスト ブザーの故障 要整備	警告音およびパークアシストの距離信号が使用できません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 駐車時に問題が起きる可能性があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	故障 パークアシスト	パークアシストが故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 駐車時に問題が起きる可能性があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	距離 減速してください	前走車との車間距離が短すぎます。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 前走車との車間距離を広げます。
	ACC/PAS 使用不可 センサーの汚れ 清掃してください	車両前部のセンサーの汚れまたは天候によってアダプティブクルーズコントロール (ACC) が悪影響を受けている可能性があります。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 駐車時に問題が起きる可能性があります。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹

1. ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	PAS は目下、制限あり センサーの汚れ 清掃してください	アダプティブクルーズコントロール (ACC) が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	ACC/クルーズコントロール使用不可 選択レバー/セレクトターレバーを D/M 位置にします	PDK 装備車： アダプティブクルーズコントロール (ACC) はセレクトターレバーが D 位置または M 位置にある場合にのみ可能です。 ▶ セレクトターレバーを D または M 位置に入れてください。
	レーンチェンジアシスト現在使用不可	レーンチェンジアシスト (LCA) が天候状態や粉塵により一時的に利用できなくなっています。
	レーンチェンジアシスト現在使用不可 要整備	レーンチェンジアシスト (LCA) が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	レーンチェンジアシスト。センサー遮断 リヤバンパーを清掃してください	レーンチェンジアシスト (LCA) センサーが、ステッカー、汚れ、または氷結などにより遮断されています。 ▶ センサーの清掃が必要な場合があります。
	レーンキープアシスト無効、ドライバー操作が必要	ステアリングホイールが操作されていないため、レーンキープアシストが無効になっています。 ▶ ステアリング介入するとレーンキープアシストが再び有効になります。
	レーンキープアシストは目下、使用不可	レーンキープアシストは一時的に使用できません。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹

1. ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	<p>レーンキープアシストは目下、制限あり、カメラビューなし 要ガラス洗淨</p>	<p>レーンキープアシストは、天候状態やフロント ウィンドウの汚れにより一時的に使用できなくなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 必要であればウィンドウを清掃してください。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	<p>レーンキープアシストの故障 要整備</p>	<p>レーンキープアシストが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	<p>車線逸脱警告は目下、制限あり、カメラビューなし 要ガラス洗淨</p>	<p>車線逸脱警告機能は、天候状態やフロント ウィンドウの汚れにより一時的に使用できなくなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 必要であればウィンドウを清掃してください。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	<p>車線逸脱警告現在使用不可</p>	<p>車線逸脱警告機能は一時的に使用できません。</p>
	<p>車線逸脱警告の故障 要整備</p>	<p>車線逸脱警告機能が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹

1. ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

操作および使用

Apple CarPlay

PCM で Apple CarPlay を呼び出す

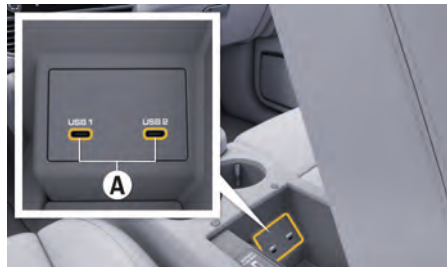


図. 168: アームレスト内の USB インターフェース (タイプ C)

- ✓ iPhone 7 以降、iOS 12.2 以上。
- ✓ Siri および Apple CarPlay がお使いの iPhone の設定で有効になっています。

1. iPhone をアームレスト内の USB インターフェース (タイプ C) **A** に接続します。

2. Apple CarPlay を使用している通知を確認します。利用可能なアプリが表示されます。
➔ Apple CarPlay が開きます。

▶ 他のメニュー項目から Apple CarPlay に切り替えるには、**Apple CarPlay** を選択します。

- 最新バージョンの iOS をインストールすることをお勧めします。
- Apple CarPlay に対応している iPhone のアプリのみが表示されます。アプリの入手状況に関するインフォメーション：Apple のウェブサイトを確認します。

- この機能は、Apple が対応している国でのみ提供されます。国別入手状況に関するインフォメーション：Apple のウェブサイトを確認します。
- Apple CarPlay の表示コンテンツおよび機能は、接続済みの iPhone でのみ提供されます。
- Apple CarPlay の使用中は、有効な Bluetooth® 接続 (通話、メディア再生、メッセージなど) が自動的に切断されます。
- 一部のアプリは、有効なデータ接続を必要とします。お使いの携帯電話の料金体系に応じ、また特に海外で使用する場合、追加費用が発生する場合があります。定額データプランのご利用をお勧めします。

ボルシェ コミュニケーションマネジメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：

▶ 145 ページの「ボルシェ コミュニケーションマネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

PCM で Apple CarPlay を操作する

利用可能なすべてのアプリは、PCM のタッチディスプレイ、ロータリー プッシュ ボタン、バック ボタンで操作できます。

▶ **Apple CarPlay** 内のメインメニューにアクセスするには、**ホームボタン** を PCM のタッチスクリーンで選択してください。

▶ PCM のメイン機能に移動するには、**Apple CarPlay** ▶ **Porsche** を選択します。
- または -
任意の機能 (メディア、🎵 など) を選択します。

Siri 音声認識機能で Apple CarPlay を操作する

Siri を起動する



図. 169: ステアリングホイールのボイスコントロールボタン

- ✓ お使いの iPhone の設定で Siri が有効になっていること。
- ✓ イグニッションと PCM が ON になっていること。
- ✓ 通話中でない。
- ✓ パーキングアシスタントが作動していないこと。
- ✓ PCM のボイスコントロールが作動していないこと。

1. ステアリングホイールのボイスコントロールボタンを長押しします。
2. 希望するボイスコマンドを言ってください。

✓ Siri が作動中で、ボイスコマンドを待機しています。




▶ ステアリングホイールのボイスコントロールボタンを押します。
➔ 終了音が鳴ります。

ボイスコントロールに関する情報：

▶ 151 ページの「ボイスコントロール」の章を参照してください。

Apple CarPlay と、iPod として使用している iPhone の切り替え

接続している iPhone を iPod として接続すると、Apple CarPlay を利用できません。デバイス マネージャーを使用して、iPhone を iPod として使用するか、または Apple CarPlay モードで使用するかを切り替えることができます。



1. デバイス マネージャーを呼び出すには、接続ステータスに応じて、ヘッドラインの  または  のいずれかを選択します。
2. リンク  お使いの iPhone のを選択します。



車両設定

インストルメント パネルでの車両設定の概要

ここで説明した車両設定は、すべてのモデル、国別仕様および装備仕様で利用可能なわけではありません。安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。

車両設定はイグニッションを OFF にしても保存され続けます。



希望する操作	何を選択するべきですか？	操作箇所
アシスタンス システムの設定	▶ 車両 ▶ 設定 ▶ アシスト走行	-
INDIVIDUAL ドライビング プログラムを設定する	▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 個人	-
ライト、フロント ウィンドウワイパーおよびドア ミラーを調整する	▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー	-
ロックおよびロック解除オプションの設定	▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ロック	-
エアコン オプションの設定	▶ 車両 ▶ 設定 ▶ エアコン	-
マルチファンクション ステアリング ホイールの  ボタンを割り当てる	▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ステアリング ホイール オプション ▶  ボタン	-
警告シグナルおよびパークアシストの音量の調整	▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 音量	-
日付と時刻の設定	▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 日付と時刻	-
単位を設定する	▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 単位	-

希望する操作	何を選択するべきですか？	操作箇所
インストルメントパネルでマルチファンクションディスプレイの言語を設定する	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 言語 PCM 言語の設定： <ul style="list-style-type: none"> ▶ 車両  ▶ コントロール  ▶ システム ▶ 言語 (Language) 	-
ポルシェ カー コネクトの設定	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ カー コネクト 	-
システムを工場出荷時の状態にリセット	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ リセット 工場設定にリセットすると、すべての設定が削除されます。	-

PCM を介した設定

PCM を介した設定

選択した車両設定は PCM を介して行うこともできます。

▶ 車両  ▶ コントロール  ▶ 車両

PCM 設定を行う



▶ 車両  ▶ コントロール  ▶ システム

▶ 車両  ▶ コントロール  ▶ ディスプレイ

デバイス マネージャー

デバイス マネージャーを開く

デバイス マネージャーには、使用可能な機器とその接続ステータスの一覧が表示されます。



▶ ヘッドラインの  または  を (接続状態により異なる) 選択します。

接続ステータスの表示

シンボルの色と意味

- 緑色のシンボル：接続が有効
- 白色のシンボル：白色のシンボル：接続は可能だが、有効になっていない
- アイコンなし：接続不可



選択できる機能：

- 電話 ：Bluetooth®を介して接続されている電話。
 - ▶ 198 ページの「電話」の章を参照してください。
- 音楽 ：Bluetooth®を介して接続されている外部 Bluetooth®メディアソース。

▶ 184 ページの「メディア」の章を参照してください。

- データ ：アクセスポイントを経由して確立されたデータ接続。
 - ▶ 190 ページの「ポルシェ コネクト」の章を参照してください。
- アプリ ：WiFi 経由で接続されたアプリ。アプリに関する詳細情報は www.porsche.com/connect をご覧ください。
- リンク ：USB 接続を介して接続された iPhone は、Apple CarPlay にアクセスできます。
 - ▶ 180 ページの「Apple CarPlay」の章を参照してください。

新しいデバイスを Bluetooth®経由で接続する



1. ヘッドラインの  または  を (接続状態により異なる) 選択します。
2. リストからデバイスを選択してください。
 - ▶ 6桁の Bluetooth®コードが作成され、PCM およびデバイスに表示されます。

3. PCM とデバイスの Bluetooth®コードを比較してください。
4. コードが一致していれば、デバイスの Bluetooth®コードを確定します。
 ➔ 電話の接続が正常に完了すると、電話がデバイスリストに表示されます。

ボルシェ コミュニケーションマネジメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：

▶ 145 ページの「ボルシェ コミュニケーションマネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

デバイス マネージャーの設定

- ▶ ヘッドラインの または  (接続状態により異なる) オプション  を選択します。

- 電話：▶ 198 ページの「電話」の章を参照してください。
- Bluetooth®：
 - Bluetooth®の ON/OFF を切り替えます。
 - PCM の Bluetooth 名を調整します。
- WiFi：
 - WiFi を起動/WiFi を停止
 - PCM WiFi ホットスポットの設定：PCM の WiFi アクセス データを表示し、設定します。このデータはデバイス (電話など) を WiFi 経由で PCM に接続したり、WiFi ホットスポットを使用したりするために必要です。
 - 接続された WiFi デバイス：登録済みのすべての WiFi デバイスのリスト。
- モバイルデータ：
 - モバイルデータを ON または OFF にします。
 - データ接続を共有する：WiFi デバイス用のデータ接続を有効にします。

- 車両ホットスポット：PCM WiFi ホットスポットを有効/無効にします。
- ペ어링されたデバイスを削除します。

メディア

メディアの概要

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネジメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▶ 145 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

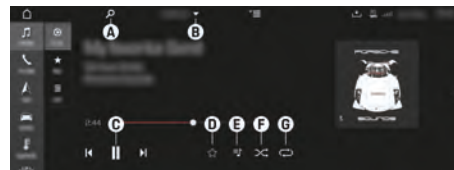


図. 170: メディアの再生

希望する操作	操作方法	操作箇所
メディア ソースを読み込む	<ul style="list-style-type: none"> - USB を介して外部機器を接続してください。 - 外部デバイスを Bluetooth®を介して接続します。 	
放送局/トラック/アルバムを検索する (検索結果は現在選択されているメディア ソースに関連したものです)	▶ メディア ▶ メディアの検索を行う (A を参照) ▶ 希望の放送局/トラックを入力してください。	-
メディア ソース/受信範囲を選択する	▶ メディア ▶ 再生 ▶ メディア ソースを呼び出す (B を参照) ▶ メディア ソース (FM など) を選択する	-
音楽を再生/一時停止する	▶ メディア ▶ 再生 ▶ または (C を参照) を選択してします。	-
次/前の放送局/トラックを再生する	▶ メディア ▶ 再生 ▶ または を選択します。	-
放送局/トラック/アルバムをお気に入りとして保存する	▶ メディア ▶ ☆ (D を参照)。	
放送局/トラックのリストを表示する	▶ メディア ▶ リスト 選択したメディア ソースに応じて、プレイリスト、アーティストなどのサブフォルダーを利用できます。	
周波数帯または番号を入力して選局する	メディア ▶ チューン ▶ または を選択します。	

メディアの再生

利用できるラジオおよびメディアソース




ラジオはFM および AM 周波数帯をサポートしています。

機器によっては、次のメディアソースを使用できません：USB または Bluetooth® 経由の外部デバイス、オンラインメディアサービス。




対応するメディアおよびファイル形式に関するテクニカルデータ：

▶ 145 ページの「ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

メディア再生中の他の機能

✓ **メディア**  **再生**   が選択されています。

概要説明の機能に加え、以下の機能が利用可能です：

- ✓ 現在のプレイリストを表示する： (E (図 127) を参照)
- ✓ シャッフルモードを有効にする： (F (図 127) を参照)
- ✓ トラックをリピートする： (G (図 127) を参照)
- ✓ 類似の音楽を提案する：**類似の曲を再生**

お気に入りの保存および編集

お気に入りの保存

1. **メディア** **FAV** ★

2. 放送局/トラックを最後に再生したエリアから選択し、長押ししてお気に入りエリアに移動させます。

お気に入りの整理




1. **メディア** **FAV** ★

2. 希望する放送局/トラックを押して、希望する箇所に移動させます。

お気に入りの削除

1. **メディア** **FAV** ★




2. 希望する放送局/トラックを選択し、長押しして、**お気に入り** エリアから上方に押し表示エリアから移動させます。
- または -

利用可能な場合は、▼ **メディア**  **再生**  / **リスト**  を選択して、以前に保存したお気に入りを **お気に入り** エリアから取り除きます。

プログラムガイドの呼び出し

プログラムガイドの表示

✓ **メディア** ソース **DAB/FM** を選択していること。



- ▶ **メディア**  **リスト**  ▶ **オプション**  ▶ **電子プログラムガイド (EPG)**
 - ➔ デジタルプログラムの情報が表示されます。

プログラムガイド内を移動

✓ プログラムガイドが表示されている。

- ▶ 垂直方向にスワイプ (スクロール) して、またはロータリー/プッシュボタンを使用して、プログラムガイド内を移動します。
- ▶ 詳細を表示するプログラムを選択します。

メディア設定の変更

- ▶ **メディア**  ▶ **オプション**  ▶ 希望の設定を選択します。

ナビゲーション

ナビゲーションの概要



図. 171: 目的地の入力/検索

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーションマネジメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▶ 145 ページの「ポルシェ コミュニケーションマネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

希望する操作	操作方法	操作箇所
目的地を検索	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ヘッドラインで NAV ▶ を選択します (A を参照)。 – または – – NAV ▶ DEST ▶ 目的地入力 (A を参照) ▶ 統合検索: PCM メモリーの検索 ▶ オンライン検索 (国によってはご利用いただけない場合があります) ¹ インターネット検索 	–
目的地住所の入力	<ul style="list-style-type: none"> – NAV ▶ DEST ▶ 目的地入力 (C を参照) 	
目的地履歴から選択する	<ul style="list-style-type: none"> ▶ NAV ▶ DEST / FAV ▶ 前回の目的地 (ID を参照) / ▶ マイ目的地 	–

1. 必要条件: データ接続が確立されていること。Porsche Connect サービスとオンライン ナビゲーション サービスが有効になっています。

希望する操作	操作方法	操作箇所
施設情報の入力	▶ NAV ▶ DEST ▶ 施設情報	-
GPS 座標を入力する	▶ NAV ▶ DEST ▶ オプション ▶ GPS 座標を入力	-
ルート案内を開始/終了する	▶ NAV ▶ 「目的地を入力」▶ ルート案内を開始 または 停止 を選択します。	-
保存した目的地を選択する	▶ NAV ▶ FAV ▶ 登録目的地	-
連絡先から目的地を選択する	▶ NAV ▶ FAV ▶ 連絡先	-
マップビューを開く	✓ NAV ▶ MAP	-
ルート オプションを表示する (代替ルートなど)	✓ NAV ▶ MAP ▶ オプション ▶ ルートオプション	-
リストおよび道路交通情報を表示	✓ ルート案内が作動中です。 ▶ NAV ▶ VICS	188 ページ以降
オンラインナビゲーションを有効にする	▶ NAV ▶ オプション ▶ ナビゲーション設定 ▶ オンラインナビゲーションサービス▶ オンラインナビゲーション ¹	-
Porsche Connect サービスを使用する (オンライン地図アップデートなど)	✓ データ接続が確立されていること。ポルシェ コネクトサービスが有効になっています。ポルシェ コネクトに関する詳細は、 www.porsche.com/connect を参照してください	▶ 190 ページ以降
ETC を表示する	▶ 車両 ▶ ETC	189 ページ以降

1. データ接続を確立しています。Porsche Connect サービスとオンラインナビゲーションサービスが有効になっています。

ナビゲーションの使用



警告

道路交通法を無視することによる事故の危険性。

案内されたルートが該当する道路交通法と反する場合は、いつでも国固有の交通規則が適用されます。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- ▶ 常に周囲の交通状況に注意してください。
- ▶ 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビングスタイルと速度で走行してください。



警告

システム関連の不正確さおよび不具合による事故の危険性

人工衛星に基づくナビゲーション中は、不適切な指示や不具合の可能性を排除することができません。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- ▶ 常に路面状態に注意してください。

地図からの目的地入力

1. NAV ▶ MAP を選択します。
2. 地図上で目的地をタッチして長押しします。
3. を選択して、ルート案内を開始します。

マルチファンクションディスプレイでの目的地の入力

1. ナビゲーション ▶ 目的地入力
2. 希望のリストを選択してください。
 - 前回の目的地：最近使用した目的地。
 - 保存した目的地：恒久的に保存した目的地（お気に入り）。
3. リストから項目を選択して、ナビゲーションを開始してください。

1. 必要条件：データ接続を確立しています。ポルシェコネクトサービスが有効になっていること。

マルチファンクションディスプレイによるルート案内の開始および停止

マルチファンクションディスプレイの使用に関するインフォメーション：

▶ 138 ページの「マルチファンクションディスプレイおよびマルチファンクションステアリングホイールの操作」の章を参照してください。

- ✓ 目的地データが入力されています。
- ✓ ルート案内がまだ開始されていません。

1. ナビゲーションメニューを選択します。
2. 以下のように、希望のオプションを選択してください。
 - ルート案内を開始：ルート案内を開始します。
 - ルート案内の停止：ルート案内を停止します。

ツアーの計画（経由地の入力）

ツアーは、1 つの目的地と最大 8 箇所の経由地からなります。

ツアーの入力および開始

1. NAV ▶ 目的地を入力 ▶ ルート案内を開始
2. オプション ▶ ルートを編集 ▶ 経由地を追加
3. 経由地を入力または選択します。
4. 経由地として追加 ▶ ツアー開始

ツアーの保存

- ✓ ツアーが開始されています。

- ▶ オプション ▶ ルートを編集 ▶ オプション ▶ ツアーを保存

ツアーの呼び出し

- ✓ ツアーが開始されています。

1. NAV ▶ FAV ▶ 登録目的地
2. マイ目的地 ▼ ▶ 保存されたツアー ▶ 希望するツアーを選択してください。

インフォメーション

経由地の順番は後でも変更できます。そのために、

NAV ▶ DEST ▶ オプション ▶ ルートを編集で、ルートの編集から該当する経由地のアイコンを押したままにし、目的の位置にドラッグします。

地図コンテンツの設定

1. NAV ▶ MAP ▶ (ヘッドライン内)
2. 希望の地図コンテンツを有効/無効にする（一部の国別仕様では不可）：
 - 3D マップ：3D マップビュー（と 2D ビュー）の表示または非表示を切り替えます。
 - オートズーム：地図の自動ズーム機能の有効と無効を切り替えます。
 - サテライトマップ：地図のサテライトビューの表示/非表示を切り替えます。
 - 天気 1：地図の天気情報の表示または非表示を切り替えます。

- **施設情報を表示**：地図上の施設情報の表示と非表示を切り替えます。
- **コンパス**：マップ上のコンパスの表示と非表示を切り替えます。

交通情報を表示する


地図上に交通情報を表示¹

地図上に、現在地または選択したルートに関する次の交通情報を表示することができます：

- **斜線区間**：交通渋滞の長さを示します。
- **色付き警告シンボル**：選択したルート上に差し迫った交通渋滞。ルート案内が有効でない場合は、現在の交通渋滞がカラー表示されます。
- **グレー表示の警告シンボル**：選択したルート上ではない交通渋滞

VICS/ITS スポット交通情報のリストの表示



1. NAV ▶ VICS

- ➔  アイコンに表示されている数字は、選択したルート上の道路交通案内の件数を示しています。

2. 交通情報通知を選択します。

交通渋滞の回避

ルート案内内で交通渋滞を自動的に回避または表示することができます。

- ▶ NAV  ▶ オプション  ▶ ルートオプション ▶ **ダイナミックリルート/道路交通案内を参照** を有効にします。

道路交通案内は、ラジオ放送局またはオンラインコンテンツ プロバイダーから発信されます。そのため、この情報の完全性および正確性に関してポルシェは責任を負いかねます。

1. 必要条件：データ接続を確立しています。ポルシェ コネクト サービスが有効になっていること。

マルチファンクションディスプレイによるマップビューの表示および設定

マルチファンクションディスプレイの使用に関するインフォメーション：

▶ 138 ページの「マルチファンクションディスプレイおよびマルチファンクションステアリングホイールの操作」の章を参照してください。



1. **地図メニュー**を選択してください。
2. **ロータリーノブ**を押します。
3. **希望する表示オプション**を選択してください。

- **マニュアルズーム**：地図の縮尺を地図画面に合わせて調節します。
- **オートズーム**：現在地点から次の注意点までの距離に応じて、地図の縮尺が自動的に切り替わります。
- **3D マップ**：3次元地図を表示します。
- **北向き**：地図は常に北を指しています。
- **目的地を表示**：地図上でナビゲーション目的地を選択し、拡大表示します。
- **現在地を表示**：地図上で車両の現在地を選択し、拡大表示します。

マルチファンクションディスプレイのナビゲーション案内表示を有効/無効にするには：

- ▶ **車両** ▶ **設定** ▶ **ディスプレイ** ▶ **PCM ディスプレイ**
- **マップ情報**：ナビゲーション情報を利用すると、ナビゲーション地図が自動的に表示されます。
- **矢印情報**：ナビゲーション情報を利用すると、進行方向を示す矢印が自動的に表示されます。

ナビゲーション設定の変更



- ▶ NAV  ▶ オプション  ▶ ナビゲーション設定
- ▶ **希望の設定**を選択します。

道路通行料自動収受システム (ETC) の使用

ETC カードの挿入と取り外し



図. 172: グローブボックスの ETC カードリーダー

1. 有効な ETC カードをカードリーダーに挿入し、カードを確実にはめ込みます。
2. ETC カードを取り外すには、 を押します
 - ➔ ヘッドラインのは、カードが挿入されていないか、あるいはカードエラーがあることを示します。

ETC 設定

- ✓ ETC カードが挿入されている

- ▶ **車両**  ▶ **ETC** ▶ **支払方法**

- 料金表示
- 料金警告
- カード携帯時の留意事項

ポルシェ コネクト

可用性

モデル、国、機器によって使用方法が異なる可能性があります。そのため、ここに説明されている内容は、すべてのモデル、国別仕様、および装備仕様で利用可能なわけではありません。国によっては、内蔵 SIM カードまたは外部 WiFi ホットスポット経由でデータ接続を確立することができます。現在有効なデータ接続は PCM のステータスラインおよびデバイス マネージャーに表示されます。

- ▷ 145 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。
- ▷ 182 ページの「デバイス マネージャー」の章を参照してください。

登録および有効化

My Porsche

My Porsche は車両や関連サービスの使用、その他のサービスの窓口を管理するためのセントラル プラットフォームです。My Porsche には、Porsche ID を使用してアクセスします。

Porsche ID は、認証済みの E メールアドレスによって My Porsche 内でポルシェ コネクト ストアおよび My Porsche アプリの Porsche Connect ユーザーネームとして使用されます。

Porsche ID では、データの同期および処理に関する個人設定を行ったり、サービスの予定を設定できます。

利用できるサービスや機能は、国および装備に応じて異なります。

My Porsche へのログイン

✓ Porsche ID アカウントが有効になっていること。

1. My Porsche を開きます。

(アクセスは通常、ポルシェ ウェブサイトの左上に表示されますが、国により異なります)。

2. ログイン データ (Porsche ID およびパスワード) を入力し、My Porsche を開きます。

暗証コード

車で Porsche ID のログインを完了させ、アプリや My Porsche から一部のリモートサービスをご利用いただくためには、暗証コードを指定する必要があります。

1. My Porsche を開きます。
(アクセスは通常、ポルシェ ウェブサイトの左上に表示されますが、国により異なります)。
2. お客様の個人アクセスデータ (ポルシェ ID およびパスワード) を使ってログインします。
3. 暗証コードは、ユーザー設定において設定、変更、またはリセットできます。

以下のサービスを使用する場合など、国によっては暗証コードを発行する必要があります。

- 乗車後に Porsche ID をロック解除 (「暗証コードでログイン」が設定されている場合)
- 車両のログイン設定を変更 (「暗証コードなしでログイン」などに変更)
- ポルシェ車両追跡システム (PVTS) の停止
- サブユーザーのためのリモート機能の有効化

Porsche ID アカウント（ポルシェ コネクト ユーザー）とポルシェ コネクトサービスの有効化

- ✓ Porsche ID アカウントを有効にするための E メールを受け取りました。

1. Eメールの「Porsche ID アカウントを有効にする」ボタンをクリックして、確認コードを入力します（登録されている携帯電話番号に送信されます）。
2. Porsche ID アカウントのパスワードと暗証コードを設定します。
3. プロフィール情報を入力し、一部の国で設定されているポルシェ コネクトの無料ご利用期間を有効にします（該当する国ではバックグラウンドにて自動的に反映）
4. スタート画面かアプリに、車両でポルシェ コネクトサービスをご利用いただくために必要となる 8 桁のペアリングコードが表示されます。
5. ポルシェ コミュニケーション マネジメント (PCM) に入力するには、保存されている携帯電話番号にテキスト メッセージで My Porsche のペアリングコードを送信してください。
- または -
ペアリングコードを書き留めてください。

i インフォメーション

Porsche ID を有効にするための E メールが届かないようであれば、担当のポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

My Porsche 経由での追加サービスの有効化

- ✓ Porsche ID アカウントが有効になっています。

1. My Porsche を開きます。（アクセスは通常、ポルシェ ウェブサイトの左上に表示されますが、国により異なります）。
2. お客様の個人アクセス データ（ポルシェ ID およびパスワード）を使ってログインします。
3. サービスタブを選択します。
➡ 利用可能なサービスが表示されます。
4. 希望するサービスを選択します。
5. 有効化と設定を行います。

i インフォメーション

- ポルシェ コネクト サービス パッケージは、無料利用期間中、幅広いポルシェ コネクト サービスを無料で提供します。その期間はサービスと国ごとに期間が異なる場合があります。無料ご利用期間、ならびにそれ以降の費用やアクティベーション、ご利用、ご利用可能な各サービスに関する詳細情報については、www.porsche.com/connect をご覧いただくか、担当のポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- 国によっては、ポルシェ コネクト サービスを内蔵 SIM カードまたは外部の WiFi ホットスポットで利用できます（ロシアでのみ利用可能）。
- お使いの携帯電話の料金体系によっては（また海外で使用する場合は）、インターネットからデータ パッケージを受信する際に追加料金が発生する場合があります。定額データ プランのご利用をお勧めいたします。
サービスの利用可否、範囲およびプロバイダーは国、年式、機器および使用料金によって異なる場合があります。

ナビゲーション目的地の追加

ナビゲーション目的地は、My Porsche ポータル内または車両内で直接設定できます。

My Porsche ポータルでのナビゲーション目的地の追加


- ✓ Porsche ID アカウントが有効になっていること。

1. My Porsche を開きます。
2. お客様の個人アクセス データ（ポルシェ ID およびパスワード）を使ってログインします。
3. サービスタブを選択します。
➡ 利用可能なサービスが表示されます。
4. ナビゲーション プラス サービスを選択します。
5. 新しい目的地を追加を選択します。
6. 目的地データを入力します。
➡ 目的地は My Porsche に表示され、編集、選択、削除または車両に送信することができます。

データ接続の確立

内蔵 SIM カード経由でデータ接続を確立

内蔵 SIM カード経由でデータ接続を確立する（国別仕様による）。

- ✓ PCM 電話が ON になっていること。（設定  ▶ Porsche Connect ▶ 電話機能を ON にする）

データ接続は、イグニッションを ON にするとすぐに確立されます。

① インフォメーション

データ接続を確立できない場合は、以下の点を確認してください。

- PCM 電話が ON になっていること。
- 車両がネットワークからの電波を十分受信できる場所（電波の届かない場所ではない）にあること。

▶ 必要に応じて PCM を再起動します。


データパッケージを表示する




▶ アプリ  ▶ データパッケージ

- ➔ マーケットによっては、契約済みのデータパッケージに関する情報が表示されます。

外部 WiFi ホットスポット経由でデータ接続を確立する

国によっては、外部 WiFi ホットスポット経由でデータ接続を確立することが可能です。

- ✓ PCM 電話が OFF になっていること。（設定  ▶ Porsche Connect ▶ 電話機能を OFF にする）




1. ヘッドライン内で、 または （接続ステータスに応じていずれか一方）▶ オプション  ▶ WiFi ▶ WiFi ホットスポットを検索するの順に選択します。

2. WiFi ホットスポット（公衆ホットスポットや電話の個人ホットスポットなど）を選択し、PCM に WiFi アクセスデータを入力します。データ入力時は、大文字/小文字に注意してください。
➔ 外部 WiFi ホットスポットへの接続が確立されます。

WiFi ホットスポット（ワイヤレスインターネットアクセス）の起動

車両ホットスポットに接続できる WiFi デバイスは最大 8 台です。

- ✓ データ接続が正常に確立されていること。
- ✓ 該当するデータパッケージが www.porsche.com/connect で購入済みである。

1. ヘッドラインの  または （接続状態により異なる）▶ オプション  ▶ WiFi ▶ 車両ホットスポットの順に選択します。

- ➔ PCM の WiFi アクセスデータ（機器名および WiFi パスワード）が表示されます。

2. PCM の WiFi アクセスデータをデバイスの WiFi 設定に入力してください。

- ➔ PCM のワイヤレスインターネットアクセスへの接続が確立されます。

ポルシェ コネクトの利用

ポルシェ コネクト サービスを使用するためには、データ接続が必要です。

- ▶ 190 ページの「ポルシェ コネクト」の章を参照してください。

① インフォメーション

ポルシェ コネクトに関する詳細な情報（ヘルプビデオ、ポルシェ コネクト取扱説明書およびヘルプ）は、www.porsche.com/connect で入手できます。

ポルシェ コネクト サービスを有効にする


ポルシェ コネクト サービスを初めてご利用になる場合、まず有効にする必要があります。

- ▶ www.porsche.com/connect で、ポルシェ コネクト サービスを起動してください。

ナビゲーションシステムおよびボイスコントロールシステムを使用する



- My Porsche からナビゲーション目的地を入力して、ポータル施設情報やその他の施設情報カテゴリーをロードする場合のオンライン検索。
- 追加地図画面
- リアルタイムの交通情報では、インターネット経由で事故、道路工事、渋滞情報やその他の事象に関する情報を配信します。
- 音声入力でメッセージとオンライン言語検索を行います。

「アプリ」メニューのサービスを利用する

- ▶ アプリ  を選択します。
➔ 利用可能なサービスが表示されます。

ポルシェ コネクト ユーザー（Porsche ID）として PCM にログイン

ポルシェ ID はペアリングコードを使用して PCM とリンクされています。これは、一部のコネクト サービスを使用して My Porsche からパーソナル設定を取得するために必要となります。

1. アプリ  ▶ オプション  ▶ Porsche ID 設定 ▶ ID をリンクする

2. サービスを正常に起動した後 My Porsche に表示されるペアリングコードを入力してください。
➔ ユーザーがログインしました。

ポルシェ コネクト ユーザー (Porsche ID) の管理

- ✓ ポルシェ コネクト ユーザーが作成され登録される。

▶ アプリ ▶ オプション ▶ Porsche ID 設定 ▶ 希望のアクションを選択します：

- リンク ID
- 削除
- 設定設定
- Porsche ID を切断する:
現在ログインしているユーザーをログアウトします。

サービス概要を表示

▶ アプリ ▶ サービス概要 ➔ 購入したサービスおよび契約期間に関する情報が表示されます。

アプリの使用

- ▶ 190 ページの「ポルシェ コネクト」の章を参照してください。

インフォメーション

- ポルシェ コネクトサービス (カーコネクト サービスを含む、セーフティ セキュリティ サービスを除く) では、各サービス パッケージやお住まいの国によって期間は異なる場合があるものの、最低 3 か月の無料利用期間が設けられています。無料利用期間についての詳細な情報、それ以降の費用とお住まいの国で利用可能な各サービスについての情報は、www.porsche.com/connect またはポルシェ正規販売店から入手できます。
- 国によっては、ポルシェ コネクトサービスを内蔵 SIM カードで利用できます。
- お使いの携帯電話の料金体系によっては (また海外で使用する場合は)、インターネットからデータ パッケージを受信する際に追加料金が発生する場合があります。定額データ プランのご利用をお勧めいたします。
- サービスの利用可否、範囲およびプロバイダーは国、年式、機器および使用料金によって異なる場合があります。

ポルシェ コネクト設定の変更

▶ 設定 ▶ Porsche Connect ▶ 希望の設定を選択します。

アプリ

国によって利用可能なアプリが異なります (Apple App Store または Google Play Store からダウンロードできます)。

危険

運転中の使用および操作

運転中にアプリの設定や操作を行うと、交通状況から注意がそらされる危険があります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ アプリを使用および操作するのは車両が完全に停止している場合だけにしてください。

インフォメーション

ポルシェ コネクトに関する詳細な情報 (ヘルプビデオ、ポルシェ コネクト取扱説明書およびヘルプ) は、www.porsche.com/connect で入手できます。

My Porsche アプリ ¹

一部の国で利用可能なアプリを使用して、電話を車両に接続できます。これにより、車両固有の情報を電話から直接取得し、選択した車両設定をアプリから行うことができます。加えて、故障発信をアプリで起動することができます (利用可能性は国別仕様により異なります)。たとえば、以下の機能を利用できます。走行可能距離、燃料水準、またはバッテリーのステータスなどの現在の車両データを取得し、車両のロックおよびロック解除をリモートで制御し、エアコンまたは予熱器を有効および無効にし、パーソナル POI (施設情報) を管理して車両に送信し、カレンダー入力から目的地を電話から PCM に転送します。さらに、このアプリは、製品の機能やイベントなど、ポルシェ ブランドに関する現在の情報へのアクセスを提供します。



1. 名前と機能は変更される可能性があります

WiFi 経由でアプリを PCM に接続し、PCM でアプリを起動する



図. 173: デバイス マネージャーを開く

- ✓ アプリが携帯電話にインストールされている (Apple App Store または Google Play Store からダウンロード)。
- ✓ アプリが起動している。
- ✓ 携帯電話で WiFi 機能が有効になっていること。
- ✓ WiFi が PCM で有効になっている。

1. PCM の WiFi アクセス データを表示し、携帯電話と PCM との WiFi 接続を確立します。
 - ヘッドラインの または  を選択します (接続状態により異なる) ▶ オプション
 - ↳ ▶ 車両ホットスポット
 - ホットスポット名および PCM のパスワードが表示されます。
 - PCM の WiFi アクセス データをデバイスの WiFi 設定に入力してください。
2. アプリ  を選択します。
 - ➔ アプリの利用可能なコンテンツが表示されます。

▶ 190 ページの「ポルシェ コネクト」の章を参照してください。

ポルシェ オフロード アプリ¹

一部の国で利用可能なこのアプリによって、車両と携帯電話のネットワーク接続が可能です。このアプリにより、携帯電話上で走行データの表示、保存、分析ができます。

送信は WiFi 経由で行われます。アプリをご利用いただくために必ずしも SIM カード/データ接続が必要なわけではありません。PCM で WiFi 接続を確立するためのインフォメーション：

▶ 190 ページの「ポルシェ コネクト」の章を参照してください。

アプリのインストールや機能に関する詳細情報は直接アプリをご確認いただくか、www.porsche.com またはポルシェ正規販売店からお求めいただけます。



危険

車両コントロールの喪失

不適切な運転スタイルや危険な操作により、車両のコントロールが失われる恐れがあります。

- ▶ 路面、天候、周囲の交通状況と運転者のドライビング スキルに適したスタイルで走行してください。
- ▶ アプリは公道ではない道路でのみ使用してください。



インフォメーション

アプリを使うと車両固有データにアクセスできるため、第三者による無断アクセスからデータを保護することをお勧めします。

ポルシェ「Good to know」アプリ¹

一部の国では、2013 年モデル以降の車両において、マルチメディア取扱説明書をデジタル デバイスでアプリにより利用できます。インストール後、該当車両用に適切なコンテンツ パッケージをダウンロードできます。

1. 名前と機能は変更される可能性があります

スポーツクロノストップウォッチ機能

スポーツクロノストップウォッチはレースサーキットや業務上の走行時等の時間計測にご使用いただけます。計測した時間は保存したり、評価したりすることができます。

以下の情報を記録し、評価することができます。

- ラップ回数
- 完了したラップ距離
- ラップタイム
- オプション：その他の各種データ（車両位置、速度、および外気温度など）

記録中、以下を表示します。

- 現在のラップ数
- 最速ラップタイムおよび、それと比較した現在のラップタイム
- 基準ラップに対して完了したラップの割合
- 現在のラップタイムが最新のラップタイムより速いか、遅いか、または同一かを表示するカラーレート。
- 現在のタンク充填でまだ運転できる残りの走行可能距離とラップ数。
- まだ残っている記憶時間
- オプション：現在のラップのトラック進捗状態と基準ラップ

スポーツクロノストップウォッチの操作 ダッシュボードのストップウォッチ



図. 174: ダッシュボードのスポーツクロノストップウォッチ

ストップウォッチにはアナログディスプレイとデジタルディスプレイがあります。

アナログディスプレイ

- 大きい指針：秒
- 小さい指針：時間および分

このディスプレイは 12 時間が経過するとゼロから再スタートします。

デジタルディスプレイ

- 秒、1/10 秒、および 1/100 秒

デジタルディスプレイおよびマルチファンクションディスプレイは 99 時間と 59 分まで表示できます。

ストップウォッチの明るさ調節

▷ 48 ページの「インストールおよびインテリアライト」の章を参照してください。

ダッシュボードのストップウォッチライトの ON/OFF



▷ 48 ページの「インストールおよびインテリアライト」の章を参照してください。

ストップウォッチに時刻を表示

▷ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。

ストップウォッチタイムの表示

ラップタイムはさまざまな場所に表示することができます。

- ダッシュボードのスポーツクロノストップウォッチ。
- マルチファンクションディスプレイのクロノメニュー。
- 下のメインメニューの車両  ▶ クロノ  PCM の。

マルチファンクションディスプレイを使用した計時



図. 175: クロノメニュー

- A** ラップカウンター – 現在のラップ回数
- B** 現在のラップタイム（緑色：最速ラップよりも速い、黄色：最速ラップと同タイム、赤色：最速ラップよりも遅い）
- C** 最速ラップタイム

- D サークルディスプレイ（基準ラップと比較してどれだけラップを完了しているかを示す）

① インフォメーション

ストップウォッチ作動中にクロノメニューを終了しても、計測は続きます。

ストップウォッチはイグニッションを OFF にすると停止します。約 4 分以内にイグニッションを再度 ON にすると、ストップウォッチは作動を再開します。

計時の開始

▶ CHRONO ▶ 開始

- ▶ データの記録が開始されます。基準ラップがまだロードされていない場合は、記録の中の初めラップが基準ラップとして使用されます。

計時の停止

- ✓ 計時が開始されました。

▶ CHRONO ▶ 停止

計時の継続

- ✓ 計時が停止されました。

▶ CHRONO ▶ 停止 ▶ 続ける

ラップの停止/新しいラップの開始

現在のストップウォッチタイムはラップタイムとして保存されますが、ストップウォッチは停止しません。

- ✓ 計時が開始されました。

▶ CHRONO ▶ ラップ

- ▶ ラップカウンターの値 (A) が 1 ずつ増えます。最速で終了したラップのタイムが最速ラップタイム (C) として保存されます。現在のラップタイム (B) とサークルダイアグラム (D) の色

が変わることによって、現在のラップタイムが最速ラップより速いか、遅いか、または同一かを示します。

① インフォメーション

1 回の記録で最大 99 ラップを保存することができます。

中間タイムの保存

- ✓ 計時が開始されました。

▶ CHRONO ▶ 中間タイム

中間タイムは短時間表示され、保存されません。時間測定はバックグラウンドで継続しています。

ストップウォッチタイムのリセット

- ✓ 計時が停止されました。

▶ CHRONO ▶ 停止 ▶ リセット

すべてのストップウォッチタイムをゼロにリセットすることができます。

PCM のストップウォッチ

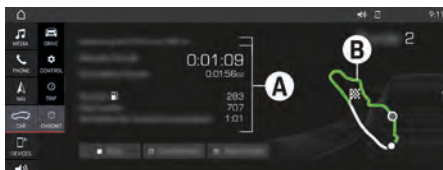


図. 176: PCM のストップウォッチ

- A 燃料の残量および現在の燃費残量で走行可能なラップ回数などの記録情報。

- B トラック進捗状況またはラップカウンター付きのサークルダイアグラム：基準ラップと比較して既に完了したラップの割合。現在のラップタイムがこれまでの最速ラップより速い（緑色）、同一（黄色）、または遅い（赤色）のいずれであるかを示すカラーレート。

計時の開始

▶ 車両 ▶ クロノ ▶ 開始

- ▶ データの記録が開始されます。基準ラップがまだ読み込まれていない場合は、最初のラップが基準ラップとして使用されます。

計時の停止

- ✓ 計時が開始されました。

▶ 車両 ▶ クロノ ▶ 停止

計時の継続

- ✓ 計時が停止されました。

▶ 車両 ▶ クロノ ▶ 続ける

ラップの停止/新しいラップの開始

1 回の記録で最大 99 ラップを保存することができます。



- ✓ 計時が開始されました。

▶ 車両 ▶ クロノ ▶ 新しいラップ

- ▶ ラップカウンターの値が 1 ずつ増えます。走行した最速ラップのタイムは、距離の差が許可された差に収まっていれば、最速ラップタイムとして記録されます。



中間タイムの保存

- ✓ 計時が開始されました。



- ▶ 車両  ▶ クロノ  ▶ 中間タイム
 - ➔ 中間タイムは短時間表示され、保存されません。時間測定はバックグラウンドで継続しています。

ストップウォッチタイムのリセット




- ✓ 計時が停止されました。

- ▶ 車両  ▶ クロノ  ▶ リセット
 - ➔ すべてのストップタイム表示は 0 にリセットされ、走行記録は停止されます。



基準ラップの読み込み

- ▶ 車両  ▶ クロノ  ▶ ラップ読み込み

基準ラップの保存




- ▶ 車両  ▶ クロノ  ▶ オプション  ▶ Sport Chrono ディスプレイ ▶ 評価 ▶ 希望の記録を選択 ▶ 基準ラップ設定済み

基準ラップのリセット


- ▶ 車両  ▶ クロノ  ▶ 基準ラップのリセット

記録の表示と編集および統計の記録

1 回の記録で 99 ラップを記録することができます。基準ラップがまだロードされていない場合は、記録の中の初めラップが基準ラップとして使用されます。最大で 10 時間の記録が可能です。

- ▶ 車両  ▶ クロノ  ▶ オプション  ▶ Sport Chrono ディスプレイ ▶ 評価

記録および基準ラップの名前変更、削除、インポートおよびエクスポート




- ✓ オプション  ▶ スポーツクロノ評価が選択されています。
- ✓ USB データバンクが接続されています。データは、記憶媒体の「スポーツクロノ」フォルダーに保存されています。

- ▶ 車両  ▶ クロノ  ▶ オプション 

スポーツクロノの設定




追加データの記録オプションの起動およびトラック進捗の表示

ラップの長さおよびラップタイムに加えて、他の走行データ（速度など）を 1 秒間隔で記録することができます。トラック進捗も地図に表示させることが可能です。

- ▶ 車両  ▶ クロノ  ▶ オプション  ▶ Sport Chrono 設定 ▶ 追加データの記録




許容距離差の設定

基準ラップの長さ任意のラップの長さがどのくらい異なるかを表示します。長さの逸脱が大きいラップは評価に含まれません。




- ▶ 車両  ▶ クロノ  ▶ オプション  ▶ Sport Chrono 設定 ▶ 追加データの記録

評価用の最大タイムの逸脱の設定

記録時に速度が同一（黄色マーク）と評価されたラップ間の最大のタイム差を表示します。

- ▶ 車両  ▶ クロノ  ▶ オプション  ▶ Sport Chrono 設定 ▶ 評価の最大タイム差

最速ラップ（ゴーストカー）の車両位置の表示

- ▶ 車両  ▶ クロノ  ▶ オプション  ▶ Sport Chrono 設定 ▶ 基準ラップを表示

電話

電話の概要

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。




ポルシェ コミュニケーション マネジメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▶ 145 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。



図. 177: 電話番号の入力 (キーボード)

希望する操作	操作方法	操作箇所
電話を Bluetooth® 経由で接続する (携帯電話対応装備)	電話 ▶ 新しい電話を検索 または 既知の電話を選択します。	▶ 199 ページ以降
接続されている 2 台の電話を切り替える	▶ ヘッドラインの右上で、現在接続されている携帯電話を選択します。既に接続している 2 つのデバイスが表示されます 希望する携帯電話を選択してください。	▶ 199 ページ以降
ダイヤル番号	電話 ▶ キーボード (A(図. 177)を参照) 応答 をダイヤルする (G(図. 177)を参照)	-
連絡先をお気に入りに登録する	▶ 電話 ▶ お気に入り (B(図. 177)を参照) お気に入りを追加 ▶ 希望する連絡先をリストからダイヤルする ▶ を選択します。	▶ 200 ページ以降
通話履歴を表示する	▶ 電話 ▶ 通話 (C(図. 177)を参照)	-
連絡先を表示する	▶ 電話 ▶ 連絡先 (D(図. 177)を参照)	-
メッセージを表示する	▶ 電話 ▶ 通知 (E(図. 177)を参照) SMS などの希望のフォルダーを選択します。	▶ 200 ページ以降
ボイスメールを聞く	▶ 電話 ▶ キーボード (F(図. 177)を参照) 選択ボタン 1 を長押しします。	-

希望する操作	操作方法	操作箇所
着信に応答する/拒否する	▶ 応答  または拒否  を選択します。	-
通話を終了	▶ フッターまたは電話メニューで拒否  を選択します。	-

モデル、国、機器によって異なる使用方法が可能です。そのため、ここに説明されている内容は、すべてのモデル、国別仕様、および装備仕様で利用可能なわけではありません。

▲ 警告 電話の使用による事故の危険あり

走行中に電話を使用すると、注意力が散漫になり交通状況に集中できなくなります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

▶ 必ずハンズフリー機器を使用してください。

▲ 警告 ケガをする恐れがあります。

ガソリンスタンド、燃料貯蔵所、化学工場、または爆破作業を行っている近くなど、危険な場所では電話の電源を切ってください。携帯電話は機器設備と電波干渉を起こすことがあります。

▶ 常に法律および各地域の規定、および取扱説明書に従ってください。

Bluetooth®を介した電話の接続

新しい電話を接続


- ✓ 電話の Bluetooth®機能が作動しており、他のデバイスから検出可能になっていること。
- ✓ PCM の Bluetooth®機能が有効になっていること。

▶ 182 ページの「デバイス マネージャー」の章を参照してください。

1. 電話、新しい電話を検索

2. デバイス リストから電話を選択します。
 ➔ 6桁の Bluetooth®コードが生成され、PCM と電話に表示されます。

3. PCM と電話に表示された Bluetooth®コードを比較してください。



4. コードが一致していれば、電話の Bluetooth®コードを確定します。
 ➔ 電話が正常に接続されると、数字入力 (メニューキーパッド ) が PCM に表示されます。


ⓘ インフォメーション

- 電話でサポートされている Bluetooth®の機能に応じて、電話帳や通話履歴、メッセージの内容にアクセスすることができます。電話が機能をサポートしている場合には、車両を停車した後に通話を電話に転送し、車両の外で通話を継続することもできます。
- 対応している電話の一覧は、ご利用の国のポルシェ ウェブサイトからご覧いただけます。モデル ▶ お客様の所有モデル (911 Carrera など) ▶ 取扱説明書 ▶ Bluetooth®経由

電話の接続 (Windows®およびiOS オペレーティングシステム)

Windows®およびiOS オペレーティングシステムを搭載した電話では、電話から接続を開始するようお勧めします。

1. 電話の Bluetooth®メニューから利用可能な電話を検索してください。ヘッドラインの  または  を押して (接続状況により異なります)、PCM を表示します。

2. 利用可能な機器リストから PCM を選択してください。
 PCM の Bluetooth®デバイス名は、 Bluetooth
 ▶ Bluetooth®名でを選択することによって表示できます。

登録済みの電話を接続

- ✓ 電話の Bluetooth®機能が作動していること。
- ✓ PCM の Bluetooth®機能が有効になっていること。

▶ 182 ページの「デバイス マネージャー」の章を参照してください。

1. ヘッドラインの または を（接続状態により異なる）選択します。
 - ➔ 登録されている電話が最大 20 件記載されたリスト表示されます。
2. リストから電話を選択してください。
 - ➔ 電話が Bluetooth® を介して接続されます。

別の電話の接続と使用

✓ 1 台の電話がすでに PCM に接続されていること。

1. ヘッドラインの または を（接続状態により異なる）選択します。
2. リストから電話を選択してください。
 - ▷ 199 ページの「新しい電話を接続」の章を参照してください。
 - ➔ 接続されているいずれの電話でも着信は可能ですが、操作は有効な電話でしか行うことができません。
3. 接続された 2 つの電話を切り替えるために、現在接続しているデバイスをヘッドラインの右上で選択します。

既に接続している 2 つのデバイスが表示されます。

– または –

電話 ▶ 電話 ▶ オプション ▶ 電話を選択 ▶ 希望のデバイスを選択してください。

電話の機能

接続ステータスの表示

モデル、国別仕様および装備仕様によっては、以下のようにヘッドラインに表示されることがあります：

電話が接続されていません。

- ✗ データ接続が確立されていません（考えられる原因：接続なし、ネットワーク品質不良、音声接続中のデータ接続中断）。
- LTE 携帯電話ネットワークを介したデータ接続。
- UMTS/HSPA 携帯電話ネットワーク（4G）を介したデータ接続。
- EDGE 携帯電話ネットワーク（GSM）を介したデータ接続。
- 電話機能向け携帯電話ネットワークの受信電界強度。
- 外部 WiFi ホットスポットを経由したデータ接続。

お気に入りの保存および編集

お気に入りの保存

1. 電話 ▶ お気に入り
2. 連絡先をエリア最近の連絡先からドラッグ&ドロップでエリアお気に入りに移動します。

お気に入りの整理

1. 電話 ▶ お気に入り
2. 希望する連絡先をドラッグ&ドロップで希望する場所に移動します。

お気に入りの削除

1. 電話 ▶ お気に入り
2. 希望する連絡先をエリアお気に入りからドラッグ&ドロップで表示エリアの上方へ外します。
 - または –
 - 利用可能な場合は、★アイコンを選択します。

通話中の各種機能

✓ 電話 ▶ キーパッド が選択されています。

マイクのミュート

✓ 通話中であること。

▶ を選択し、マイクをミュートにします。

通話の保留

✓ 通話中であること。

1. を選択します。
2. 通話を再開するには、 を選択します。

電話会議を開始する

✓ 通話中であること。

1. ▶ 新しい通話の追加（電話番号の入力または連絡先の選択）
2. 電話会議を開始するには、 を選択します。
3. 電話会議を停止するには、 を選択します。

2 つの通話の切り替え（応答保留）

✓ 1 つ目の通話が通話中であること。
 ✓ 2 つ目の通話が保留になっていること。

▶ をタップすると、保留中の通話が有効になり、代わりにそれまで有効だった通話が保留になります。

マルチファンクションディスプレイで電話を使用する

マルチファンクションディスプレイの使用に関するインフォメーション：

▷ 138 ページの「マルチファンクションディスプレイおよびマルチファンクションステアリングホイールの操作」の章を参照してください。

電話番号をダイヤルします。

1. メニュー電話を選択します。
2. リストから希望の番号を検索し、項目を選択します：

- 電話帳
- 発信履歴

着信応答/拒否

- ✓ 着信が入ったとき。

- ▶ メニュー電話を選択します。

- 通話応答
- 通話拒否

マルチファンクションディスプレイの着信の表示を有効/無効にする方法：

車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ 電話情報

同時に複数の通話を行う/通話を終了する

- ✓ 通話中であること。

- ▶ メニュー電話を選択します。

- **新しい通話**：通話中に別の参加者に電話します。
- **切り替え**：別の通話を行うために、参加者を切り替えます。
- **会議通話**：電話会議に参加者を追加します。
- **通話を終了**：通話中の電話を終了します。

メッセージの表示および編集

電話がサポートしている場合には、ショートメッセージ (SMS) を読むだけでなく、メッセージを読み上げさせたり、メッセージに含まれている電話番号に電話をかけることができます。この設定に関する詳細情報は、お使いの電話の取扱説明書を参照してください。

① インフォメーション

- 電話でデバイスのメモリーに保存されているショートメッセージしか表示できない場合は、車両で受信したショートメッセージが電話のメッセージリストに表示されない可能性があります。受信した SMS は SIM カードに保存されます。
- PGM はマルチメディアメッセージングサービス (MMS) に対応していません。

テキストメッセージの作成

1. 電話、▶メッセージ、▶メッセージ
2. 送信アイコンを選択します。
3. (電話番号を入力または連絡先を選択することにより) 受信者を追加します。
4. 入力フィールドを使ってテキストを入力し、OK で確認します。
5. 送信を選択します。

テキストメッセージの返信または転送

1. 電話、▶メッセージ、▶メッセージ
2. 返信/転送したい SMS を選択します。
3. 返信/転送アイコンを選択します。

電話の収納

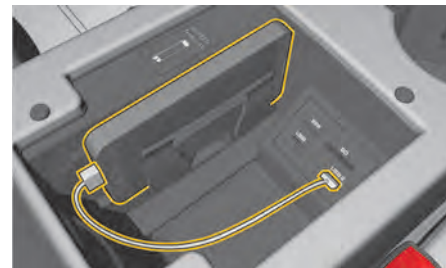


図. 178: アームレストのスマートフォントレイ

装備および国別仕様に応じて、アームレストの小物入れにスマートフォントレイが内蔵されています。車両の外部アンテナへの接続用で、電話の充電および PCM との接続用の USB インターフェース (タイプ C) を備えています。外部アンテナを使用することで、車両内の電磁波を抑え、Bluetooth® 経由で接続された携帯電話の受信品質を向上させることができます。

- ✓ 電話のキーボード/コードロックが有効になっていること。
- ▶ 電話の背面がサイドウォール側になるように、電話をスマートフォンプラケットに差し込んでください。
- ➡ トレイの表面と電話の間に物がなく、電話の画面が上向きになっていることを確認します。

電話をワイヤレスで充電

装備および国別仕様に応じて、電話をワイヤレスで充電することができます。この機能は、PCM で有効/無効にすることができます。

▲ 注意

スマートフォントレイ内の金属体

電話のワイヤレス充電中は、電話と充電パッドの間に金属体があると非常に高温になり、人身傷害や所有物の破損が起きる場合があります。

- ▶ 電話と充電パッドの間に、ものを置かないでください。






▲ 注意

ワイヤレス充電中の熱の発生


ワイヤレス充電中、電話が非常に熱くなることがあります。

- ▶ 電話を取り外すときは、温度に注意してください。

✓ PCM で機能を有効にします：

- ▶ 設定  ▶ 電話設定 ▶ 電話 ▶ ワイヤレス充電  - または -
電話  ▶ オプション  ▶ 電話設定 ▶ 電話 ▶ ワイヤレス充電 

✓ 携帯電話でサポートされる Qi 規格に準拠したワイヤレス充電。

- ▶ 電話の背面をサイドウォール側にして、携帯電話をスマートフォントレイに入れてください。
 - ➔ 機能が作動中またはワイヤレス充電中の場合、シンボル  は PCM のステータスバーに表示されます。

充電パフォーマンスは、電話によって異なります。

① インフォメーション

電話または車両が高温になると、帯電話の充電機能が制限されたり、機能が実行されなくなったりする場合があります。使用されている携帯電話のケースと作動中のアプリが充電機能に影響を与える可能性があります。



① インフォメーション

ワイヤレス充電には、交番磁界が使用されます。感覚器官の炎症や有効なインプラント（ペースメーカ、注入ポンプ、神経刺激装置など）または停止インプラント（人工ジョイントなど）との干渉などの反応が生じる可能性があります。

- ▶ 充電表面から 10 cm 以上の距離を保ってください。
- ICNIRP1998 に基づく継続的な露出制限は、この距離で満たされます。
- ▶ インプラントを使用されている方は、質問がある場合は専門医にお問い合わせください。

電話設定の変更

一般設定


- ▶ 電話  ▶ オプション  ▶ 電話設定 ▶ 希望の設定を選択します。

連絡先の編集

- ▶ 電話  ▶ 連絡先  ▶ オプション  ▶ 希望の設定を以下のように選択します。

- 連絡先メモリー：使用している連絡先メモリーを表示します。
- ソート基準：連絡先を姓または名で並び替えます。
- 連絡先を移動する：SIM カードの連絡先または Bluetooth® 経由で接続された携帯電話の連絡先を手動で PCM に転送します。
- お気に入りリストに追加：連絡先をお気に入りに登録します。

メッセージの編集

- ▶ 電話  ▶ メッセージ  ▶ SMS フォルダー ▶ オプション  ▶ 希望の設定を選択します。

- メッセージを読み上げ
- 詳細を使用：メッセージの内容を使用します（メッセージに含まれる数字など）。
- 消去：選択したメッセージを削除します。
- 新しいメッセージ
- フォルダー選択：フォルダー概要（受信トレイなど）を選択します。
- 削除モードを有効にする：削除するメッセージを選択します。

荷物および運搬

収納スペース

荷物の収納



警告

固定されていない、または不適切な位置に積載された荷物

固定されていない荷物、あるいは積載位置が正しくない荷物は、急ブレーキ、進路変更、または事故の際に、位置がずれたり飛び出したりして乗員を危険にさらす可能性があります。

- ▶ 車内に固定していない物を載せて走行しないでください。
- ▶ 小物入れのカバーを開けた状態で重い荷物を運ばないでください。
- ▶ 走行中はロック可能な小物入れを閉じてください。

知識

収納部を損傷する恐れがあります。

- ▶ 重くて尖っている物、あるいはかさばる物を収納ネットまたはファスニングフックで固定しないでください。
- ▶ 重くて尖っている物、あるいはかさばる物を小物入れに入れしないでください。

車両装備により、次のような収納オプションが利用できる場合があります。

- グローブボックス
- フロント センター コンソールの小物入れ
- 助手席側のドアハンドルの小物入れ
- フロント ドア パネルの小物および書類入れ
- フロントおよびリヤ ドア パネルの小物入れとボトルホルダー

- フロント シート下の小物入れ
- フロント シート バックレスト 後ろのマップ ポケット
- リヤ グラブ ハンドルの衣類フック
- 進行方向右側のラゲッジ コンパートメント内のバッグフック
- 進行方向右側のラゲッジ コンパートメント内の収納ネット
- ラゲッジ コンパートメント フロア下の小物入れ

小物入れの開閉

グローブボックスの開閉

グローブボックスを開く

- ▶ ハンドルを引いてください。
➡ グローブボックスは自動的に開きます。

グローブボックスを閉じる

- ▶ カバーを押して閉じてください。

グローブボックスは、エマージェンシーキーを用いてロックやロックの解除ができます。

▶ 28 ページの「キー」の章を参照してください。

グローブボックスの冷房機能に関するインフォメーション:

- ▶ 60 ページの「エアコン システム (3 ゾーン オートエアコン)」の章を参照してください。

センター コンソールの小物入れを動かす、または開く



図. 179: アームレストの小物入れを開く

アームレストを動かす

センター コンソールのアームレストは前方にも後方にも動かせます。

- ▶ 押ししたり引いたりしてアームレストを動かさず。

小物入れを開く

- ✓ アームレストがリヤの位置にある
- ▶ アームレストの取っ手部分を引き上げます。

ルーフトランスポートシステム

ルーフに物を載せて運ぶ場合

警告

固定されていない、または不適切に固定したルーフトランスポートシステムまたは積載器具。

固定されていない、または不適切に固定されたルーフトランスポートシステムは、走行中に車両から外れ、重大事故を起こす恐れがあります。

- ▶ スキー/スノーボードホルダーやルーフボックスなどの積載機器は、サポート底部に対してできる限り中央になるように取り付けてください。
- ▶ 毎回走行を開始する前に、ルーフトランスポートシステムや積載器具が正しく確実に固定されていることを必ず確認してください。長距離走行時は、途中で定期的に確認してください。
- ▶ すべてのファスニングスクリューを再度締め付けます。

警告

車両のハンドリング特性の変化

ルーフトランスポートシステムを装着して荷物を載せると、車両操縦性が変化します。

- ▶ 適切な運転を心がけてください。
- ▶ ルーフトランスポートシステムに荷物を載せている場合、130 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ ルーフトランスポートシステムは装着しているものの荷物は載せていない場合、180 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ ポルシェテイクアップメントの積載器具については、速度に関する情報が異なる場合があるため、積載器具の取扱説明書に従ってください。

警告

荷物が固定されていない、または固定方法が正しくない場合

荷物が固定されていない、または固定方法が正しくない場合、走行中に荷物がルーフトランスポートシステムから外れ、重大な事故につながる恐れがあります。

- ▶ 荷物は走行中に動かないように適切な方法で固定してください。
- ▶ ルーフトランスポートシステムに荷物を載せる際には、荷物がシステムの側面からはみ出さないようにしてください。荷物が車両の幅を決して超えないようにしてください。
- ▶ ゴムのテンショナーは使用しないでください。
- ▶ ルーフトランスポートシステム上では、荷物の重心ができる限り低い位置になるようにし、荷重が積載エリア全体に分散されるようにしてください。

知識

ルーフトランスポートシステムを装着したまま自動洗車機を使用したり、車高に注意を払わなかったり、許容最大荷重を超過すると、車両やルーフトランスポートシステムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 自動洗車機を使用する前に、ルーフトランスポートシステムを完全に取り外してください。
- ▶ 立体駐車場など、高さが限られた場所に進入する前に、ルーフトランスポートシステムを含めた車両の全高を確認してください。
- ▶ 最大ルーフ積載荷重、最大総車両重量および最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。

インフォメーション

- ▶ ルーフトランスポートシステムを使用しない場合は、ルーフトランスポートシステムを完全に取り外すことで、燃料を節約し、ノイズを低減できます。

荷物を安全に確実に運ぶにはルーフトランスポートシステムや他の補助アタッチメント（スキー/スノーボードホルダー、ルーフボックス、バイクラックなど）を使用してください。

インフォメーション

ポルシェは、ポルシェが試験および認定したルーフトランスポートシステムのみを使用することをお勧めします。

ルーフトランスポートシステムについて詳しくは：

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ルーフトランスポートシステムの取り付け



図. 180: ルーフトランスポートシステムの構成部品

- A フロントキャリアバー（ロング）
- B リヤキャリアバー（ショート）

- C カバー トリム
- D トルク レンチ
- E キー

初めて取り付ける場合：

- ▶ フロントおよびリアキャリアを車両幅に合わせて調節します。

ルーフトランスポート システムのキャリアには、下側に前後を示すステッカーが付いています。

- ▶ ステッカーが車両の左側にくるようにキャリアを取り付けます。

- ✓ キャリア バーのサポートおよびキャリア バーのサポート表面部分のルーフレールが清掃されている。



図. 181: ルーフ レールの穴

1. 必ずマーキングされた部分にキャリアを固定してください。各ルーフレールの内側には、穴 B があります。

サポート底部のロック ピン A をこれらの穴にはめ込む必要があります。



図. 182: キャリア サポートを開く

2. キャリアの位置を決めるには、キャリア サポートのカバーを開けます。キーを挿入し、反時計回りに 90°回して水平位置にします。
3. カバーを持ち上げます。



図. 183: キャリアをルーフレール上に位置決めし、位置を合わせます

4. キャリアを位置決めする前に、ファスニング スクリューを止まるまでゆるめます。
5. キャリアをルーフレール上に慎重に位置決めし、位置を合わせます。

ロック ピン A をルーフレールのそれぞれ該当する穴 B に挿入し、その位置で固定します。

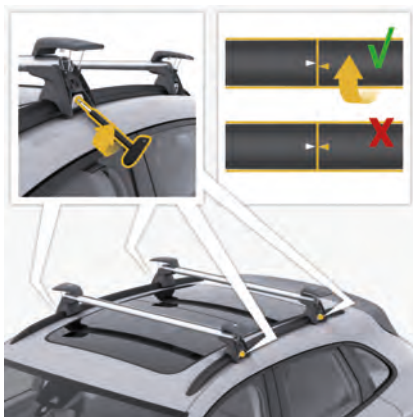


図. 184: サポート底部のファスニング スクリューを締め付けます

6. 両方のキャリアのサポート底部のファスニング スクリューを軽く締め付けるだけにし、まだ完全には締め付けしないでください。ロック ピンおよびキャリアが固定され、動かないことを確認します。

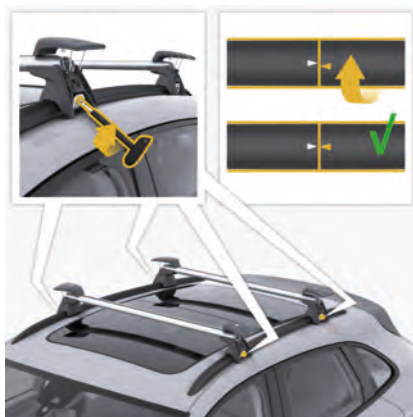


図. 185: ファスニング スクリューをサポート底部にしっかりと締め付ける

7. トルク レンチを使用して、ファスニング スクリューを 8 Nm で締め付けます。このためには、トルクレンチの 2 つの矢印を正確に合わせる必要があります。これにより、2 つのキャリアを縦方向および横方向に固定します。



図. 186: カバーを閉じてロックする

8. すべてのカバーを閉じて、ロックします。その際は、キーを時計方向に 90°回して垂直位置にしてから、キーを取り外します。最後に、必要に応じてカバー トリムを挿入します。

i インフォメーション

- ▶ 短距離走行後にファスニングを締め直し、定期的
に再点検してください。
- ▶ 状態の悪い路面を走行するときは、スクリューを
頻繁に点検してください。アタッチメントのゆる
みや紛失は、重大な事故につながるかもしれま
す。

マウント部品の取り付け

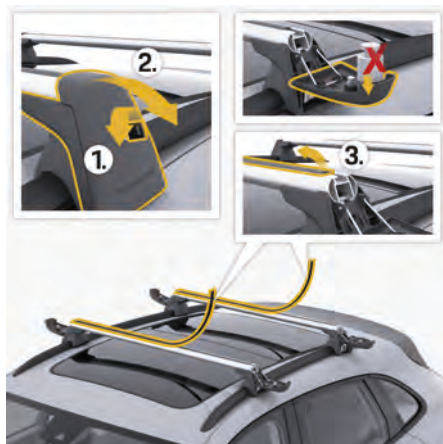


図. 187: マウント部品の取り付け

✓ カバーが開いています。

1. T 溝からカバートリムを取り外します。
2. 所定の T 溝にマウント部品を挿入します。
3. カバーを閉じ、キーを使用して時計回りにロックします。
4. マウント部品の取り付けと固定については、必ず該当する取扱説明書をお読みください。

ドリンクホルダー カップホルダーを使用する

▲ 注意

熱い飲み物がこぼれる恐れ

熱い飲み物がこぼれて火傷をする恐れがあります。

- ▶ カップホルダーに収まる容器のみを使用してください。
- ▶ 飲み物がいっぱいに入った容器をドリンクホルダーに置かないでください。
- ▶ 熱い飲み物を置かないでください。

知識

飲み物がこぼれて損傷する恐れがあります。

- ▶ カップホルダーに収まる容器のみを使用してください。
- ▶ 飲み物がいっぱいに入った容器をドリンクホルダーに置かないでください。

カップホルダーはフロントセンターコンソール、リアアームレスト、およびドアに取り付けられています。

フロントドリンクホルダー



図. 188: フロントアームレストのドリンクホルダー

リアドリンクホルダー



図. 189: リアアームレストのドリンクホルダー

ラゲッジコンパートメント

荷物の積載

⚠ 危険

有毒な排気ガスの吸入

リヤリッドが開いているか正しく閉じられていない状態でエンジンが作動している場合、有毒な排気ガスが車内に入ることがあります。

- ▶ エンジン作動時には、必ずリヤリッドを完全に閉じたままにしてください。
- ▶ リヤリッドを開いた状態で走行しないでください。

⚠ 警告

積載時の車両の操縦性の変化

車両の操縦性は積載量によって変化します。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。

⚠ 警告

固定されていない、あるいは固定方法や固定位置が正しくない荷物

固定していなかったり不適切な位置に載せたりした荷物は、ブレーキやステアリングを操作したとき、または事故の際に、滑り出して乗員が怪我をする恐れがあります。

- ▶ 固定していない荷物を輸送しないでください(事故、ブレーキ、コーナリング)。
- ▶ 荷物は常にラゲッジコンパートメントで輸送し、車室内(座席の上または前など)には絶対に置かないでください。
- ▶ 荷物は可能な限りシートバックレストで支えてください。バックレストは必ず固定してください。
- ▶ 重い荷物は必ずリヤシートバックレストを立てて、ロックした状態で積載してください。
- ▶ 可能な限り、空いている座席の後ろに荷物を置きます。
- ▶ 重い荷物はできるだけフロアの前方に寄せ、軽い荷物はその後ろに置いてください。
- ▶ バックレストの上端より上には荷物を載せないでください。
- ▶ ラゲッジコンパートメント カバー上に荷物を置いて走行しないでください。
- ▶ リヤシートに乗員がいない場合は、シートベルトを使用してシートバックレストを補助的に支えることができます。そのためには、外側座席のシートベルトを斜めに渡し、反対側のバックルにはめてください。
- ▶ 小物入れのカバーを開けた状態で重い荷物を運ばないでください。
- ▶ 走行中は小物入れカバーを必ず閉じてください。

⚠ 警告

不適切なタイヤ空気圧

不適切なタイヤ空気圧は、走行安全性に悪影響を与える恐れがあります。

- ▶ 荷重に合わせてタイヤ空気圧を調整してください。
- ▶ タイヤ空気圧を調整した場合、タイヤ空気圧モニタリングの設定も更新してください。

▶ 234 ページの「タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム」の章を参照してください。

知識

リヤウィンドウおよびサイドウィンドウを損傷する恐れがあります。

- ▶ 荷物によるリヤウィンドウおよびサイドウィンドウの損傷に注意してください。

ラゲッジコンパートメントフロアの最大許容荷重は 200 kg です。荷重は、ラゲッジコンパートメント全体に均等に配分する必要があります。

タイダウンストラップによる荷物の固定

- ▶ 荷物を固定するためにゴムストラップやベルトを使用しないでください。
- ▶ ストラップやベルトが尖った端部を通らないようにしてください。
- ▶ 荷物の上をベルトが横切るようにします。
- ▶ ベルトを手動でのみ締め付けてください。追加のテンション工具(ラチェット)を使用しないでください。
- ▶ 固定用具の使用法の指示や情報に従います。

タイヤシーラント (タイヤモビリティシステム—TMS)、工具セット、軽修理用装備の取り外しおよび収納

停止表示板と応急処置セットを取り外します。

停止表示板と応急処置セットは国別仕様により異なります。

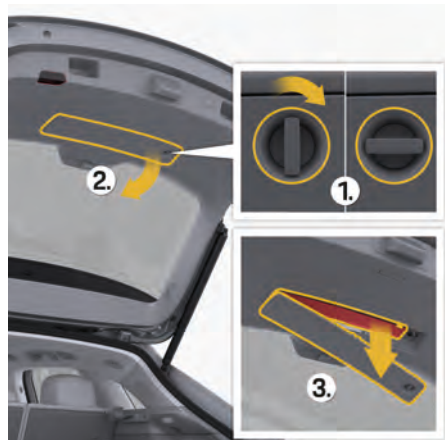


図. 190: 停止表示板の取り外し (国別仕様による)

✓ リヤリッドが開いています。

1. ツイスト ロックを反時計回りに 90°回します。
2. カバーを慎重に開きます。
3. 停止表示板の取り外し (国別仕様による)。



図. 191: 応急処置セットの取り外し (国別仕様による)

工具セットの取り外し

コラプシブルスペア ホイール非装備車の工具セットの取り外し



図. 192: 工具セット (コラプシブルスペア ホイールを除く) の取り外し

コラプシブルスペア ホイール非装備車の場合、工具セット (例: スクリュードライバー、スパナ、盗難防止ホイール ボルト用アダプター、けん引フック) は進行方向左側のサイド パネルの後ろにあります。

折り畳み式コラプシブルスペアホイール装備車の工具セットの取り外し



図. 193: 工具セット (コラプシブルスペアホイールを含む) の取り外し

折り畳み式コラプシブルスペアホイール装備車の工具セットは、ラゲッジコンパートメントフロアの下に収納されています。ホイール交換に必要な工具 (ジャッキ、ホイールボルトレンチ、組み付け補助工具、折りたたみ輪止めなど) も含まれます。

コンプレッサーおよびタイヤシーラント (タイヤモビリティシステム - TMS) の取り外し



図. 194: コンプレッサーおよびタイヤシーラント

- A** 圧力計付きコンプレッサー
- B** タイヤシーラントカートリッジ (タイヤモビリティシステム - TMS)

コラプシブルスペアホイール非装着車には、圧力計付きコンプレッサー **A** およびタイヤシーラントカートリッジ (タイヤモビリティシステム - TMS) **B** が装備されています。

タイヤ空気充填に関するインフォメーション：

- ▶ 234 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

タイヤの補修に関するインフォメーション：

- ▶ 243 ページの「パンク」の章を参照してください。

ラゲッジコンパートメントフロアの開閉



図. 195: ラゲッジコンパートメントフロアを開く

ラゲッジコンパートメントフロアを開く

1. ハンドル **A** を引き、ラゲッジコンパートメントフロアを半分に折ります。
2. 折りたたんだラゲッジコンパートメントフロアをマウントから取り外します。

ラゲッジコンパートメントフロアを閉じる

1. 折りたたんだラゲッジコンパートメントフロアを車両下周りのマウントにはめ込みます。
2. ハンドル **A** を引き、ラゲッジコンパートメントフロアを開きます。

ラゲッジコンパートメント カバーの使用



警告

ラゲッジコンパートメント
カバー上の荷物

ブレーキやステアリングを操作したとき、または事故の際に、荷物が車内に滑り出て乗員が怪我をする恐れがあります。

- ▶ ラゲッジコンパートメント カバーの上に荷物を置かないでください。

ラゲッジコンパートメント カバーは、左右のサイドウオールホルダーに固定された取り外し可能な装備です。必要な場合、開いているリヤリッドから外し、取り外すことができます（清掃時など）。

ラゲッジコンパートメント カバーの取り外し

ラゲッジコンパートメント カバーの取り外し



図. 196: ラゲッジコンパートメント カバーの取り外し

1. 両側のリテーニングストラップを外します。
2. ラゲッジコンパートメント カバーをサイドレッジに置きます。



図. 197: ラゲッジコンパートメント カバーの取り外し

3. ラゲッジコンパートメント カバーをキャッチから矢印の方向に引き出します。
4. ラゲッジコンパートメント カバーをマウントから取り外します。

ラゲッジコンパートメント カバーの取り付け



図. 198: ラゲッジコンパートメント カバーの挿入

1. ラゲッジコンパートメント カバーをマウントに上から挿入します。
2. 左右のピンがフロント ポジションにはまるまで、ラゲッジコンパートメント カバーを矢印の方向に押し込みます。



図. 199: ラゲッジコンパートメントカバーの取り付け

3. ラゲッジコンパートメントカバーを持ち上げます。
4. 両側のリテーニングストラップを取り付けます。

スキーバッグとラッシングポイントの使用

スキーバッグの使用

車内を損傷することなくスキーまたはスノーボードを安全に運ぶことができます。

知識

荷物の鋭い端(スノーボードなど)によってスキーバッグが損傷する恐れがあります。

- ▶ 荷物の鋭い端部を保護してください。

スノーボードやスキーをスキーバッグに収納する

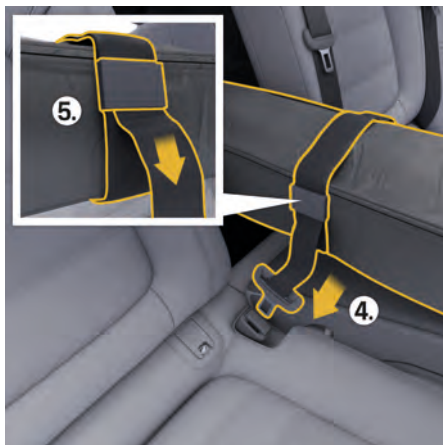


図. 200: スキーバッグの取り付け

スキーバッグはラゲッジコンパートメント内の関連するギヤバッグに収納されます。

1. エッジプロテクターをスノーボードまたはスキーに装着します。スノーボードやスキー板をスキーバッグに入れて、バッグを閉じます。スキー板は後端からスキーバッグに入れてください。
2. スキーを締め付けストラップで締め付けます。スキーピンディングはこのストラップより後ろにする必要があります。
3. リヤシート間のパススルーカバーを折り曲げます。
4. スキーバッグのベルトの突起部をベルトバックルに挿入します。
5. テンションストラップを締め付けます。

タイダウンリングの使用



図. 201: タイダウンリングの使用

タイダウンストラップを4個のリングCに留めて、ラゲッジコンパートメントの荷物が移動しないように固定することができます。

- ▶ 荷物固定時に、すべてのリングに均等に負荷がかかっていることを確認します。

📌 インフォメーション

タイダウンリングは事故の際の大きな負荷に耐えるようには設計されていません。

カーゴマネージメントの使用

カーゴマネージメントシステムはラゲッジコンパートメントに荷物を固定するために使用するシステムです。

テレスコピックバーの差し込みと調整



図. 202: テレスコピックバーの使用

1. テレスコピックバーのエンドエレメントをマウントレールの開口部 **A** に挿入します。
2. エンドエレメントを押し下げて、荷物側に押し込みます。荷物は滑って動き回らなくなります。
3. エンドエレメントを放します。
4. エレメントが適切にはめ込められているか、押し込んで確認します。

ストラップリールを差し込み、調整する



図. 203: ストラップリールの使用

ラゲッジコンパートメントまたはスベアホイールウエルのバッグに、ストラップリールが追加可変タイダウンリングと共に収納されています。

1. ストラップリールをバッグから取り外します。
2. ストラップリールのエンドエレメントの **B** ボタンを押し、2つのマウントレールの幅まで2個のエレメントを引き離します。

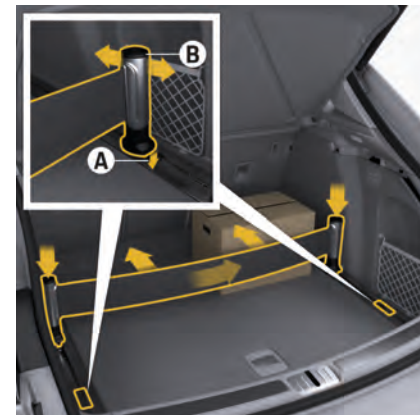


図. 204: ストラップリールの移動

3. ストラップリールの両方のエンドエレメントをマウントレールの開口部 **A** に挿入します。
4. 両方のエンドエレメントを押し下げて、荷物側に押し込みます。
5. エンドエレメントを放します。
6. エレメントが適切にはめ込められているか、押し込んで確認します。
7. **B** ボタンを押し、荷物が動き回らなくなるまでストラップを張ります。
8. **B** ボタンを放してください。

レールにストラップリールを挿入



図. 205: レールにストラップリールを挿入

1. ストラップリールのエンドエレメントの **B** ボタンを押して、両方のエレメントを若干引き離します。
2. ストラップリールの1個のエンドエレメントを片方のマウントレールの開口部 **A** に挿入し、押し下げて移動します。



図. 206: ストラップを張る

3. 2つ目のエンドエレメントを同じ開口部 **A** に挿入し、押し下げて反対方向に移動します。
4. エレメントが適切にはめ込められているか、押し確認します。
5. **B** ボタンを押して、荷物の周りにベルトを取り回します。
荷物が動き回らなくなるまでストラップを張ります。
6. **B** ボタンを放してください。

可変タイダウンリングの挿入および移動

タイダウンストラップまたはラゲッジコンパートメントパーテーションネットを可変タイダウンリングに取り付けることができます。

- ▶ 荷物固定時に、全てのリングに均等に負荷がかかっていることを確認します。タイダウンリングは荷物を重大な事故の際に抑え込むようには設計されていません。



図. 207: タイダウンリングの移動

1. タイダウンリングをマウントレールの開口部 **A** に挿入します。
2. **C** ボタンを押して下げて、タイダウンリングを必要な方向に移動します。
3. **C** ボタンを放してください。
4. タイダウンリングを押すことにより、適切にはめ込められているか確認します。

リバーシブルマット

濡れた荷物または重い荷物を輸送するときリバーシブルマットの上面に埃や傷が付くのを防ぐため、ラゲッジコンパートメントのリバーシブルマットの底面は滑り止め加工が施されています。

ラゲッジコンパートメントパーテーションネットの使用

ラゲッジコンパートメントパーテーションネットは車内に軽い荷物が飛び込んでくるのを防ぎます。

ラゲッジコンパートメントパーテーションネットの取り付け



図. 208: ルーフのラゲッジコンパートメントパーテーションネットの取り付け

- ▶ 取り付け時に、ネットの正しい側が車両後方を向いていることを確認します（ネット A のラベルを参照）。

垂直のシートバックレストに取り付け

1. リヤ固定リングのラゲッジコンパートメントパーテーションネットをルーフに取り付けます。



図. 209: ラゲッジコンパートメントフロアでのラゲッジコンパートメントパーテーションネットの取り付け

2. レールエンドから均等の距離になるように、タイダウンリングをラゲッジコンパートメントフロアに配置します。リヤシートによってゆがむことなく、ネットを垂直に張ることができるはずです。
3. ラゲッジコンパートメントパーテーションネットを下部フック B を使用して、荷室フロア左右のタイダウンリングに取り付けます。
4. ベルトストラップを引いて、ラゲッジコンパートメントパーテーションネットを張ります。

折りたたみシートバックレストの取り付け



図. 210: 折りたたみリヤシートバックレスト付きラゲッジコンパートメントパーテーションネットの取り付け

1. ラゲッジコンパートメントパーテーションネットをルーフの左右フロント固定リングに取り付けます。
 2. ラゲッジコンパートメントパーテーションネットを下部のフックを使用してバックレストに取り付けます。
 3. ベルトストラップを引いて、ラゲッジコンパートメントパーテーションネットを張ります。
- ▶ 積載後にラゲッジコンパートメントパーテーションネットが張っており、バックレストがリヤシートと接触していることを確認します。

スモーカーズ パッケージ

灰皿の使用



警告

可燃性物質による火災警告

灰皿に紙類が入っていると引火する可能性があります。

- ▶ 可燃物を灰皿に入れないでください。

灰皿の挿入



図. 211: 灰皿の挿入

車両装備により、センターコンソールのドリンクホルダーに挿入できる灰皿が利用可能です。

- ▶ 207 ページの「ドリンクホルダー」の章を参照してください。
- ▶ 灰皿をドリンクホルダーに挿入し、いっぱいに入ります。

灰皿の開閉



図. 212: 灰皿の開閉

- ▶ リッドを持ち上げ、倒すことで灰皿を開閉します。

灰皿の取り外し

- ▶ 灰皿を握って取り外します。

電気ソケット

12V プラグソケットの使用

車両装備により、プラグソケットは次の位置にあります：

- フロントセンターコンソールの小物入れ、ライニングマットの下
- 進行方向左側のラゲッジコンパートメント内

充電アダプターの接続

知識

電気システムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 適切な充電アダプターのみを使用してください。不適切な充電アダプターにより、プラグソケットが損傷を受ける可能性があります。

① インフォメーション

- ソケットはイグニッションがOFFの状態でも使えます。電装品がONになっていると、バッテリーが放電します。車両のバッテリーを保護するため、約30分後に電源の供給が遮断されます。電装品への電源供給を再開するには、イグニッションを再度ONにしてください。
- プラグソケットの最大電流値は、20Aです。複数の電装品を同時に使用する場合は、プラグソケット1つ当たりの電流値が10Aを超えないようにしてください。
- シールドされていない機器を使用すると、電波干渉や車両電装品の誤動作の原因となることがあります。

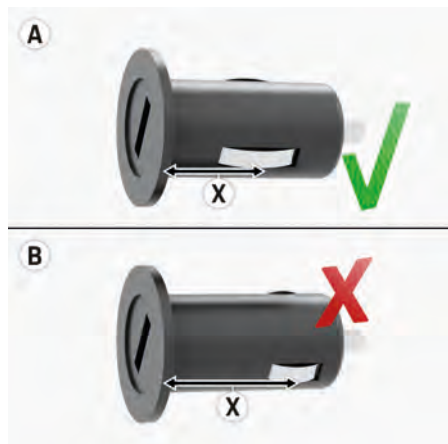


図. 213: 12 ボルト プラグ ソケット用充電アダプター

A：適切な充電アダプター（グラウンド接続と充電アダプターの上端の間の距離 **X** が約 **16 mm** 未満）。

B：不適切な充電アダプター（グラウンド接続と充電アダプターの上端の間の距離 **X** が約 **16 mm** より大きい）。

モビリティおよび軽修理

12Vバッテリー ジャンプスタート

バッテリーが上がったときは、他の車両のバッテリーを使用してエンジンを始動したり、ジャンパーケーブルを使用して外部電源を接続したりすることができます。両方のバッテリーの公称電圧は12Vでなければなりません。支援車側のバッテリーの容量(Ah)が、上がったバッテリーの容量に比べて小さすぎないようにする必要があります。上がったバッテリーは、必ず車両電気系統に正しく接続してください。

▶ 218 ページの「12Vバッテリー」の章を参照してください。

通常の操作状態でジャンパーケーブルによるエンジンの始動を繰り返し行わなければならない場合は、バッテリーの損傷が考えられます。



警告

不適切なジャンパーケーブルや始動手順

不適切なジャンパーケーブルを使用した場合や、ジャンパーケーブルによるエンジンの始動が適切に行われなかった場合、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

- ▶ 十分な太さがあり、ターミナルクランプが完全に絶縁されている標準的なジャンパーケーブルのみを使用してください。ジャンパーケーブルのメーカーが定めた取り扱い方法を遵守してください。
- ▶ 車両には決して触れないようにしてください。そうしないと、プラス端子を接続した途端、電流が流れる可能性があります。
- ▶ 導電性の装飾品(指輪、チェーン、時計ストラップなど)が車両の通電部品に接触しないようにしてください。
- ▶ ジャンパーケーブルをバッテリーまたは他の電子部品に決して直接に接続しないでください。ジャンパーケーブルを接続するのはジャンパーケーブルによるエンジンの始動用端子のみにしてください。



警告

凍結または損傷したバッテリーを使用したジャンパーケーブルによるエンジンの始動

凍結または損傷したバッテリーを使用したジャンパーケーブルによるエンジンの始動は、爆発および化学熱傷を引き起こす危険があります。

- ▶ 凍結または損傷したバッテリーを使用したジャンパーケーブルによるエンジンの始動は、**実行しないでください。**



注意

腐食性バッテリー液

鉛バッテリーには腐食性の高いバッテリー液が入っており、付着すると皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

- ▶ 保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
- ▶ バッテリー液の漏出を防ぐため、バッテリーを傾けないでください。
- ▶ 電解液が目や皮膚に触れた場合は、多量の冷水で数分間洗い流してください。

ジャンプスタートの実施

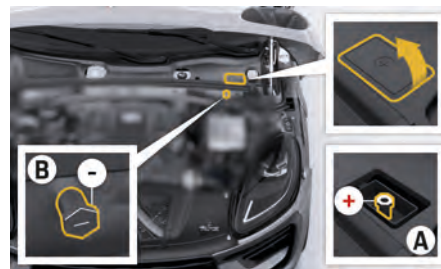


図. 214: ジャンプスタートの実施

1. ボンネットを開きます。
2. ジャンパーケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+ (A) のキャップを開きます。
3. 赤色のプラスケーブルをジャンパーケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+ (A) に接続します。
4. 赤色のプラスケーブルを支援車のバッテリーのプラス端子に接続します。
5. 黒色のマイナスケーブルを支援車のバッテリーのマイナス端子に接続します。
6. 黒色のマイナスケーブルをアース箇所- (B) に接続します。

7. 支援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を高めます。
8. エンジンを始動してください。ジャンパー ケーブルを使用してエンジンを始動するときは、スターターを 15 秒以上操作させないでください。少なくとも 1 分待機してください。
9. エンジンが操作状態のまま、最初に黒色のマイナスケーブルをアース箇所から切り離し、次に電源を供給するバッテリーのマイナス端子から切り離します。
10. エンジンが操作状態のまま、まず、赤色のプラスケーブルを支援車のバッテリーのプラス端子から外し、次にジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+から外します。
11. ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+のキャップを閉じます。

バッテリーの交換

バッテリー本体に表示された規格/仕様のみでは、そのバッテリーがボルシェの要求する基準を満たしているかどうかを判断することができません。

- ▶ バッテリーの交換は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。
- ▶ 鉛蓄電池は、必ず車両の特定の要件に合致する AGM (Absorbent Glass Mat、吸収ガラスマト) バッテリーと交換してください。ボルシェ純正バッテリーのご使用をお勧めいたします。
- ▶ 新しいバッテリーは取り付け後、コントロールユニットに登録する必要があります。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェは、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 電池の廃棄に関する法規を遵守してください。

電源遮断

一時的な電源遮断の後、特定の機器では再初期化が必要です。

1. パワーウィンドウの停止位置を保存します。
▶ 31 ページの「ウィンドウの開閉」の章を参照してください。
2. タイヤ空気圧モニタリング (TPM) にホイールおよびタイヤを登録します。
▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。
3. 電動格納式トレーラー装備車両で停止位置を保存します。
4. パノラミック ルーフ システムの停止位置を保存します。
▶ 37 ページの「ルーフ システム」の章を参照してください。

バッテリーを充電する

▲ 警告

感電、ショート、または火災

車両の通電部品に触れると感電する危険があります。車両電気システムでの作業が原因で、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

- ▶ エレクトリカル システムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。
- ▶ 工具や電気を通す装身具 (指輪、ネックレス、時計バンドなど) が、車両の電気部品と接触しないように注意してください。

▲ 警告

火災または爆発

燃料、エンジン オイル、トランスミッション オイルなど、自動車用油脂類の多くには非常に引火しやすい性質があります。燃料蒸発ガスは可燃性です。鉛酸バッテリー充電時には、爆発性の高い混合ガスが発生する可能性があります。

- ▶ エレクトリカル システムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。
- ▶ 静電気の帯電を防ぐため、乾いた布でバッテリーを拭かないでください。
- ▶ バッテリーを取り扱う前に、車両などに触れて静電気を逃がしてください。
- ▶ バッテリーの近くで喫煙したり、裸火を近づけないでください。ケーブル接触等による火花にも注意してください。
- ▶ 屋外または十分に換気されている場所でのみ、車両の作業を行ってください。

▲ 注意

腐食性バッテリー液

鉛バッテリーには腐食性の高いバッテリー液が入っており、付着すると皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

- ▶ 保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
- ▶ バッテリー液の漏出を防ぐため、バッテリーを傾けないでください。
- ▶ 電解液が目や皮膚に触れた場合は、多量の冷水で数分間洗い流してください。

知識

短絡、火災、オルタネーター、エレクトリック コントロールユニット、およびコンポーネントを損傷する危険があります。

- ▶ バッテリーの脱着は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェは、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ エレクトリカル システムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。

バッテリーはラゲッジコンパートメントの荷室フロア下にあります。

- ▶ ジャンパー ケーブルは絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。
- ▶ 218 ページの「ジャンプスタート」の章を参照してください。
- ▶ 221 ページの「バッテリーを充電する」の章を参照してください。

バッテリーの安全シンボル



説明書をお読みください



保護眼鏡を着用してください



お子様を絶対に近づけたりしないでください



爆発の危険があります



火気、スパーク、裸火、喫煙は禁止されています
電気配線や電気機器を取り扱うときは、火花を発生させたり、ショートさせたりしないでください。



腐食性やけどの危険

電解液は腐食性が高いです：保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。換気口から酸が溢れる恐れがあるため、バッテリーを傾けないでください。



応急処置

電解液が目にかかった場合、直ちにきれいな水で数分間洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。電解液が皮膚や衣服にかかった場合、直ちに石鹼水で中和し、多量の水で洗い流してください。万一電解液を飲み込んでしまった場合は、直ちに医者への診察を受けてください。



廃棄

古いバッテリーは、バッテリー回収場所に持ち込んでください。



絶対に古いバッテリーを家庭ゴミと一緒に廃棄しないでください。

バッテリーのお手入れ

① インフォメーション

バッテリーの凍結を防ぐため、常に完全な充電状態を維持してください。バッテリーが充電不足のときは温度が 0 °C であっても凍結することがあります。完全に充電されている場合は -40 °C まで凍結しません。

希望する操作

操作方法

バッテリー上
がりを避ける

- ▶ 短距離走行時には、不要な電装品のスイッチを OFF にします。
- ▶ 車両から離れるときは、イグニッションを OFF にしてください。

バッテリーの
お手入れ

- ▶ バッテリー表面は清潔で乾いた状態に保ってください。
- ▶ バッテリー端子は必ず確実に接続してください。

冬季走行の準備
をする

- ▶ 冬になる前に、ボルシェ正規販売店でバッテリーの点検を受けてください。

バッテリーを
充電する

- ▶ 凍結したバッテリーや破損したバッテリーを充電しないでください。
- ▶ 221 ページの「バッテリーを充電する」の章を参照してください。

車両を保管す
る

- ▶ 車両をガレージやワークショップで長期間保管する場合は、ドアとリッドを閉めておきます。
- ▶ イグニッションを OFF にしてください。

▶ 27 ページの「警報システム」の章を参照してください。

① インフォメーション

車両を使用していない間でも、バッテリーは常に放電しています。

- ▶ 正常に使用可能な状態を保つには、約6週間ごとの充電または AGM (Absorbent Glass Mat) バッテリーに適したトリクル充電器の使用が必要です。
ボルシェでは、ボルシェ Equipment の充電器およびトリクル充電器を使用することを推奨いたします。
- ▶ 取り外したバッテリーは、湿気がなく風通しの良い冷暗所に保管し、凍結に注意してください。

バッテリーを充電する



警告

凍結または損傷したバッテリーの充電

凍結または損傷したバッテリーを充電すると、爆発や酸による火傷の危険があります。

- ▶ 凍結または損傷したバッテリーを決して充電しないでください。

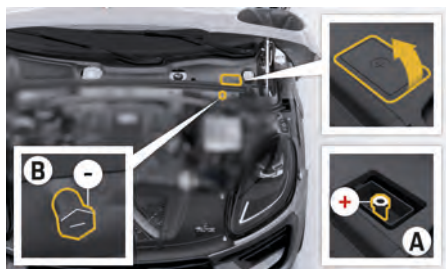


図 215: バッテリーを充電する

- ▶ 充電器メーカーの取扱説明書に従ってください。
- ▶ バッテリーの充電中は必ず十分に換気を行ってください。

1. ボンネットを開きます。
2. ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+ (A) のキャップを開きます。
3. 充電器の赤色のプラスケーブルを、ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+ (A) に接続してください。
4. 充電器の黒いマイナスケーブルをグラウンド ポイント- (B) に接続します。
5. 充電器のスイッチを ON にしてください。
6. バッテリーの充電後、充電器のスイッチを OFF にして切り離します。
7. ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+のキャップを閉じます。

適切な充電器に関する情報は、

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

けん引

車両のけん引

① インフォメーション

- ▶ けん引およびけん引によるエンジンの始動を行うときは、法規等を遵守してください。
- ▶ 車両をけん引するときは十分に注意してください。発進する前に、けん引する車両とけん引される車両の両方のドライバーが、けん引によるエンジンの始動とけん引時の通常とは異なる運転特性をしっかりと理解しておくことが大切です。
- ▶ けん引する前に、両方の車両のドライバーアシスタンスシステムを OFF にします。
- ▶ 電気系統の不具合が発生している場合、エレクトリックパーキングブレーキやステアリングコラムロックを解除するために外部電源の接続が必要ながあります。

けん引または押しがけによるエンジンの始動

知識

けん引または押しがけによる車両の始動は、車両とトランスミッションに重大な損傷を与える危険があります。

- ▶ けん引または押しがけによるエンジンの始動は行わないでください。
- ▶ けん引時は4輪すべてが接地するようにするか、復旧車両、車両輸送専用車またはトレーラーで前輪と後輪の両方を使用して車両を輸送してください。
- ▶ ロープ等で車両を固定するときは、ホイール部のみを固定してください。テンションストラップをけん引フックにかけないでください。

バッテリーに不具合があるとき、またはバッテリーが完全に上がってしまったときは、バッテリーを交換するか、ジャンパー ケーブルを使用してエンジンを始動させてください。

▶ 218 ページの「12V バッテリー」の章を参照してください。

▶ 218 ページの「ジャンプスタート」の章を参照してください。

車両のけん引

▲ 警告

パワー アシスト機能が作動しないことによる操舵力とブレーキ踏力の増加

けん引される車両のエンジンが停止している場合、ステアリング アシスト機能およびブレーキ アシスト機能を利用することはできません。ブレーキおよびステアリング操作に、より力を入れる必要があります。

- ▶ 車両をけん引するときは十分に注意してください。

- ▶ けん引する車両より重い車両はけん引しないでください。
- ▶ ブレーキが故障した車両はけん引しないでください。
- ▶ けん引される車両は、ブレーキ ライトや方向指示灯が機能し、ステアリング コラムがロックしないようにするため、イグニッションスイッチを ON にしてください。
- ▶ Porsche Entry & Drive 装着車では、コントロールユニットをイグニッションロックから取り外して、キーを挿入してください。

車両のけん引

- ▶ セレクター レバーを **N** の位置にします。ディスプレイおよびセレクター レバーで正しくセレクター レバーを **N** の位置にするには、車両をけん引する前にエンジンを一度始動しなければなりません。セレクター レバーが **N** の位置にあり、ディスプレイ上でもセレクター レバー位置が **N** に表示されれば、車両をけん引できます。
- ▶ PAS を無効にします。
 - ▶ 115 ページの「インストールメント パネルでの PAS の ON/OFF 切り替え」の章を参照してください。
- ▶ PDK がエマージェンシー モード（警告メッセージがトランスミッションの故障を表示している）の場合、車両をけん引しないでください。車両輸送専用車またはトレーラーを使用してください。
- ▶ 50 km/h の最高速度を超過しないようにします。けん引距離は 50 km 以内にしてください。

車両を 50 km を越えてけん引する必要がある場合、または 50 km/h を超える速度でけん引する必要がある場合、あるいは車両が急な下り坂、急な上り坂にある場合には、

- ▶ 車両をけん引しないでください。
- ▶ ロードサイド アシスタンスまたは故障復旧サービスに連絡してください。
- ▶ 復旧車両、車両輸送専用車またはトレーラーに前輪と後輪の両方を載せて車両を輸送してください。
 - ▶ 221 ページの「車両のけん引」の章を参照してください。

けん引ロープまたはけん引バーの使用

- ▶ 可能であればけん引バーを使用してください。けん引バーが使用できない場合にのみ、けん引ロープを使用してください。メーカーによりけん引ロ

ープとして使用するために指定された伸縮性がある合成繊維のロープ、または伸縮性がある素材でできたロープを使用してください。

- ▶ これらの仕様と取り扱い方法は、製品メーカーの取扱説明書を参照してください。メーカーの安全に関する指示と取扱説明書に従ってください。
- ▶ けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重を遵守してください。けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重が、けん引される車両の重量よりも大きいことを確認してください。製品メーカーが指定する定格荷重を超えてはなりません。
- ▶ けん引する車両より重い車両はけん引しないでください。
- ▶ けん引するときは、けん引フックを車両に取り付けてから、けん引ロープまたはけん引バーをけん引フックに取り付けてください。
 - ▶ 223 ページの「けん引フックの使用」の章を参照してください。
- ▶ トレーラー ヒッチにけん引ロープまたはけん引アイを取り付けしないでください。

けん引ロープの使用

- ▶ けん引による走行中は、ロープがたるまないように注意し、ロープに急激な衝撃を与えないでください。

けん引バーの使用

- ▶ けん引バーを斜め方向に取り付けしないでください。

雪や砂などで立ち往生した車両の救援

- ▶ 車両を救出するときは十分に注意してください。
- ▶ 車両を急に引っ張ったり、角度を付けて斜め方向に引いたりしないでください。

- ▶ 可能な限り、立ち往生した車両を進入したタイヤの軌跡に沿って元の方向に引き出してください。
- ▶ トレーラー車両を連結した状態でけん引しないでください。

けん引フックの使用



図 216: けん引フック

けん引フックの取り付け

けん引フックは工具セットに収納されています。

▶ 208 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。

1. プラスチックカバーの下端部をバンパー内に押し込んで取り外すか、または適切なツールで慎重にプラスチックカバーを取り外してください。
2. プラスチックカバーをバンパーから引き出し、カバーに付いているひもで吊り下げられた状態にしてください。
3. けん引フック **A** を反時計方向いっぱいめにねじ込み（逆ねじ）、手で締め付けてください。

けん引フックの取り外し

1. けん引フック **A** を外してください（時計回りに回転、逆ねじ）。
2. 開口部の下端にプラスチックカバーを差し込んでください。
3. プラスチックカバーをバンパーに押し込み、はまるまで上端を押してください。
4. けん引フックを工具セットに収納してください。

鉄道、船舶および積載車での車両輸送

- ▶ ロープ等で車両を固定するときは、ホイール部のみを固定してください。テンションストラップをけん引フックにかけないでください。
- ▶ 室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーを停止します。
 - ▷ 27 ページの「警報システム」の章を参照してください。
- ▶ ポルシェ車両追跡システム プラス (PVTS プラス) の輸送モードを有効にします。

ブレーキフルード

ブレーキフルードレベルの点検



図 217: ブレーキフルードリザーバー

ブレーキ液タンクはエンジンコンパートメント内にあります。

ブレーキフルードレベルの点検

- ▶ ブレーキ液タンクのブレーキフルードレベルを読み取ります。ブレーキフルードレベルは常に **MIN** マークと **MAX** マークの間に維持されなければなりません。
- ▶ ブレーキフルードが **MIN** マークより下にある場合は、ブレーキフルードを補充してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ブレーキフルードの交換

ブレーキフルードの定期的な点検および交換は、メンテナンスの一部です。

- ▶ ご自身ではブレーキフルードを交換しないでください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧め

いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

警告メッセージへの対応

ブレーキフルードレベルが低すぎる場合、インストールメント クラスタに警告灯(①)と警告メッセージが表示されます。ペダルの可動域が大きくなり、警告灯が点灯する場合、ブレーキシステムが故障している可能性があります。

- ▶ 直ちに安全な場所に停車し、運転を続けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
 - ▶ 143 ページの「警告灯およびインジケーターライト」の章を参照してください。

クーラント

一般的な安全に関する指示



警告

エンジンコンパートメントブロワーおよびエンジン付近の他の可動部品

エンジンコンパートメント内で作業する場合、手、指、衣服の一部、ネックレス、長い髪がエンジンコンパートメントブロワーやドライブベルトなどの可動部品に引き込まれる恐れがあります。エンジンコンパートメントブロワーはエンジンカバーの下に取り付けられています。エンジンを停止した後も、引き続きエンジンコンパートメント内の温度が監視されます。この間は、エンジンコンパートメントブロワーが作動し続けたり、作動し始めたりすることがあります。

- ▶ この付近で作業する場合は、エンジンを停止して、身体の一部、衣服の一部、または装飾品類がラジエーターファン、エンジンコンパートメントブロワー、ドライブベルト、またはその他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。



警告

高温のエンジン部品やクーラント

エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾーストシステム、クーラントなどが非常に熱くなっています。

クーラントリザーバータンクには圧力がかかっています。クーラントタンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然吹き出す恐れがあります。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾーストシステムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ エンジンコンパートメント内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。
- ▶ エンジンコンパートメント内で作業するときは十分注意してください。
- ▶ クーラントの補充はエンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。
- ▶ エンジンが熱いときにクーラントリザーバーのキャップを開けないでください。水温計の表示が60°Cを下回るまで待ってください。

知識

警告メッセージの表示後も車両を運転し続けると、エンジンが損傷する恐れがあります。

- ▶ エンジンをOFFにして冷やしてください。
- ▶ クーラントレベルが適正でも警告が表示され続けるときは、運転を続けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▶ 157 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

エンジンクーラントには年間を通じた腐食防止と、37℃までの凍結防止の働きがあります。

クーラントレベルを定期的に点検することは、メンテナンスの一部です。

ポルシェが認定した不凍液のみを使用してください：

- Glysantin® G65®

クーラントレベルの点検と補充



図 218: クーラントタンク

▶ 137 ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。

- ✓ 車両を平坦な場所に駐車します。
 - ✓ エンジンが冷えていて、クーラント温度計が 60℃ 以下である。
1. クーラントレベルを読み取ります。クーラントレベルは必ず **min**-マークと **max**-マークの間でなければなりません。
 2. クーラントレベルが **min**-マーク未満の場合は、クーラントを補充しなければなりません。
 3. 慎重にクーラントリザーバータンクのキャップを開き、内部の圧力を逃がしてください。

4. 圧力が完全に抜けてから、キャップを完全に取り外してください。
5. クーラントを補充します。不凍液と蒸留水を同量混ぜ合わせた物のみを補充してください。補充するときに **max**-マークを超えないようにしてください。
6. リザーバータンクのキャップがしっかりとロックするまでねじ込んでください。
7. クーラントの減少が著しい場合、クーリングシステムに漏れがあるか、過剰に充填されていると考えられます。クーリングシステムを点検し、直ちにクーラント減少の原因を解消してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

① インフォメーション

緊急で水のみを補充した場合は、速やかに不凍液の混合比率を修正してください。クーラントの減少が著しい場合、クーリングシステムに漏れがあるか、過剰に充填されていると考えられます。

- ▶ 早急に修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジンオイル

エンジンオイルレベルの点検

走行スタイルや走行条件によってオイル消費量が 1,000km 当たり 0.8L 以上になります。オイルレベルは定期的に点検してください（車両に燃料を補給するときなど）。

オイルレベル警告への対応

オイルレベルが低すぎる場合、インストルメントパネルにシンボルが表示され、直ちにエンジンオイルを補充する必要があることが示されます。

▶ 157 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

エンジンオイルレベルの測定と表示

知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

オイルレベルが下限マークより下にある場合、エンジンが適切に潤滑できません。

- ▶ オイルレベルを定期的に点検してください。
- ▶ オイルレベルが下限マークを下回らないように注意してください。

① インフォメーション

状況により、オイルレベルが測定されないことがあります。以下の場合に発生します：

- エンジンが冷えています。
- フルスロットル走行後のエンジン回転数が高い状態で車両を停車させた場合。
- エンジンオイルの温度が高すぎます。

- ✓ 車両を平坦な場所に駐車します。
- ✓ エンジンが作動温度に達した状態で、1 分以上停止しています。

インストルメントパネル：

▶ 車両 ▶ オイル測定

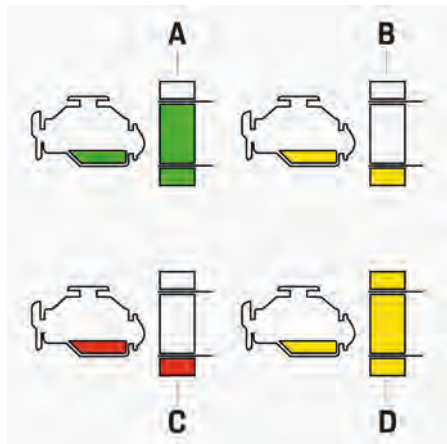


図 219: オイルレベルインジケータ

- A** オイルレベルは十分 – 上限に達している
- B** オイルレベルが下限に達している
- C** オイルレベルが下限を下回っている
- D** オイルレベルが上限を超えている

表示が緑色 **A** の場合、オイルレベルは上限のマークに達していて、十分であることを示しています。

最下部のセグメントが黄色 **B** で表示されている場合、オイルレベルが下限のマークまで達することを示しています。

- ▶ 次の機会に、インストルメントパネルに表示されている量のエンジンオイルを補充します。
表示された補充量以上のエンジンオイルを補充しないでください。

最下部のセグメントが赤色 **C** で表示されている場合、オイルレベルが下限を下回っています。

1. 適切な場所に停車してください。
2. インストルメントパネルに表示されている量のエンジンオイルを直ちに補充します。
表示された補充量以上のエンジンオイルを補充しないでください。

最上部 **D** まで黄色で表示されている場合、エンジンオイルが容量の上限を超えて補充されていることを示しています。これによって車両が損傷する恐れがあります。次の機会にオイルレベルを適正に戻してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジンオイルの選択と補充

エンジンオイルの選択

ポルシェは **Mobil 1** を推奨します。

認定されたエンジンオイルの名称を示すラベルがエンジンコンパートメントにある場合、このマニュアルに記載された情報よりもラベルの情報を優先してください。

ご不明な点や、最新のステータスを確認するには：ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

認定品	ポルシェ C40	ポルシェ C30	ポルシェ C20
	VW511 00	VW504 00	VW508 00
SAE-粘度等級	0W-40	0W-30	0W-20

エンジン	ポルシェ C40	ポルシェ C30	ポルシェ C20
2.0 リットル R4 ターボ エンジン	-	-	X
2.9 リットル V6 ツインターボ エンジン	-	X	-

ポルシェでは、エンジンオイルの補充が必要な場合には、適切なエンジンオイルの情報をポルシェ正規販売店にお尋ねいただき、そのオイルを使用することをお勧めします。

エンジンオイルの補充

▲ 警告

エンジンコンパートメントブローアおよびエンジン付近の他の可動部品

エンジンコンパートメント内で作業する場合、手、指、衣服の一部、ネックレス、長い髪がエンジンコンパートメントブローアやドライブベルトなどの可動部品に引き込まれる恐れがあります。エンジンコンパートメントブローアはエンジンカバーの下に取り付けられています。エンジンを停止した後も、引き続きエンジンコンパートメント内の温度が監視されます。この間は、エンジンコンパートメントブローアが作動し続けたり、作動し始めたりすることがあります。

- ▶ この付近で作業する場合は、エンジンを停止して、身体の一部、衣服の一部、または装飾品類がラジエーターファン、エンジンコンパートメントブローア、ドライブベルト、またはその他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。

▲ 警告

エンジンオイルの発火

エンジンオイルが過熱したエンジン部品に触れると発火する恐れがあります。エンジンオイルの残りが付着したまま換気せずに廃棄または保管された布は、自然発火して火災が発生する原因となる恐れがあります。

- ▶ 布で飛散したエンジンオイルを吸い取ってください。
- ▶ エンジンオイルが浸み込んだ布は、廃棄するまで換気された場所で保管してください。
- ▶ エンジンオイルを補充する前にエンジンを冷ましてください。

▲ 警告

高温のエンジン部品

エンジン稼働中は、エンジン、周辺部品、およびエキゾーストシステムが高温になります。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾーストシステムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ エンジン コンパートメント内の作業を行う前に、エンジンを OFF にし、十分に冷やしてください。
- ▶ エンジン コンパートメント内で作業するときは十分注意してください。
- ▶ エンジン オイルの補充は、エンジンを停止し、イグニッションを OFF にしてから行ってください。

知識

エンジン オイルは少なすぎても多すぎても、エンジンを損傷する恐れがあります。エンジン オイルが多すぎるとブルースモークが発生し、長期的にはエミッションコントロールシステムを損傷する恐れがあります。

- ▶ オイルレベルが下限マークを下回らないように注意してください。
- ▶ エンジン オイルを補充する際は、上限マークのところまでに行ってください。オイルを補充しすぎた場合は、次の機会にオイル量を適正に戻してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

下記の点を必ず守ってください。

- ボルシェ認定オイルのみを使用してください。定期点検時期（サービス インターバル）を遵守してください。
- ボルシェが認定したオイルであれば、互いに混ぜ合わせるすることができます。
- オイル添加剤を混ぜないでください。
- エンジン オイルの漏れが検出されたら、直ちにエンジンを点検してください。

ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェは、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▶ 19 ページの「エンジン コンパートメント フィラー開口」の章を参照してください。

1. インストルメント パネルでエンジン オイル レベルを確認します。
2. オイル フィラー キャップをゆるめて取り外します。
3. インストルメント パネルに表示されている量のエンジン オイルを補充します。表示された補充量以上のエンジン オイルを補充しないでください。
4. オイル フィラー キャップを慎重に取り付けます。

車両のお手入れ

一般的なお手入れの諸注意

▲ 警告

ブレーキ ディスクの水膜

激しい降雨時や水たまりを通過したときや洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

- ▶ 洗車後にはブレーキを点検してください。
- ▶ 後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけ、ブレーキを乾かしてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

ボルシェ正規販売店で定期的に点検することは、車両の価値の維持につながります。また、このような点検が車両の保証を受けるための前提条件になっている場合があります。

ボルシェでは、ボルシェ Tequipment 製のカーケア用品の使用を勧めます。

- ▶ カーケア用品のパッケージに記載されている使用上の注意事項を遵守してください。
- ▶ カーケア用品はお子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ カーケア用品を廃棄する際には、廃棄物に関する法律や地域のルールに従ってください。

車両の状態をしっかりと点検し、保証期間を最大限有効にするためには：ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。ボルシェ正規販売店が状態レポートを作成し、車両の整備状況を認定いたします。

知識

高圧洗浄機およびスチーム クリーナーを使用すると、以下の構成部品に損傷を与える恐れがあります。

- タイヤ
- ロゴ、エンブレム、デコラティブフィルム

- 塗装面
- オルタネーター
- エンジンコンパートメント内の電装部品およびプラグ接続
- パークアシストセンサー
- アダプティブクルーズコントロール (ACC) などのアシスタントシステムで使用される (レーダー) センサー
- リバースカメラ
- ワイパーブレード

- ▶ 機器メーカーの取扱説明書に従ってください。
- ▶ デコラティブフィルムを洗浄するときは、高圧洗浄機またはスチームクリーナーを使用しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機を使用する場合、ノズルから 50 cm 以上離してください。
- ▶ 高圧洗浄機またはスチームクリーナーを丸型ジェットノズルと組み合わせて使用することはしないでください。高圧洗浄機またはスチームクリーナーと丸型ジェットノズルを組み合わせると、車両に傷が付きやすいため、丸型ジェットノズルで洗浄しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機を使用するときは、これらの構成部品にジェットノズルを直接向けないでください。
- ▶ エンジンコンパートメント内の作業を行う前に、エンジンを OFF にし、十分に冷やしてください。
- ▶ 高圧洗浄機のジェットは、絶対に開口部 (スパークプラグシャフト、エアクリナーハウジング、エアフィルターなど) に向けないでください。洗浄前に開口部を覆ってください。

車両の洗浄

車両の外観を美しく保つには、日頃のお手入れが大切です。こまめに洗車し、ワックスで保護してください。解氷剤 (塩分)、砂塵、ばい煙、昆虫の死骸、鳥の排泄物、樹液や花粉などは、車体に付着してからの時間が長くなるほど塗装に悪影響を与えます。

車両の塗装面に損傷を与えることなく洗車するために、次の点に注意してください。

- ▶ 車両の下周りは、少なくとも道路の砂まきのシーズンの終わりには、しっかりと洗い流す必要があります。
- ▶ すず、グリース、油、重金属が車両に影響を与えるのを防ぐために指定された洗浄エリアのみを洗車するようにしてください。
- ▶ 直射日光のもとで、または車体が熱くなっているときには洗車しないでください。
- ▶ 手洗いを行うときは、柔らかいスポンジ、洗車用ブラシ、カーシャンプーを使用して多量の水で洗ってください。
- ▶ 洗車を始める際には、塗装面にしっかりと水をかけて、泥を洗い落としてください。
- ▶ 洗剤を使った後は、水で十分にすすぎ、セームで拭き取ってください。ウィンドウには、ボディを洗ったときと同じセームを使用しないでください。

自動洗車機

知識

自動洗車機を使用すると、取り付けたオプション部品やボディ表面から突出しているパーツが損傷する恐れがあります。

- ▶ 自動洗車機を使用する前に、洗車スタッフに確認してください。

危険	何に従う必要がありますか?
洗車機で洗車中、フロントウィンドウワイパーの不意の作動による損傷の可能性がります。	▶ フロントワイパーのスイッチを OFF にしてください。
外装部品への損傷	▶ ドアミラーを格納してください。 ▶ ルーフトランスポートシステムを完全に取り外してください。
ホイールへの損傷	▶ 洗車機のガイドレールの寸法をよく確認してください。タイヤのリム径が大きく高さが低くなるに従い、損傷のリスクも大きくなります。
ハイグロスまたはシルクグロスホイールへの傷	▶ 洗車機のホイール用洗浄ブラシを使用しないでください。

塗装のお手入れ

知識

塗装された表面に付着したほこり粒子は、お手入れ方法を誤ると塗装を損傷する可能性があります。

- ▶ 乾いた布でほこりを拭き取らないでください。

知識

適切にお手入れを行わないと構成部品の艶消し効果が失われる場合があります。

- ▶ 艶消し仕上げの部品にワックスや光沢剤を使用しないでください。

塗装面の保護

塗装面は風化によって時間とともにつやがなくなりますので、洗車後に定期的に塗装保護剤で保護する必要があります。そうすることにより、塗装の輝きと弾性を維持することができ、汚れが塗装面に付着したり、粉塵が塗装面に侵入したりすることを防ぎます。

塗装面のつや出し（研磨）

ペイント ポリッシュを使用するのは、保護剤では元の輝きが出せなくなった場合のみにしてください。

汚れ、染みの除去

タールの跳ねかき、オイル跡、虫などは、そのまま放っておくと時間とともに塗装が変色しますので、インセクトリムーバーを使用してできるだけ早めにそれらを取り除いて、その後その部分を慎重に洗ってください。

塗装の小さな傷の補修

亀裂、引っかき傷、飛び石による塗装面の小さな傷は、ボディの腐食が進行する前に修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ボディが腐食したときは、はじめに錆を完全に除去してください。錆を取り除いたら、その箇所にプライマー（防錆剤）を塗布してから、上塗り塗装を施してください。

アンダー コーティングの補修



警告

エキゾースト システム付近の可燃物

エキゾースト システム エリア内に防錆剤またはアンダー コーティングを追加で塗布すると、運転時に過熱して発火する可能性があります。

- ▶ エキゾースト マニホールド、エキゾースト パイプ、触媒コンバーター、またはヒートシールドの近くに、追加のアンダーコーティングや防錆を施さないでください。

車両のアンダーボディは化学的、機械的影響から永続的な方法で保護されています。しかし、走行中に保護コーティングが損傷することは避けられません。

- ▶ ポルシェは、ポルシェ正規代理店で車両底部を定期点検し、保護コーティングを補修することをお勧めいたします。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

デコラティブフィルムの清掃

知識

洗車時にデコラティブフィルムが剥れて損傷する恐れがあります。

- ▶ ポリッシュやホット ワックスを使用しないでください。
- ▶ 高压洗浄機またはスチームクリーナーを使用しないでください。
- ▶ 柔らかいスポンジ、中性洗剤、および多めの水を使用してください。

ヘッドライト、ライト、プラスチック製部品と表面、センサーとカメラの清掃

知識

洗剤がコントローラまたはスイッチに侵入し、損傷させる恐れがあります。不適切な洗浄剤を使用するとプラスチック面に損傷を与える場合があります。

- ▶ 車内のプラスチック製部品に直接水や室内用ウィンドウクリーナーをスプレーしないでください。
- ▶ ヘッドライト、ライト類、プラスチック部品とその表面、アダプティブクルーズコントロールのレーダーセンサー、車両カメラの清掃には、汚れない水と少量の中性洗剤または室内用ウィンドウクリーナーのみを使用してください。このとき、柔らかいスポンジまたは柔らかい不織布を使用してください。
- ▶ 他の化学成分が入ったクリーナーや溶剤を使用しないでください。

ウィンドウの清掃

フロント両側のウィンドウには、汚れを抑制する（疎水性の）撥水剤がコーティングされています。このコーティングは経年変化で徐々に劣化します。また新たにコーティングすることもできます。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください。

- ▶ すべてのウィンドウの内側と外側を、ウィンドウ洗剤を使用して定期的に清掃してください。
- ▶ 塗装面に使用したのと同じセーム皮を使用してウィンドウを拭き取らないでください。保護剤の残留物で視界が低下する可能性があります。
- ▶ 虫の死骸はインセクトリムーバーで取り除きます。

ワイパー ブレードのお手入れ

知識

適切に洗浄されない場合、ワイパー ブレードのグラフィットコーティングが損傷することがあります。

- ▶ 高圧洗浄機のノズルまたはスチームクリーナーをワイパー ブレードに向けしないでください。
- ▶ 布やスポンジでワイパー ブレードを洗浄しないでください。
- ▶ ワイパー ブレードの洗浄は清潔な水でのみ行ってください。

フロントワイパー ブレードを万全の状態に保つことは良好な視界のために不可欠です。

- ▶ ウィンドウクリーナーを使用してフロントウィンドウを定期的に清掃してください。特に洗車機を使用した後は清掃してください。
- ▶ 汚れがひどい場合(虫の付着など)、スポンジまたは布を使用してフロントウィンドウを清掃します。

ホイールのお手入れ

警告

クリーナーなどの溶剤によるブレーキディスク上の膜の発生

洗剤(ホイール洗剤など)がブレーキディスクにかかる、ブレーキディスクに膜が形成されてブレーキ性能が低下する恐れがあります。

- ▶ ブレーキディスクにホイールクリーナーなどの溶剤が付着しないようにしてください。
- ▶ 洗剤がブレーキディスクにかかった場合は、強力なウォータージェットでブレーキディスクをしっかり清掃してください
- ▶ 周囲の交通状況に注意してブレーキを作動させ、ブレーキディスクを乾かしてください。

合金製ホイールの表面に付着した金属の微粒子(ブレーキダストに含まれる黄銅や銅など)は、長期間放置しないでください。金属同士の接触による腐食が発生し、小さな穴(ピッチング)が生じます。

他の金属および機械ツールや製品に一般的に使用される酸化物除去効果のある洗剤や不適切な pH 値の洗剤は、表面を損傷するため、使用には適しません。

- ▶ 軽合金製ホイールには中性洗剤のみを使用してください(pH 値: 4~10)。pH 値の不正な製品を使用すると、ホイールの表面を損傷する場合があります。
- ▶ 可能であれば、2 週間ごとにスポンジまたは洗車ブラシを使用してホイールを洗浄してください。冬季に凍結防止剤、すべり止め剤がまかれる地域や、ばい煙が多い地域では、毎週洗浄するようにしてください。

▶ 229 ページの「車両の洗浄」の章を参照してください。

ドア、ボンネット、リッド、ウィンドウシールの清掃

知識

インナー ドアシールをコーティングしている潤滑剤は、不適切な清掃やカーケア製品の使用によりダメージを受けることがあります。

- ▶ カーケミカル洗剤や溶剤を使用しないでください。
- ▶ カーケア用品は使用しないでください。

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください:

- ▶ 定期的に、すべてのシールの汚れ(摩耗、ほこり、凍結防止剤、すべり止め剤など)を暖かい石鹸水を使用して洗浄してください。
- ▶ 凍結の恐れがある場合は、適切な手入れ用品を使用して、アウター ドアシールおよびリッドとフラップのシールを凍結から保護してください。

車内の清掃とお手入れ 革のお手入れ

知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切な手入れをすると革製品が傷む場合があります。

- ▶ 腐食性のある洗剤または固い清掃具を使用しないでください。
- ▶ 表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。
- ▶ 水滴は革製品から直ちに取り除いてください。

適切な車両の清掃とお手入れのために、次の点を遵守してください：

- ▶ 湿せた柔らかくて白い毛織布、または市販のマイクロファイバークロスを使用して、すべての種類の革製品を定期的に清掃し、細かなほこりを取り除いてください。
- ▶ 頑固な汚れ（水性の染みではない）は、革用洗剤で取り除きます。容器に記載されている取扱説明をお読みください。
- ▶ ポルシェでは、ポルシェ Tequipment 製のカーケア用品の使用を勧めます。
- ▶ 清掃した革製品は、皮革ケア製品でのみお手入れするようにしてください。

シートベンチレーター付きシートの清掃

雨水や湿気により、表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革シートに染みが付く可能性があります。

水染みおよび湿気による染みを取り除く

- ✓ シートヒーターおよびシートベンチレーターが OFF になります。
 - ✓ 直射日光が当たらないようにしてください。
1. 清潔な吸水性スポンジと蒸留水を使用して、シートおよびバックレストの表面全体を湿る程度に拭いてください。表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。
 2. シートカバーを直射日光を避けて室温で完全に乾かしてください。シートカバーを乾かす際、シートヒーターやシートベンチレーションを ON にしないでください。
 3. 乾いた後、シートカバーを乾いた柔らかい布で拭いてください。

カーペットおよびフロアマットの清掃



警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロアマットや正しく固定されていないフロアマットは、ペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。アクセルペダルが不意に踏み込まれたり、ブレーキペダル操作の妨げとなったりする場合があります。これにより、予期しない加速が起きたり、ブレーキ操作が難しくなったりする場合があります。

- ▶ 車両には適切なフロアマットのみを使用してください。
- ▶ フロアマットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- ▶ 幾つものフロアマットを重ねて敷かないでください。
- ▶ 清掃などのためにフロアマットを取り外した場合には、元の場所に正しく取り付けられているか確認してください。

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください。

- ▶ 電気掃除機または柔らかすぎないブラシを使用して清掃します。
- ▶ 染み抜きを使用して、ひどい汚れや染みを取り除きます。ポルシェでは、ポルシェ Tequipment 製のカーケア用品の使用を勧めます。

フロアカーペットの汚れや傷付きを防ぐため、ポルシェは適正なサイズの固定具付きフロアマットをカーアクセサリーとして用意しています。

エアバッグカバーの清掃



危険

不適切な清掃

不適切な洗剤やケア剤を使用すると、エアバッグシステムに染み込む場合があります。不適切な取り扱いにより、エアバッグシステムが損傷する恐れがあります。事故が起きた場合にエアバッグシステムが作動しない可能性があります。

- ▶ 個々の部品（ステアリングホイールカバー、ダッシュボード、フロントシート、ドアパネル、ルーフレームパネルなど）にかなる調整も加えないでください。
- ▶ エアバッグの周部には洗剤や他の液体を使用しないでください。

ファブリックライニングの清掃

ピラー、ルーフライナーおよびサンブラインドなどのファブリックライニングは、素材に適した洗剤、ドライフォーム、柔らかいブラシのみを使用して清掃してください。

Dinamica®/Race-TEX お手入れ

Dinamica®/Race-TEX 製マイクロファイバーカバーの清掃には、皮革ケア製品を使用しないでください。日常のお手入れとしては、表面を柔らかいブラシで拭けば十分です。清掃する際に強く擦りすぎると、表面が恒久的に変化してしまいます。

- ▶ 軽い汚れは、柔らかい布を水または中性の石鹸水で湿らせて、汚れを拭き取ってください。
- ▶ 汚れがひどい場合は、温めのお湯または薄めたクリーニング用溶剤で柔らかい布を湿らせ、汚れた部分の外側から内側へ軽くたたいてください。

Dinamica®/Race-TEX 製マイクロファイバー カバー装備のステアリングホイールは常に皮膚に接触するため、よりひどく汚れる場合があります。

- ▶ 軽い汚れの場合、柔らかい布を中性石鹸水で湿らせ、アウターステアリングホイールリムを拭き取ります。
- ▶ 汚れがひどい場合、洗剤メーカーの指示に従って、柔らかい布と市販の内張り泡クリーナーでアウターステアリングホイールリムを軽く擦ったり、たいたいたりして清掃できます。

シートベルトの清掃

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください。

- ▶ シートベルトの汚れには、中性洗剤を使用します。
- ▶ 乾燥時は直射日光を避けてください。
- ▶ 適切な洗浄剤のみを使用してください。
- ▶ シートベルトを染めたり漂白したりしないでください。シートベルト素材の強度が低下し、安全性が損なわれます。

画面とタッチディスプレイの清掃

知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切なお手入れを行うと画面およびタッチディスプレイを痛めることがあります。

- ▶ PCMの清掃に変性アルコール、シンナー、ガソリン、アセトン、アルコール類(エタノール、メタノール、またはイソプロピルアルコール)などの溶剤、または研磨剤などを使用しないでください。
- ▶ 画面またはタッチディスプレイに直接クリーナーや他の液体を吹きかけないでください。液体が入り込むと、電子部品は修理不能になることがあります。代わりに布を湿らせて慎重に画面を拭いてください。
- ▶ 画面の清掃は、画面をOFFにしてから行ってください。

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください。

- ▶ 画面とタッチディスプレイは擦ると傷が付く恐れがあります。時折、清潔で柔らかい乾いた布(マイクロファイバークロス)で慎重に画面とタッチディスプレイを清掃してください。清掃の際、表面に大きな力を加えないでください。
- ▶ 指紋は、少し湿らせた布や中性洗剤を使用して拭き取ります。

車両の保管

車両を長期保管する場合：ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。必要な対策(腐食予防、お手入れ、メンテナンス、保管など)についての情報やアドバイスを喜んでお伝えします。

- ▶ 221ページの「けん引」の章を参照してください。バッテリーを切り離している場合の車両のロックに関する情報は以下をご覧ください：
- ▶ 40ページの「セントラルロック」の章を参照してください。

テストスタンドでの測定

テストスタンドでのテストの実施

▲ 警告

有毒な排気ガスの吸入

有害な排気ガスを吸い込むと、重症または致命傷に至る恐れがあります。

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は低濃度でも人体に有害です。

- ▶ エンジンを作動した状態での作業は、屋外、または車両排気ガスの適切な排気システムが備わっている環境でのみ行ってください。

▲ 警告

車両の不十分な固定

車両がしっかり固定されていないか正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷に至る場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 交換するタイヤの対角線方向の反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにします。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポートスタンドで車体を支えてください。ジャッキで車体を支えるのは危険ですのでおやめください。
- ▶ 車両をジャッキアップした後は、絶対にエンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下するおそれがあります。

▲ 警告

車両の不十分な固定

車両がしっかり固定されていない場合、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷に至る場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のリフティングポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポートスタンドで車体を支えてください。
- ▶ 車両をジャッキアップした後は、絶対にエンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。

パフォーマンステスト

ボルシェでは、ローラータイプテストスタンドでのパフォーマンステストを承認していません。

ブレーキテストの実施

- ▶ ブレーキテストには、ローラータイプテストスタンドのみを使用してください。

以下の制限値を超えないでください：

- 測定速度 7.5 km/h
- 測定時間：20 秒以内

電気リック パーキング ブレーキのテスト

- ▶ ブレーキテストスタンドで電気リックパーキングブレーキのテストを行うときは、必ずイグニッションを **ON** にし、ニュートラル（トランスミッションパーキングロックをかけない）にします。

車両が自動的にブレーキテストスタンドモードに切り替わり、電気リックパーキングブレーキのテストが可能になります。インストルメントパネルに通知が表示されます。

タイヤおよびホイール**積載荷重および速度の要件を満たす**

タイヤの寿命は、タイヤ空気圧やシャシー設定以外に、お客様の運転スタイルにも大きく左右されます。急加速や高速でのコーナリング、ブレーキを酷使する運転スタイルは、タイヤの摩耗を早めます。また、外気温度が高いときや悪路での走行も、タイヤの摩耗を早める原因です。

- ▶ 255 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

知識

ラジアルタイヤとクロスプライタイヤを車両で同時に使用しないでください。

- ▶ 必ず同じタイプのタイヤを使用してください。
- ▶ 適切な速度で走行してください。
- ▶ 車両に規定重量を超える荷物を積まないようにし、ルーフ積載荷重を確認してください。
- ▶ 258 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム**タイヤ空気圧の点検****知識**

- 不十分なタイヤ空気圧が原因でタイヤが過熱し、目に見えないところまで損傷が生じることがあります。

- ▶ タイヤ空気圧を補正しても、目に見えないタイヤの損傷は取り除くことができません。
- ▶ タイヤの温度が高い状態で空気圧を調整しない(空気を抜かない)でください。タイヤが温かい状態ではタイヤ空気圧が増加します。タイヤ空気圧が規定値を下回ってしまいます。



図. 220: タイヤ空気圧プレートの記載箇所

タイヤを規定の空気圧に保ってください。タイヤ空気圧の規定値は、タイヤが冷えているとき (20°C) を基準にしています。

- ▶ タイヤ空気圧プレートを確認します。
- ▶ 最低 2 週間ごとに、タイヤが冷えているときタイヤ空気圧を点検します。

タイヤ空気圧モニタリング (TPM)

タイヤ空気圧モニタリングシステムには次の機能があります：

- タイヤ空気圧および温度の常時モニタリング。
- 走行中の実際のタイヤ空気圧 (実測空気圧) の表示。
- 2 段階のタイヤ空気圧警告 (黄色と赤色の警告)。
- 停車中に：規定空気圧からの空気圧偏差の表示。

タイヤ空気圧警告灯 (⚠) とインストルメントパネルの対応のメッセージにより、空気圧が不足している場合、2 段階 (空気圧低下の程度に応じて黄色と赤色のタイヤ空気圧警告を使用) で警告が発せられます。

タイヤ空気圧警告灯が消灯するのは、タイヤ空気圧が正された場合だけです。

黄色のタイヤ空気圧アラートは、車両を停止してイグニッションを OFF にした場合、またはイグニッションを再度 ON にした場合に、約 10 秒間表示されます。イグニッションを ON にすると、黄色のタイヤ空気圧警告を確認できます。赤色の空気圧警告は走行中にも表示され、異常を知ることができます。

- ▶ タイヤ圧力が正常にもかかわらず、タイヤ空気圧警告灯が点灯してタイヤ圧力警告が表示される場合：ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ⓘ インフォメーション

タイヤ空気圧モニタリングシステムは、自然放散による空気圧低下と、タイヤに異物が刺さったことなどによる空気圧のゆっくりとした低下の両方について警告します。タイヤ空気圧モニタリングシステムは、突然のタイヤの損傷については警告しません (予期しない外部からの影響によるパンクなど)。

⚠ 警告

欠陥のあるタイヤ

欠陥のあるタイヤで走行すると、重大な事故を起こす恐れがあります。

- ▶ インストルメント クラスタに赤色のタイヤ空気圧警告灯が表示された場合：速やかに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。必要に応じて、パンク修理剤で損傷箇所の修理を行うか、スペアホイールを装着してください。
- ▶ 損傷したタイヤを装着したままで運転を続けしないでください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 空気圧を調整しても短時間で空気圧が下がる場合、そのタイヤでの運転を続けしないでください。不安な場合は、ポルシェ正規販売店で点検を受けてください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムの故障

次のような場合は、モニタリングは正常に機能しません：

- タイヤ空気圧モニタリングシステムが故障している場合
- タイヤ空気圧モニタリングシステム用のホイールトランスミッターが取り付けられていない場合
- タイヤ設定を更新した直後の登録プロセス中

- ホイールを交換後、タイヤ設定を更新しなかった場合
- タイヤ温度が高すぎる場合

タイヤ空気圧の確認

個々のタイヤの空気圧が表示されるのは、速度が約 25 km/h を超えるか、タイヤに 0.1 bar 以上の空気を補充した場合にのみです。車両が約 10 分以上停止した後、イグニッションを ON にした場合、タイヤ空気圧の代わりにダッシュ記号 (-.-) が表示されます。

インストルメントパネル：

▶ タイヤ空気圧

実測空気圧の表示は、参考情報としてのみ利用してください。タイヤ空気圧は温度によって変化します。

- ▶ いかなる場合も、この表示を元にタイヤ空気圧を調整しないでください。

充填情報を見る



図. 221: 空気圧偏差の例

- ✓ 車両が停止している状態。

インストルメントパネル：

▶ タイヤ空気圧 ▶ 充填情報

該当するホイールについて規定空気圧からの偏差が表示されます。

例：右リヤ ホイールの位置に **-0.1 bar** と表示される場合は、このタイヤに 0.1 bar の空気を補充する必要があります。表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

- ▶ タイヤ空気圧を補正するときは、ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧警告に表示される空気圧差を必ず使用してください。

タイヤ設定

タイヤの種類とサイズおよび負荷の設定：

- ▶ 236 ページの「PCM でのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定」の章を参照してください。

PCM でのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定

⚠ 警告 不適切なタイヤ空気圧

タイヤ空気圧が極端に低い場合または高い場合、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷が発生するだけでなく、制動距離が長くなり、事故を起こす危険が大幅に高まります。

タイヤ空気圧モニタリングを使用している場合でも、タイヤ空気圧を適切に維持し、車両を適切に設定することはドライバーの責務です。不完全な、または不適切な設定は、警告とメッセージ表示の正確さに悪影響を及ぼす可能性があります。

- ▶ タイヤの種類および積載量に適したタイヤ空気圧に調整してください。
- ▶ タイヤ空気圧モニタリングメニューの設定が、車両に装着されているタイヤおよび車両の積載条件に対応していることを確認してください (特にホイール交換後または車両積載量の変更後)。
- ▶ 新しく装着したホイールセットのタイヤ空気圧が以前の設定と一致している場合でも、タイヤ空気圧モニタリングメニューでタイヤの種類とタイヤのサイズを再度選択してください。

タイヤの種類とサイズの設定

① インフォメーション

利用できる項目は、車両のモデルやタイヤの種類により異なります。このため本書で説明しているオプションの中には、利用できないものが含まれている場合があります。

- ▶ [タイヤ空気圧モニタリング]メニューで選択できないサイズのタイヤとホイールを装着するときは、装着の前に不足している情報を追加する必要があります。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ポルシェが承認したタイヤおよびホイールのみを使用してください。

インストールメントパネル：

▶ タイヤ空気圧 ▶ タイヤ種類

選択されたタイヤ種類の略語が表示されます。

- (S) : サマータイヤ
- (AS) : オールシーズンタイヤ
- (W) : ウィンタータイヤ

全積載または部分積載の選択

▶ タイヤ空気圧 ▶ 全負荷

- 全負荷**
全積載が選択されます。
- 全負荷**
部分積載が選択されます。

- ▶ 選択した積載タイプに応じてタイヤ空気圧を調整してください。

① インフォメーション

全負荷が表示されない場合は、荷重タイプに応じてタイヤ空気圧の調整が必要ないことを意味します。

タイヤ空気圧モニタリングの登録

タイヤ/ホイール交換、ホイールトランスミッター交換、またはタイヤ設定更新を行うと、タイヤ空気圧モニタリングシステムがタイヤの登録を開始します。このプロセスによって、タイヤ空気圧モニタリングシステムが各ホイールとその装着位置を検出します。タイヤ空気圧モニタリングシステムが検出した各ホイールに正しい装着位置を割り当てると、直ちにホイールの位置と空気圧情報が表示されます。

このプロセス中、PCMに冷間時(20°C)の規定タイヤ空気圧が表示され、インストールメントパネルにメッセージが表示されます。

すべてのホイールが学習されるまで、インストールメントパネルのタイヤ空気圧警告灯(🚗)が点灯します。

タイヤ空気圧の充填



注意

高温の充填ホース

タイヤに空気を充填する間、コンプレッサーの充填ホースが高温になり、やけどの原因となります。

- ▶ 作業用手袋を着用してください。

コンプレッサーはラゲッジコンパートメントのカバーの下にあります。

- ▶ コンプレッサーの取扱説明書を読み、遵守してください。

1. コンプレッサー充填ホースをタイヤバルブにねじ込んでください。
2. コンプレッサーを車両のプラグソケットに接続してください。
- または -

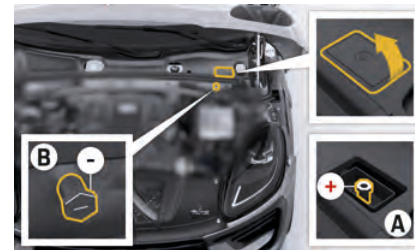


図 222: ジャンプスタート点

コンプレッサーのクリップをジャンパーケーブルによるエンジンの始動端子に接続してください。必ず下記の手順に従ってください：

- ジャンパーケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+ (A) のキャップを開きます。
 - 赤色のプラスケーブルをジャンパーケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+ (A) に接続します。
 - ジャンパーケーブル接続用のマイナス端子- (B) にコンプレッサーのマイナスケーブル(黒)を接続してください。
3. コンプレッサーを ON にしてください。
➡ タイヤに空気が充填されます。
 4. 空気圧計で充填した圧力を点検し、必要であればタイヤ空気圧を調整してください。再度タイヤ空気圧を点検してください。
 5. コンプレッサーを OFF にしてください。
 6. コンプレッサープレッシャーホースを外してください。

① インフォメーション

タイヤ空気圧はガスリンスタンドでも点検でき、空気
の充填も行えます。

タイヤ空気圧を下げる

1. コンプレッサーを OFF にしてください。
2. 充填ホースのエア抜きスクリューを適正なタイヤ
空気圧になるまで開いてください。

タイヤ表記の読み取り

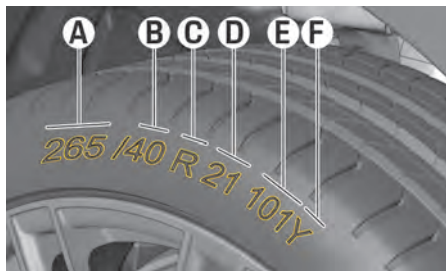


図. 223: タイヤ表記 (例)

- | | |
|----------|-------------|
| A | 公称タイヤ幅 (mm) |
| B | 扁平率 (%) |
| C | タイヤ構造記号 |
| D | リム径 (インチ) |
| E | ロードインデックス |
| F | 速度記号 |

速度記号 F は、そのタイヤの許容最高速度を示しま
す。

H	210km/h まで
V	240km/h まで
W	270km/h まで
Y	300km/h まで
(Y)	300 km/h まで (Y 記号 タイヤの場合)。タイヤ のロードインデックス (最大積載容量) の 85% までを搭載した状 態の場合、300 km/h 以 上の速度で走行するこ とが可能です (300 km/h 以上で走行する場合はタ イヤメーカーの確認が必 要です)。

タイヤ要点検

タイヤの損傷の検出



警告 目に見えないタイヤ損傷と
リムフランジの損傷

目に見えないタイヤの損傷によりタイヤがバーストする
恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 定期的にタイヤの状態 – 側面も含めて – を点検
し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、側面
の膨れなどがいないか確認してください。
- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだ
け直角に通過してください。傾斜が大きく縁が尖
った縁石や角ばった物体 (石など) に強くぶつけれ
たり鋭角に乗り上げたりしないように注意してくだ
さい。
- ▶ ホイールを損傷した可能性があるとき – 特に内側
– は、専門家による点検を受けてください。ボル
シェ正規販売店にご相談ください。ボルシェでは
ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたしま
す。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタ
ッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を
駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ いかなる場合も、タイヤを修理しないでくださ
い。タイヤシーラントを使用してタイヤの傷をふ
さぐことは、最寄りの修理工場まで走行するた
めの応急処置に過ぎません。

タイヤに次のような損傷を受けた場合は、安全のために
タイヤを交換してください。

- タイヤ内部の構造物の層が損傷した可能性がある
とき。
- タイヤ空気圧が不足しているときや、損傷箇所が
ある場合など、それらが原因でタイヤが過熱した
り、機械的な負荷がかかった可能性があるとき。

バルブおよびバルブキャップの点検と交換

- ▶ タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) 用のボルシェ純正バルブのみを使用してください。
- ▶ タイヤを交換する場合は必ずバルブを点検し、必要に応じて交換してください。ボルシェは、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

バルブキャップがない場合、ほこりや汚れからバルブを保護することができないため、漏れの原因になることがあります。

- ▶ バルブインサートの汚れを防ぐため、必ずバルブキャップをしっかりと閉めてください。バルブインサートが汚れると、タイヤ空気圧がゆっくり減少する場合があります。
- ▶ 紛失した場合は、直ちに新しいバルブキャップを取り付けてください。
- ▶ プラスチック製のバルブキャップのみを使用してください。

タイヤトレッドの点検

- ▶ タイヤのトレッドを定期的に点検してください。特に長距離走行の前後は、入念に点検してください。
- ▶ 多くのタイヤにはトレッド中央部にスリップサインがあります。スリップサインは主要なトレッド溝に設けられており、トレッド溝の深さが最少の1.6mmになると現れます。安全のため、ウェアインジケーターが現れる前にタイヤを交換してください。ウインタータイヤは、トレッド溝の深さが4mm以下になると使用に適さない状態になります。

トレッド溝の深さの測定

- ▶ 市販のトレッドの深さを測るゲージまたはキャリパーをタイヤトレッドに挿入してタイヤトレッドの深さを測定します。

ⓘ インフォメーション

タイヤの摩耗に偏りがある場合、車両の不具合が考えられます。

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェは、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ホイール交換



車両の下に入っでの作業

ジャッキから車両が滑り落ちる恐れがあります。

- ▶ ジャッキアップしながらのホイール交換時は、車内に誰もいないようにしてください。
- ▶ 交換するタイヤの反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにしてください。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両が斜面 (上り坂、下り坂、道路端に向かって傾斜している場所など) に駐車されている場合は絶対にジャッキアップしないでください。
- ▶ ジャッキは、ホイール交換時に車両を持ち上げるためだけに使用してください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポートスタンドで車体を支えてください。

▶ 252 ページの「ジャッキおよびリフティングプラットフォーム」の章を参照してください。

ⓘ インフォメーション

ホイール交換に必要な工具 (ジャッキ、ホイールボルトレンチ、組み付け補助工具など) は車両の標準装備品ではありません。

- ▶ 必要となる工具に関する情報: ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ⓘ インフォメーション

前輪と後輪それぞれのタイヤおよびホイールのサイズは異なります。ホイールを取り外す場合は、各ホイールの回転方向や取り付け位置をマーキングしておき、取り付け時はこれを目印にしてください。

- ▶ 前輪/後輪には必ずそれぞれ認可されたサイズのホイール/タイヤを使用してください。
- ▶ 車両登録書類または 255 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

ホイール取り付け面のお手入れ

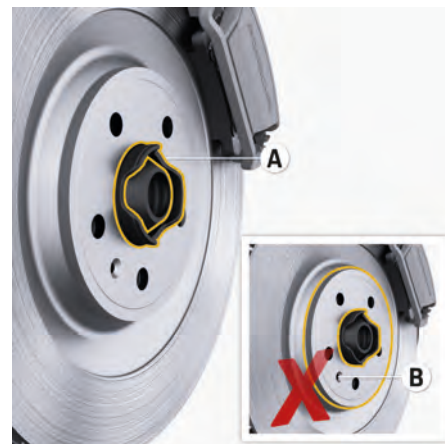


図. 224: ホイール取り付け面

知識

ホイールおよびホイール取り付け面を損傷する恐れがあります。

- ▶ ブレーキディスクのホイール取り付け面 **B** とホイールハブ本体の取り付け面にはグリースを絶対に塗布しないでください。
- ▶ 表面 **A** におみグリースを塗布できます。これらの表面に Optimoly® TA をごく薄く塗布します。ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。他の油脂類は使用しないでください。

ホイールボルトのお手入れ

- ▶ ホイールボルトは取り付けの前に、必ず清掃してください。
- ▶ ホイールボルトには油脂類を塗布しないでください。
- ▶ 損傷したホイールボルトは交換してください。この車両タイプ専用のボルシェ純正ホイールボルト、またはボルシェが要求する性能、品質基準を満たす同等部品のみを使用してください。
- ▶ **ホイールボルトは 160 Nm の締め付けトルクで締め付けてください。**
インパクトドライバーなどの駆動式ツールは使用しないでください。

盗難防止ホイールボルトの使用



図. 225: 盗難防止ホイールボルト用アダプター

盗難防止ホイールボルト用アダプターは工具セットの中にあります。

- ▶ 盗難防止機能付きホイールボルトを脱着するときは、このアダプターをホイールボルトとホイールボルトレンチの間に入れて使用してください。
- ▶ アダプターを取り付けるときは、ホイールボルトの歯がしっかり噛み合っていることを確認してください。

ホイール交換



警告

レベリングシステムのコントロール作動

レベリングシステムが作動している車両は、予期しないタイミングで動いたり、傾いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷に至る場合があります。

- ▶ 手でノーマルレベルに設定し、車両のリフトアップを行う前にレベリングシステムを OFF にします。

▶ 252 ページの「ジャッキおよびリフティングプラットフォーム」の章を参照してください。

車両の準備

1. セレクターレバーを **P** 位置に入れてください。
2. 電動パーキングブレーキを有効にします。
3. キーを抜き取ってください。Entry & Drive 装備車：リモートコントロールユニット。
4. 交換するタイヤの反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにします。
5. 交換するホイールのホイールボルトまたはホイールナットをわずかにゆるめます。
6. 車両のリフトアップは必ず所定のジャッキアップポイントで行ってください。
▶ 252 ページの「ジャッキおよびリフティングプラットフォーム」の章を参照してください。
7. 車両を持ち上げ、ホイールを地面から浮かせてください。

交換の実施

知識

正しくホイール交換を行わないと、ブレーキディスクを損傷する恐れがあります。特に PCCB 装備車の場合は注意してください。

- ▶ ホイールを交換する場合は、組み付け補助工具を取り付けてください。



図 226: アッセンブリーエイド

1. PCCB 非装備車の場合：ホイール ボルトを 1 本取り外し、アッセンブリーエイド **A** を 1 つねじ込みます。
- または -
装備車の場合 PCCB：ホイール ボルトを 2 本取り外し、組み付け補助工具 **A** と **B** の 2 つをねじ込みます。
2. 残りのホイール ボルトを取り外してください。
▶ 240 ページの「ホイールボルトのお手入れ」の章を参照してください。
3. ホイールを取り外します。
▶ 239 ページの「ホイール取り付け面のお手入れ」の章を参照してください。
4. 新しいホイールを取り付けます。

5. ホイール ボルトを挿入し、対角交互順に少しだけ締め付けてください。
6. ホイール取り付け補助工具を外し、残りのホイール ボルトを仮締めしてください。
すべてのホイール ボルトを対角交互順に少しだけ締め付け、ホイールの中心位置を合わせてください。
7. 必要に応じてタイヤの空気圧を調整してください。
8. 車両を完全に下げた後、ジャッキを取り外してください。
9. ホイール ボルトを対角交互順に完全に締め付けてください。
インパクトドライバーなどの駆動式ツールは使用しないでください。
10. ホイール ボルトを締め付けたら、直ちにトルクレンチを使用してホイール ボルトを **160 Nm** の締め付けトルクで増し締めしてください。
11. タイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定が更新されました。
▶ 234 ページの「タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム」の章を参照してください。

タイヤおよびホイールの交換

- ▶ ホイール交換の際には、イグニッションを OFF にしてください。

▲ 警告

グリップの低下

新品のタイヤはグリップ性能を十分に発揮できません。

- ▶ このため最初の 200 km は、控えめな速度で走行してください。これによりタイヤ寿命が伸び、性能を最大限に引き出すことができます。

- ▶ 装着するタイヤはすべて同一メーカーで同じタイプ
の同一仕様（「N1...」など）に統一してください。
- ▶ 新しいタイヤに交換する前に、現在の承認状況について確認してください。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▶ ポルシェがテストを行い承認したタイヤ メーカーのみを使用してください。
- ▶ 同一アクスル上のトレッド溝の深さの差は 30% を超えないようにしてください。
- ▶ 使用経歴が不明な中古タイヤは使用しないでください。
- ▶ トレッド溝の深さの差によって不必要な車両操作への影響が出ないように、同一アクスル上の両方のタイヤは必ず同時に交換してください。
- ▶ タイヤの取り付けは、必ず専門の整備工場で実施してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 走行特性を改良されたハンドリング特性に調整します。
- ▶ タイヤ空気圧モニタリング (TPM) 用タイヤ空気圧センサー付きタイヤのみを使用してください。
- ▶ この車両の TPM システムに適合するホイールであることを確認してください。
この車両の適正ホイールと TPM に関する情報：ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▶ タイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーのバッテリー充電状態を点検してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。

す。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ 車両登録書類または 255 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

① インフォメーション

一方のアクスルのみ新しいタイヤを取り付ける場合、他方のアクスルと比較してトレッド深度が異なることにより、以前の運転挙動から顕著な変化が生じる可能性があります。新しいタイヤをリヤアクスルに取り付ける場合は特にそうです。とはいえ、タイヤの走行距離が長くなるにつれ、影響は減少していきます。

タイヤの装着

タイヤをリムに正しく装着しないと、タイヤやリムが損傷する場合があります。これによってタイヤがバーストする恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ホイールのバランス調整

万一に備えて、春（サマータイヤ）および冬の前（「M+S」のタイヤ）にホイールのバランス調整を実施してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ウィンタータイヤとスノーチェーンの使用

ウィンタータイヤを使用する



警告

最高許容速度の超過

最高許容速度を超えると、タイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。

- ▶ タイヤの最高許容速度を守ってください。
- ▶ ウィンタータイヤの側面に M+S 指定、または雪の結晶のマークがある場合、車両の最高速度より最高許容速度が低いタイヤのみを装着してください。法定速度を遵守してください。
- ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。
- ▶ 許容最高速度を制限速度として設定します。

- ▶ 積雪や凍結の恐れがある時期が近づいたら、早めにウィンタータイヤを装着してください。
- ▶ ポルシェがテストを行い承認したタイヤメーカーのみを使用してください。
- ▶ 新しいタイヤに交換する前に、現在の承認状況について確認してください。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

① インフォメーション

気温が低い時には、ドライ/ウェット路面に関係なく、走行中やコーナリング後の加速中にタイヤが原因のジャダーノイズが発生することがあります。

サマータイヤの走行性能は、気温が低い場合（7°C 未満）に低下し、快適性も損なわれます。このため、ポルシェ社では気温が 7°C を下回る時期にはウィンタータイヤへの交換を推奨しています。

気温が極端に低い場合（-15°C 未満）、サマータイヤに修復不可能な損傷が生じる可能性があります。

ウィンタータイヤは、トレッド溝の深さが 4 mm 以下になると使用に適さない状態になります。

スノーチェーンを使用する

スノーチェーンはリヤタイヤのみに装着してください。またテクニカルデータの章のリストを参照して、スノーチェーンの装着に適したタイヤ/ホイールを使用しなければなりません。

- ▶ 258 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

- ▶ スノーチェーンとタイヤハウスのクリアランスを十分に確保するため、ポルシェが承認したスノーチェーンのみを使用してください。
- ▶ チェーンを装着する前に、ホイールハウジングに溜まった氷や雪を取り除いてください。
- ▶ 最高速度については各国の法規に従ってください。

タイヤの保管

製造から 6 年以上が経過したタイヤは**使用しない**でください。年数が経過すると、ゴムに弾性を与えるために添加している化学添加物の効果が弱まり、ゴムがもろくなります。タイヤの製造時期は、タイヤ側面の DOT コ

ードでわかります。例えば、最後の4つの数字が3016の場合、タイヤは2016年の第30週目に製造されたことを示します。

- ▶ タイヤは、常に乾燥した冷暗場所に保管してください。ホイールに装着していないタイヤは、立たせた状態で保管してください。
- ▶ 外気温が-15°C以下の場所にサマータイヤを保管したり、またはサマータイヤ装着車を駐車したりしないでください。
- ▶ 燃料、オイル、グリースなどがタイヤに触れないようにしてください。

パンク 装備品

モデルと車両装備によっては、車両にはタイヤシーラントキット (Tire Mobility System –TMS) またはコラプシブルスペアホイールが付属しています。

タイヤ空気圧モニタリングの警告メッセージに対応する

タイヤ空気圧モニタリングシステムが空気圧の著しい低下を検出した場合、インストルメントクラスターにメッセージが表示されます。空気圧の低下はタイヤの損傷を示している可能性があります。

- ▶ 適切な場所に停車し、該当するタイヤに損傷がないか点検してください。

▶ 234ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

車両を安全に駐車する

1. 走行車線からできるだけ離れた安全な場所に停車してください。ジャッキをセットできる固く平坦な滑りにくい場所に駐車してください。
2. ハザードライトスイッチをONにします。
3. 電動パーキングブレーキを有効にします。
4. セレクターレバーをP位置に入れてください。
5. フロントホイールをまっすぐにします。
6. すべての乗員を安全な場所に避難させてください。降車時には交通状況に注意してください。
7. 適切な距離に停止表示板を設置します。
8. 交換するタイヤの対角にある車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにします。

▶ 252ページの「ジャッキおよびリフティングプラットフォーム」の章を参照してください。

損傷したタイヤの補修



一時的なタイヤの補修

タイヤシーラントで修理した損傷タイヤは、不適切な速度で走行したり連続的な負荷がかかったりすると、バーストしたり、圧力を失ったりする可能性があります。

- ▶ タイヤシーラントを使用してタイヤの傷をふさぐことは、最寄りの修理工場まで走行するための応急処置に過ぎません。
- ▶ タイヤシーラントは4-mm以下の切り傷またはパンクにしか使用しません。
- ▶ ホイールリムが損傷している場合は、タイヤシーラントを使用しないでください。
- ▶ できるだけ早く、修理工場でのタイヤを交換してください。タイヤシーラントを使用したタイヤであることを修理工場に伝えてください。
- ▶ タイヤを修理しないでください。
- ▶ 急加速やカーブでの高速走行をしないでください。
- ▶ 最大許容速度の80 km/hを超える速度で走行しないでください。
- ▶ タイヤシーラントおよびコンプレッサーの各取扱説明書に記載されている安全および取り扱い上の注意事項を遵守してください。

パンクした場合、車両に備えられているタイヤシーラントを使用してタイヤの傷を一時的にふさぐことができます。

パンク修理剤キット(Tire Mobility System –TMS)はラゲッジコンパートメント内に収納されており、以下を含みます。

- 充填ボトルを振ります
- 充填ホースをねじ入れます
- バルブ回し
- 交換バルブ インサート
- 許容最高速度表示用ステッカー
- 使用説明書

コンプレッサーはラゲッジコンパートメントにあります。

▷ 208 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。

タイヤシーラント(Tire Mobility System – TMS)の充填



警告

人体に有害な可燃性シーラント

シーラントは強燃性であり、人体に有害です。長時間または繰り返し触れていると、刺激、アレルギー反応または臓器の損傷の原因となります。

- ▶ タイヤシーラントの近くで喫煙したり、裸火を使用したりしないでください。
- ▶ タイヤシーラントは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
- ▶ タイヤシーラントが皮膚に付着したり目に入ったときは、直ちに多量の水で洗い流してください。
- ▶ 体調不良やアレルギー反応を起こしたときは、直ちに医師の診察を受けてください。
- ▶ 衣服に付着したときは、すぐに着替えてください。
- ▶ シーラントの蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ タイヤシーラントを誤って飲み込んだときは、すぐに口を多量の水でゆすぎ、多量の水を飲んでください。無理に嘔吐しないでください。直ちに医師の診察を受けてください。



警告

タイヤの空気圧低下が検出されない

タイヤシーラントが付着したタイヤ空気圧センサーでは、タイヤ空気圧を正しく検出できません。

- ▶ 損傷したタイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーも必ず一緒に交換してください。

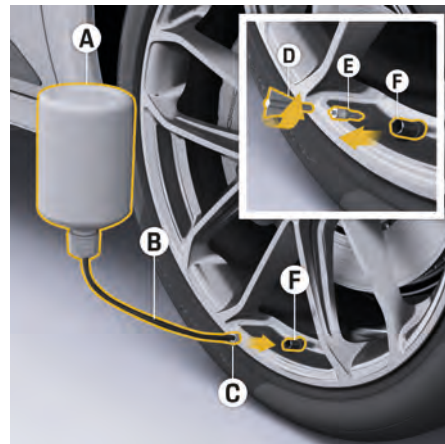


図. 227: タイヤシーラントの充填

- A 充填ボトルを振ります
- B 充填ホースをねじ入れます
- C 充填ホース プラグ
- D バルブ回し
- E バルブインサートをねじ入れます
- F タイヤバルブ

充填作業の準備

1. 必要に応じて、タイヤの空気が抜けた原因である異物は取り除かず、そのままタイヤに残しておいてください。
2. タイヤシーラント、同梱のステッカー「最大 80 km/h」、コンプレッサーをラゲッジコンパートメントから取り出します。
▷ 208 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。
3. 許容最高速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。

タイヤシーラント(Tire Mobility System – TMS)の充填

▶ タイヤシーラントに添付されている取り扱い上の注意事項を遵守してください。

1. 充填ボトル **A** を振ります。
2. 充填ホース **B** を充填ボトル **A** に取り付けてください。
 ▶ 充填ボトルが開いています。
3. タイヤバルブ **F** からバルブキャップをゆるめます。
4. バルブ回し **D** を使用して、バルブインサート **E** をタイヤバルブから取り外します。
 交換用バルブインサートが入手できない場合は、バルブインサートを清潔で乾燥した場所に保管してください。
5. 充填ホース **B** からプラグ **C** を取り外します。
6. 充填ホース **B** をタイヤバルブ **F** に押し付けてください。
7. 充填ボトルをタイヤバルブより上方に持ち上げ、ボトルを強く握って中身をすべてタイヤに充填してください。
8. タイヤバルブから充填ホースを取り外します。
9. 入手可能な場合は、バルブ回し **D** を使用して、交換用バルブインサートまたはバルブインサート **E** をタイヤバルブに確実にねじ込みます。

タイヤ空気の充填

▶ コンプレッサーに添付されている取り扱い上の注意事項を遵守してください。

▶ 234 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

1. コンプレッサーを車両のプラグソケットに接続し、圧力が 2.5 bar 以上になるまでタイヤに空気を入れてください。タイヤ空気圧がこの規定値に達しない場合は、タイヤが激しく損傷しています。このようなタイヤで運転を続けしないでください。
2. バルブキャップをタイヤバルブ **F** にねじ込みます。

タイヤ空気圧の点検

- ▶ 約 10 分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。タイヤ空気圧が 1.5 bar 未満の場合は、運転を中止してください。
- ▶ 255 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

タイヤ交換

▶ 234 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

ホイール交換後、タイヤ空気圧モニタリングのタイヤ設定を更新する

▶ 234 ページの「タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム」の章を参照してください。

コラプシブルスペアホイールの使用



警告

車両のハンドリング特性の変化

コラプシブルスペアホイールを装着すると車両の挙動が乱れる場合があります。

- ▶ コラプシブルスペアホイールは緊急時に短距離を走行する場合にのみ使用してください。安全のため、トレッドの溝にスリップサイン (深さ 1.6mm) が現れる前にタイヤを交換してください。
- ▶ ポルシェスタビリティ マネージメント (PSM) システムを絶対に解除しないでください。
- ▶ 急加速やカーブでの高速走行をしないでください。
 スペアホイールを装着すると車両の走行特性が大きく変化します。また、タイヤの摩耗を避けるためにも **80 km/h** の最高速度を厳守してください。
- ▶ 他車用のコラプシブルスペアホイールを使用しないでください。
- ▶ この車両用のコラプシブルスペアホイールを他車で使用しないでください。
- ▶ 同時に複数のコラプシブルスペアホイールを使用しないでください。

コラプシブルスペアホイールはラゲッジコンパートメントの荷室フロア下に収納されています。

1. スクリューを矢印の方向にゆるめて取り外し、コラプシブルスペアホイールを取り出してください。
2. 車両をジャッキアップした状態で、空気の入っていないコラプシブルスペアホイールを車両に取り付けてください。

3. タイヤに空気を入れてください。

- ▶ 234 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

クラッシュブルスペア ホイールの使用後。

- ▶ クラッシュブルスペア ホイールの空気を抜きます。そのため、クラッシュブルスペア ホイールのバルブキャップをゆるめます。

クラッシュブルスペア ホイールが元の形状に戻るまでは、空気を抜いてから数時間かかります。元の形状に戻ってからでないと、荷室フロア下のクラッシュブルスペア ホイール収納部に収納できません。

クラッシュブルスペア ホイールが故障している場合。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ヒューズ

一般的な安全に関する指示

⚠ 危険

感電

エンジン作動中またはイグニッション ON の状態でヒューズまたはリレーを交換すると、感電の恐れがあります。

- ▶ 車両電気システム作業を行うときは、必ずエンジンとイグニッションを OFF にしてください。

⚠ 警告

短絡

車両電気システム作業により、短絡が発生する場合があります。短絡は火災の原因となります。

- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ず 12 V リチウムバッテリーのマイナス端子を外してください。

▶ 218 ページの「12V バッテリー」の章を参照してください。

⚠ 警告

不適切な介入および不適切なアクセサリー

ヒューズボックスへの不適切な介入および不適切なアクセサリーの使用は、電気システムおよび電子回路の損傷や故障の原因になります。

- ▶ ここに記載されているヒューズ以外のすべての電気部品（リレーなど）については、交換しないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ポルシェが承認したアクセサリーのみを使用してください。認定アクセサリーに関しては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ヒューズの点検および交換

短絡や過負荷による電気系統の損傷を防ぐために、各回路はヒューズで保護されています。

ヒューズボックスの 1 つは、進行方向右側のラゲッジコンパートメント内にあります。さらに 2 つのヒューズボックスが運転席側と助手席側のダッシュボード外側端部の左フロントフットウェルにあります。

装備仕様により、追加のヒューズボックスが車両内のさまざまな箇所にあります。これらの箇所には修理工場でのみアクセスできます。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ヒューズ定格

カラー		定格電流
■ 紫色	紫色	3 A
■ 薄茶色	薄茶色	5 A
■ 茶色	茶色	7.5 A
■ 赤色	赤色	10 A
■ 青色	青色	15 A
■ 黄色	黄色	20 A
■ 白色/透明	白色/透明	25 A
■ 緑色	緑色	30 A
■ 青緑色	青緑色	35 A
■ 橙色	橙色	40 A

ヒューズの点検および交換

以下の概要には、修理工場を訪れずにヒューズを交換できるヒューズスロットのみが示されています。

1. 可能であれば、交換するヒューズと関係のある電装品を OFF にしてください。
2. 該当するヒューズボックスカバーを開きます。
3. 必要に応じて、ヒューズ上の紫色のプラスチックストリップを慎重に取り外します。

4. ヒューズを点検するため、プラスチック製ヒューズリムーバー **D** を使用して、対応するヒューズをスロットから引き抜いてください。切れたヒューズは、内部の金属線が溶けていることで判別できます。
5. 新しいヒューズを差し込んでください。交換するヒューズは、必ず同じ容量のものを使用してください。
6. 紫色のプラスチックストリップを元の位置に戻します。

同じヒューズが何度も切れる場合は、不具合原因を早急に修理してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ヒューズボックスを開く

運転席側ダッシュボードのヒューズボックスを開く

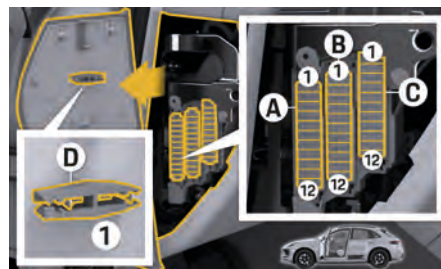


図. 228: 運転席側ダッシュボードのヒューズボックス

- ▶ 適切なもの（ドライバーなど）を使用して、カバーを慎重にこじって取り外してください。

A 列

No.	電装品
1	パークアシストコントロールユニット、フロントカメラコントロールユニット、ダッシュカム（ビデオ録画用フロントカメラ）
2	シートセンサーコントロールユニット、エアバッグコントロールユニット、助手席エアバッグ OFF/ON 警告灯
3	ガレージドアオープナー、空気品質センサー、ルームミラー、インテリアサウンドアクチュエーター
4	シートベンチレーター、フロントシート
5	ヘッドライトレベリングコントロール左/右、メインヘッドライトコントロールユニット
6	右メインヘッドライト
7	左メインヘッドライト
8	フロント BCM、車両追跡システム (VTS)、エンジンコントロールユニット、ポルシェスタビリティマネージメント (PSM) コントロールユニット、ゲートウェイコントロールユニット
9	ERA-GLONASS コントロールユニット
10	冷媒圧力センサー
11	レーンチェンジアシスト
12	エンジン電気リカルシステム

B 列

No.	電装品
5	ダッシュボード
6	ブレーキ ブースター
7	ホーン
8	左フロント ドアコントロールユニット
9	ERA-GLONASS コントロールユニット
10	ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) コントロールユニット
11	左リヤドアコントロールユニット
12	レインセンサー、パーキングブレーキ、リ ーダー ETC 2.0、運転席ドアハンドルセン サー、リヤ運転席側ドアハンドルセンサー

C 列

No.	電装品
3	ダッシュカム (ビデオ録画用フロント カメ ラ)
4	運転席コントロールユニット、運転席調節 コントロールパネル
5	車両追跡システム (VTS) コントロールユ ニット
6	フロント BCM

No.	電装品
7	フロント BCM
8	フロント BCM
9	ルーフ システム
10	フロント BCM
11	ルーフ システム
12	警報システム

助手席側ダッシュボードのヒューズボックスを開く

左ハンドル車

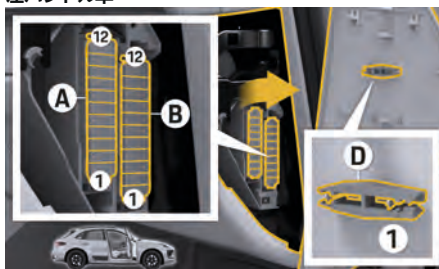


図 229: 助手席側ダッシュボードのヒューズボックス

- ▶ 適切なもの (ドライバーなど) を使用して、カバーを慎重にこじって取り外してください。

A 列

No.	電装品
1	故障診断用ソケット
2	イグニッションロック
3	ライトスイッチ
4	ステアリングコラムロック
5	ステアリングコラム調整
6	接続ボックス
7	ステアリングコラムスイッチ
8	故障診断用ソケット
11	イオナイザー
12	スペア 10 A ヒューズ

B 列

No.	電装品
1	スペア 5-A ヒューズ
2	アナログ時計、PCM、カードリーダー料金 システム、USB インターフェース
3	ステアリングコラムスイッチ
4	インストルメント パネル
5	スペア 20-A ヒューズ

No.	電装品
6	スベア 30-A ヒューズ
7	補助ヒーター
8	外気ブLOWER
9	フロント ウィンドウワイパー OFF
10	運転席シートバックレスト調節
11	助手席シートバックレスト調節

ラゲッジコンパートメントのヒューズボックスを開く



図. 230: ラゲッジコンパートメントのヒューズボックス

- ▶ 適切なもの（ドライバーなど）を使用して、カバーを慎重にこじって取り外してください。

A 列

No.	電装品
1	PASM 負荷コンプレッサー リレー
2	リレー ソケット
3	T. 15 リレー
6	終端抵抗が破損する可能性があります

B 列

No.	電装品
1	イグニッション リレー コイル、ゲートウェイコントロールユニット
2	トレーラーヒッチコントロールユニット
3	トレーラーヒッチコントロールユニット
4	トレーラーヒッチコントロールユニット
5	助手席シートコントロールユニット、助手席シート調節コントロールパネル
7	パーキングブレーキ
8	リヤ BCM
9	リヤ BCM
10	リヤ BCM
11	リヤ BCM

No.	電装品
12	タイヤ空気圧モニタリング (TPM)

C 列

No.	電装品
1	トレーラーヒッチコントロールユニット
3	オートスタート/ストップ機能
4	オートスタート/ストップ機能
5	サブウーファー
7	パーキングブレーキ
8	リヤ操作コンソール
9	右フロントドアコントロールユニット、
10	補助ヒーター
11	右リヤドアコントロールユニット
12	ラゲッジコンパートメントライト (左右)、フロント助手席ドアハンドルセンサー、右リヤドアハンドルセンサー

D 列

No.	電装品
2	パーキングブレーキ、トレーラーヒッチコントロールユニット、トランスパースロックコントロールユニット、リヤ BCM、アダプティブクルーズコントロール (ACC)
3	リヤワイパー
4	ダッシュボード
6	ルーフコンソール
7	リパースカメラコントロールユニット、サウンドビューコントロールユニット
8	フロントおよびリヤエアコンコントロールパネル
9	アダプティブクルーズコントロール (ACC) コントロールユニット
10	センターコンソールシガーライター
11	ラゲッジコンパートメントソケット
12	USB 充電ポート (タイプ C)

E 列

No.	電装品
1	アンプ
2	スマートフォントレイ
3	セントラルコンピューター (PCM)
7	リヤウィンドウヒーター
8	フロントエアコン/シートヒーターコントロールユニット
9	自動テールゲートコントロールユニット
10	ボルシェ アクティブサスペンションマネージメント (PASM) コントロールユニット
11	トランスパースロックコントロールユニット
12	トランスパースロックコントロールユニット

補給

一般的な安全に関する指示

⚠ 警告

給油時の火災の危険

燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が起こる恐れがあります。

電話からの高周波エネルギーは、電子レンジ内に置かれたアルミホイルのように、露出した金属面に火花を生じさせる可能性があります。この火花は、給油中に発生する燃料蒸発ガスに点火する恐れがあります。

車外に出て給油ノズルに触れると、身体から発生した静電気放電が周囲に存在するガソリン蒸発ガスに引火する恐れがあります。

- ▶ 燃料を取り扱う際、火災、裸火、および喫煙は禁止されています。
- ▶ 給油時は電話を使用しないでください。
- ▶ 給油中は車両に戻らないでください。

⚠ 警告

燃料蒸発ガスの吸入、および皮膚への燃料の付着

燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。



インフォメーション

場合により燃料に硫黄成分が多く含まれることがあります。特定の運転条件下では、エンジン内での燃焼により不快な臭い（いわゆる「腐った卵の匂い」）を伴う排気が発生する場合があります。ボルシェ社にはこの特性に対する責任はなく、車の故障を示すものではありません。

イグニッションを ON にすると、インストルメントパネルに燃料の残量が表示されます。

燃料の残量が機種ごとに設定された一定量の燃料残量を下回る場合、インストルメントパネルに警告メッセージが表示されます。

▶ 157 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

▶ 最寄りの給油所で給油してください。

▶ 255 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

適切な燃料の選択

知識

不適切な燃料を使用するとエンジン、燃料系統、エキゾーストシステムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 以下の仕様に適合する燃料のみ使用してください。
- ▶ メタノールを含む燃料は使用しないでください。

エンジンは金属系添加物を含まない無鉛プレミアムガソリンを使用した場合に最適に作動するよう設計されています。

推奨燃料	代替燃料
Macan S 下記以上 95 RON/85 MON	—
その他のすべての車両 下記以上 98 RON/88 MON	下記以上 95 RON/85 MON

この車両のエンジンは、エタノール含有量 10%以下の燃料の使用に適しています。エタノール含有燃料を使用すると燃費が悪化することがあります。



通常、燃料のオクタン価に関する情報は、ガソリンスタンドの給油機に掲載されています。ガソリンスタンドのスタッフからも情報が得られます。

① インフォメーション

推奨燃料が入り困難な場合は、緊急措置としてオクタン価 **91 RON/82.5 MON** の金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用することができます。ただし、この場合はエンジン出力が低下し、燃費が悪化することがあります。

- ▶ オクタン価が **91 RON/82.5 MON** 以上の金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを補給してください。
- ▶ オクタン価 **91 RON/82.5 MON** の無鉛ガソリンを使用した場合は、フルスロットルで走行しないでください。

オクタン価の低い燃料と添加剤の使用

知識

ボルシェが承認していない添加剤を使用した場合、エンジン、燃料系統、エキゾーストシステムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ ボルシェが承認した添加剤のみを使用してください。
- ▶ 添加剤は給油の前に充填してください。

国によっては、燃料の析出挙動がボルシェの基準を満たしていないことがあります。ボルシェの基準を満たす燃料を入手できない場合は、推奨する添加剤を混ぜ合わせてください。詳しくはボルシェ正規販売店にお問い合わせください。ボルシェ部品番号 000 043 209 02。

- ▶ 容器に記載された指示や混合比を読み、それに従ってください。
- ▶ 常に定期点検時期およびオイル交換時期に従ってください。

燃料の給油

知識

デコラティブフィルムに燃料が付着すると、退色の原因になります。

- ▶ フィルムに付着した燃料はすぐに拭き取ってください。



図. 231: フィラーフラップを開く



図 232: タンク キャップを開く

- ✓ エンジンが停止している。
 - ✓ イグニッションを OFF にします。
 - ✓ 車両がロック解除されている。
1. フィラー フラップの後部を押すと、フラップが開きます。この車両に使用できる燃料の種類は、フィラー フラップの裏のステッカーに明示されています。
 2. タンク キャップをゆっくり開いて取り外してください。
 3. 取り外したキャップをホルダーにかけてください。
 4. 給油ノズルはハンドルを下向きにして確実に給油口の奥まで差し込んでください。
 5. 給油ノズルを操作して、燃料を給油してください。給油ノズルが自動停止したら、それ以上給油を続けしないでください。温度が高くなったときに、タンクの燃料が吹き返したり、あふれ出したりすることがあります。
 6. 給油後はすぐにタンク キャップを元の位置に戻し、カチッと閉まる音が聞こえ、手ごたえがあるまで締め付けます。
 7. フィラー フラップを閉じてフィラー フラップの後部を押し、しっかりと閉じてください。

① インフォメーション

タンク キャップを紛失した場合は、必ず純正部品と交換してください。

フィラー フラップのロック解除



図 233: フィラー フラップの緊急ロック解除の実行

フィラー フラップの電動ロック解除機構が故障したときは、手動でフィラー フラップを開くことができます。

1. 右側ラゲッジコンパートメントトリムパネルを慎重に取り外してください。
2. 赤色の緊急解除ボタンを引いてください。
 - ➡ フィラー フラップのロックが解除されます。

ジャッキおよびリフティングプラットフォームフォーム

車両のリフトアップ



図 234: リフティングプラットフォームおよびジャッキのジャッキアップポイント

▲ 警告

車両の不十分な固定

車両がしっかり固定されていない場合、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティング プラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷に至る場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のリフティングポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート スタンドで車体を支えてください。
- ▶ 車両をジャッキアップした後は、絶対にエンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。
- ▶ エンジンをかけたまま作業する場合は、エレクトリック パーキング ブレーキをかけ、かつトランスミッションパーキングロック **P** を有効にします。

▲ 警告

レベリングシステムのコントロール作動

レベリングシステムが作動している車両は、予期しないタイミングで動いたり、傾いたり、ジャッキやリフティング プラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷に至る場合があります。

- ▶ 手動でノーマル レベルに設定し、車両のリフトアップを行う前にレベリングシステムを OFF にします。

▶ 116 ページの「ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)」の章を参照してください。

ジャッキによる車両のリフトアップ**① インフォメーション**

ジャッキはスペア ホイール装備車のみ付属します。

ジャッキは工具セットと共に、ラゲッジコンパートメントの荷室フロア下に収納されています。

▶ 208 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。

- ✓ **車高調整機能付き車両**：車両ジャッキモードが ON になっています。
 - ▶ 116 ページの「ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)」の章を参照してください。
 - ✓ 車両が動き出さないように固定する。
 - ✓ 車両下部のジャッキ ポイントを清掃する。
1. ジャッキは、必ず指定されたジャッキングポイントに位置決めしてください。ジャッキの基部の全面が接地された状態であり、ジャッキはヘッドピースの下に正確に配置されている必要があります。
 - 必要な場合、適切なサポートを使用します。
 2. ジャッキを固定し、ジャッキのヘッドピースが車両のジャッキポイントにはまるまでジャッキアップします。固定するさいは、ジャッキのヘッドピースがジャッキポイントのくぼみに正しく当たっていることを確認します。
 3. 交換するホイールだけが地面から完全に浮くまで車両をジャッキアップします。
 4. 車両を下げた後でジャッキを取り外してください。

車両が動き出さないように固定してください

- ✓ スペア ホイール装備車



図. 235: 輪止めの取り外し

1. 2つの輪止めを取り外します。
2. 折り畳まれている両方の輪止めを起こして固定します。



図. 236: 輪止めの配置

3. 取り外すタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に輪止めを設置してください。

ウォッシャー液

ウォッシャー液の選択

▶ 19ページの「エンジンコンパートメント フィラー開口」の章を参照してください。

- ▶ 季節に合わせて、水と適切な添加剤 (ウィンドウクリーナー濃縮液、不凍液) を混ぜ合わせてください。常に適切な割合で混合し、使用する添加物の容器に記載されたすべての指示を読んでください。
 - 夏季: 水とウィンドウクリーナー濃縮液を入れてください
 - 冬季: 水、不凍液、およびウィンドウクリーナー濃縮液を入れてください

次の要件を満たしたウィンドウクリーナー濃縮液のみを使用します:

- 希釈 1:100
- リン酸塩不使用
- プラスチック製ヘッドライト レンズ適合品

ボルシェが推奨するウォッシャー液濃縮液については、ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ウォッシャー液レベルが低くなりすぎると、インストールメントクラスターに警告メッセージが表示されます。

ウォッシャー液の追加

知識

ヘッドライトを損傷する恐れがあります。

- ▶ ウォッシャー液を補充するときに、ヘッドライトに寄りかからないようにしてください。

1. ウォッシャー液タンクのキャップを開けます。
2. ウォッシャー液を追加します。

▶ 256ページの「充填容量」の章を参照してください。

3. キャップを慎重に閉めます。

テクニカルデータ

車両識別データ

この取扱説明書に含まれる情報は、装備品または国固有の理由により、車両固有のデータとは異なる場合があります。個別に指定されている場合を除き、すべてのボディの種類に適用されます。車両固有データに関しては、車両の公式登録書類およびインフォメーションプレートを参照してください。

車両の公式登録書類の情報は常にこのマニュアルの情報よりも優先されます。

車両識別番号



図. 237: 車両識別番号の記載箇所

車両識別番号はフロント ウィンドウ後ろの左下とエンジンコンパートメント（フェンダー）内のカバー下の右側に記載されています。

- ▶ スペア パーツを注文する場合、必ず車両識別番号を記載してください。

タイヤ空気圧プレート



図. 238: タイヤ空気圧プレートの記載箇所

車両データ バンク

車両の大切な情報が記載されているデータバンクは、整備手帳の中に添付されています。このデータバンクは、紛失したり破損したりしても再注文することができません。

寸法

全長 (装備仕様により異なる)	4,726mm
全幅 (装備仕様により異なる)	1,922mm – 1,943mm
ドアミラーを含む全幅	2,097mm
DIN 規定の空車重量での車高	1,605mm – 1,621mm
リヤリッドオープン時の全高	2,069mm – 2,158mm
DIN 規定の空車重量での最大渡河能力	300mm

充填容量

ウォッシュャー液	約 3.5 リットル
燃料タンク (モデルおよび装備による)	65 リットル～75 リットル、そのうち約 9～10 リットルは予備

燃料消費量および CO₂ 排出

CO₂CO₂ 排出量は燃料消費量に直接影響されます。安全運転や定期点検によって、CO₂ 排出量を最小限に抑制できます。

インフォメーション

国により、納車時に提供された書類 (例: 「適合証明」) に車両の燃料消費と排出値が記載されています。そこに記載されている値は、規定の測定方法 (現行バージョンの Euro 6: 基準 (EU) 715/2007; 現行バージョンの Euro 5: ECE-R 101 と ECE-R 83) に基づいて測定したものです。

重量

ビークルプレート（国別仕様により異なる）

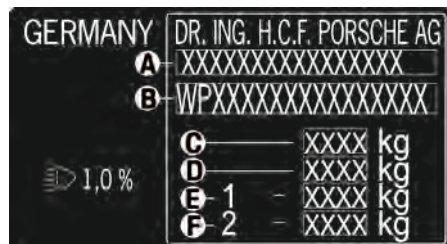


図. 239: ビークルプレートの例

- A EU 型式認定番号（国別仕様により異なる）
- B 車両識別番号
- C 最大総重量
- D 車両とトレーラーを組み合わせた総重量のレーティング
- E 最大軸荷重、フロント
- F 最大軸荷重、リヤ

負荷、最大総重量および最大軸荷重

最大荷重-ドライバー（75kg）を加える

モデルおよび装備によって異なる¹ 425kg - 665kg

- 車両固有の重量は、ビークルプレートまたは車両の納車時に提供された公式登録書類（国によって、「適合証明」など）に記載されています。ビークルプレートは助手席側ドアシル（ドア開口部）に取り付けられています。
- 最大総重量と最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。追加装備が取り付けられている場合、最大許容荷重が小さくなります。

ルーフ積載荷重

▷ 204 ページの「ルーフトランスポート システム」の章を参照してください。

最大ルーフ積載荷重

全モデル¹ 75kg

トレーラーモード

最大けん引重量、ブレーキなし

全モデル 750kg

最大けん引重量（ブレーキ装備車）²

4 シリンダー ガソリン
エンジン装備モデル 2,000kg

その他のすべてのモデル 2,400kg

垂直連結荷重

4 シリンダー ガソリン
エンジン装備モデル 80kg

その他のすべてのモデル 96kg

最大軸荷重、リヤ（EU のみ、100km/h 以下）

モデルによって異なる 130kg 積載

最大総重量（EU のみ、100km/h 以下）

全モデル 100kg 積載

1. Macan T：プレスに行く時点ではデータはありませんでした。
2. 坂道の勾配率が 12%以下のとき

タイヤおよびホイール

ホイールおよびタイヤのサイズ

ボルシェが承認したタイヤにより、この車両に最適な走行性能が得られます。荷重指数（「105」など）と許容最高速度を示す記号（「Y」など）は、いずれも最低要件です。新しいタイヤの装着時やタイヤ交換時は：

▶ 234 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

- ▶ スノーチェーンは適切なマークが付いたホイールおよびタイヤのサイズにのみ装着してください。スノーチェーンを装着したときの最高速度については各国の法規に従ってください。ボルシェが承認したスノーチェーンのみを使用してください。
- ▶ 別のタイヤおよびホイールと交換する前には、公式車両登録書類（国によっては「適合証明書」など）を参照して、保有車両に適したホイール/タイヤの組み合わせかどうかを確認してください。詳細情報：ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

タイヤ種類	タイヤサイズ	ホイールサイズ	スノーチェーンの装着
スピア ホイール	195/65-19 106P	6B x 19 R0 14	不可
	FA : 235/55 R 19 101Y RA : 255/50 R 19 103Y	FA : 8.5J x 19 R0 21 RA : 9J x 19 R0 21	不可
サマータイヤ	FA : 265/45 R 20 104Y RA : 295/40 R 20 106Y	FA : 9J x 20 R0 26 RA : 10J x 20 R0 19	不可
	FA : 265/40 R 21 101Y RA : 295/35 R 21 103Y	FA : 9.5J x 21 R0 27 RA : 10J x 21 R0 19	不可
オールシーズンタイヤ	FA : 235/55 R19 101V RA : 255/50 R19 103V	FA : 8.5Jx19 R0 21 RA : 9.0Jx19 R0 21	リヤ アクスルのみ
	FA : 265/45 R20 104V RA : 275/40 R20 106V	FA : 9.0Jx20 R0 26 RA : 10.0Jx20 R0 19	不可
	FA : 265/40 R21 101V RA : 295/35 R21 103V	FA : 9.5Jx21 R0 27 RA : 10.0Jx21 R0 19	不可
ウィンタータイヤ	FA : 235/55 R19 101V RA : 255/50 R19 103V	FA : 8.5Jx19 R0 21 RA : 9.0Jx19 R0 21	リヤ アクスルのみ

タイヤ種類	タイヤサイズ	ホイールサイズ	スノーチェーンの装着
	FA : 265/45 R20 106V		
	FA : 265/45 R20 104V	FA : 9.0Jx20 R0 26	不可
	RA : 295/40 R20 106V	RA : 10.0Jx20 R0 19	

FA = フロント アクスル、RA = リヤ アクスル、R0 = リム オフセット

18 インチ タイヤは、ポルシェ セラミック コンポジット ブレーキ (PCCB) 装備車、または赤色に塗装されたブレーキ キャリパー付きブレーキ システム装備車には適していません。

20 および 21 インチのタイヤは、ホイールハウジング エクステンションとともにリヤ アクスルに装着する場合に限り使用できます。

標準タイヤ空気圧

これらのタイヤ空気圧は、ポルシェ社が認可したメーカーおよび仕様のタイヤの、冷間時 (20°C) のタイヤのみに適用します。

- タイヤ空気圧モニタリング (TPM) で車両の積載状況を設定します。積載荷重に応じてタイヤ空気圧を調整します。

▷ 234 ページの「タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム」の章を参照してください。

マカン、マカンT				
FA = フロント アクスル RA = リヤ アクスル	部分負荷		全負荷	
	FA	RA	FA	RA
19 インチおよび 20 インチ サマー、ウィンターおよびオールシーズンタイヤ	2.3bar/230kPa/33psi	2.5bar/250kPa/36psi	2.5bar/250kPa/36psi	2.7bar/270kPa/39psi
21 インチ サマーおよびオールシーズンタイヤ				

Macan S				
FA=フロントアクスル RA=リヤアクスル	部分負荷		全負荷	
	FA	RA	FA	RA
20 インチおよび 21 インチ サマータイヤ	2.3bar/230kPa/33psi	2.5bar/250kPa/36psi	2.5bar/250kPa/36psi	2.7bar/270kPa/39psi
20 インチ オールシーズンタイヤ	2.3bar/230kPa/33psi	2.5bar/250kPa/36psi	2.5bar/250kPa/36psi	2.7bar/270kPa/39psi
21 インチ オールシーズンタイヤ	2.4bar/240kPa/35psi	2.6bar/260kPa/38psi	2.6bar/260kPa/38psi	2.8bar/280kPa/41psi
19 インチ ウィンタータイヤ	2.4bar/240kPa/35psi	2.6bar/260kPa/38psi	2.6bar/260kPa/38psi	2.8bar/280kPa/41psi
20 インチ ウィンタータイヤ	2.3bar/230kPa/33psi	2.5bar/250kPa/36psi	2.5bar/250kPa/36psi	2.7bar/270kPa/39psi

マカン GTS				
FA=フロントアクスル RA=リヤアクスル	部分負荷		全負荷	
	FA	RA	FA	RA
21 インチ サマータイヤ	2.3bar/230kPa/33psi	2.5bar/250kPa/36psi	2.5bar/250kPa/36psi	2.7bar/270kPa/39psi
21 インチ オールシーズンタイヤ	2.4bar/240kPa/35psi	2.6bar/260kPa/38psi	2.6bar/260kPa/38psi	2.8bar/280kPa/41psi
19 インチ ウィンタータイヤ	2.4bar/240kPa/35psi	2.6bar/260kPa/38psi	2.6bar/260kPa/38psi	2.8bar/280kPa/41psi
20 インチ ウィンタータイヤ	2.3bar/230kPa/33psi	2.5bar/250kPa/36psi	2.5bar/250kPa/36psi	2.7bar/270kPa/39psi

スペア ホイール

FA = フロント アクスル、RA = リヤ アクスル	FA	RA
スペア ホイール	3.5bar/350kPa/51psi	3.5bar/350kPa/51psi

ポルシェ コミュニケーション マネジメント (PCM)

テクニカルデータ：オーディオおよびビデオ ファイル

対応するメディア	ポータブルプレーヤー MTP プレーヤー、「USB デバイス サブクラス 1 および 6」の USB 2.0 デバイス (USB スティック、特別なドライバー ソフトウェアを含まない USB MP3 プレーヤー、外部 USB フラッシュ メモリー、およびハードドライブなど)
ファイル システム	USB 大容量ストレージ exFAT、FAT、または FAT32、NTFS ファイル システム (最大 4 パーティション)
フォーマット	MPEG 1/2 Layer 3、Windows Media オーディオ 9 および 10、MPEG 2/4、FLAC、MPEG 1/2、ISO-MPEG4、DivX 3、4、5、Xvid、ISO-MPEG4 H.264 (MPEG4 AVC)、Windows Media ビデオ 9
ファイル拡張子	.mp3、.wma、.asf、.m4a、.m4b、.aac、.flac、.mpg、.mpeg、.avi、.mp4、.m4v、.mov、.wmv
再生リスト	.M3U、.PLS、.WPL、.M3U8、.ASX
特徴	最大 320kbit/s および 48kHz サンプリング周波数、最大 2,000kbit/s および 1920 x 1080 ピクセル (最大 25fps)
ファイル数	USB 大容量メモリー 、メディアにつき最大 10,000 ファイル、ディレクトリ/再生リストにつき最大 1,000 ファイル
メタデータ	アルバム ジャケット最大 800x800 ピクセル。GIF、JPG、および PNG フォーマット、または Gracenote データベース 経由



テクニカルデータ：接続

モバイル ネットワーク	GSM/GPRS/EDGE：デュアルバンド、900MHz/1800MHz UMTS/HSPA+：トリプルバンド、900MHz (Band VIII) /1800MHz (Band III) /2100MHz (Band I) LTE：クワッドバンド、800MHz (Band 20) /900MHz (Band 8) /1800MHz (Band 3) /2600MHz (Band 7)
WiFi	IEEE 802.11a/b/g/n (2.4 GHz)
Bluetooth®	Bluetooth® 2.1、IEEE 802.15.1、クラス 2、通信範囲約 10m

テクニカルデータ：ラジオ

周波数範囲／規格	UKW (FM) : 87.5 – 108MHz (100kHz ごとの手動調節) MW (AM) : 531 – 1602kHz (1kHz ごとの手動設定)
放送局の自動検索による選局グリッド	UKW (FM) : 100kHz MW (AM) : 9kHz

ライセンスについて

Bluetooth®	Bluetooth®ボイス マークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。これらのマークは、AISIN AW Co., Ltd. によってライセンスに基づいて使用されます。その他のマークは、それぞれの所有者に帰属します。
ドルビーデジタル	ドルビーラボラトリーズのライセンスに基づいて製造。ドルビーおよびダブルD マークはドルビーラボラトリーズの登録商標です。
DTS デジタルサラウンド	 DTS の特許については、 http://patents.dts.com を参照してください。DTS ライセンシングリミテッドのライセンスの下で製作。DTS、記号、&DTS およびシンボルの組み合わせは登録商標であり、DTS デジタル サラウンドのシンボルは DTS、Inc.の商標です。©DTS, Inc. 無断複製禁止。
Gracenote®	 Gracenote、Gracenote ロゴおよび「Gracenote」ロゴは、米国またはその他の国における Gracenote, Inc.の登録商標または商標です。

Gracenote® エンドユーザー ライセンス契約

本アプリケーション / デバイスには、カリフォルニア州エメリービルの Gracenote, Inc. によるソフトウェア（以下「Gracenote」）が含まれています。Gracenote のソフトウェア（以下「Gracenote ソフトウェア」）は、本アプリケーションがディスクおよび/またはファイルの識別を行い、名前、アーティスト、タイトル、トラック情報などの音楽関連情報（以下「Gracenote データ」）をオンラインサーバーまたは内蔵データベース（以下「Gracenote サーバー」）から取得し、その他の機能を実行することを可能にするものです。Gracenote データは、このアプリケーションまたはこのデバイスのエンドユーザー契約に記載されている目的のためにのみ使用することができます。お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote サーバーを、ビジネス上の目的ではなくプライベートな目的でのみ使用することに同意します。お客様は、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote データを第三者に転送、コピー、転送、または転送伝送しないことに同意します。お客様は、ここに記載されている範囲でのみ、GRACENOTE データ、GRACENOTE ソフトウェアまたは GRACENOTE サーバーを使用または利用することに同意します。お客様は、お客様が上記の制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的ライセンスが無効になることに同意します。また、お客様は、お客様のライセンスが無効になった時点で、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote サーバーのすべての使用を停止することに同意します。Gracenote は、一切の所有権を含めた Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーに関するすべての権利を保有します。いかなる状況下でも、Gracenote は、お客様が提供した情報に対して金銭的な補償をする義務を負いません。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約に基づくそれぞれの権利を、その固有の名前においてお客様に対して直接行使することができることに同意するものとします。Gracenote サービスは、統計目的での問い合わせのモニタリング用に一義的なコードを使用します。ランダムに割り当てられた番号コードにより、Gracenote サービスはお客様を個別に特定せずに、問い合わせの数をカウントすることができます。Gracenote サービスに関する Gracenote プライバシーポリシーなどの詳細情報については、当社のウェブサイトをご覧ください。Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote データのすべてのコンポーネントのライセンスは「いかなる保証もありません」。Gracenote は、Gracenote サーバー上の Gracenote データの正確性に関して、明示または黙示を問わず、いかなる表明または保証も行いません。Gracenote は、Gracenote が必要と判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリーを変更したりする権利を留保します。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーに不具合がない、または Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーが中断なく動作することを保証するものではありません。Gracenote は、将来、新たに改良された、または追加のデータの種類やカテゴリーを提供する義務を負わず、またいつでもサービスを中断することができます。Gracenote は、明示的または黙示的にかかわらず、いかなる保証もしません。これは特に、市場性、特定目的への適合性、権利侵害がないことに関する黙示の保証に適用されますが、これに限定されるものではありません。Gracenote は、お客様が Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーを使用することによって得る結果については何ら保証しません。付随的なまたは副次的な損害、または利益や収益の損失について、Gracenote は一切責任を負いません。

© 2000 年より現在まで、Gracenote, Inc.

Gracenote®

Bluetooth®承認 (抜粋)

アルバニア-アンドラ-アンゴラ-アルバー-オーストラリア-オーストリア-バハマ-バーレーン-バルバドス-ベラルーシ-ベルギー-ベリーズ-ボリビア-ボネール島-ボスニアヘルツェゴビナ-ブラジル-ブルネイ-ブルガリア-ブルキナファソ-カナダ-チリ-中国-コロンビア-コスタリカ-クロアチア-キュラソー-キプロス-チェコ共和国-デンマーク-ドミニカ共和国-エクアドル-エジプト-エルサルバドル-エストニア-エチオピア-フィンランド-フランス-フランス領ギアナ-フランス領ポリネシア-ガボン-ドイツ-ガーナ-ジブラルタル-グアドループ島-グアテマラ-ギリシャ-グリーンランド-香港-ハンガリー-アイスランド-インド-インドネシア-アイルランド-イラク-イスラエル-イタリア-コートジボワール-ジャマイカ-日本-ヨルダン-ケニア-コソボ-クウェート-ラトビア-レバノン-レソト-リベリア-リビア-リヒテンシュタイン-リトアニア-ルクセンブルグ-マカオ-マケドニア-マダガスカル-マレーシア-マルタ-マルティニーク-モリシャス-メキシコ-モナコ-モンゴル-モロッコ-モザンビーク-オランダ-ニューカレドニア-ニュージーランド-ナイジェリア-ノルウェー-オマン-パキスタン-パナマ-ペルー-ポーランド-ポルトガル-プエルトリコ-カタール-レユニオン-ルーマニア-ロシア-サンマリノ-サウジアラビア-セネガル-セルビア-シンガポール-スロバキア-南アフリカ-スペイン-セントルシア-スウェーデン-スイス-タイチ-台湾-タイ-アラブ首長国連邦-イギリス-ウルグアイ-米国-ベネズエラ-ベトナム-イエメン-ジンバブエ

リサイクル**耐用年数経過後の車両の返却**

EU 加盟国のみ：

Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG は、お客様の古くなったポルシェを無料で環境に配慮した方法でスクラップ処理いたします。使用済みの車両を返却して関連する解体証明書を取得するには、

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

エアバッグおよびシート ベルト テンショナー ユニット

非点火ガス発生装置またはエアバッグおよびシートベルト テンショナー ユニット 装備車両の全体もしくは一部を、絶対に「通常の」解体品または廃棄物として処分したり、他の形態の廃棄物の中に混ぜて処分したりしないでください。

適切な廃棄に関する詳細情報については、

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

⊗電気/電子部品および使用済みバッテリー

ゴミ箱にバツマークがある絵文字のラベルが付いている電気/電子部品および使用済みバッテリーは、家庭ゴミと一緒に廃棄できません。適切な方法で廃棄してください。

- ▶ 各国の廃棄に関する法規を遵守してください。
- ▶ 古いバッテリーおよび電気/電子機器は、回収場所に持ち込んでください。

適切な廃棄に関する詳細情報については、

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

無線機器 (EU 地域外)**検査マークおよび適合宣言書**

Albania, Bahrain, Bosnia and Herzegovina, French Guyana, Georgia, Gibraltar, Guadeloupe, Iceland, Israel, Ivory Coast, Kuwait, Macedonia, Martinique, Moldova, Monaco, Montenegro, New Caledonia, Norway, Reunion, Sri Lanka, St. Lucia, Switzerland, Trinidad & Tobago, Turkey.

**Algeria**

Agréé par l'ANF: N°1247/TR/AGR/PC/ARPT/2017 (LTE Compensor)

Homologué par l'ARPC: N°366/IR/HMG/PC/ARPC/2021 (MIB2+,MMXF online)

Homologué par l'ARPC: N°367/IR/HMG/PC/ARPC/2021 (MIB2+,MMXF offline)

Homologué par l'ANF: N°332/H/ANF/2021 (LRR3)

Homologué par l'ANF: N°326/H/ANF/2021 (MRR1Rear)

Argentina

CNC COMISIÓN NACIONAL DE COMUNICACIONES

CNC ID: H-24905 (Key-Basic)

CNC ID: H-21423 (Key-Kessy)

CNC ID: H-21518 (BCM 433)

CNC ID: H-21517 (BCM 434)

CNC ID: H-24102 (TPMS)

CNC ID: C-21798 (MRR1Rear)
 CNC ID: C-20323 (MIB2+online)
 CNC ID: C-20324 (MIB2+offline)
 CNC ID: H-24892 (LTE Compensor)

Australia



Bahamas

Continental Automotive GmbH PAG-BCU-433-180528 SN (Serial Number) FCC ID: KR5315-140930
 Continental Automotive GmbH PAG-BCU-434-180528 SN (Serial Number) FCC ID: KR5315-140930

Belarus



Brazil



Incorporates a product type-approved by Anatel under number:

00267-18-10188 (LTE Compensor)
 03002-09-03745 (LRR3)
 02230-14-03745 (MRR1)

01687-18-02149 02149 (Key)
 01370-15-02149 (BCM)
 2483-14-6324 (Homelink)
 02018-18-04557 (MIB2+ online)
 00972-18-04557 (MIB2+ offline)

"Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito à proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário."

Este equipamento não tem direito à proteção contra interferência prejudicial e não pode causar interferência em sistemas devidamente autorizados. Este produto está homologado pela ANATEL, de acordo com os procedimentos regulamentados pela Resolução 242/2000, e atende aos requisitos técnicos aplicados.

Para maiores informações, consulte o site da ANATEL www.anatel.gov.br

Brunei

DTA-005816 (Homelink EHL2)
 DTA-006261 (LRR3)
 DTA-006367 (MRR1Rear)

Canada

This vehicle includes following Radio Frequency Devices/ Ce véhicule comprend les appareils à radiofréquence suivants:

IC: 3887A-LRR3SCU (LRR3)
 IC: 3887A-MRR1REAR (MRR1Rear)
 IC: 7812D-5WK50138 (Key Basic)

IC: 7812D-315140930 (BCM Basic 315)
 IC: 7812D-315180528 (Key Kessy)
 IC: 4774A-MBCNAR2 (LTE-Compensor LTE-MBC-NAR2)
 IC: 4774A-MBCNAR (LTE Compensor LTE-MBC-NAR)
 IC: 772C-LB1KD (MIB2+)

Radio Frequency Devices and Radio Communication Equipment comply with RSS-210 of Industry Canada.

These devices contain licence-exempt transmitter(s)/receiver(s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS(s).

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) These devices may not cause interference; and
- (2) These devices must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

These Class B digital apparatus comply with Canadian ICES-003.

Ces appareils sont conformes à la norme RSS-210 de l'Industrie Canadienne. Les émetteurs/récepteurs exempt de licence contenu dans le présent appareil sont conformes aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.

Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes:

- (1) Ces appareils ne doivent pas causer d'interférences nuisibles et

(2) Ces appareils doivent accepter toute interférence reçue, y compris les interférences pouvant entraîner un fonctionnement.

Ces appareils numérique de la classe B sont conforme à la norme NMB-003 du Canada.

China

本设备包含型号核准代码(分别)为:

CMIT ID: 2009DJ0887 (LRR3)

CMIT ID: 2017CJ4775 (MIB2+ online)

CMIT ID: 2017AJ4883 (MIB2+offline)

的无线电发射模块

Costa Rica

SUTEL 08809-2016 (MIB2+)

SUTEL 02733-2014 (MRR1Rear)

Customs Union (including Armenia, Belarus, Kazakhstan, Russia)



Модель: LTE-MBC-EU

Изготовитель: Molex CVS Dabendorf GmbH

Сделано в Германии

Электропитание: 12V 400 mA

Декларация о соответствии ТР ТС 020/2011

Е АЭС № RU Д-ДЕ.ЭМ03.В.00148 от 05.03.2018, действительна по 04.03.2023, зарегистрирована органом по сертификации продукции ФГУП Ор-дена Трудового Красного Знамени научно-исследовательский институт радио «Испытательный центр «Омега»

Модель: LTE-MBC-EU2

Изготовитель: Molex CVS Dabendorf GmbH

Сделано в Германии

Электропитание: 12V 400 mA

Декларация о соответствии ТР ТС 020/2011

Е АЭС № RU Д-ДЕ.ЭМ03.В.00148 от 05.03.2018, действительна по 04.03.2023, зарегистрирована органом по сертификации продукции ФГУП Ор-дена Трудового Красного Знамени научно-исследовательский институт радио «Испытательный центр «Омега»

Ghana

NCA APPROVED: 1R3-1M-7E0-13B (BCM Basis 434)

NCA APPROVED: 1R3-1M-7E1-x11 (MIB2+)

NCA APPROVED: SRO-1M-7E4-X68 (Key)

NCA APPROVED: BRE-1M-GE2-X53 (Key kessy)



Your vehicle features a variety of radio equipment. The manufacturers of this radio equipment declare that it complies with the specifications for its use pursuant to The Radio Equipment Regulations 2017. The full text of the relevant Declaration of Conformity is available at the following website:

<https://www.porsche.com/international/accessoriesandservice/porscheservice/vehicleinformation/documents/>

The following acts as importer of the radio equipment devices for the United Kingdom market within the meaning of The Radio Equipment Regulations 2017:

Porsche Cars Great Britain Ltd.

Bath Road, Calcot, Reading, Berkshire, RG31 7SE

United Kingdom

香港

HKCA 1035 : 自動車レーダー : 免許を免除されたラジオ装備。





インド

ETA-3000/16-RLO(WR) (MRR1Rear)
 ETA-93/2017-RLO(SR) (MIB2+)
 NR-ETA/9099-RLO(NR) (KESSY キー)
 NER-ETA/596 (BCM ベーシック)
 NER-ETA/668 (キー ベーシック)

Indonesia



Dilarang melakukan perubahan spesifikasi yang dapat menimbulkan gangguan fisik dan/atau elektromagnetik terhadap lingkungan sekitarnya



75776/SDPPI/2021
2692



66074/SDPPI/2020
4334



73337/SDPPI/2021
2692



70530/SDPPI/2020
2692



73286/SDPPI/2021
2692

21962/SDPPI/2011

34538/SDPPI/2014

56048/SDPPI/2018 2684



63118/SDPPI/2019
2692

Israel

Model Name: TSSRE4Uf / TSSSG4G5b

Manufacturer: Huf Electronics Bretten

Model Name: LRR3

Manufacturer: Robert Bosch GmbH

Model Name: MRR1Rear

Manufacturer: Robert Bosch GmbH

Model Name: MIB2+, MMXF online

Manufacturer: Alpine Electronics

Model Name: PAG-KEY-433

Manufacturer: Continental Automotive GmbH

Model Name: Homelink EHL2

Manufacturer: Gentex Corporation

Model Name: BCM/BCU 433

Manufacturer: Continental Automotive GmbH

Model Name: PAG-KEY-434

Manufacturer: Continental Automotive GmbH

Model Name: BCM/BCU 434

Manufacturer: Continental Automotive GmbH

Jamaica

These products have been Type Approved by Jamaica:

SMA – **"PAG-KEY-434-180528"**.

These products have been Type Approved by Jamaica:

SMA – **"PAG-BCU-433-180528"**.

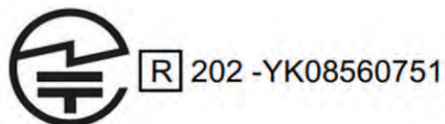
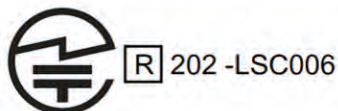
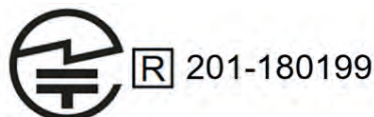
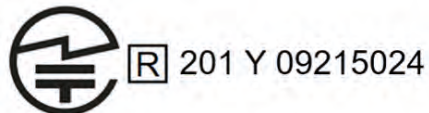
These products have been Type Approved by Jamaica:

SMA – **"PAG-BCU-434-180528"**.

These products have been Type Approved by Jamaica:

SMA – MMXF online (MIB2+, MMXF online)

Japan



Japanese Radio Law Compliance. This device is granted pursuant to the Japanese Radio Law. This device should not be modified (otherwise the granted designation number will become invalid).

本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けております。認証番号:

202-LSC006 本製品の改造は禁止されています。(適合証明番号などが無効となります。)

Jordan

Type approval No.: TRC/LPD/2018/58 (BCM433)

Type approval No.: TRC/LPD/2017/546 (BCM434)

Type approval No.: TRC/LPD/2014/73 (MRR1Rear)

TRC/LPD/2014/258 (Homelink EHL2)

TRC/9/4693/2020 (MIB2+)

TRC/LPD/2014/73 (MRR1Rear)

TRC/34/7730/2020 (BCM 434)

TRC/36/6451/2020 (BCM 433)

Malaysia



CIDF15000490 (LRR3)

CIDF15000490 (MRR1)

Mexico

IFETEL: RCPBOLR09-0828 (LRR3)

IFETEL: RCPBOMP14-0922 (MRR1)

IFETEL: RLVCOA17-0864 (BCM 315)

IFETEL: RCPVWMM17-1053 (MIB2+)

IFETEL: RLVCO5W09-0492 (Key Basic)

IFETEL: RLVCOA18-0313 (Key Kessy)

IFETEL: RTIMOLT20-1047 (LTE Compensor)

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

- Es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
- Este equipo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

Moldova

Acest vehicul este echipat cu o varietate de echipament radio. Urmatorul este importatorul de echipament radio pentru piata din Republica Moldova cu privinta reglementarii echipamentului radio:

GT Sport Auto Ltd.

General Importer of Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG in Moldova

Calea Iesilor str. 28/1

MD-2069, Chisina

Mongolia



APPROVED
IN MONGOLIA
ID: A17000122

Morocco

AGREE PAR L'ANRT MAROC
 Numéro d'agrément: MR 5371 ANRT 2010
 Date d'agrément: 05/12/2019

AGREE PAR L'ANRT MAROC
 Numéro d'agrément: MR 13255 ANRT 2017
 Date d'agrément: 09/02/2017

AGREE PAR L'ANRT MAROC
 Numéro d'agrément: MR 13975 ANRT 2017
 Date d'agrément: 10/05/2017

AGREE PAR L'ANRT MAROC
 Numéro d'agrément: MR 9186 ANRT 2014
 Date d'agrément: 22/04/2014

AGREE PAR L'ANRT MAROC
 Numéro d'agrément: MR 15102 ANRT 2017
 Date d'agrément: 03/11/2017

Nigeria

Connection and use of this communications equipment is permitted by the Nigerian Communications Commission

AGREE PAR L'ANRT MAROC
 Numéro d'agrément: MR 15965 ANRT 2018
 Date d'agrément: 05/03/2018

AGREE PAR L'ANRT MAROC
 Numéro d'agrément: MR 15960 ANRT 2018
 Date d'agrément: 05/03/2018

Oman

OMAN - TRA
D090258
TRA/TA-R/5422/18

AGREE PAR L'ANRT MAROC
 Numéro d'agrément: MR 24001 ANRT 2020
 Date d'agrément: 13/05/2020

AGREE PAR L'ANRT MAROC
 Numéro d'agrément: MR 19520 ANRT 2019
 Date d'agrément: 23/04/2019

OMAN - TRA
D090258
TRA/TA-R/1049/09

AGREE PAR L'ANRT MAROC
 Numéro d'agrément: MR 25086 ANRT 2020
 Date d'agrément: 31/07/2020

AGREE PAR L'ANRT MAROC
 Numéro d'agrément: MR 15787 ANRT 2018
 Date d'agrément: 12/03/2018

OMAN - TRA
D090258
TRA/TA-R/1849/14

OMAN - TRA
D090258
TRA/TA-R/5420/18

OMAN - TRA
D090024
TRA/TA-R/8056/19

OMAN - TRA
D090258
TRA/TA-R/6348/18

OMAN - TRA
D090258
TRA/TA-R/0629/12

OMAN - TRA
D080134
TRA/TA-R/1049/09

OMAN - TRA
D090258
TRA/TA-R/1037/09

OMAN - TRA
D100428
TRA/TA-R/3663/16

OMAN - TRA
D090258
TRA/TA-R/0662/12

OMAN - TRA
D100428
TRA/TA-R/5422/18

OMAN - TRA
D090024
TRA/TA-R/2609/15

OMAN - TRA
D100428
TRA/TA-R/5420/18

Pakistan



Paraguay



NR: 2018-01-I-000024 (BCM 434)

NR: 2018-05-I-000181 (BCM 433)

NR: 2018-05-I-000182 (Key-Kessy 433)

NR: 2018-05-I-000183 (Key-Kessy 434)

NR: 2019-05-I-000236 (MRR1Rear)

NR: 2020-07-I-000512 (Key-Basic)

NR: 2020-09-1-0664 (Homelink EHL2)

NR: 2017-02-I-0000057 (MIB2+)

Philippines



Qatar

Approval Ref.: CRA/SA/2016/R-5847 (MIB2+)

Approval Ref.: CRA/SM/2019/R-7682 (Homelink EHL2)

Approval Ref.: CRA/SA/2018/R-6937 (Key Kessy 434)

Approval Ref.: CRA/SA/2018/R-6938 (Key Kessy 433)

Approval Ref.: ICTQATAR/RT/2014/R-3957 (MRR1Rear)

Approval Ref.: ICTQATAR/RT/2012/R-2944 (BCM 434)

Approval Ref.: ICTQATAR/RT/2012/R-1878 (LRR3)

Serbia



Singapore

**Complies with
IMDA Standards
DB01752**

**Complies with
IMDA Standards
DB107205**

**Complies with
IMDA Standards
DB109950**

**Complies with
IMDA Standards
DB03227**

**Complies with
IMDA Standards
DB106440**

South Africa

 TA-2009/464
APPROVED

 TA-2014/212
APPROVED

 TA-2015/158
APPROVED

 TA-2016/3539
APPROVED

 TA-2018/217
APPROVED

 TA-2019/5116
APPROVED

 TA-2005/614
APPROVED

 TA-2012/399
APPROVED

 TA-2018/218
APPROVED


 TA-2019/1853
APPROVED


 TA-2016/3028
APPROVED


 TA-2020/6392
APPROVED

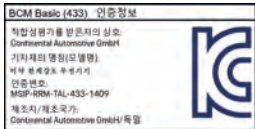
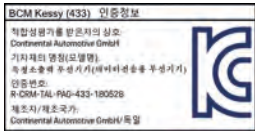
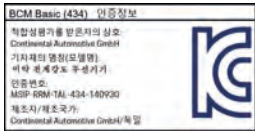
South Korea

LCA (MRR1Rear) 인증정보	
적합성 평가를 받은 자의 상호 Robert Bosch GmbH 기재 제의 명칭(모델명) 특정소출력 무선기기(무선 충전장치용 제1차 무선기기) 인증번호: MRR-CLASS-BCC-1MR1Rear 제조지/제조국가: Robert Bosch GmbH	

ACC (LRR3) 인증정보	
적합성 평가를 받은 자의 상호 Robert Bosch GmbH 기재 제의 명칭(모델명) 특정소출력 무선기기(무선 충전장치용 제1차 무선기기) 인증번호: BCC-LRR3 제조지/제조국가: Robert Bosch GmbH	

TPMS (TSSRE4U) 인증정보	
적합성 평가를 받은 자의 상호 Huf Basting Electronics Bietten GmbH 기재 제의 명칭(모델명) 특정 소출력 무선기기 인증번호: 루시4E8-TSSRE4U 제조지/제조국가: Huf Basting Electronics Bietten GmbH/독일	

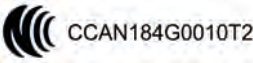
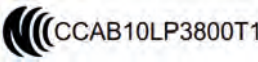
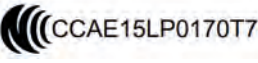
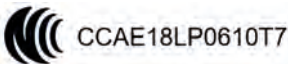
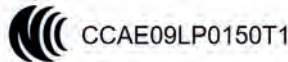
TPMS (TSSG405b) 인증정보	
적합성 평가를 받은 자의 상호 Huf Basting Electronics Bietten GmbH 기재 제의 명칭(모델명) TPMS ECU 5.6 423MHz 인증번호: 루시4E8-TSSG405b 제조지/제조국가: Huf Basting Electronics Bietten GmbH/독일	



이 기기는 업무용 환경에서 사용할 목적으로 적합성평가를 받은 기기로서 가정용 환경에서 사용하는 경우 전파간섭의 우려가 있습니다.

이 기기는 업무용(A급) 전자파적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.

Taiwan



低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條 經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計

之特性及功能。

第十四條 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信

信；經發現有干擾現象時，應改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

療用電波輻射性電機設備之干擾。

Thailand

- เครื่องโทรคมนาคมและอุปกรณ์ที่มีความ สอดคล้องตามมาตรฐานหรือข้อกำหนดของ กสทช.
- เครื่องวิทยุคมนาคมนี้มึระดับการแผ่คลื่นแม่เหล็กไฟฟ้าสอดคล้องตามมาตรฐานความปลอดภัยต่อสุขภาพของมนุษย์จากการ ใช้เครื่องวิทยุคมนาคมที่คณะกรรมการกิจการ โทรคมนาคม- แห่งชาติประกาศกำหนด

Turkey

TELSİZ EKİPMANLARI YÖNETMELİĞİ (2014/53/AB)

Aracınızda çeşitli telsiz ekipmanları bulunmaktadır. Telsiz Ekipmanları Yönetmeliği (2014/53/AB) açısından Türkiye pazarı için telsiz ekipmanı ithalatçısı*:

Doğuş Otomotiv Servis ve Ticaret A.Ş.Şekerpınar Mahallesi, Anadolu Caddesi, No:22 ve 45 , 41420 Çayırrova/Kocaeli

*Bu bilgi sadece resmi temsilcimiz olan Doğuş Otomotiv Servis ve Ticaret A.Ş.'nin ithal ettiği üründür. İthalatçıdır.

ウクライナ

車両にはさまざまな無線装置が装備されています。この無線機器のメーカーは、ウクライナの無線機器に関する技術規格 (Decree 355/2017) に準拠した仕様であることを宣言しています。この情報には、2019年4月以降のラジオ装備のメーカーとトランスミッションの特性に関する詳細が含まれています。関連する適合宣言を含むテキストは、以下のウェブサイトと同一です。

<https://porsche.ua/accessoriesandservice/porschesevice/>



United Arab Emirates



United States of America

This vehicle includes Radio Frequency Devices that are certified under the following IDs:

FCC ID: KR5315-140930 (BCM Basic)

FCC ID: KR5315-180528 (Key Kessy)

FCC ID: KR55WK50138 (Key Basic)

FCC ID: NF3-LRR3SCU (LRR3)

FCC ID: NF3-MRR1REAR (MRR1Rear)

Radio Frequency Devices and Radio Communication Equipment comply with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. These devices may not cause harmful interference, and
2. These devices must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Changes or modifications made to the equipment not expressly approved by Porsche may void the FCC authorization to operate the equipment.

Radiofrequency radiation exposure Information: The radiated output power of the devices is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the devices shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized. Any antenna used with these devices must be located at least 8 inches (20,3 cm) from all persons.

NOTE: The equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. The equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment

does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Vietnam



索引

番号と記号

◇ ボタンの設定	181
暗証コード	190
印が付いたエリア	
ロールアップ サンブラインド	38
運転席	
タコメーター	137
燃料計	138
運転席メモリーパッケージ	68
応急処置セット	209
音楽	
USB を介した外部機器の接続	185
お気に入りの保存/編集	185
再生	184
対応するデータ形式	262
画面	
パワー & ドライブ	137
車両 & 情報	137
手入れ指示	233
灰皿	
開操作	216
空にする	216
開閉	
ウィンドウ	31
ルーフ システム	37
開閉操作とロック	40
パーソナル設定の保存と呼び出し	68
革	
手入れ指示	231
給油	
フィルター フラップ位置の表示	138
燃料	250
緊急ブレーキ機能の	
作動	94
緊急ロック	
フィルター フラップ	252

空気圧	
速度警告	235
携帯電話	
Bluetooth®を介した接続 (新しい電話)	199
Bluetooth®を介した接続 (登録済みの電話)	199
Bluetooth®を介した接続 (別の電話)	200
Bluetooth®経由での接続 (Windows®および iOS	
オペレーティング システム)	199
の保管	201
電話の接続	199
携帯電話の	
ワイヤレス充電	201
携帯電話の収納	201
携帯電話をワイヤレスで充電	201
経由地を入力する (ナビゲーション)	188
計器照明	48
警告および情報メッセージ	157
エンジン	163
ドライビング システム	174
安全性	157
車両	168
警告灯	143
警告灯およびインジケーター ライト	143
警報システム	27
の ON/OFF を切り替える	27
機能説明	27
機能表示	27
室内モニタリング システムと傾斜センサーを OFF	
にする	27
軽修理	
バンクしたとき	243
車両が動き出さないようにします	243
車両のけん引	221
言語	
設定	181
個人設定	
の保存	68

故障	
ウィンドウ リフター	32
ウィンドウの停止位置の保存	32
フィルター フラップの緊急ロック	252
故障診断用 ソケット	6
工具セット	209
高圧洗浄機	
使用上の注意	229
合金製ホイール	
お手入れの諸注意	231
始動	
エンジン	89, 96
時刻と日付	
設定	181
自動 (ライト スイッチ)	
ドライビング ライト アシスタント	110
自動ライトコントロール	
設定	109
自動減光機能	
ミラー	81
自動内気循環設定	
エアコン	64
識別番号	255
車の維持	
エアバッグ	232
ファブリック ライニング	232
革	231
車の手入れ	
シート ベルト	233
車線逸脱警告の	
ON/OFF の切り替え	129
車台番号	255
車内で取扱説明書を開く	150
車幅灯	109
車両	
ボルシェ エントリー & ドライブでロックする	43
ボルシェ エントリー & ドライブを使用したロック	
解除	42
緊急ロック解除	44
車内からの車両のロック	43

車両ジャッキモード	181	手入れ指示		全負荷	
車両データバンク	255	PCM	233	設定	237
車両ドア		エアバッグ	232	走行時間の表示	142
ボルシェ エントリー&ドライブを使用したロック		シートベルト	233	送風口	
.....	42	タッチディスプレイ	233	を調整する	65
車内からのロック解除	42	ディスプレイ	233	送風量の設定	
車内からの開閉操作とロック	42	ファブリックライニング	232	エアコン システム	63
車両の		フロアマット	232	惰性走行操作	107
開閉操作とロック	40	フロアカーペット	232	遅延消灯	
車両のお手入れ	232	画面	233	の ON	110
Dinamica®/Race-TEX	232	革	231	着信に応答する/拒否する	198
アンダー コーティング	230	充填容量	256	駐車場	
シール	231	ウォッシュャー液	256	パークアシスト	113
デコラティブ フィルム	230	エンジンオイル	256	停止	
プラスチック製部品	230	充電アダプター	216	エンジン	96
ヘッドライト	230	渋滞アシスト (TJA)		停止位置の保存	
ホイール ボルト	239, 240	ON/OFF	134	ルーフ システム	39
高圧洗浄機の使用	229	渋滞アップデート (ナビゲーション)	188	ロールアップ サンプラインド	39
合金製ホイール	231	重量	257	停止制御	
洗車	229	出荷時の状態		HOLD 機能	108
塗装	229	車両設定をリセット	181	停止表示板	209
車両ホットスポット	192	助手席エアバッグ OFF/ON インジケーター	48	締め付けトルク	
車両識別番号	255	照明		ホイール ボルト	239, 240
車両設定		降車時に ON にする	109	電動パワー ウィンドウ	
アシスト走行の設定	181	乗車時に ON にする	109	ドア ハンドルの近接センサーでウィンドウを閉じ	
インストルメント パネル表示の調整	181	情報ウィジェット	150	る (エントリー&ドライブ装備車)	32
エアコン オプションの設定	181	進行方向インジケータ、スイッチ	111	電話	
キーへの保存	68	寸法	256	Bluetooth®を介した接続	199
タイヤの種類とサイズの設定	237	接続		Bluetooth®を介した接続 (新しい電話)	199
タイヤ空気圧モニタリング (TPM)	236	データ接続を確立	191	Bluetooth®を介した接続 (登録済みの電話)	199
の個人ボタンへの保存	68	接続ステータス	200	Bluetooth®経由での接続 (Windows®および iOS)	199
の実施	181	接続ステータス	200	オペレーティング システム)	199
ボルシェ カー コネクトの設定	181	接続性		お気に入りの保存/編集	200
マルチファンクション ステアリング ホイールのボ		ボルシェ コネクト サービスの使用	191	デバイス マネージャー	183
タン割り当て設定	181	設定		の収納	201
ロック オプション設定	181	キーへの保存	68	接続ステータス	200
警告音とパークアシストの音量設定	181	の個人設定の保存と呼び出し	68	設定を行う	202
言語設定	181	車両	181	通話中の各種機能	200
出荷時の状態にリセット	181	洗車	229	番号をダイヤルする	198
単位の設定	181	トランスミッションのニュートラル位置	106	連絡先の編集	202
日付と時刻の設定	181				

電話を			
ワイヤレスで充電	201		
電話機能を ON にする	191		
塗装			
お手入れの諸注意	229		
汚れ、染みの除去	229		
塗装の			
お手入れ	229		
小さな傷の補修	229		
塗装面の			
つや出し (研磨)	229		
保護	229		
登録および有効化			
My Porsche への登録	191		
盗難防止装置			
イモビライザー、ステアリングコラム ロック	27		
道路交通案内	188		
道路通行料自動収受システム			
道路通行料自動収受システムの使用	189		
内気循環モード	64		
の ON/OFF	64		
内蔵 SIM カード			
データ接続の確立	191		
日付と時刻の			
設定	181		
燃料			
オクタン価	250		
タンク容量	256		
残量警告	138		
品質	250		
燃料インジケーター	138		
燃料の			
給油	251		
燃料計	138		
燃料消費量	256		
標準圧力			
を選択	236		
不凍液			
ウォッシュ液の割合	254		
クーラント	225		
部分負荷			
設定	237		
平均速度および平均燃費の表示	142		
歩行者警告	114		
放送局を選局/保存	184		
方向指示器操作レバー	111		
目的地の入力/検索	186		
輸送 (鉄道、船舶などの)			
車両の固定	223		
余熱の利用	66		
連絡先 (電話)	198		
A			
A/C MAX ボタン			
エアコンシステム	62		
ACC			
アダプティブクルーズコントロール	85		
APN (アクセスポイント) の選択	190		
B			
Bluetooth®			
デバイス マネージャー	182		
電話の接続	199		
Bluetooth®を介した			
電話の接続 (別の電話)	200		
C			
CO2 排出	256		
Connect	190		
D			
DAB			
周波数帯の設定	184		
Dinamica®/Race-TEX			
お手入れの諸注意	232		
E			
EPG (プログラムガイド)	185		
F			
FM			
周波数帯の設定	184		
H			
HOLD 機能	108		
HOLD 機能			
停止制御	108		
発進アシスタント	108		
I			
ISOFIX システム	54		
i サイズシステム タイプのチャイルドシート取り			
付け	57		
上部トップテザー	59		
M			
My Porsche	190		
Porsche ID での登録	191		
サービスの設定	191		
ナビゲーション目的地の追加	191		
へのログイン	190		
P			
PASM (ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント)	116		
PCM			
PCM WiFi ホットスポットの利用	192		
PCM 電話	191		
PCM 電話 ON にする	191		
キーボード	149		
ダッシュボードのタッチディスプレイ	147		
テキストと文字の入力	149		
ドライビング データの表示 (トリップ情報)	142		
ホーム画面	150		
ホーム画面の設定	150		
メニューを開く	148		
時刻の表示または温度の設定	149		
手入力指示	233		
情報ウィジェット	150		

情報ウィジェットの設定	150
表示の調整	181
PCM でマニュアルを開く	150
PDK	105
シフトアップインジケータ	106
マニュアルシフトモード	106
ローンチコントロール	107
洗車機	106
惰性走行モード	107
PSM (ボルシェスタビリティマネージメント)	119

S

SIM カード	
データ接続の確立	191
Speedlimiter (スピードリミッター)	103
SPORT PLUS モード	101, 103
SPORT モード	101, 103

T

TPM (タイヤ空気圧モニタリング)	235
--------------------	-----

W

WiFi	
PCM WiFi ホットスポットの利用	192
デバイス マネージャー	183
外部 WiFi ホットスポット経由でデータ接続を確立する	192
WiFi 経由でボルシェコネクトアプリを PCM に接続する	194

A

アシスタンスシステムの設定	181
アダプティブクルーズコントロール	
レーダーセンサー	85
機能の説明	85
作動状態	87
車間距離の調整	87
目標速度の設定/調整	87

アダプティブクルーズコントロール (ACC)	
ON/OFF	87
のディスプレイ	86
の作動状態	86
の操作	86
制御の中断と再開	89
アダプティブライトシステム、ドライビングライトアシスタント	109
アルミニウム リムの	
お手入れの諸注意	231
アンダーコーティング	
お手入れの諸注意	230

I

イージーエントリー機能	78
イオナイザー	
の ON/OFF	65
イグニッションロック	
の機能説明	95
イモビライザー	27
インジケータライト	143
インストルメントパネル	137
オドメーター	140
オプションを選択し、機能を有効にします	138, 139
サービスインターバルの表示	142
スピードメーター	137
スポーツクロノストップウォッチ	195
タイヤ空気圧モニタリングシステム	235
タコメーター	137
ドライビングデータの表示 (トリップ情報)	142
トリップメーター	140
の計器パネル	137
の個人設定の保存と呼び出し	68
の操作	138
マルチファンクションディスプレイ	137
警告灯およびインジケータライト	143
車両 & 情報画面	137
車両情報の表示	142
照明の調整	48
速度警告の設定	142

速度制限の設定	142
燃料計	138
表示の調整	181
インストルメントパネルの速度警告の設定	142
インストルメントパネルの速度制限の設定	142
インターネット	
データ接続の確立	191
インディヴィチュアモード	101
インテリアライト	
オリエンテーションライト	49
インテリアライトの ON/OFF の切り替え	48

ウ

ウィンタータイヤ	
一般情報	242
ウィンドウ	
お手入れの諸注意	230
フロントウィンドウヒーターの ON/OFF の切り替え	65
フロントウィンドウのデフロスター	65
リヤウィンドウの ON/OFF の切り替え	66
開閉	31
近接センサーで閉じる	32
車両キー (リモートコントロール) による開閉	31
停止位置の保存	32
ウィンドウメカニズム	
ウィンドウの開閉	31
ウィンドウリフター	
ウィンドウの開閉	31
ドアハンドルの近接センサーでウィンドウを閉じる (エントリー&ドライブ装備車)	32
車両キー (リモートコントロール) によるウィンドウの開閉	32
ウェルカム ホーム機能	
の ON	110
ウォッシュャー液	
充填容量	256
追加	254
不凍液	254

エ			
エアサスペンション (PASM).....	116	エミッションコントロール (チェックエンジン)	143
エアサスペンションおよびレベルコントロールシステム付きボルシェ アクティブサスペンション マネージメント (PASM)		エミッションコントロール警告灯.....	143
シャーシ高の調節.....	117	エレクトリック パーキング ブレーキ	
レバリングシステムを OFF にする (車両ジャッキモード).....	118	ブレーキ テスト スタンドでの点検.....	234
エアスプリングの高さの設定.....	117	緊急ブレーキ機能.....	94
エアイベント		警告灯.....	94
の閉閉.....	64	作動/解除.....	94
の調整.....	64, 65	発進時のパーキング ブレーキ自動解除.....	94
エアコン		エンジン	
イオナイザーの ON/OFF.....	65	オイルの補充.....	225
エアフローの調整.....	64	の停止.....	89
エアコン オプションの		始動.....	89, 96
設定.....	181	エンジン オイル.....	225
エアコン システム		エンジン カバー.....	33
A/C 最大モードの ON/OFF の切り替え.....	62	エンジン コンパートメント リッド.....	33
ON/OFF.....	62	エンジンオイル	
エアコンの種類の設定.....	64	の補充.....	225
パーソナル設定の保存と呼び出し.....	68	エンジンの	
フロント ウィンドウのデフロスター.....	65	停止.....	96
フロントの温度設定.....	60	エンジンの停止.....	89
リヤの温度の設定.....	63	エンジン始動.....	89
最大冷房能力の ON/OFF の切り替え.....	62	エントリー&ドライブ	
自動内気循環モードの設定.....	64	車両のロック解除.....	42
同期モードの使用.....	63	エントリー&ドライブ	
内気循環モードの ON/OFF.....	64	車両のロック解除.....	28
余熱の利用.....	66	エントリー機能	
エアコンスタイル		イージー エントリー機能の利用.....	78
の調整.....	64	オ	
エアバッグ		オイル.....	225
安全に関する指示.....	47	オイルレベルの点検.....	225
機能.....	47	の補充.....	225
警告灯.....	48	オートスタート/ストップ機能	
取り付け位置.....	47	作動原理.....	89
手入れ指示.....	232	オートスタート/ストップ機能	
助手席エアバッグの ON/OFF.....	56	ON/OFF.....	91
エマージェンシーキー.....	30	作動原理.....	89
		前提条件.....	89
		例外.....	91
		オートマチック カミングホーム ライト.....	110
		オートマチック ドライビング ライト アシスタント	109
		オートマチック トランスミッション.....	105
		オクタン価、燃料.....	250
		オドメーターの表示とリセット.....	140
		オフロード走行.....	96, 97
		オフロード走行プログラム.....	101
		オリエンテーション ライト.....	49
		オンボード コンピューター	
		タイヤ空気圧モニタリングシステム.....	235
		メニュー概要.....	140
		オンライン サービス	
		データ接続の確立.....	191
		オンライン ナビゲーション.....	186
		オンロード ドライビング プログラム.....	101
		オンロード走行プログラム.....	101
		お気に入りの保存/編集	
		電話.....	200
		お手入れ	
		Dinamica®/Race-TEX.....	232
		生地.....	231
		お手入れの諸注意	
		アンダー コーティング.....	230
		ウィンドウ.....	230
		シール.....	231
		デコラティブ フィルム.....	230
		ホイール ボルト.....	239, 240
		合金製ホイール.....	231
		洗車.....	229
		塗装.....	229
		カ	
		カーゴ マネージメント.....	212
		カーテシー ライト、エントリー機能.....	110
		カーベット.....	232
		手入れ指示.....	232
		ガソリン	
		オクタン価.....	250
		給油.....	251
		残量警告.....	138

燃料計.....	138
品質.....	250
カップホルダー.....	207
キ	
キー.....	28
エマージェンシーキーの取り出し.....	30
でロック.....	43
の個人設定の保存と呼び出し.....	68
を使用した車両のロック解除.....	42
車両のロック.....	43
車両のロック解除.....	42
キー（リモートコントロール）.....	31
キーボード.....	149
ギヤシフト	
Porsche Doppelkupplung（PDK）.....	105
キャリアーの取り付け.....	204
ク	
クーラント	
クーラントの補充.....	225
クーラントレベルの点検.....	225
クルーズコントロール.....	135
ONにする.....	135
クルーズコントロール.....	135
機能説明.....	135
速度の保存.....	135
中断操作.....	135
クルーズコントロール(CC)	
作動.....	135
クルーズコントロールを	
OFFにする.....	135
グローブボックス	
の収納.....	203
けん引	
けん引バー.....	222
けん引フック.....	223
けん引ロープ.....	222
一般注意事項.....	221

コ

コーナリングライト	
ダイヤモンド.....	110
コックピット	
オドメーター.....	140
トリップメーター.....	140
警告灯およびインジケーターライト.....	143
照明の調整.....	48
コラプシブルスペアホイール.....	245
コンフォートメモリーパッケージ.....	68
コンプレッサー.....	209

サ

サービスインターバルをインストルメントパネルで表	
示.....	142
サービスポジション.....	124
サイドロールアップ式サンブラインド.....	32
サマータイヤ	
保管.....	242
サンブラインド	
の清掃.....	39
印が付いたエリア.....	38
サンブラインド停止位置の保存.....	39
サンルーフ	
パノラミックルーフ.....	37

シ

シート	
イージーエントリー機能の利用.....	78
シートヒーター/シートベンチレーターの使用.....	77
シート位置の調整.....	75
チャイルドシートシステム.....	56
のシート位置の保存と呼び出し.....	68
フロントの調整.....	75
ベビーキャリア.....	56
シートヒーターをON/OFFにする.....	77
シートベルト	
ベルト高さの調節.....	73
取り外し.....	73

手入れ指示.....	233
情報.....	72
着用.....	73
シートベンチレーターをON/OFFにする.....	77
シートメモリー.....	68
シートベルト	
シートベルトプリテンショナー.....	72
シートベルトプリテンショナー.....	72
シール	
お手入れの諸注意.....	231
シフトアップインジケーター表示.....	138
シャーシモードの設定.....	116
シャーシ高の調節.....	117
ジャッキ.....	252
車両のリフトアップ.....	252

ス

スキーバッグ	
スキー/スノーボードの収納.....	212
スタート/ストップ機能.....	89
ステアリングコラムロック.....	27
ステアリングホイール	
◇ボタンの設定.....	181
ステアリングホイールロック.....	95
ヒーターのON/OFF.....	67
ステアリングホイールヒーターのON/OFF.....	67
ステアリングホイールの	
調節.....	67
ステアリングホイールのロック解除/ロック.....	27
ストップウォッチ.....	195
スノーチェーン	
一般情報.....	242
スピードリミッター.....	103
スピードメーター.....	137
スペアホイール.....	245
スポーツエキゾーストシステム.....	103
スポーツクロノ	
PCMでのスポーツクロノストップウォッチの表	
示.....	195

スポーツクロノストップウォッチ	195
スマートフォン	
Bluetooth®を介した接続	199
ワイヤレス充電	201
スモーカーズパッケージ	216
セ	
セーフロック	43
キーで無効にする	42
ドアハンドルの近接センサーで無効にする	42
セレクトアーレバー	105
センターアームレスト	
のフロント小物入れ	203
センターコンソール	
のフロント小物入れ	203
セントラルロックシステム	40
キーによる車両のロック	42
キーを使用した車両のロック解除	42
の使用	41
ボルシェ エントリー&ドライブを使用したロック	43
ボルシェ エントリー&ドライブを使用した解除	43
車内からの開閉操作とロック	44
セントラルロック	
の個人設定の保存と呼び出し	68
ソ	
ソース (メディア) の選択	184
タ	
タイダウンリング	
の使用	212
ダイナミックコーナリングライト	110
タイヤ	234
ウィンタータイヤ (一般情報)	242
スノーチェーン (一般情報)	242
タイヤの種類とサイズの設定	237
タイヤ空気圧の点検	234
タイヤ空気圧プレート	255
タイヤ交換 (一般情報)	241

タイヤ表記	238
トレッド深さ	239
バルブ	239
パンクしたとき	243
パンクの修理	243
パンク修理	243
新しいタイヤをタイヤ空気圧モニタリング (TPM) に登録	237
全負荷または部分負荷の設定	237
保管	242
タイヤの	
コンフォート プレッシャーまたは標準圧力を選択	236
します	236
タイヤ空気の	
充填	237
タイヤ空気圧	
インストールメント パネルで確認	235
システムの学習	237
の点検	234
速度警告	235
タイヤ空気圧プレート	255
タイヤ空気圧モニタリング (TPM)	235
呼び出し	236
設定	236
登録	237
タイヤ空気圧警告灯	143
タイヤ空気圧表	258
タイヤ充填コンプレッサー	209
タコメーター	137
ダッシュボードのタッチディスプレイ	147
タッチディスプレイ	
の操作	148
手入れ指示	233
タッチスクリーン	
ホーム画面	150
情報ウィジェット	150
表示の調整	181
タッチスクリーンを使用した	
PCMの操作	148

チ

チェック エンジン (エミッションコントロール)	143
チャイルドシート	
ISOFIX システム タイプの取り付け	57
i サイズ システム タイプの取り付け	57
の取り付け	56
をく使用する	51
を正しく使用する	51
助手席エアバッグの ON/OFF	56
上部トップテザー	59
適切な体重およびサイズ グループの使用	51
チャイルドシートシステム	
の取り付け	56
助手席エアバッグの ON/OFF	56
チャイルド プロテクション	
リヤでの操作を無効にする	32
チャイルド ロック	44
リヤシート	32
チャイルドシート	
正しい取り付け位置の使用	54
チャイルドシートシステム	
正しい取り付け位置を使用する	54

ツ

ツール	209
-----	-----

テ

ディスプレイ	
手入指示	233
データ接続	
デバイス マネージャー	183
の確立 (外付け SIM カード)	191
の確立 (外部 WiFi ホットスポット)	192
の確立 (内蔵 SIM カード)	191
車両ホットスポットの利用	192
テールゲート	
開く高さの設定	35
テールゲートの	
緊急時解放	36

テキストメッセージの表示および編集	201	トランスミッション		バッテリーの	
テクニカルデータ		PDK	105	交換	219
CO2 排出	256	洗車	106	バッテリーの一交換	
タイヤ空気圧表	258	トリップメーターの表示とリセット	140	ドライバークー	29
ホイールおよびタイヤのサイズ	258	ドリンクホルダー	207	パノラミックルーフ	
充填容量	256	トルクル		サンルーフ	37
重量	257	ホイールボルトの締め付けトルク	239, 240	ルーフドライブメカニズムの故障	38
燃料消費量	256	トレイ (電話)	201	バルブ	
デコラティブフィルム		トレーラー		タイヤ	239
お手入れの諸注意	230	レベルコントロールシステム	117	パワーウィンドウ	
デジタルスピードメーター	138	トレッド深さ		車両キー (リモートコントロール) によるウィン	
テストスタンド		タイヤ	239	ドウの開閉	31
ブレーキテスト	234	ドロップフレーム機能	117	停止位置の保存	32
デバイスマネージャー	182			パワーウィンドウの停止位置の保存	31, 32
ト		ナ		パンクしたとき	243
ドア		ナビゲーション	186	パンク修理剤の取り外し	209
キーによるロック	42, 43	GPS 座標の入力	186	ハンドブレーキ	
ボルシェ エントリー&ドライブでロックする	43	マルチファンクションディスプレイでの目的地の		エレクトリックパーキングブレーキ	94
ボルシェ エントリー&ドライブを使用したロック		入力	188	ハンドブレーキ (エレクトリックパーキングブレーキ)	
ロック	42	マルチファンクションディスプレイによるルート		自動解除	94
開く	42	案内の開始/停止	188	手動解除	94
緊急ロック解除	44	経由地を入力する	188		
車内からの開閉操作とロック	42	目的地の入力/検索	186	ヒ	
ドアミラー	80	ハ		ビークルプレート	257
ドアミラーヒーターの ON/OFF の切り替え	66	パーキングブレーキ		ビデオ	
ドアの緊急ロック解除	44	ブレーキテストスタンドでの点検	234	対応するデータ形式	262
トップテザー		パークアシスト	113	ヒューズ	
ISOFIX トップテザー付きチャイルドシートの取り付け	59	音量	114	ヒューズボックス	246
トップテザー付きチャイルドシートの取り付け	59	パーティションネット	215	ヒューズの割り当て	246
ドライバークー		ハイビームヘッドライト		ヒューズの交換	246
バッテリーの交換	29	スイッチ	109	フ	
ドライビングデータの表示 (トリップ情報)	142	ハイビーム操作レバー	109	ファブリックライニング	
ドライビングライトアシスタント		ハザードライトスイッチ	112	手入れ指示	232
ダイナミックコーナリングライト	109	ハザードライトスイッチの ON/OFF	112	フィルターフラップ	
の ON	109	バッテリー		位置の表示	138
ロービーム	109	バッテリー (鉛蓄電池) 上の警告	219	緊急ロック	252
		接続後の作業	219	フットブレーキ	
		通知	219	に関する安全指示	94
		電源遮断	219		

プラグソケット (12V)	216	へ		設定	181
フルードおよび燃料	256	ヘッドライトの		電話のボイス コマンド	154
ウォッシャー液	256	お手入れの諸注意	230	ボイス コントロールの使用	152
燃料	256	ベビーキャリア	56	ボイスコントロール	151
ブレイリストを開く	184	ベビーシート	56	ボイスメールを聞く	198
ブレーキ		助手席エアバッグの ON/OFF	56	ホーム画面	150
テストスタンド	234	ベルト		ホットスポット	
フットブレーキ	94	警告灯/警告メッセージ	73	PCM WiFi ホットスポットの利用	192
ブレーキパッドとブレーキディスク	94	高さの調節	73	外部 WiFi ホットスポット経由でデータ接続を確立	
ブレーキパッド警告灯メッセージ	93	手入れ指示	233	する	192
ブレーキの慣らしおよび清掃	94	着用	73	ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント	
ボルシェ サーフェス コーテッド ブレーキ (PSCB)				(PASM)	116
.....	94			ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント	
一般的な安全に関する指示	93	ホ		(PASM)	116
緊急ブレーキ機能	94	ホイール	234	シャーンモードの選択	116
ブレーキフルード		ウィンター タイヤ (一般情報)	242	ボルシェ アクティブセーフ (PAS)	
ブレーキフルード レベルの点検	223	スノーチェーン (一般情報)	242	の ON/OFF 切り替え	115
ブレーキフルードの交換	223	タイヤ空気圧プレート	255	衝突警告の OFF/ON 切り替え	115
フロアマット		タイヤ交換 (一般情報)	241	ボルシェ カーコネクトの	
手入れ指示	232	タイヤ表記	238	設定	181
プログラムガイド (EPG)	185	バルブ	239	ボルシェ コネクト	190
フロントアームレストの収納ボックス		バンク修理	243	PCM 電話	192
の収納オプション	203	ホイール ボト (お手入れの諸注意)	239, 240	サービスの利用	191
を開く	203	故障の修理	243	データ接続の確立	190, 191
フロントウィンドウ ウォッシャー システム		交換	239	ユーザー (Porsche ID) のログイン	190, 191
ウォッシャー液の追加	254	締め付けトルク	239, 240	ユーザー (Porsche ID) の管理	190
充填容量	256	盗難防止ホイール ボルト (レンチソケット)	239, 240	暗証コード	190
不凍液	254	保管	242	設定	192
フロントウィンドウワイパー	122, 123	ホイール ボルト	239, 240	ボルシェ コミュニケーション マネジメン (PCM)	
お手入れの諸注意	231	ホイールおよびタイヤのサイズ	258	車両でマニュアルを開く	150
フロントワイパー		ホイールのお手入れ	231	ボルシェ コミュニケーション マネジメント (PCM)	
タップ機能	123	ボイス コントロール		タッチボードのタッチディスプレイ	147
フロント ウィンドウのワイパー機能とウォッシャ		アプリのボイス コマンド	156	ボルシェ サーフェス コーテッド ブレーキ (PSCB) ..	94
ー システム	123	コマンドの発話	152	ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)	119
レインセンサーを ON にする	123	ナビゲーションのボイス コマンド	155	ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)	
フロントシート		の調節	152	PSM スポーツの作動	120
の調整	75	ボイス コントロールの使用	152	機能説明	119
フロントの温度の設定		メディアのボイス コマンド	154	ボルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS	
エアコン システム	63	ラジオのボイス コマンド	153	プラス)	111
				ボルシェ ダイナミック ライト システム (PDLS) ..	110

ボルシェヒルコントロール (PHC)	92	メンテナンス		リヤリッド	
ボンネット.....	33	ウォッシュャー液の追加.....	254	を開く.....	34
マ		モ		リヤワイパー.....	124
マウント部品の取り付け.....	207	モバイルデータ (接続)	191	復帰機能.....	124
マップ (ナビゲーション)		ラ		リヤの温度の設定	
を呼び出す.....	186	ライト		エアコンシステム.....	63
マニュアルシフトモード.....	105	お手入れの諸注意.....	230	ル	
マルチファンクションステアリングホイール		ハザードライトスイッチ.....	112	ルーフシステム.....	37
◇ ボタンの設定.....	181	バルブの交換.....	112	サンブラインドの清掃.....	39
ボタン.....	138	ヘッドライトパッシング.....	111	緊急操作.....	39
マルチファンクションステアリングホイールのファン		レイン機能.....	109	ルーフシステムの	
クションボタン.....	138	乗車時のカーテシーライトの点灯.....	110	開閉.....	37
マルチファンクションステアリングホイールのボタン		ライトスイッチ		ルーフシステム停止位置の保存.....	39
.....	138	概要.....	109	ルーフトランスポートシステム	
マルチファンクションステアリングホイールのボタン		自動機能.....	110	キャリアの取り付け.....	204
割り当て設定.....	181	ラゲッジコンパートメント.....	208	マウント部品の取り付け.....	207
マルチファンクションディスプレイ.....	137	を開く.....	34	ルーフに荷物を載せて運ぶ場合.....	204
		を閉じる.....	35	ルーフに荷物	
ミ		ラゲッジコンパートメントカバー.....	211	を載せて運ぶ場合.....	204
ミラー		ラゲッジコンパートメントパーテーションネット.....	215	ルーフ駆動機構が故障している場合の	
ドアミラーヒーター.....	66	ラジオ.....	184	ルーフシステムの閉操作.....	38
ドアミラーの格納および復帰.....	81	オンラインラジオ.....	184	ルームミラー	
ドアミラーの調節.....	80	お気に入りの保存/編集.....	185	減光.....	81
パーキングエイドとしてのドアミラーの使用.....	82	周波数帯の設定.....	184	自動減光機能の ON/OFF.....	81
自動減光機能.....	81	放送局を選局/保存.....	184	調節.....	80
メ		リ		レ	
メッセージの表示および編集.....	201	リモートコントロール.....	28	レーダーセンサー.....	85
メディア.....	184	リモコン		レーンチェンジアシスト.....	131
USBを介した外部機器の接続.....	185	車両のロック.....	43	レーンチェンジアシスト (LCA)	
ソースを選択.....	184	車両のロック解除.....	42	リヤターンアシスト.....	130
ブログラムガイドの呼び出し (EPG)	185	リヤサイドウィンドウ用サンブラインド		運転状況.....	132
検索.....	184	の繰り出し/格納.....	32	レーンキープアシスト	
対応するメディアおよびデータ形式.....	262	リヤターンアシスト.....	130	ON/OFF.....	128
放送局を選局/保存.....	184	リヤフォグライト.....	109	レーンチェンジアシスト (LCA)	130
メディアの		ドライビングライトの調節.....	110		
再生.....	184	を ON にする.....	111		
メモリーパッケージ.....	68				

□

- ロービーム..... 109
- ロータリー ブッシュ ボタンの操作..... 148
- ロールアップ ブラインド..... 32
- ロック
 - キーで車両をロックする..... 43
 - キーによる車両のロック..... 43
 - ポルシェ エントリー&ドライブを使用した車両の
ロック..... 43
 - 安全ロック..... 43
 - 車内からの車両のロック..... 43
 - 車両を内側からロック..... 43
- ロック オプション
 - 設定..... 181
- ロック解除
 - キーからパーソナル設定を呼び出す..... 68
 - キーによる車両のロック解除..... 28
 - キーを使用した車両のロック解除..... 42
 - テールゲートのロック解除および開操作..... 34
 - ポルシェ エントリー&ドライブを使用した車両の
ロック解除..... 42
 - ポルシェ エントリー&ドライブ装備車のロック解
除..... 28
 - 車内からのロック解除..... 28, 34, 42
 - 車両緊急ロック解除..... 44

ワ

- ワイパー
 - リアウィンドウを拭く..... 124
 - ワイバブレードの交換..... 124
- ワイパー ブレード
 - お手入れの諸注意..... 231
- ワイヤレス インターネット アクセス..... 192